

標準構造図集

(土木一般工事)

神戸市土木技術管理委員会

令和 8 年 1 0 月

取り扱い上の注意事項

１．目的

「標準構造図集（土木一般工事）（以下「構造図集」という）」は、本市が事業を実施する構造物の標準化・規格化を図り、土木工事の設計・積算・施工等における業務の簡素化及びコスト削減を図るために定めたものである。

２．取り扱い

（１）「構造図集」は、本市の発注機関、設計業務等委託の受託者、並びに本市発注の工事の請負人において、予め備え付けておくものとし、その取扱いは次の各項によるものとする。

（２）「構造図集」に掲載された土木構造物を設計・積算に採用したときは、その名称・記号等を設計図書に記入するものとし、必要に応じ「構造図集」の図面を設計図書に添付する。

（３）「構造図集」に掲載された土木構造物と「構造図集」に掲載されていない他の土木構造物との相互関係を明確にさせる必要があるとき、及びその必要と認めるときは、図面を設計図書に添付するものとする。

（４）「構造図集」に掲載されたコンクリート二次製品の寸法については、標準的なものを示したものであり、特定の製品を指定するものではない。

また、「構造図集」に掲載されていないコンクリート二次製品の施工承諾願いを請負人が提出した場合は、監督員が形状・規格・必要な強度等を確認し、認めたときに限り使用できるものとする。

３．注意事項

各々の土木構造物について、設計上の注意事項及び施工上の注意事項を記載しているので、熟読の上、誤りのないように使用すること。

４．その他

（１）法令又は設計基準の改訂等により、「構造図集」を改訂した際は本市ホームページにて公開する。

（２）受託者又は請負人が本市発注の設計業務委託又は工事に着手するときは、必ず本市ホームページ等にて改訂等について確認すること。

(標準構図集の説明)

擁 壁 工

1. 小型重力式コンクリート擁壁、重力式コンクリート擁壁の使用上の注意事項

①小型重力式コンクリート擁壁は、擁壁高さが 2.0m以下で載過重 $q = 10\text{KN/m}^2$ の影響を受けない歩道に面した場所、のり尻擁壁及び境界擁壁等に利用し、それ以外は重力式擁壁を利用する。

②裏込土の種類

C ₁	礫、礫質土、砂
C ₂	砂質土
C ₃	シルト、粘性土

小型重力式コンクリート擁壁は、対象裏込め土が C₁、C₂ の場合のみであるので、裏込土が C₃ の場合は重力式コンクリート擁壁を用いる。

③設計上地盤の許容支持力は、 $q_a = 200\text{KN/m}^2$ 、滑動摩擦係数 $\mu = 0.6, 0.5$ としている。

(参考) 支持地盤の種類と許容支持力度 (常時値) (道路土工指針)

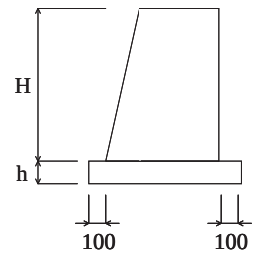
支持地盤の種類		許容支持力度 q_a (kN/m^2 (tf/ m^2))	備 考	
			q_a (kN/m^2 (kgf/ m^2))	N値
岩盤	亀裂の少ない均一な硬岩	1000 (100)	10000 以上 (100 以上)	—
	亀裂の多い硬岩	600 (60)	10000 以上 (100 以上)	—
	軟岩・土丹	300 (30)	1000 以上 (10 以上)	—
礫層	密なもの	600 (60)	—	—
	密でないもの	300 (30)	—	—
砂質地盤	密なもの	300 (30)	—	30～50
	中位なもの	200 (20)	—	20～30
粘性土地盤	非常に堅いもの	200 (20)	(200～400) 2.0～4.0	15～30
	堅いもの	100 (10)	(100～200) 1.0～2.0	10～15

(参考) 基礎底面と地盤との間の摩擦係数と付着力 (道路土工指針)

せん断面の条件	支持地盤の種類	摩擦係数 $\mu = \tan \phi_B$	付着力 C_B
岩または礫とコンクリート	岩 盤	0.7	考慮しない
	礫 層	0.6	考慮しない
土と基礎のコンクリートの間に割り栗石または碎石を敷く場合	砂質土 粘性土	0.6 0.5	考慮しない 考慮しない

③基礎部分の設計

施工箇所の条件	材 質	厚さ h
普通 (下記以外) の場合	再生碎石 0～4 cm	2 0 cm
水田等に近接して、基礎が透水層となる恐れがある場合	コンクリート $\sigma_{ck} = 18\text{N/m}^2$	1 0 cm
土質が岩の場合	なし	—



2. ブロック積 (石積) 擁壁

①分類

R (A) ー盛土部、あるいは盛土部と同等と判断できる切土部に使用する。

R (C) ー切土部で地山がよく締まっている場合に使用する。

②裏込土の種類

U ₁	良好な場合	礫 質 土
U ₂	普通の場合	砂 質 土
U ₃	よくない場合	粘 性 土

③基礎部分の設計

図中の基礎部分を円で囲み㊤・㊦の付号をつけてあるのは、基礎のタイプを示し、その使用区分は次表による。

タイプ	施工箇所の条件	材質
㊤	土層の場合	再生碎石 0～4 cm
㊦	水田等に近接して基礎が透水層となる恐れがある場合	コンクリート $\sigma_{ck} = 18\text{N/m}^2$

注) 基礎地盤が岩の場合、ブロック積 (石積) 擁壁を岩着とし、基礎工は無しとする。

交通安全施設工

1. 防護柵設置工（ガードレール、ガードパイプ）〔P5-1-3, 4〕

- a. B 種、C 種の使用区分は、防護柵設置要綱による。
- b. 土中埋込式は、所定の埋込長が得られ、十分な反力のとれる箇所に使用する。
- c. 構造物設置用の場合、設置する構造物の耐力を十分に照査すること
- d. 歩車道境界用ガードパイプ（G p 種）は、車両進入防止を目的とするものであり、乱横断防止には使用しない。
- e. 穿孔基礎はコンクリート擁壁天端等に直埋するときに適用する。

2. 防護柵設置工（乱横断防止柵）〔P5-1-5、6〕

- a. 本型式は、乱横断防止目的のため、歩車道境界歩道上に設置する。

3. 防護柵設置工（転落防止柵）〔P5-1-7〕

- a. 本型式はいずれも歩行者、自転車の道路外への転落を防止する目的である。
原則として、NO. 4 を標準とする。

4. 警戒、規制標識設置工〔P5-2-1〕

- a. 標識版の倍率に対する基礎寸法は図示の組合せとする。

5. 道路反射鏡（カーブミラー）設置工〔P5-2-2～5-2-7〕

- a. 反射鏡姿図は、P5-2-2～P5-2-7 まで図示の通りで、本製品同等以上とする。
- b. 異種製品については、承認図で確認する。

6. 道路反射鏡基礎構造図〔P5-2-8〕

- a. 基礎は A、B、C、D 型の 4 種とし、鏡種によって使用区分を図面表示のとおりと

する。

9. 視線誘導標（デリネーター）設置工〔P5-2-9、10〕

- a. 視線誘導標設置基準による（昭和 5 9 年 4 月）

排水工

1. 排水工の分類について

1－1 工種の分類

- (1) U型側溝工

(2) L型側溝工

(3) 街渠工

(4) 管渠工

(5) 樹 工

(6) U型側溝

(7) L型側溝

(8) 円型側溝

(9) 箱型側溝

(10) 門型側溝

「コンクリート二次製品標準図集（案）」（側溝・水路）

※工種の使い分け、運用方法については、「土木工事標準積算基準書参考資料－第1編－第3章8. コンクリート二次製品（側溝・水路）の使用について」を参照のこと。

1－2 各構造物の区分

○ ○ ○						○			○	()
名 称	形 状	品 質		交通量区分		地形・掘削の形		基礎・補強コンクリート	荷重タイプ	寸法
U型側溝	U 蓋 掛なし	A	現場打ちコンクリート	G	N ₁ ～N ₅ (LAB)	L	平面	1	UPの場合	車道用 R
L型側溝	L 蓋 掛あり	B	ヒューム管	H	N ₆ (C)	C	宅地側斜	2	補強コンクリートなし	1 歩道用 —
街渠	G 横断蓋付	D	透水管	T	N ₇ (D)	D	宅地側直	3	補強コンクリートあり	2
管渠	P		プレキャスト製品	P						
樹	M Mの場合		鋼製ゲレチング	K			P Tの場合	P Hの場合		
	街渠	G					傾斜据	1 90° 基礎	1	
	会所	K					垂直据	2 180° 基礎	2	
	集水	S						360° 基礎	4	
	雨水	U								

2. 使用材料について

- 2－1 コンクリート2次製品の使用材料は、コンクリート $\sigma_{ck}=24\text{N}/\text{mm}^2$ 、鉄筋 SD295 を標準とし、現場打ちコンクリートの使用材料は、鉄筋部コンクリート $\sigma_{ck}=24\text{N}/\text{mm}^2$ 、無筋部コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$ 、鉄筋 SD345 を標準とする。

3. 標準構造図集の運用方法について

- 3－1 構造図右肩のNo.○○は、構造図番号を示す。
- 3－2 No.欄の左、S○○○○は施工単価コードを示す。
- 3－3 図中の基礎部分を円で囲み、A、B、Cの符号がつけてあるのは、基礎のタイプを示し、その使用区分は表－1による。

表－1

タイプ	施工箇所の条件、土質等による区分	材質・その他
A	普通（下記以外の場合）	再生砕石 0～40 mm
B	水田等に近接しており、基礎が透水路となる恐れがある場合	コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{--}8\text{--}20$
C	土質が軟岩以上で堅固な場合	基礎なし

- 3－4 寸法は原則としてcmで表示してあるが、特別なもの（鉄蓋等）についてはmm表示をしている。
- 3－5 寸法表中の□で囲んである項は変数であり、設計者が決定する寸法及び記号であるが、H以外の□は、寸法表に記載されているものから選ぶこと。
- 3－6 寸法表に記入してある数値は、通常考えられる一般的な例を示したものであり、右欄の数量はこの寸法に基づいて計算した各材料の数量である。
- 3－7 設計及び積算にあたって、この表示例に示してある寸法どおりの構造物を使用する場合は、寸法表左端の「○印施工」欄の該当する行に丸を記入するとともに、使用する基礎タイプによる寸法表の数字及び数量表中の数字を○で囲み施工者に示すこと。
- 3－8 記載例以外の寸法の構造物を施工する際は、寸法表下の空白欄の「○印施工」欄に○印を記入し、寸法及び数量を記入して使用する。
- 3－9 □欄の変数に伴って変化する寸法の数値は、図中の表を参照すること。
- 3－10 右下の図番欄は、設計書に添付する図面の一連番号を記入する。

4. 各構造物の解説

- 4－1 No.01, No.03, No.05 (UA－(1, 2, 3))
蓋を架設する必要のない歩道に使用する。
- 4－2 No.02, No.04, No.06 (UA－(1, 2, 3)－R)
一般車両(T－25)の载荷を受ける恐れのある路側に使用する。
- 4－3 No.08, No.10, No.12 (UB－(1, 2, 3)－R)
一般車両(T－25)の载荷を受ける恐れのある路側に使用する。図番No.100のRCプレキャスト床版(t=11～13cm)を架設することができる。また、図番No.101のRC現場打床版も使用可能。(床版は別途計上)
- 4－4 No.07, No.09, No.11 (UB－(1, 2, 3))
施工時には蓋を架設する必要はないが、将来、蓋の架設が必要と思われる歩道に設置する。
図番No.100のRCプレキャスト床版(t=10cm)を架設することができる。また、図番No.101のRC現場打床版も使用可能。(床版は別途計上)
- 4－5 No.13, No.14, No.15 (UB－(K1, K2, k3)(H)－R)
路面排水を目的とする構造物であり、一般車両(T－25)の载荷を受ける恐れのある路側に使用する。鋼製グレーチング蓋(UBG型,UBGH型)架設共となっているので、設計図には参考として、No.115, 116を添付する。
- 4－6 No.16 (UD－K(H)－R)
路面排水の目的で設置する道路横断集水溝で、鋼製グレーチング蓋架設共となっている。原則として、蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。鋼製グレーチング蓋(KO型,KOH型)架設共となっているので、設計図には参考として、No.108, 110を添付する。
- 4－7 No.18, No.19 (UP1－(1, 3))
輪荷重の影響を受けない箇所に設置する鉄筋コンクリートU型(JIS A 5372)側溝である。
- 4－8 No.20, No.21 (UP2－(1, 3))
片側に輪荷重の影響を受ける箇所に設置する鉄筋コンクリートU型(JIS A 5372)側溝である。
- 4－9 No.30 (U－1, U－2)「コンクリート二次製品標準図集(案)」(側溝・水路)
路面排水を目的とするコンクリート二次製品側溝であり、活荷重は一般車両(T－25)に対応している。U－1は蓋を設置する必要のない箇所に使用し、U－2は併記されているRCプレキャスト床版またはグレーチング蓋を架設することができる。
またU－1にNo.55のL型側溝を蓋版として設置し、LU側溝として使用することができる
- 4－10 No.35 (門－1, 門－2)「コンクリート二次製品標準図集(案)」(側溝・水路)
側溝の深さが一定でない箇所で路面排水を目的とするコンクリート二次製品側溝であり、活荷重は一般車両(T－25)に対応している。門－1は部材長2m、門－2は部材長1.5mである。蓋版は併記されているRCプレキャスト床版またはグレーチング蓋を架設することができる。

- 4－11 No.36 (門留－1, 門留－2)「コンクリート二次製品標準図集(案)」(側溝・水路)
側溝の深さが一定でなく、かつ道路擁壁と側溝を兼用する必要のある箇所での路面排水を目的とするコンクリート二次製品側溝であり、活荷重は一般車両(T－25)に対応している。門留－1は部材長2m、門留－2は部材長1.5mである。
蓋版は併記されているRCプレキャスト床版またはグレーチング蓋を架設することができる。
- 4－12 No.37 (箱－1, 箱－2)「コンクリート二次製品標準図集(案)」(側溝・水路)
路面排水を目的とするコンクリート二次製品側溝であり、主に歩車道分離されていない道路で車道部に含まれる場合に使用する。活荷重は一般車両(T－25)に対応している。箱－1は蓋を設置する必要のない箇所に使用し、箱－2は併記されているRCプレキャスト床版またはグレーチング蓋を架設することができる。
- 4－13 No.40 (円－1, 円－2)「コンクリート二次製品標準図集(案)」(側溝・水路)
歩車道境界に設置する排水管付のプレキャスト二次製品街渠で、活荷重は一般車両(T－25)に対応している。皿溝部分の幅は50cmに統一されているが、管の径は、30cm, 40cm, 50cm, 60cmの4種類の中から選択する。
数量表の基礎の欄には、管渠部分の基礎タイプをA, B, Cから選択して付記し、当該基礎ごとの数量を記入している。管渠部分の基礎タイプがB又はCであっても、街渠部分の基礎に碎石基礎が必要な場合もあるので、施工する基礎タイプの記号該当欄の数量を○で囲むこと。
円－1は一般部、円－2は柵部に使用し、蓋版は併記されているRCプレキャスト床版またはグレーチング蓋を架設することができる。
- 4－14 No.50, No.51 (LA－(1, 2))
擁壁又は石積擁壁等に接して、設置する(道路側にのみ)側壁のある道路側溝で、蓋は架設できない。
- 4－15 No.55-1, 2 (PG*－(1, 2))「コンクリート二次製品標準図集(案)」(側溝・水路)
路面排水を目的とするコンクリート二次製品側溝であり、活荷重は一般車両(T－25)に対応している。またNo.30のU型側溝と組み合わせて設置し、LU側溝としても使用することができる。
- 4－16 No.61 (NG－)
歩車道境界に設置する耐重車両用の街渠工で、見切りに境界ブロック(縁石)を使用している。皿溝部分の幅Bは50cm1種類のみで、雨水は集水樹(MS－)を所要間隔で設置し、他の排水路へ導く必要がある。
- 4－17 No.62 (NGC－G1)
園路の見切り及び耐軽車両用の街渠で、見切り部も現場打コンクリートとなっている。皿溝部分の幅Bは、25cm, 30cm, 40cm, 50cmの4種類となっている。

4-18 No.70～No.75 (NGPー)

歩車道境界に設置する排水管付の街渠工で、皿溝部分の幅は50cmに統一されているが、管の径は、30cm, 35cm, 40cm, 45cm, 50cm, 60cmの6種類の中から選択する。

数量表の基礎の欄には、管渠部分の基礎タイプをA, B, Cから選択して付記し、当該基礎ごとの数量を記入している。管渠部分の基礎タイプがB又はCであっても、街渠部分の基礎に砕石基礎が必要な場合もあるので、施工する基礎タイプの記号該当欄の数量を○で囲むこと。

4-19 No.80, No.81, No.82 (PHー(1, 2, 4))

基礎コンクリートの形状によって3種類に分類してある。

No.80 (PH 1) ⇒ 90° 基礎

No.81 (PH 2) ⇒ 180° 基礎

No.82 (PH 4) ⇒ 360° 基礎

基礎の選定にあたっては、P. 11-1～3による。(T-25 対応)

4-20 No.83, No.84 (鉄筋コンクリート台付管)

管断面の内側の形状が円形または扇形であり、管断面の外側の下部もしくは上下部の一部分がフラットになっている管で、普通車両の载荷を受ける恐れのある箇所に、排水管として使用できる暗渠である。(T-25 対応)

4-21 No.85, No.86 (PTー(1, 2))

地下水及び浸透水を集水するための透水管渠工に使用するもので、No.85は土質にあわせて傾斜掘り、No.86は直掘りとする。透水管はボラコン・バイコンと同等品以上とし、フィルター材は洗砂とする。

4-22 No.90～No.95 (MGPー)

排水管付街渠(NGPー) No.70～No.75と併用する桝で、路面排水の集水用途管渠の掃除用を兼ねており、他の排水管との合流のための必要箇所を除き、桝の設置間隔は統一注意事項に記載している溝蓋設置間隔を基準とする。桝の内寸法は30×60cmで、鋼製グレーチング蓋(KG型, KGH型)架設共となっている。桝蓋は車道側に蝶番がくるように設置する。

4-23 No.96 (MSー)

境界ブロック(縁石)使用の街渠(NGー) No.61の集水のために設置する集水桝であり、この桝から他の幹線排水路へφ20～30cmの管渠工で排水を導く必要がある。桝の設置間隔は統一注意事項に記載している溝蓋設置間隔を基準とする。桝の内寸法は30×60cmで、鋼製グレーチング蓋(KG型, KGH型)架設共となっている。桝蓋は車道側に蝶番がくるように設置する。

4-24 No.97 (MKU (H)ー)

管渠工(PHー) No.80～No.82を連続して設置する時の掃除用及び他の排水工との合流会所用として設ける桝で、管径が30cm～50cmで4種類あり、内寸法は、延長方向に50cmで鋼製グレーチング蓋(KM型, KMH型)架設共となっているので、路面排水の集水も兼ねることができる。

4-25 No.98 (MKP (H)ー)

管渠工(PHー) No.80～No.82を連続して設置する時の掃除用及び他の排水工との合流会所用として設ける桝で、管径が30cm～60cmで6種類あり、内寸法は、延長方向に50cmで鋼製グレーチング蓋(KM型, KMH型)架設共となっているので、路面排水の集水も兼ねることができる。管径に対する桝の内幅及び適合する蓋のタイプは表-2のとおりとする。

表-2

管 径 (cm)	桝の内幅 (cm)	適合する蓋 (○cm用)	桝内面の管 の形状
30	30	30	半 円
35	30	30	馬蹄形
40	40	40	半 円
45	40	40	馬蹄形
50	50	50	半 円
60	50	50	馬蹄形

4-26 No.99 (MU(雨水桝工))

歩道のある幹線道路で、地先境界に排水溝の無い場合、民地内から雨水(雨樋からのもの)を集約して排水路に導くために歩道内に設置する。

4-27 No.100 (RCプレキャスト床版)

U型側溝工(UBー(1, 2, 3)、UBー(1, 2, 3)ーR)に架設できるRCプレキャスト床版である。

RCプレキャスト床版(No.100)のうち、B=500の車道用については、主鉄筋を1本追加する。

(T-25 対応)

4-28 No.101 (RC現場打床版)

左図は、U型側溝工(UBー(1, 2, 3)ーR)用床版である。

右図は、U型側溝工(UBー(1, 2, 3))用床版である。

4-29 No.102-1, 2 (鉄蓋1枚1組)

官民境界に設置された側溝の掃除のために設ける鋼製の揚蓋工で、内幅B30cm, 40cm, 50cmの3種類、蓋厚t 9mm, 12mmの2種類であり、施工単価は架設手間共となっている。

4-30 No.103-1, 2, No.104 (鉄蓋2枚1組、鉄蓋3枚1組)

雨水渠の人孔用に設ける鋼製の蓋揚工で、内寸法は2枚1組で60cm×70cm、3枚1組で60cm×110cmとなっており、厚さtは、12mm, 16mm, 19mmの3種類で、施工単価は架設手間共となっている。

- 4－31 No.105（鋼製グレーチング蓋（現場打街渠柵用）T-25 粗目 スリットなし（KG 型）
路面水の集水を目的とする現場打街渠柵に用いる粗目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使うことができる。柵蓋は車道側に蝶番がくるように設置する。
- 4－32 No.106（鋼製グレーチング蓋（現場打街渠柵用）T-25 細目 スリットなし（KGH 型）
路面水の集水を目的とする現場打街渠柵に用いる細目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使うことができる。柵蓋は車道側に蝶番がくるように設置する。
- 4－33 No.107（鋼製グレーチング蓋（柵用）T-25 粗目（KM 型）
路面排水を目的とする柵に用いる粗目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使うことができる。内幅は 30cm, 40cm, 50cm の 3 種類がある。柵蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。
- 4－34 No.108（鋼製グレーチング蓋（横断側溝用）T-25 粗目（KO 型）
路面排水を目的とする横断側溝用に用いる粗目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使うことができる。内幅は 30cm, 40cm, 50cm の 3 種類がある。柵蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。
- 4－35 No.109（鋼製グレーチング蓋（柵用）T-25 細目（KMH 型）
路面排水を目的とする柵に用いる細目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使うことができる。内幅は 30cm, 40cm, 50cm の 3 種類がある。柵蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。
- 4－36 No.110（鋼製グレーチング蓋（横断側溝用）T-25 細目（KOH 型）
路面排水を目的とする横断側溝用に用いる細目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使うことができる。内幅は 30cm, 40cm, 50cm の 3 種類がある。柵蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。
- 4－37 No.111（鋼製グレーチング蓋（柵用）T-25 細目 歩道乗入部（KMH2 型）
路面排水を目的とする歩道乗入部の柵に用いる細目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使うことができる。内幅は 30cm, 40cm, 50cm の 3 種類がある。柵蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。

- 4－38 No.112（鋼製グレーチング蓋（横断側溝用）T-25 細目 歩道乗入部（KOH2 型）
路面排水を目的とする歩道乗入部の横断側溝用に用いる細目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使うことができる。内幅は 30cm, 40cm, 50cm の 3 種類がある。柵蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。
- 4－39 No.113（鋼製グレーチング蓋（柵用）T-2 細目 歩道一般部（KMH2 型）
路面排水を目的とする歩道一般部の柵に用いる細目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使うことができる。内幅は 30cm, 40cm, 50cm の 3 種類がある。柵蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。
- 4－39 No.114（鋼製グレーチング蓋（横断側溝用）T-2 細目 歩道一般部（KOH2 型）
路面排水を目的とする歩道一般部の横断側溝用に用いる細目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使うことができる。内幅は 30cm, 40cm, 50cm の 3 種類がある。柵蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。
- 4－40 No.115（鋼製グレーチング蓋（UBG 側溝用）T-25 粗目（UBG 型）
路側の路面排水用に設置する No.13～No.15U 型側溝用の粗目の鋼製グレーチング蓋参考図であるが、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使うことができる。内幅は 20cm～50cm 用までの 7 種類がある。
- 4－41 No.116（鋼製グレーチング蓋（UBG 側溝用）T-25 細目（UBGH 型）
路側の路面排水用に設置する No.13～No.15U 型側溝用の細目の鋼製グレーチング蓋参考図であるが、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使うことができる。内幅は 20cm～50cm 用までの 7 種類がある。
- 4－42 No.117（鋼製グレーチング蓋（UB-P 側溝用）T-25 粗目
路側の路面排水用に設置する現場打側溝用の粗目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使うことができる。内幅は 30cm, 40cm, 50cm の 3 種類があり、長さは 50cm, 100cm の 2 種類がある。
- 4－43 No.118（鋼製グレーチング蓋（UB-P 側溝用）T-25 細目
路側の路面排水用に設置する現場打側溝用の細目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使うことができる。内幅は 30cm, 40cm, 50cm の 3 種類があり、長さは 50cm, 100cm の 2 種類がある。

5. U型側溝

5－1 U型側溝で可以使用できる断面及びHによる形状、寸法の区分は表－4による。

表－4

H 20 25 30 35 40 45 50 55 60 65 70 75	B					側壁 の 形状	基礎厚 h ₂			底 厚 h ₃
	20	30	40	50	60		基 礎 A	基 礎 B	基 礎 C	
20	○	○				矩 形	10	5	0	15
25	○	○					10	5	0	15
30	○	○	○				10	5	0	15
35	○	○	○				15	5	0	15
40	○	○	○	○			15	5	0	15
45		○	○	○			15	5	0	15
50		○	○	○			15	5	0	15
55		○	○	○			15	5	0	15
60					○	梯 形	15	10	0	15
65					○		15	10	0	15
70					○		15	10	0	15
75					○		15	10	0	15

注) 1. 本表は図番No.01～17 及びL型側溝No.50, 51 に適用する。
2. ○印は使用できる断面である。
3. B>100、H>100 の場合は、建設省制定土木構造物標準設計を参照のこと。

6. 街渠工

6－1 街渠に使用する縁石等の種別、寸法、記号は表－5による。

表－5

呼 び 名		規 格	寸 法				記号
歩車道境界ブロック	J I S 中	JIS A 5371	15	×17	×20	×60 cm	A
〃	中	神戸市型	15.8	×17	×12	×60 cm	A 2
〃	乗入用中(無着色)		16.4	×17	×20	×60 cm	A 3 (削除)
〃	J I S 大	JIS A 5371	18	×20.5	×25	×60 cm	B
〃			18.5	×20.5	×12	×60 cm	B 2
〃	乗入用大(無着色)	神戸市型	19.9	×20.5	×10	×60 cm	B 3
〃	J I S 特大	JIS A 5371	18	×21	×30	×60 cm	C
〃	切下用 (カラー)	神戸市型	19.9	×20.5	×10	×60 cm	+ (削除)
歩車道境界ブロック	セミフラット型 (Aタイプ)		15	×17	×20	×60 cm	F A
〃	セミフラット型 (Bタイプ)		18	×20.5	×25	×60 cm	F B
〃	切下用 (カラー) 新規格	神戸市型	19.9	×20.5	×10	×60 cm	L B
地先境界ブロック	J I S 小	JIS A 5371	12	×12	×12	×60 cm	A (旧D種)

6－2 街渠のエプロン厚 (T) は、表－6を参考にして、交通量により使い分けるものとする。

なお、側溝付き街渠のエプロン厚 (T) は、交通量に関係なく 150 mm とする。

表－6

交通量の区分	大型車交通量 (台／日・一方向)	エプロン厚 (mm)
N ₃ (L 交通)	100 未満	150
N ₄ (A 交通)	100 以上、250 未満	
N ₅ (B 交通)	250 以上、1,000 未満	
N ₆ (C 交通)	1,000 以上、3,000 未満	200
N ₇ (D 交通)	3,000 以上	250

7. プレキャスト製品

7－1 コンクリート二次製品 (側溝・水路) の使い分けは、平面・縦断曲線半径により下表を標準とする。

平面曲線 縦断曲線	～30m未満	30～60m未満	90～120m未満	120m以上
	～30m未満	現場打	現場打	現場打
～30m未満	現場打	現場打	現場打	現場打
30～60m未満	現場打	1 m	1 m	1 m
90～120m未満	現場打	1 m	2 m	2 m
120m以上	現場打	1 m	2 m	4 m

注) 1. 曲線半径は道路中心線ではなく、街渠施工地点を適用すること。
2. 目地間隔は、直線部においては突き合わせを標準とし、曲線部においては最大値を 20mm とする。
3. 縦断曲線の半径

$$R = 100Lr / l$$

R : 縦断曲線の半径 (m)
Lr : 縦断曲線の曲線長 (m)
l : 縦断勾配の代数差 (%)

7－2 プレキャスト製品の適用範囲

H ＼	B			基礎厚 h2		
	30	40	50	基 礎 A	基 礎 B	基 礎 C
3 0	○			1 0	5	0
4 0	○ △	○ △		1 5	5	0
5 0	○ △	○ △	○ △	1 5	5	0
6 0	○ △	○ △	○ △	1 5	1 0	0

○ ： U－ 1 が使用できる断面
△ ： U－ 2 が使用できる断面（H は蓋掛かりを含む）

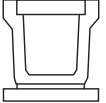
※JIS A5372 側溝については、下記のとおり。

H ＼	B				基礎厚 h2
	25	30	40	50	
2 5	○				1 0
3 0		○			1 0
3 0		○	○		1 0
4 0		○	○	○	1 0
5 0				○	1 0

1-3 各名称別の形状及び図番 (No.) は次表を参照のこと。

記 号				1	2	3
U	A			No.01, 02 	No.03, 04 	No.05, 06
		P		No.24 	←H14 削除 (プレキャスト化)	
	B			No.08 	No.10 	No.12
				No.07 	No.09 	No.11
		K		No.13 	No.14 	No.15
		P		No.25 	←H14 削除 (プレキャスト化)	
		K		No.16 		
		D		No.17 	←H20 削除 (ダクティル削除)	

記 号				1	2	3
U	P	1		No.18 		No.19
		2		No.20 		No.21
L	A			No.50 	No.51 	
N	G	縁石		No.61 	No.61 	No.61 H16 削除
		A				
		B				
	P	縁石		No.70~75 	No.70~75 	No.70~75 H16 削除
	G	C		No.62 		
PG		縁石		No.65-1 	No.65-1 	No.65-1 H16 削除
		A				
		B				
	U	縁石		No.65-2 	No.65-2 	No.65-2 H16 削除
		A				
		B				

記 号				1	2	3
P	H			1	2	4
				No.80 	No.81 	
T					1	
					No.85 	
					2	
					No.86 	
M	G	P			No.90~95 	No.90~95 
	S				No.96 	No.96 
	K	U			No.97 	
		P			No.98 	
	U				No.99 	
J I S 側溝					No.22 (歩道用) 23 (車道用) 	

8. コンクリート二次製品（側溝・水路）の使用について

（土木工事標準積算基準書（参考資料）平成24年度 P.278～P.283に掲載）

8－1 経緯

公共工事の合理化施工・工期短縮・コスト縮減に向けた取り組みとして、「近畿地区建設技術開発普及推進協議会」^{注1)}において、コンクリート二次製品（側溝・水路）の標準化が検討され^{注2)}、「コンクリート二次製品標準図集（案）」（側溝・水路編）^{注3)}（以下「標準図集(案)」という）が制定された。

8－2 今後の取り扱い

平成12年4月以降（各行政機関の内部手続き終了後）
：「標準図集（案）」によって業務の設計や工事発注をはかる。

（移行期間）：「標準図集（案）」の製品が市場に出回るまでの当面の間は「市場製品図集（側溝・水路編）」^{注4)}を使用する。

移行期間終了後：標準図集（案）への完全移行

注1）近畿地建、7府県、3政令市で構成

注2）具体的な検討は「近畿地区コンクリート二次製品構造規格検討ワーキング部会」（構成：工事発注者【近畿地建、7府県、3政令市】、施工者【各府県建設業協会】、製品製造業者【各協会】）で行われた。

注3）「コンクリート二次製品構造規格（案）近畿版」の設計基準により作成されている。
現在のところ市場に製品そのものはない。

注4）「コンクリート二次製品の構造規格（案）近畿版」の設計基準によって検証し、確認をおこなった現在の市場製品。

注5）移行期間の終了時期については、別途通知する。

8－3 本市の対応

- 1) これを受けて、本市でもコンクリート二次製品（側溝・水路）の使用にあたっては「標準図集（案）」に記載の製品を原則として使用していくものとする。（ただし、水路については使用頻度が少ないため当面の間は使用を見送る。）
- 2) 「標準図集（案）」の製品については、本市「標準構造図集（神戸市）」に追加記載する。
- 3) 当面の間は追加記載後の「標準構造図集」の製品を使用するものとするが、今後行う測量設計、工事発注については「標準構造図集」のうち、追加記載した「標準図集（案）」の製品を原則用いるものとする。（実際の施工に際しては「市場製品図集」の製品から選択し、監督職員の承諾を得て使用するものとする）
- 4) 移行期間終了後は「標準図集（案）」の製品へ完全移行する。（市場製品が「標準図集（案）」の製品に統一される。）
- 5) 運用開始は平成12年10月15日とする。

8－4 「市場製品図集」の使用について

- 1) 市場製品図集の製品を使用する際は、原則A欄該当製品を使用する（基準書単価はA欄該当製品をもとに設定されている）ものとするが、統一性を保つため「5. 各製品の比較表」のA欄該当製品のうちアンダーラインを引いたものを標準とする。ただし、その他の製品の使用を妨げるものではない。
- 2) B欄・C欄及び市場製品図集収録以外の構造規格を満足する製品は、一般的に単価が割高な製品が想定されるため現場状況・必要性・経済性を判断して使用するものとする。その場合の単価は別途調査のこと。

「市場製品図集」の分類

A欄	→ 「標準図集（案）」と「呼び名（B×H）」が同一の製品
B欄	→ 「標準図集（案）」に掲載されていない「呼び名（B×H）」の製品
C欄	→ 「標準図集（案）」「呼び名（B×H）」に関係なく部分的な形状が異なる製品

８－５各製品の比較表

「標準図集(案)」製品：地盤	市場製品図集 (A欄該当製品) ※1	標準構造図集 (神戸市)
U型側溝 (U-1)	U-11 U-20	U型側溝工 (U-1) 新規格 ※3
U型側溝 (U-2)	U-16 U-25	PU-100番代
蓋掛け型	U-17 U-23	U型側溝工 (U-2) 新規格 ※3
円型側溝 (円-1)	U-21	PU-200番代
円型側溝 (円-2) 蓋掛け型	円-1 円-22	円型側溝工 (円-1) 新規格
L型側溝 (L-1)	円-20 円-24	
LU側溝 ※2	円-2 円-20	
箱型側溝 (箱-1)	L-4 L-6	街渠工：PG (F) 515
箱型側溝 (箱-2) 蓋掛け型	L-2 + U-18	※ (7) の注6) 参照
門型側溝 (門-1) (門-2)	LU側溝	街渠工：PGU (F)
門型側溝 (門留-1) (門留-2)	箱-1 箱-6	PGU (F) -D (ND)
土留型	箱-5 箱-7	
	門-1 門-15	自由勾配側溝 (門-1) 新規格
	門-5 門-18	
	門-6 門-19	
	門-9 門-22	
	門-10 門-23	
	門-11 門-25	
	門-14 門-26	
	門留-1 門留-6	自由勾配側溝 (門留-1) 新規格
	門留-2 門留-7	
	門留-3 門留-8	
	門留-4 門留-9	
	門留-5 門留-10	

※1 市場製品についてはアンダーラインを引いたものを標準とする。

※2 LU側溝とはL型側溝とU型側溝を組み合わせたもの。

※3 プレキャスト製品 (U-1, U-2) の設計製品長は、標準構造図集 排水工7、説-10を参照のこと。

８－６特記仕様書について

(記載例文)

本工事においては、「コンクリート二次製品図集(側溝・水路編)」(以下「標準図集(案)」と称する。)に記載の製品を設計上使用しており、以下の点に留意すること。 1 上記製品が市場で入手困難な場合の措置 上記製品が市場で入手困難な場合は、請負人は以下の対応を実施することができる。 ①監督員の承諾を得て、「コンクリート二次製品市場製品図集」(以下「市場製品図集」という)に編纂されている製品を現場において使用することができる。 ②この場合の使用製品は原則として、「標準図集(案)」に対応する「市場製品図集」掲載製品のうち「標準製品と同一規格の形状・配筋表」を有するものとする。 なお、契約上は、施工承諾として処理し、設計変更の対象としない。 2 (曲線半径の変更に伴い) U型側溝の設計製品長を変更する場合の措置 曲線半径に応じて設計製品長を決定しているU型側溝 (U-1、U-2) については、現場条件が設計条件と異なる場合は、設計変更の対象とする。
--

８－７側溝整備について

原則として「標準図集(案)」(運用上は市場製品図集)の製品を使用するものとするが、対象製品がない場合やその他やむを得ない場合(取り込み管が多い、曲線半径が小さい、在来側溝の部分補修等)については、「標準構造図集(神戸市)」の製品の使用や現場打ちを検討する。

<歩車道分離されている場合>

・歩車道境界部

- ①円型側溝・LU側溝^{注5)} ←道路勾配と排水勾配が平行に施工できる場合
- ②NGPタイプ ←道路勾配と排水勾配が平行に施工できない場合
- ③皿溝 (NGタイプ)^{注6)}

<歩車道分離されていない場合>

1) 車道部幅員に含まれない場合

①U型側溝 (開渠) を原則とする^{注7)}。

2) 車道部幅員に含まれる場合

- ②箱型側溝^{注8)}
- ③門型側溝 (側溝の高さが一定でない場合)^{注8)}

<役物 (乗入部、すりつけ部、桝部等) 部分>

1) LU側溝における役物 (乗入部、すりつけ部、桝部)

「標準構造図集(神戸市)」の製品を使用する。(「コンクリート二次製品の構造規格(案)近畿版」により構造を検証済)

乗入部：PGU-N-A2、B2、B3、LB
すりつけ部：PGU-S-A-B3、LB
B-B3、LB
桝部：PGU-D-A、B
ND-A2、B2、B3

(10. コンクリート二次製品による街渠工の運用例 参照)

2) その他のタイプ (円型、門型、箱型側溝等) における役物

「標準構造図集(神戸市)」の製品が使用できる場合を除き、現場打ちとする。

注5) 円型側溝は周辺宅地からの取込み管の接続があまりない場合や乗り入れ等が少ない道路(バイパス道路等)で使用する。

注6) 皿溝についてはコンクリート二次製品(L型側溝)がNGタイプ(現場打ち)に比べてかなり割高になるため、当面はNGタイプを主として使用するものとする。

注7) 乗り入れや通学路等で蓋掛けが必要な箇所についてはU型側溝(蓋掛け)形式とする。

注8) ただし、区画街路等で民地への雨水の流入を防止(道路内で雨水を処理する)する必要がある場合は、皿溝(NGタイプ)^{注6)}やLU側溝等を使用する。

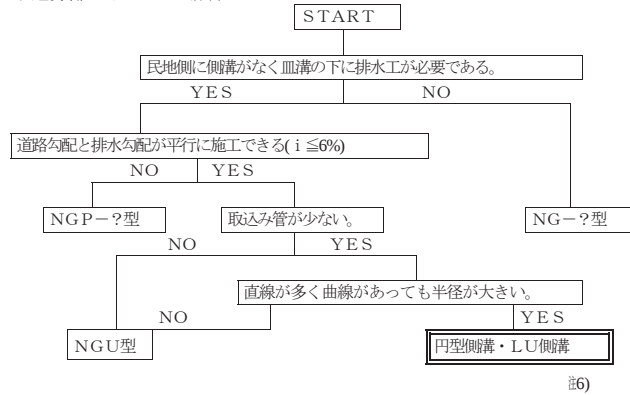
※上記を標準とするが、前後の施工形状や経済性等を考慮のうえ使用タイプを決定すること。

8. JIS製品の取り扱い

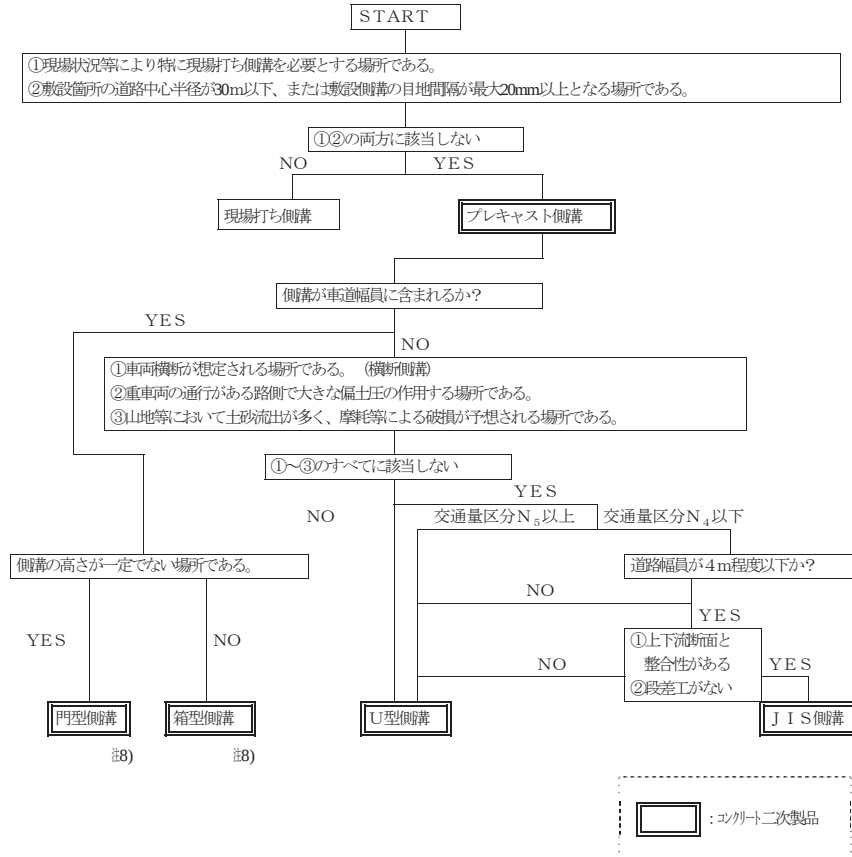
JIS製品については、「コンクリート二次製品規格(案)近畿版」により構造を検証して使用してもよい。ただし、交通量区分がN4以下で幅員が4m程度以下の場所については、従来どおり使用できるものとする。

8-9 選定フロー

(1) 歩車道分離されている場合

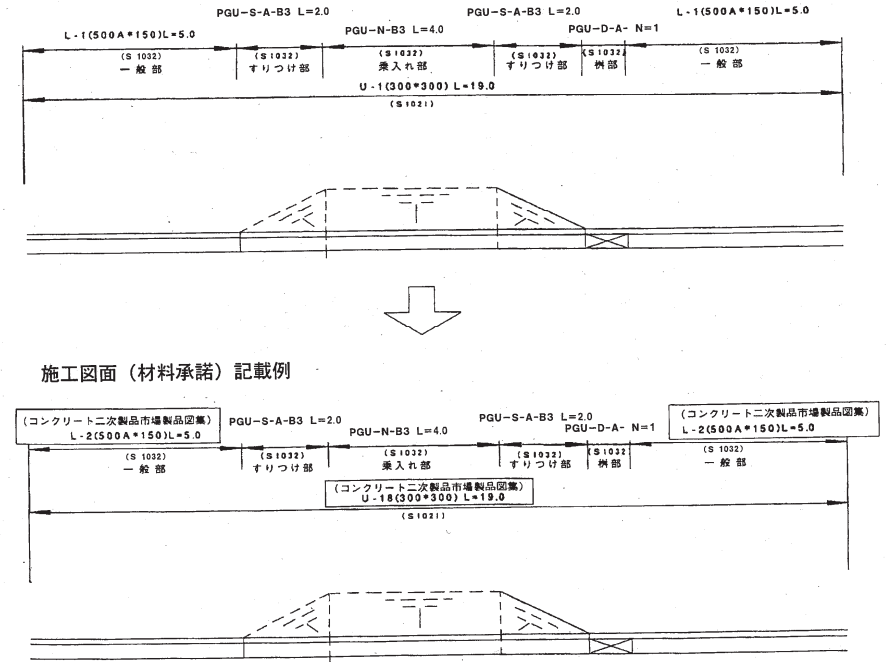


(2) 歩車道分離されていない場合



8-10 コンクリート二次製品による街渠工の運用例

コンクリート二次製品による街渠工については、平成12年10月16日通達のとおり、原則として標準構造図集(土木一般工事)に追記された「標準図集(案)」「新規格」製品を用いて設計・積算を行い、「コンクリート二次製品市場製品図集(側溝・水路編)」に掲載されている製品により材料承諾後、現場使用することとなっているが、標準図集(案)の製品へ完全移行するまでの期間中は、標準図集(案)掲載製品が市場に流通していないため、下記に表示する例を参考に運用すること。(※乗り入れ部の構造については、構造図5-3-6、7を参照すること)



※□で囲まれた箇所について、「市場製品図集」の製品を使用する。

9. 管渠工

9-1. 設計上の注意事項

(1) 管渠工の埋設形式は、突出型、溝型の別、土かぶり、土質及びパイプの管種によって「管渠基礎形式選定図」(P.12~13)より決定する。

(2) 突出型、溝型の区分について

① 突出型

突出型とは、図-1(a)に示すように管を直接自然地盤またはよく締め固められた地盤上に設置し、その上に盛土をする型式をいう。なお、溝を掘って管を埋設しても、図-2(a)に示すように軟弱地盤に埋設される管が杭により支持される場合、図-2(b)に示すように溝幅が管の外径の2倍以上ある場合、図-2(c)に示すように原地盤からの土破り h_a が溝幅の1/2以下の場合、突出型とする。

② 溝型

溝型とは、図-1(b)に示すように自然地盤またはよく締め固めた盛土に溝を掘削して埋設する形式であり、プレローディングを行い長期間放置した盛土を掘削して管を設置する場合も溝型とする。

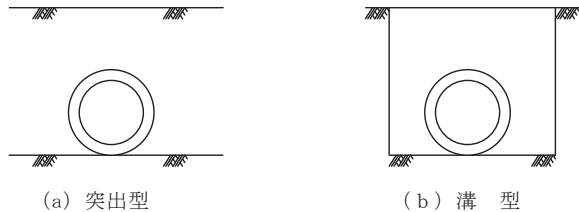
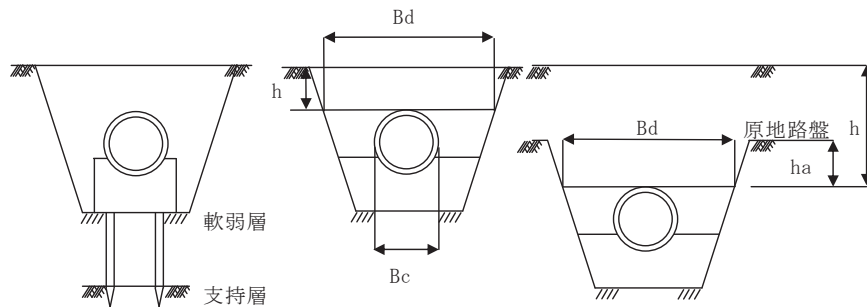


図-1 埋設形式



(a) 杭基礎の場合 (b) 溝が広い場合 ($B_d \geq 2B_c$) (c) h_a が $B_a/2$ 以下の場合
または h が $B_d/2$ 以下の場合

図-2 突出型

(3) 管渠工の基礎形式選定図

① 使用方法

標準的な埋設条件での設計は、図-3(a)~(c)に示す基礎形式選定図(カルバート工指針より抜粋)により、管径と土被りの交点を見出せば行うことができる。埋設形式は、突出型、溝型で土の単位体積重量は $\gamma = 18\text{kN/m}^3$ 、活荷重はT荷重を考慮した。なお、土被り0.5m以上の範囲において、それぞれの上限值、下限値に入らないものは360°固定基礎とする。

溝型については、土留めを行わないことを前提としているが、土留めを行う場合で土留材を引き抜かない時は、この選定図を用いてもよい。

② 使用例

突出型、砂質土($\gamma = 18\text{kN/m}^3$)、管径 $D = 1,000\text{mm}$ 、土被り $h = 4.5\text{m}$ の場合、図-3(b)により、次のように検索できる。(図中◎印参照)。

○RC2種に対して180°固定基礎

○PC3種に対して90°固定基礎

したがって、経済性を検討の上、基礎形式を決定すればよい。

(4) 全巻(360°固定基礎) 管渠の種類は、遠心力鉄筋コンクリート管の1種管を使用する。

(5) 河川堤防を横断するときは「河川管理施設等構造令」、「河川砂防技術基準(案)」に基づいて設計しなければならないので、浸透流の影響を受ける場合には原則として本図集を使用しない。

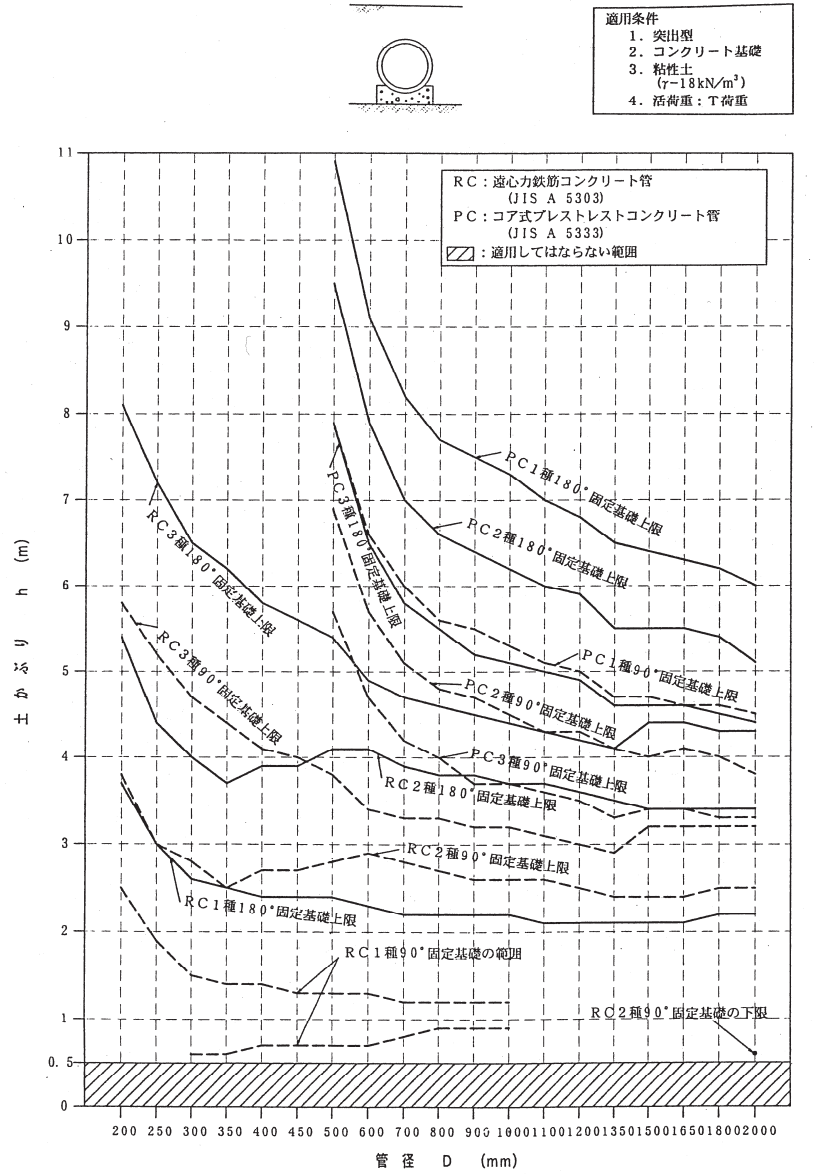
なお、浸透流の影響を受けない掘込河川等で本図集を使用する場合は、全巻(360°固定基礎)とし、巻立てコンクリートは24-8-40BBを使用する。

(6) 標準図では、縦方向(管渠の延長方向)の設計について考慮していないので、延長が長い場合や基礎地盤の支持力が不足し不等沈下の恐れのある場合は、ベースコンクリートに鉄筋を挿入したり、杭を設ける等の補強を行う必要がある。

9-2. 施工上の注意事項

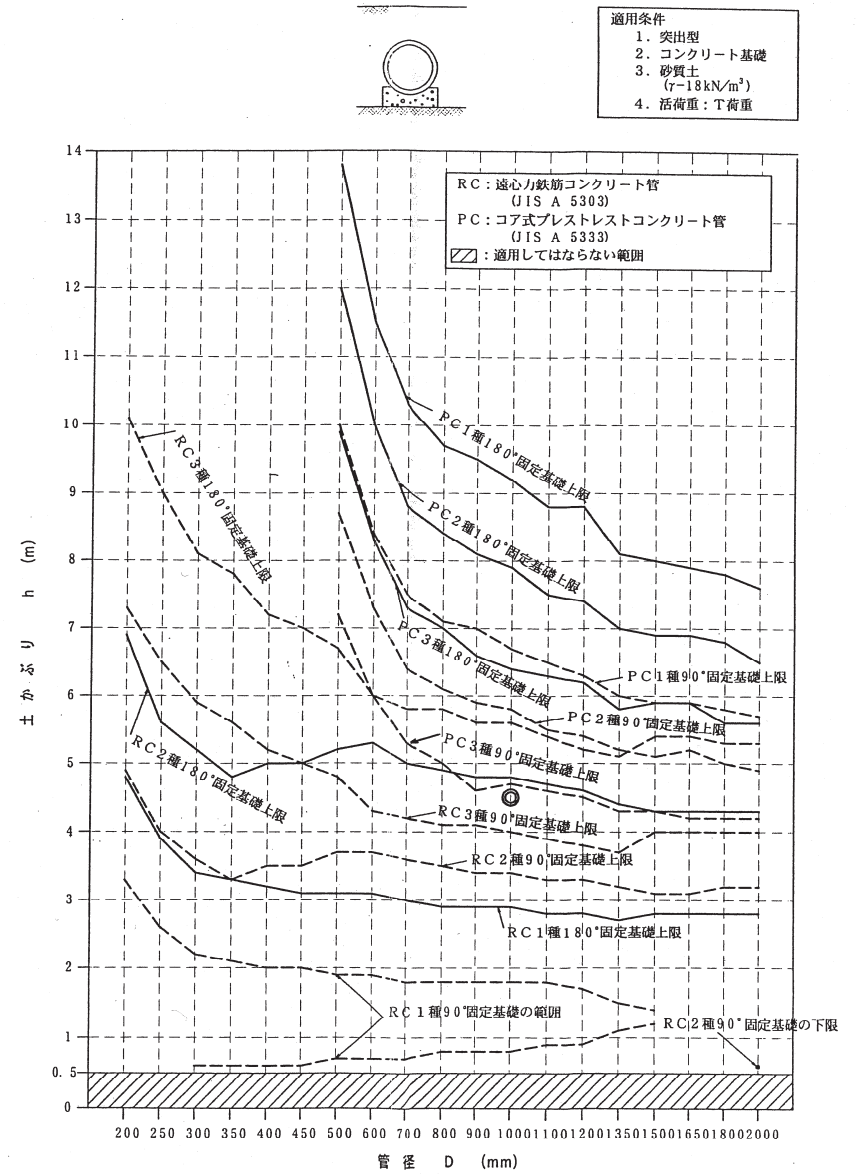
(1) コンクリートの打設は豆板等が生じないように十分な締め固めを行うこと。

(2) 管渠の継手型式については、施工場所あるいは管型式によって適当に処置するものとし、継手にはモルタル等を挿入するなどして漏水のないようにしなければならない。



[道路土工-カルバート工指針より抜粋]

(a) 突出型: コンクリート基礎、粘性土



※: 図中◎印は、使用例を示す。
[道路土工-カルバート工指針より抜粋]

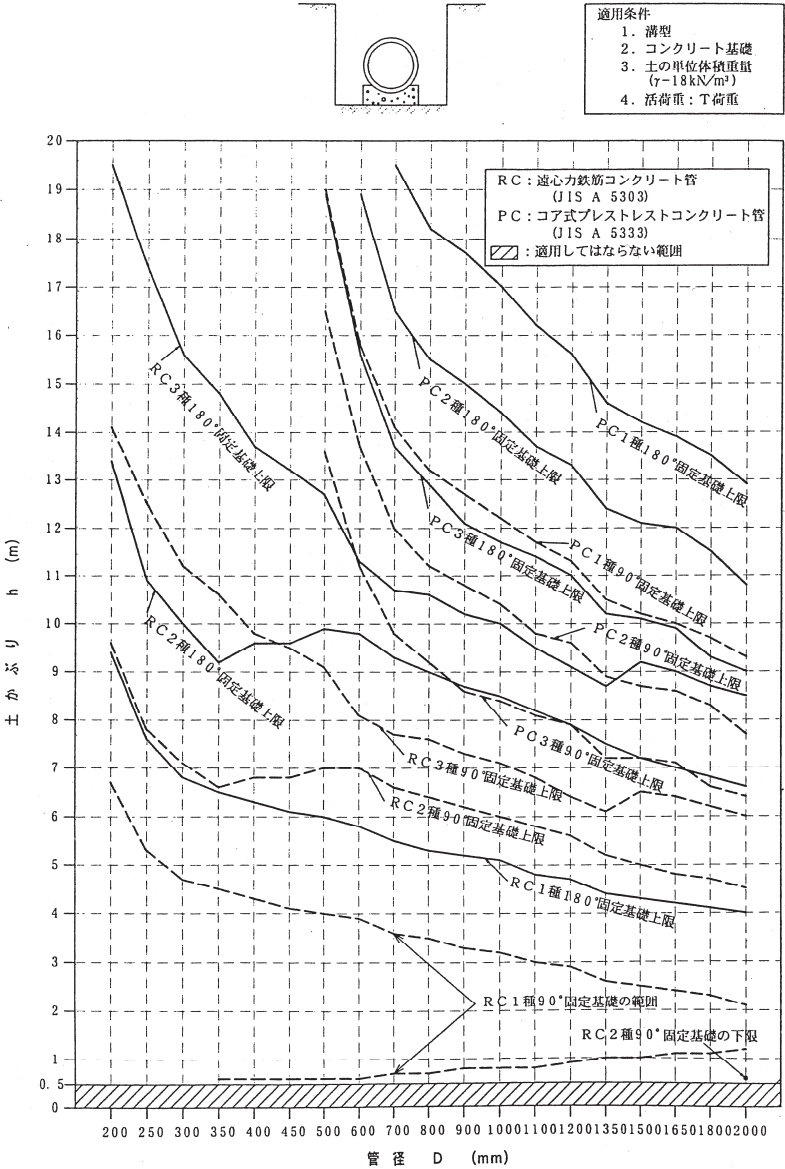
(b) 突出型: コンクリート基礎、砂質土

10. 鋼製グレーチング蓋

10-1 鋼製グレーチング蓋の使い分けは下表を標準とする。

KG	KGH	KM, KO	KMH, KOH	KMHH, KOHH	KMHH2, KOHH2	UBG, UBGH	
T-25	T-25	T-25	T-25	T-25	T-2	T-25	T-25
	区画道路・横断歩道部		区画道路・横断歩道部	歩道乗入部	歩道一般部		
現場打街渠樹用 (スリットなし)	現場打街渠樹用 (スリットなし)	樹用, 横断側溝用	樹用, 横断側溝用 (細目)	樹用, 横断側溝用	樹用, 横断側溝用	UBG側溝用 (現場打)	UB-P側溝用 (プレキャスト)
粗目	細目	粗目	細目	細目	細目	粗目, 細目	粗目, 細目
B=300 L=620	B=300 L=620	B=300, 400, 500 L=650 (樹) 1000 (横断)	B=300, 400, 500 L=650 (樹) 1000 (横断)	B=300, 400, 500 L=650 (樹) 1000 (横断)	B=300, 400, 500 L=650 (樹) 1000 (横断)	B=200~ 500 (50 ピッチ) L=1,000 ゴム無し FB付	B=300, 400, 500 L=500, 1000 ゴム有, 無し
ヒンジ式	ヒンジ式	ヒンジ式	ヒンジ式	ヒンジ式	ヒンジ式		
ボルト無	ボルト無	ボルト有	ボルト有	ボルト無	ボルト無	ボルト無	ボルト無

注1) 街渠樹用のプレキャスト製品はスリット付きとする。



[道路土工-カルバート工指針より抜粋]

2-1 擁壁工

○小型重力式コンクリート擁壁

ページ番号	タイトル	断面形状番号	擁壁高	前面勾配
2-1-1	場所打擁壁工(構造物単位)、小型擁壁工(高さ50cm未満) 小型重力式コンクリート擁壁	SGW1～3	0.50m	0
2-1-2	場所打擁壁工(構造物単位)、小型擁壁工(高さ50cm未満) 小型重力式コンクリート擁壁	SGW4～8	0.50m	0.2
2-1-3	場所打擁壁工(構造物単位)、小型擁壁工(高さ50cm未満) 小型重力式コンクリート擁壁	SGW9～11	0.50m	0.3
2-1-4	場所打擁壁工(構造物単位)、小型擁壁工(高さ50cm未満) 小型重力式コンクリート擁壁	SGW12～14	0.50m	0.4
2-1-5	場所打擁壁工(構造物単位)、小型擁壁工(高さ50cm未満) 小型重力式コンクリート擁壁	SGW15	0.50m	0.5
2-1-6	場所打擁壁工(構造物単位)小型重力式コンクリート擁壁	SGW16～19	1.00m	0
2-1-7	場所打擁壁工(構造物単位)小型重力式コンクリート擁壁	SGW20～26	1.00m	0.2
2-1-8	場所打擁壁工(構造物単位)小型重力式コンクリート擁壁	SGW27～32	1.00m	0.3
2-1-9	場所打擁壁工(構造物単位)小型重力式コンクリート擁壁	SGW33～37	1.00m	0.4
2-1-10	場所打擁壁工(構造物単位)小型重力式コンクリート擁壁	SGW38～39	1.00m	0.5
2-1-11	場所打擁壁工(構造物単位)小型重力式コンクリート擁壁	SGW40～45	1.50m	0
2-1-12	場所打擁壁工(構造物単位)小型重力式コンクリート擁壁	SGW46～54	1.50m	0.2
2-1-13	場所打擁壁工(構造物単位)小型重力式コンクリート擁壁	SGW55～60	1.50m	0.3
2-1-14	場所打擁壁工(構造物単位)小型重力式コンクリート擁壁	SGW61～65	1.50m	0.4
2-1-15	場所打擁壁工(構造物単位)小型重力式コンクリート擁壁	SGW66～67	1.50m	0.5
2-1-16	場所打擁壁工(構造物単位)小型重力式コンクリート擁壁	SGW68～71	2.00m	0
2-1-17	場所打擁壁工(構造物単位)小型重力式コンクリート擁壁	SGW72～81	2.00m	0.2
2-1-18	場所打擁壁工(構造物単位)小型重力式コンクリート擁壁	SGW82～87	2.00m	0.3
2-1-19	場所打擁壁工(構造物単位)小型重力式コンクリート擁壁	SGW88～93	2.00m	0.4
2-1-20	場所打擁壁工(構造物単位)小型重力式コンクリート擁壁	SGW94～98	2.00m	0.5

○重力式コンクリート擁壁

ページ番号	タイトル	断面形状番号	擁壁高	前面勾配
2-1-21	場所打擁壁工(構造物単位)重力式コンクリート擁壁	GW1～4	1.00m	0
2-1-22	場所打擁壁工(構造物単位)重力式コンクリート擁壁	GW5～8	1.00m	0.2
2-1-23	場所打擁壁工(構造物単位)重力式コンクリート擁壁	GW9～11	1.00m	0.3
2-1-24	場所打擁壁工(構造物単位)重力式コンクリート擁壁	GW12～13	1.00m	0.4
2-1-25	場所打擁壁工(構造物単位)重力式コンクリート擁壁	GW14	1.00m	0.5
2-1-26	場所打擁壁工(構造物単位)重力式コンクリート擁壁	GW15～17	2.00m	0
2-1-27	場所打擁壁工(構造物単位)重力式コンクリート擁壁	GW18～22	2.00m	0.2
2-1-28	場所打擁壁工(構造物単位)重力式コンクリート擁壁	GW23～27	2.00m	0.3
2-1-29	場所打擁壁工(構造物単位)重力式コンクリート擁壁	GW28～31	2.00m	0.4
2-1-30	場所打擁壁工(構造物単位)重力式コンクリート擁壁	GW32～34	2.00m	0.5
2-1-31	場所打擁壁工(構造物単位)重力式コンクリート擁壁	GW35～38	3.00m	0
2-1-32	場所打擁壁工(構造物単位)重力式コンクリート擁壁	GW39～44	3.00m	0.2
2-1-33	場所打擁壁工(構造物単位)重力式コンクリート擁壁	GW45～51	3.00m	0.3
2-1-34	場所打擁壁工(構造物単位)重力式コンクリート擁壁	GW52～57	3.00m	0.4
2-1-35	場所打擁壁工(構造物単位)重力式コンクリート擁壁	GW58～61	3.00m	0.5

○ブロック積み擁壁

ページ番号	タイトル
2-1-36	ブロック積工・練石積工・裏込工(道路用)
2-1-37	基礎工(ブロック積用・石積用)

標準構造図集目次 令和8年10月1日

4-1 排水工(U型側溝、L型側溝)

○U型側溝工

ページ番号	タイトル	ナンバー
4-1-1	U型側溝工(UA-1)	No.01
4-1-2	U型側溝工(UA-1-R)	No.02
4-1-3	U型側溝工(UA-2)	No.03
4-1-4	U型側溝工(UA-2-R)	No.04
4-1-5	U型側溝工(UA-3)	No.05
4-1-6	U型側溝工(UA-3-R)	No.06
4-1-7	U型側溝工(UB-1)	No.07
4-1-8	U型側溝工(UB-1-R)	No.08
4-1-9	U型側溝工(UB-2)	No.09
4-1-10	U型側溝工(UB-2-R)	No.10
4-1-11	U型側溝工(UB-3)	No.11
4-1-12	U型側溝工(UB-3-R)	No.12
4-1-13	U型側溝工(UB-K ₁ -R, UB-K ₁ H-R)	No.13
4-1-14	U型側溝工(UB-K ₂ -R, UB-K ₂ H-R)	No.14
4-1-15	U型側溝工(UB-K ₃ -R, UB-K ₃ H-R)	No.15
4-1-16	U型側溝工(UD-K-R, UD-KH-R)	No.16
4-1-17	U型側溝工(UP ₁ -1)	No.18
4-1-18	U型側溝工(UP ₁ -3)	No.19
4-1-19	U型側溝工(UP ₂ -1)	No.20
4-1-20	U型側溝工(UP ₂ -3)	No.21
4-1-21	U型側溝工(プレキャストJIS型 歩道用)	No.22
4-1-22	U型側溝工(プレキャストJIS型 車道用)	No.23
4-1-23	プレキャストU型側溝(PU100型)	No.30
4-1-24	プレキャストU型側溝(PU200型)	No.30

標準構造図集目次 令和8年10月1日

○門型、箱型、円型、L型側溝工

ページ番号	タイトル	ナンバー
4-1-25	自由勾配側溝(門-1)新規格(L=2m)	No.35-1
4-1-26	自由勾配側溝(門-2)新規格(L=1.5m)	No.35-2
4-1-27	自由勾配側溝(門留-1)新規格(L=2m)	No.36-1
4-1-28	自由勾配側溝(門留-2)新規格(L=1.5m)	No.36-2
4-1-29	箱型側溝(箱-1)新規格(一般部)	No.37-1
4-1-30	箱型側溝(箱-2)新規格(グレーチング部)	No.37-2
4-1-31	円型側溝(円-1)新規格(径300,400)	No.40
4-1-32	円型側溝(円-1)新規格(径500,600)	—
4-1-33	円型側溝(円-2)新規格(径300,400)	—
4-1-34	円型側溝(円-2)新規格(径500,600)	—
4-1-35	L型側溝工(LA-1)(現場打)	No.50
4-1-36	L型側溝工(LA-1-R)(現場打)	No.50
4-1-37	L型側溝工(LA-2)(現場打)	No.51
4-1-38	L型側溝工(LA-2-R)(現場打)	No.51

4-2 排水工(街渠工、管渠工)

○街渠工

ページ番号	タイトル	ナンバー
4-2-1	街渠工(NG-L)	No.61
4-2-2	街渠工(NG-C)	No.61
4-2-3	街渠工(NG-D)	No.61
4-2-4	街渠工(GC-G1)	No.62
4-2-5	街渠工(NGP-L)-30	No.70
4-2-6	街渠工(NGP-C)-30	No.70
4-2-7	街渠工(NGP-D)-30	No.70
4-2-8	街渠工(NGP-L)-35	No.71
4-2-9	街渠工(NGP-C)-35	No.71
4-2-10	街渠工(NGP-D)-35	No.71
4-2-11	街渠工(NGP-L)-40	No.72
4-2-12	街渠工(NGP-C)-40	No.72
4-2-13	街渠工(NGP-D)-40	No.72
4-2-14	街渠工(NGP-L)-45	No.73
4-2-15	街渠工(NGP-C)-45	No.73
4-2-16	街渠工(NGP-D)-45	No.73
4-2-17	街渠工(NGP-L)-50	No.74
4-2-18	街渠工(NGP-C)-50	No.74
4-2-19	街渠工(NGP-D)-50	No.74
4-2-20	街渠工(NGP-L)-60	No.75
4-2-21	街渠工(NGP-C)-60	No.75
4-2-22	街渠工(NGP-D)-60	No.75
4-2-23	街渠工(NGU型)	No.64
4-2-24	プレキャスト街渠(基本(新規格))	No.55-1

標準構造図集目次 令和8年10月1日

4-2-25	プレキャスト街渠(基本(新規格))	No.55-2
4-2-26	プレキャスト街渠(車道乗入)	No.57-1
4-2-27	プレキャスト街渠(車道乗入)	No.57-2
4-2-28	プレキャスト街渠(車道すりつけ)	No.59-1
4-2-29	プレキャスト街渠(車道すりつけ)	No.59-2
4-2-30	プレキャスト街渠(車道すりつけ)	No.59-3
4-2-31	プレキャスト街渠(車道すりつけ)	No.59-4
4-2-32	プレキャスト街渠(歩道すりつけ)	No.60-3
4-2-33	プレキャスト街渠(歩道すりつけ)	No.60-4
4-2-34	プレキャスト街渠(歩道すりつけ)	No.60-5
4-2-35	プレキャスト街渠(歩道すりつけ)	No.60-6
4-2-36	プレキャスト街渠(歩道すりつけ)	参考図
4-2-37	プレキャスト街渠(水抜用)	参考図
4-2-38	プレキャスト街渠(柵)	No.63

○管渠工

4-2-39	管渠工(PH ₁)	No.80
4-2-40	管渠工(PH ₂)	No.81
4-2-41	管渠工(PH ₄)	No.82
4-2-42	鉄筋コンクリート台付管工(重圧管)	No.83
4-2-43	鉄筋コンクリート台付管工(バイコン台付管)	No.84
4-2-44	暗渠排水工(PT ₁)	No.85
4-2-45	暗渠排水工(PT ₂)	No.86

○街渠工(防草タイプ)

4-2-46	プレキャスト街渠(基本(新規格))(防草タイプ)	No.55-3
4-2-47	プレキャスト街渠(水抜用)(防草タイプ)	参考図
4-2-48	プレキャスト街渠(柵)(防草タイプ)	No.63-2

標準構造図集目次 令和8年10月1日

4-3 排水工(樹工)

ページ番号	タイトル	ナンバー
4-3-1	街渠樹工(MGP-L)-30	No.90
4-3-2	街渠樹工(MGP-C)-30	No.90
4-3-3	街渠樹工(MGP-D)-30	No.90
4-3-4	街渠樹工(MGP-L)-35	No.91
4-3-5	街渠樹工(MGP-C)-35	No.91
4-3-6	街渠樹工(MGP-D)-35	No.91
4-3-7	街渠樹工(MGP-L)-40	No.92
4-3-8	街渠樹工(MGP-C)-40	No.92
4-3-9	街渠樹工(MGP-D)-40	No.92
4-3-10	街渠樹工(MGP-L)-45	No.93
4-3-11	街渠樹工(MGP-C)-45	No.93
4-3-12	街渠樹工(MGP-D)-45	No.93
4-3-13	街渠樹工(MGP-L)-50	No.94
4-3-14	街渠樹工(MGP-C)-50	No.94
4-3-15	街渠樹工(MGP-D)-50	No.94
4-3-16	街渠樹工(MGP-L)-60	No.95
4-3-17	街渠樹工(MGP-C)-60	No.95
4-3-18	街渠樹工(MGP-D)-60	No.95
4-3-19	街渠樹工(MS-L)(取込み管1or2)	No.96
4-3-20	街渠樹工(MS-L)(取込み管3or4)	No.96
4-3-21	街渠樹工(MS-C)(取込み管1or2)	No.96
4-3-22	街渠樹工(MS-C)(取込み管3or4)	No.96
4-3-23	街渠樹工(MS-D)(取込み管1or2)	No.96
4-3-24	街渠樹工(MS-D)(取込み管3or4)	No.96
4-3-25	樹工(MKU, MKUH)	No.97
4-3-26	樹工(MKP, MKPH)	No.98
4-3-27	雨水樹工	No.99

4-4 排水工(床版架設工)

ページ番号	タイトル	ナンバー
4-4-1	床版架設工(RCプレキャスト床版)	No.100
4-4-2	床版架設工(RC現場打床版)	No.101
4-4-3	鉄蓋設置工(1枚1組)	No.102-1
4-4-4	鉄蓋設置工(柵用、30×60)	No.102-2
4-4-5	鉄蓋設置工(柵用、40×60)	No.102-2
4-4-6	鉄蓋設置工(2枚1組)	No.103-1
4-4-7	鉄蓋設置工(鉄蓋設置柵用、60×70)	No.103-2
4-4-8	鉄蓋設置工(3枚1組)	No.104
4-4-9	鋼製グレーチング蓋設置工(現場打街渠柵用)T-25 粗目	No.105
4-4-10	鋼製グレーチング蓋設置工(現場打街渠柵用)T-25 細目	No.106
4-4-11	鋼製グレーチング蓋設置工(柵用)T-25 粗目	No.107
4-4-12	鋼製グレーチング蓋設置工(横断側溝用)T-25 粗目	No.108
4-4-13	鋼製グレーチング蓋設置工(柵用)T-25 細目	No.109
4-4-14	鋼製グレーチング蓋設置工(横断側溝用)T-25 細目	No.110
4-4-15	鋼製グレーチング蓋設置工(柵用)T-25 細目 歩道乗入部	No.111
4-4-16	鋼製グレーチング蓋設置工(横断側溝用)T-25 細目 歩道乗入部	No.112
4-4-17	鋼製グレーチング蓋設置工(柵用)T-2 細目 歩道一般部	No.113
4-4-18	鋼製グレーチング蓋設置工(横断側溝用)T-2 細目 歩道一般部	No.114
4-4-19	鋼製グレーチング蓋設置工(UBG側溝用)T-25 粗目	No.115
4-4-20	鋼製グレーチング蓋設置工(UBG側溝用)T-25 細目	No.116
4-4-21	鋼製グレーチング蓋設置工(UB-P側溝用)T-25 粗目	No.117
4-4-22	鋼製グレーチング蓋設置工(UB-P側溝用)T-25 細目	No.118
4-4-23	鉄板蓋工	No.119

4-5 縁石工

ページ番号	タイトル	ナンバー
4-5-1	路側工(タイプ1)	No.120
4-5-2	路側工(タイプ2)	No.121

5-1 舗装止工・防護柵設置工

ページ番号	タイトル	ナンバー
5-1-1	嵩上工(側溝、石積側溝、U型トラフ)	No.125
5-1-2	舗装止工	-
5-1-3	防護柵設置工、歩道用ガードパイプ設置工(路側用、歩道用)	-
5-1-4	防護柵設置工[基礎工]	-
5-1-5	防護柵設置工(P種)[乱横断防止柵]	No.3
5-1-6	防護柵設置工(P種)[交差点用乱横断防止柵(神戸市型)]	No.3-2
5-1-7	防護柵設置工(P種)[転落防止柵]	No.4
5-1-8	防護柵設置工(P種)[基礎工]	-
5-1-9	立入防止柵工(フェンス)	-

標準構造図集目次 令和8年10月1日

5-2 標識工・反射鏡

ページ番号	タイトル
5-2-1	警戒、規制標識設置工
5-2-2	道路反射鏡(カーブミラー)設置工(一面鏡ステンレスφ1000)
5-2-3	道路反射鏡(カーブミラー)設置工(一面鏡ステンレスφ800)
5-2-4	道路反射鏡(カーブミラー)設置工(二面鏡ステンレスφ1000)
5-2-5	道路反射鏡(カーブミラー)設置工(二面鏡ステンレスφ800)
5-2-6	道路反射鏡(カーブミラー)設置工(二面鏡アクリル600×800)
5-2-7	道路反射鏡(カーブミラー)設置工(二面鏡アクリル450×600)
5-2-8	道路反射鏡(カーブミラー)設置工基礎構造図
5-2-9	視線誘導標(デリネーター)設置工(土中・ガードレール用両面)
5-2-10	視線誘導標(デリネーター)設置工(Co建込・構造物取付用片面)

5-3 歩道(舗装・切下げ・乗入)

ページ番号	タイトル
5-3-1	歩道舗装工(アスファルト・コンクリート工)
5-3-2	歩道舗装工(インターロッキング工)
5-3-3	歩道舗装工(平板ブロック工)
5-3-4	歩道切下げ標準図(1)
5-3-5	歩道切下げ標準図(2)
5-3-6	視覚障害者誘導用ブロック設置工(1)
5-3-7	視覚障害者誘導用ブロック設置工(2)
5-3-8	視覚障害者誘導用ブロック設置工(3)
5-3-9	歩道乗入部 平面図①②
5-3-10	歩道乗入部 平面図③④
5-3-11	歩道乗入部 平面図⑤⑥

標準構造図集目次 令和8年10月1日

5-4 照明工

ページ番号	タイトル
5-4-1	一般街路灯(防犯灯)設置工 (LED20VA・FL20W・FHP32W独立柱 h=5.5)
5-4-2	一般街路灯(防犯灯)設置工 (LED20VA・FL20W・FHP32W独立柱 h=6.35)
5-4-3	道路照明灯設置工(LED40VA・HF100W 添架式)
5-4-4	道路照明灯設置工(LED40VA・HF100W 独立柱)
5-4-5	道路照明灯設置工(LED60VA・HF200W 添架式)
5-4-6	道路照明灯設置工(LED60VA・HF200W 独立柱)
5-4-7	道路照明灯設置工(LED100VA・HF300, 400w 添架式8-18BE)
5-4-8	道路照明灯設置工(LED100VA・HF300, 400w 添架式10-21BE)
5-4-9	道路照明灯設置工(LED100VA・HF300, 400w 独立柱8-18B)
5-4-10	道路照明灯設置工(LED100VA・HF300, 400w 独立柱10-21B)
5-4-11	道路照明灯設置工 (LED100VA・HF300, 400w 独立柱 2灯用 8-18YB)
5-4-12	道路照明灯設置工 (LED100VA・HF300, 400w 独立柱 2灯用 10-21YB)
5-4-13	照明施設基礎工
5-4-14	道路照明灯基礎工(1)(LED100VAアースオーガー掘削)
5-4-15	道路照明灯設置工
5-4-16	道路照明灯基礎工(2)

5-5 路肩構造図

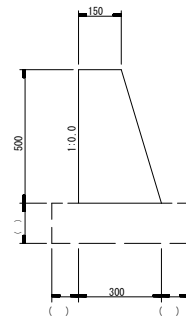
ページ番号	タイトル
5-5-1	路肩構造図

〔場所打擁壁工（構造物単位）、小型擁壁工（高さ50cm未満）〕

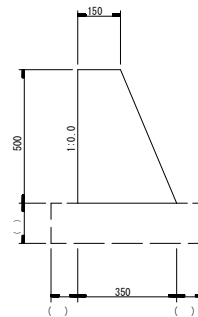
－小型重力式コンクリート擁壁

断 面 図

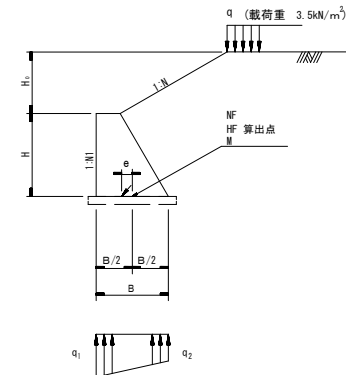
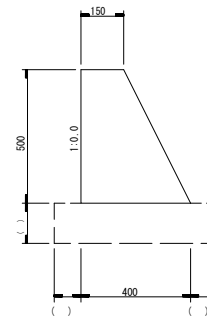
SGW 1



SGW 2



SGW 3



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	H ₀	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	H ₀ /H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
	コンクリート	kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ _{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	F _s	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

(1 m当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)		
0.50	0.0	C1	水平	0.00	0.00	0.300	3.21	0.745	0.148	0.046	21	1	2.59	SGW 1
				0.00	3.50	0.350	4.23	1.350	0.202	0.048	22	2	1.88	SGW 2
			2.0	1.00	3.50	0.350	4.26	1.380	0.205	0.048	22	2	1.85	SGW 2
			1.8	1.00	3.50	0.350	4.44	1.560	0.215	0.048	23	2	1.71	SGW 2
			1.5	1.00	3.50	0.350	4.72	1.840	0.231	0.049	25	2	1.54	SGW 2
		C2	水平	0.00	0.00	0.350	3.67	0.887	0.187	0.051	20	1	2.48	SGW 2
				0.00	3.50	0.350	4.25	1.540	0.232	0.055	24	1	1.66	SGW 2
			2.0	1.00	3.50	0.400	5.19	1.920	0.251	0.048	22	4	1.62	SGW 3
			1.8	1.00	3.50	0.400	5.39	2.110	0.259	0.048	23	4	1.53	SGW 3

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

(1 m当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)		
0.50	0.0	C1	水平	0.00	0.00	0.300	3.21	0.745	0.148	0.046	21	1	2.16	SGW 1
				0.00	3.50	0.350	4.23	1.350	0.202	0.048	22	2	1.57	SGW 2
			2.0	1.00	3.50	0.350	4.26	1.380	0.205	0.048	22	2	1.54	SGW 2
			1.8	1.00	3.50	0.400	5.17	1.690	0.215	0.042	21	5	1.53	SGW 3
			0.00	0.00	0.350	3.67	0.887	0.187	0.051	20	1	2.07	SGW 2	
		C2	水平	0.00	0.00	0.400	4.86	1.600	0.237	0.049	21	3	1.51	SGW 3
				0.00	3.50	0.450	5.87	1.910	0.247	0.042	20	3	1.49	SGW 3
			2.0	1.00	4.50	0.450	5.90	1.940	0.250	0.042	20	3	1.46	SGW 3
			1.8	1.00	4.50	0.500	6.91	2.250	0.255	0.035	19	5	1.44	SGW 3
			0.00	0.00	0.450	4.97	1.617	0.237	0.049	21	3	1.51	SGW 3	

材 料 表

(1 m当たり)

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
SGW 1	0.50	0.30	0.113	1.022	
SGW 2	0.50	0.35	0.125	1.039	
SGW 3	0.50	0.40	0.138	1.059	

注意事項

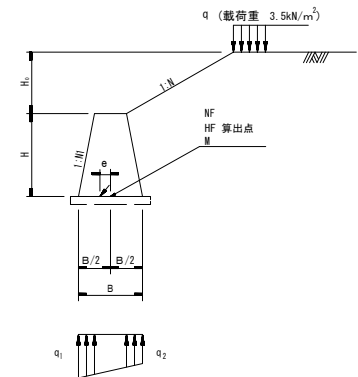
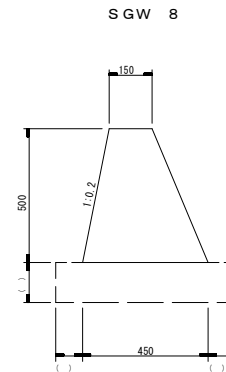
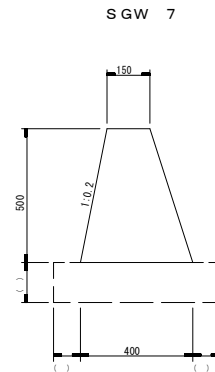
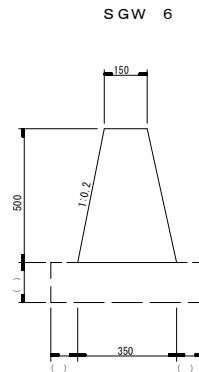
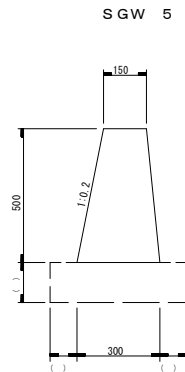
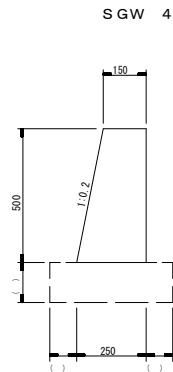
- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1 mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、1.0 m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5 m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ 75)を壁面3 m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

[場所打擁壁工（構造物単位）、小型擁壁工（高さ50cm未満）]

ー小型重力式コンクリート擁壁

断 面 図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	H ₀	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	H ₀ /H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
コンクリート		kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ _{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	F _s	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

(1 m当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号	
											q ₁ (kN/m ²)	q ₂ (kN/m ²)			
0.50	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.250	2.54	0.561	0.011	0.004	11	9	2.72	SGW 4	
				0.00	3.50	0.250	2.71	0.954	0.055	0.020	16	6	1.71	SGW 4	
			2.0	1.00	3.50	0.250	2.67	0.868	0.045	0.017	15	6	1.85	SGW 4	
				1.8	1.00	3.50	0.250	2.72	0.966	0.056	0.021	16	5	1.69	SGW 4
				1.5	1.00	3.50	0.350	3.94	1.540	0.106	0.027	16	6	1.54	SGW 6
				0.00	0.00	0.250	2.54	0.664	0.028	0.011	13	8	2.30	SGW 4	
		C2	水平	0.00	3.50	0.300	3.20	1.270	0.101	0.032	17	4	1.52	SGW 5	
				2.0	1.00	3.50	0.350	3.80	1.510	0.122	0.032	17	5	1.51	SGW 6
			1.8	1.00	3.50	0.450	5.22	1.980	0.122	0.023	15	8	1.58	SGW 8	
				0.00	0.00	0.250	2.54	0.664	0.028	0.011	13	8	2.30	SGW 4	
			0.00	3.50	0.300	3.20	1.270	0.101	0.032	17	4	1.52	SGW 5		
			2.0	1.00	3.50	0.350	3.80	1.510	0.122	0.032	17	5	1.51	SGW 6	

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

(1 m当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号		
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)				
0.50	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.250	2.54	0.561	0.011	0.004	11	9	2.27	SGW 4		
				0.00	3.50	0.350	3.69	1.170	0.081	0.022	14	7	1.57	SGW 6		
			2.0	1.00	3.50	0.350	3.65	1.120	0.077	0.021	14	7	1.63	SGW 6		
				1.8	1.00	3.50	0.400	4.35	1.410	0.091	0.021	14	7	1.54	SGW 7	
				C2	水平	0.00	0.00	0.250	2.54	0.664	0.028	0.011	13	8	1.92	SGW 4
						0.00	3.50	0.450	4.83	1.540	0.111	0.023	14	7	1.57	SGW 8
		C2	水平	0.00	0.00	0.250	2.54	0.664	0.028	0.011	13	8	1.92	SGW 4		
				0.00	3.50	0.450	4.83	1.540	0.111	0.023	14	7	1.57	SGW 8		
			2.0	1.00	3.50	0.350	3.65	1.120	0.077	0.021	14	7	1.63	SGW 6		
				1.8	1.00	3.50	0.400	4.35	1.410	0.091	0.021	14	7	1.54	SGW 7	
				C2	水平	0.00	0.00	0.250	2.54	0.664	0.028	0.011	13	8	1.92	SGW 4
						0.00	3.50	0.450	4.83	1.540	0.111	0.023	14	7	1.57	SGW 8

材 料 表

(1 m当たり)

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
SGW 4	0.50	0.25	0.100	1.010	
SGW 5	0.50	0.30	0.113	1.012	
SGW 6	0.50	0.35	0.125	1.020	
SGW 7	0.50	0.40	0.138	1.032	
SGW 8	0.50	0.45	0.150	1.048	

注意事項

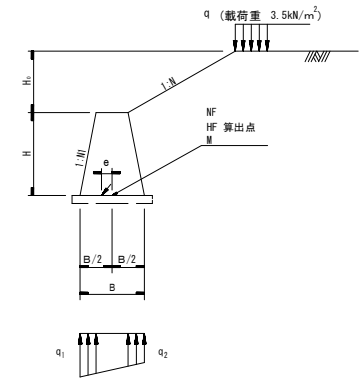
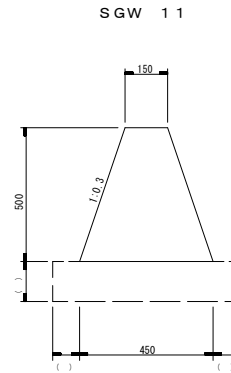
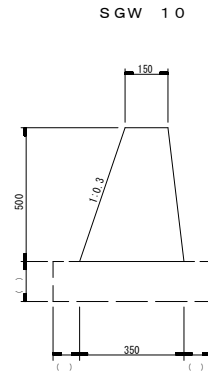
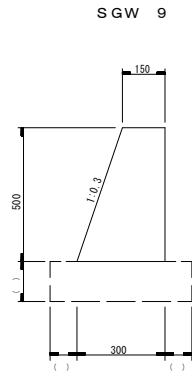
- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1 mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10 m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5 m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ75）を壁面3 m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

[場所打擁壁工（構造物単位）、小型擁壁工（高さ50cm未満）]

ー小型重力式コンクリート擁壁

断 面 図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	H ₀	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	H ₀ /H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
コンクリート		kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ _{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	F _s	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

(1m当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号	
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)			
0.50	0.3	C1	水平	0.00	0.00	0.300	2.83	0.561	-0.029	-0.010	7	11	3.03	SGW 9	
				0.00	3.50	0.300	3.00	0.954	0.011	0.004	11	9	1.89	SGW 9	
			2.0	1.00	3.50	0.300	2.96	0.868	0.002	0.001	10	10	2.05	SGW 9	
				1.8	1.00	3.50	0.300	3.00	0.966	0.012	0.004	11	9	1.87	SGW 9
				1.5	1.00	3.50	0.300	3.11	1.210	0.037	0.012	13	8	1.54	SGW 9
				0.00	0.00	0.300	2.83	0.664	-0.012	-0.004	9	10	2.56	SGW 9	
		C2	水平	0.00	0.00	0.300	3.01	1.150	0.043	0.014	13	7	1.57	SGW 9	
				0.00	3.50	0.300	3.01	1.150	0.043	0.014	13	7	1.57	SGW 9	
			2.0	1.00	3.50	0.350	3.53	1.370	0.061	0.017	13	7	1.55	SGW 10	
				1.8	1.00	3.50	0.450	4.82	1.840	0.067	0.014	13	9	1.57	SGW 11

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

(1m当たり)

H	N1	C	N	H ₀ /H	q	B	NF	HF	M	e	地盤反力度		F _s	SGW	
擁壁高 (m)	前面勾配	表込め土 の種類	盛土勾配	高さ比	載荷重 (kN/m ²)	底版幅 (m)	鉛直力 (kN)	水平力 (kN)	モーメント (kN・m)	偏心距離 (m)	q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)	滑 動 安全率	断面形 状番号	
0.50	0.3	C1	水平	0.00	0.00	0.300	2.83	0.561	-0.029	-0.010	7	11	2.52	SGW 9	
				0.00	3.50	0.300	3.00	0.954	0.011	0.004	11	9	1.57	SGW 9	
			2.0	1.00	3.50	0.300	2.96	0.868	0.002	0.001	10	10	1.71	SGW 9	
				1.8	1.00	3.50	3.00	0.966	0.012	0.004	11	9	1.55	SGW 9	
				1.5	1.00	3.50	3.11	1.210	0.037	0.012	13	8	1.54	SGW 9	
				1.00	3.50	0.300	2.83	0.664	-0.012	-0.004	9	10	2.56	SGW 9	
		C2	水平	0.00	0.00	0.300	2.83	0.664	-0.012	-0.004	9	10	2.13	SGW 9	
				0.00	3.50	0.450	4.54	1.460	0.053	0.012	12	9	1.55	SGW 10	
			2.0	1.00	3.50	0.300	2.83	0.664	-0.012	-0.004	9	10	2.56	SGW 9	
				1.8	1.00	3.50	0.450	4.54	1.460	0.053	0.012	12	9	1.55	SGW 10
				1.5	1.00	3.50	0.300	2.83	0.664	-0.012	-0.004	9	10	2.56	SGW 9
				1.00	3.50	0.450	4.54	1.460	0.053	0.012	12	9	1.55	SGW 10	

材 料 表

(1m当たり)

SGW	H	B	コンクリート	型 枠	基礎材
断面形状番号	(m)	(m)	(m ²)	(m ²)	(m ²)
SGW 9	0.50	0.30	0.113	1.022	
SGW 10	0.50	0.35	0.125	1.025	
SGW 11	0.50	0.45	0.150	1.044	

注意事項

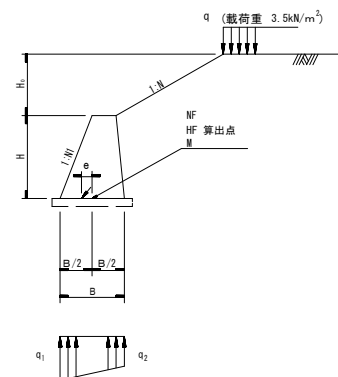
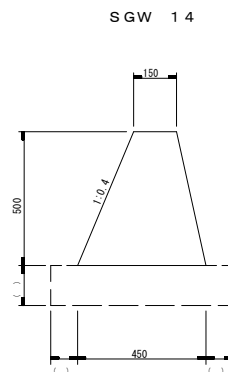
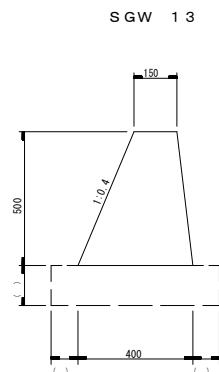
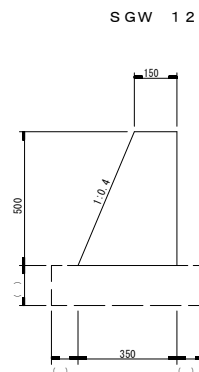
- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、壁厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ75）を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

[場所打擁壁工（構造物単位）、小型擁壁工（高さ50cm未満）]

ー小型重力式コンクリート擁壁

断 面 図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	Ho	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	Ho/H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
	コンクリート	kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ_{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	Fs	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

(1m当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
0.50	0.4	C1	水平	0.00	0.00	0.350	3.12	0.561	-0.073	-0.024	5	13	3.33	SGW 12
				0.00	3.50	0.350	3.29	0.954	-0.038	-0.011	8	11	2.07	SGW 12
			2.0	1.00	3.50	0.350	3.25	0.868	-0.045	-0.014	7	12	2.25	SGW 12
			1.8	1.00	3.50	0.350	3.29	0.966	-0.036	-0.011	8	11	2.04	SGW 12
			1.5	1.00	3.50	0.350	3.40	1.210	-0.014	-0.004	9	10	1.68	SGW 12
			0.00	0.00	0.350	3.12	0.664	-0.056	-0.018	6	12	2.82	SGW 12	
		C2	水平	0.00	3.50	0.350	3.29	1.150	-0.006	-0.002	9	10	1.72	SGW 12
				2.0	1.00	3.50	0.350	3.32	1.220	0.001	0.000	10	9	1.63
			1.8	1.00	3.50	0.400	3.90	1.540	0.020	0.005	11	9	1.52	SGW 13

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

(1m当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
0.50	0.4	C1	水平	0.00	0.00	0.350	3.12	0.561	-0.073	-0.024	5	13	2.78	SGW 12
				0.00	3.50	0.350	3.29	0.954	-0.038	-0.011	8	11	1.72	SGW 12
			2.0	1.00	3.50	0.350	3.25	0.868	-0.045	-0.014	7	12	1.87	SGW 12
			1.8	1.00	3.50	0.350	3.29	0.966	-0.036	-0.011	8	11	1.70	SGW 12
		C2	水平	0.00	0.00	0.350	3.12	0.664	-0.056	-0.018	6	12	2.35	SGW 12
				0.00	3.50	0.450	4.28	1.370	-0.003	-0.001	9	10	1.56	SGW 14

材 料 表

(1m当たり)

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
SGW 12	0.50	0.35	0.125	1.039	
SGW 13	0.50	0.40	0.138	1.041	
SGW 14	0.50	0.45	0.150	1.048	

注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

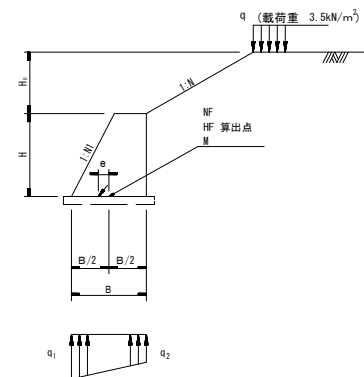
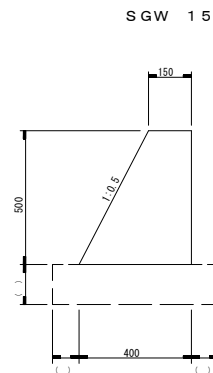
図
番

／

[場所打擁壁工（構造物単位）、小型擁壁工（高さ50cm未満）]

ー小型重力式コンクリート擁壁

断 面 図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	H ₀	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	H ₀ /H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
コンクリート		kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ _{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	F _s	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

(1 m当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛重力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号	
											q ₁ (kN/m ²)	q ₂ (kN/m ²)			
0.50	0.5	C1	水平	0.00	0.00	0.400	3.40	0.561	-0.123	-0.036	4	13	3.64	SGW 15	
				0.00	3.50	0.400	3.57	0.954	-0.091	-0.025	6	12	2.25	SGW 15	
			2.0	1.00	3.50	0.400	3.54	0.868	-0.098	-0.028	5	13	2.44	SGW 15	
				1.8	1.00	3.50	0.400	3.58	0.966	-0.090	-0.025	6	12	2.22	SGW 15
				1.5	1.00	3.50	0.400	3.69	1.210	-0.070	-0.019	7	12	1.82	SGW 15
				1.2	1.00	3.50	0.400	3.80	1.454	-0.050	-0.010	8	11	1.42	SGW 15
		C2	水平	0.00	0.00	0.400	3.40	0.664	-0.105	-0.031	5	12	3.08	SGW 15	
				0.00	3.50	0.400	3.58	1.150	-0.060	-0.017	7	11	1.86	SGW 15	
			2.0	1.00	3.50	0.400	3.61	1.220	-0.053	-0.015	7	11	1.77	SGW 15	
				1.8	1.00	3.50	0.400	3.67	1.390	-0.037	-0.010	8	11	1.59	SGW 15
				1.5	1.00	3.50	0.400	3.78	1.634	-0.017	-0.005	9	10	1.19	SGW 15
				1.2	1.00	3.50	0.400	3.89	1.878	-0.007	-0.002	10	9	0.79	SGW 15

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

(1 m当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛重力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号	
											q ₁ (kN/m ²)	q ₂ (kN/m ²)			
0.50	0.5	C1	水平	0.00	0.00	0.400	3.40	0.561	-0.123	-0.036	4	13	3.03	SGW 15	
				0.00	3.50	0.400	3.57	0.954	-0.091	-0.025	6	12	1.87	SGW 15	
			2.0	1.00	3.50	0.400	3.54	0.868	-0.098	-0.028	5	13	2.04	SGW 15	
				1.8	1.00	3.50	0.400	3.58	0.966	-0.090	-0.025	6	12	1.85	SGW 15
				1.5	1.00	3.50	0.400	3.69	1.210	-0.070	-0.019	7	12	1.66	SGW 15
				1.2	1.00	3.50	0.400	3.80	1.454	-0.050	-0.010	8	11	1.47	SGW 15
		C2	水平	0.00	0.00	0.400	3.40	0.664	-0.105	-0.031	5	12	2.57	SGW 15	
				0.00	3.50	0.400	3.58	1.150	-0.060	-0.017	7	11	1.55	SGW 15	
			2.0	1.00	3.50	0.400	3.61	1.220	-0.053	-0.015	7	11	1.46	SGW 15	
				1.8	1.00	3.50	0.400	3.67	1.390	-0.037	-0.010	8	11	1.28	SGW 15
				1.5	1.00	3.50	0.400	3.78	1.634	-0.017	-0.005	9	10	0.88	SGW 15
				1.2	1.00	3.50	0.400	3.89	1.878	-0.007	-0.002	10	9	0.48	SGW 15

材 料 表

(1 m当たり)

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
SGW 15	0.50	0.40	0.138	1.059	

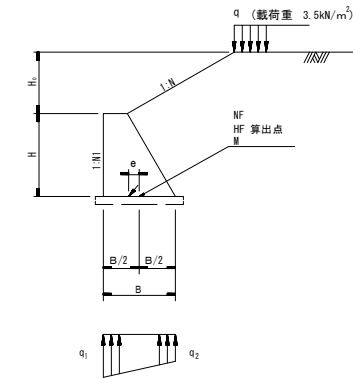
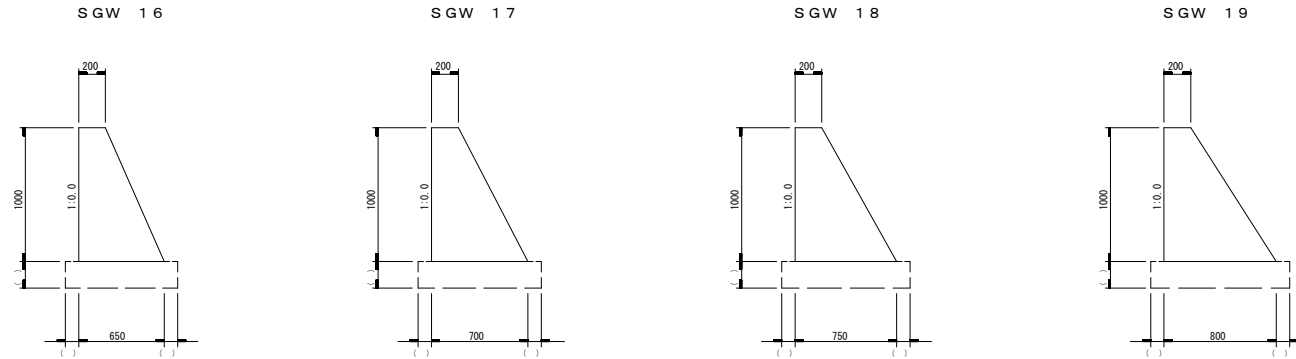
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1 mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10 m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5 m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3 m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図 番

場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断面図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	H ₀	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	H ₀ /H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
	コンクリート	kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ _{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	F _s	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

(1 m当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)		
1.00	0.0	C1	水平	0.00	0.00	0.650	13.3	3.25	1.37	0.103	40	1	2.46	SGW 16
				0.00	3.50	0.650	14.6	4.38	1.53	0.105	44	1	1.99	SGW 16
			2.0	1.00	3.50	0.650	16.0	5.70	1.72	0.107	49	0	1.68	SGW 16
			1.8	1.00	3.50	0.650	16.7	6.30	1.80	0.108	51	0	1.59	SGW 16
			1.5	1.00	3.50	0.700	19.2	7.49	1.92	0.100	51	4	1.54	SGW 17
		C2	水平	0.00	0.00	0.700	14.3	3.70	1.57	0.110	40	1	2.31	SGW 17
				0.00	3.50	0.700	15.7	5.06	1.76	0.112	44	1	1.86	SGW 17
			2.0	1.00	3.50	0.750	19.6	7.61	2.08	0.106	48	4	1.55	SGW 18
			1.8	1.00	3.50	0.800	21.9	8.44	2.11	0.096	47	8	1.56	SGW 19

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

(1 m当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ₁ (kN/m ²)	q ₂ (kN/m ²)		
1.00	0.0	C1	水平	0.00	0.00	0.650	13.3	3.25	1.37	0.103	40	1	2.05	SGW 16
				0.00	3.50	0.650	14.6	4.38	1.53	0.105	44	1	1.66	SGW 16
			2.0	1.00	3.50	0.750	18.9	6.18	1.75	0.093	44	7	1.53	SGW 18
			1.8	1.00	3.50	0.800	21.2	6.98	1.76	0.083	43	10	1.52	SGW 19
			0.00	0.00	0.700	14.3	3.70	1.57	0.110	40	1	1.93	SGW 17	
		C2	水平	0.00	0.00	0.700	15.7	5.06	1.76	0.112	44	1	1.55	SGW 17

材 料 表

(1 m当たり)

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
SGW 16	1.00	0.65	0.425	2.097	
SGW 17	1.00	0.70	0.450	2.118	
SGW 18	1.00	0.75	0.475	2.141	
SGW 19	1.00	0.80	0.500	2.166	

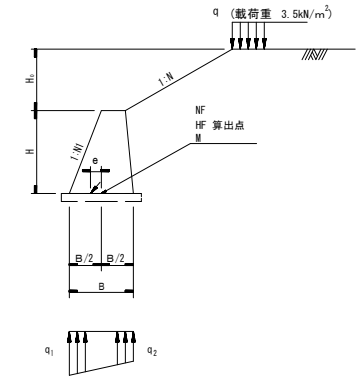
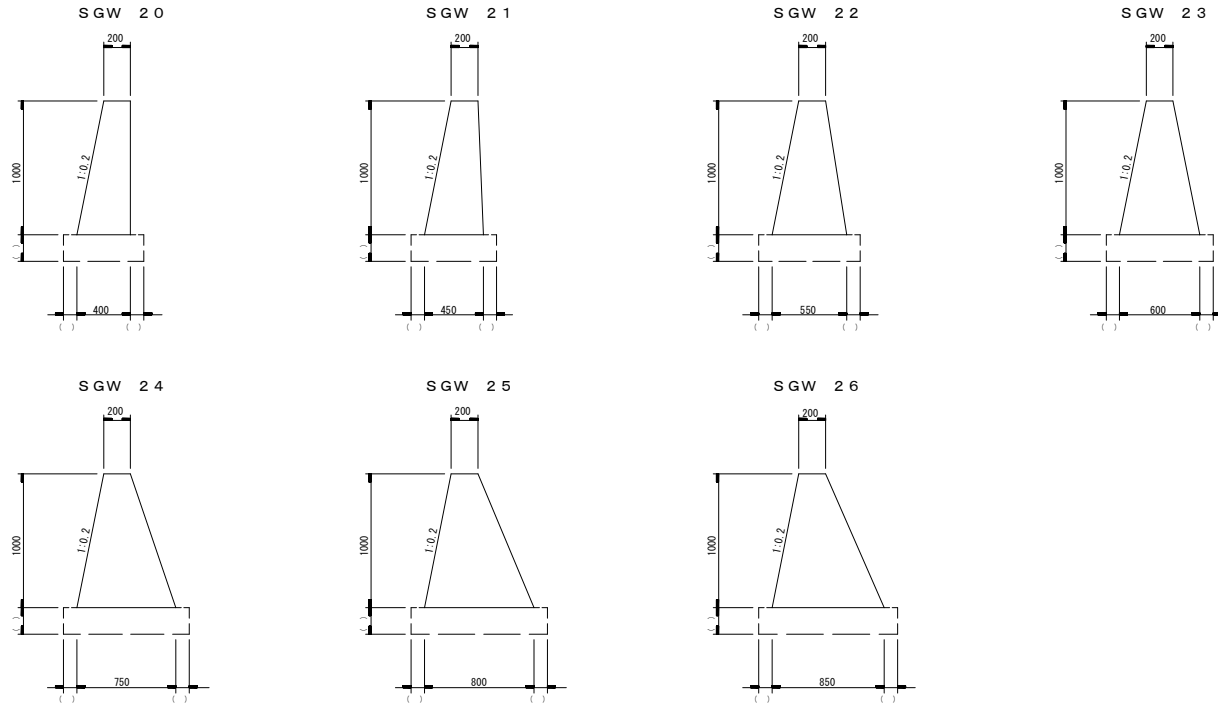
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1 mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10 m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5 m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3 m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断面図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	H ₀	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	H ₀ /H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
	コンクリート	kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ _{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	F _s	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数 μ = 0.6 の場合

(1m当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)		
1.00	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.400	7.87	2.24	0.248	0.031	29	10	2.10	SGW 20
				0.00	3.50	0.400	8.21	3.03	0.442	0.054	37	4	1.63	SGW 20
			2.0	1.00	3.50	0.450	9.31	3.72	0.615	0.066	39	2	1.50	SGW 21
			1.8	1.00	3.50	0.600	12.60	4.95	0.851	0.067	35	7	1.53	SGW 23
			1.5	1.00	3.50	0.750	17.10	6.73	0.974	0.057	33	12	1.53	SGW 24
		C2	水平	0.00	0.00	0.400	7.87	2.65	0.385	0.049	34	5	1.78	SGW 20
				0.00	3.50	0.550	10.90	4.16	0.786	0.072	35	4	1.57	SGW 22
			2.0	1.00	3.50	0.800	17.70	6.91	1.120	0.063	33	12	1.54	SGW 25
			1.8	1.00	3.50	0.850	19.60	7.78	1.110	0.056	32	14	1.52	SGW 26

数 値 表：滑動摩擦係数 μ = 0.5 の場合

(1m当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号	
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)			
1.00	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.400	7.87	2.24	0.248	0.031	29	10	1.75	SGW 20	
				0.00	3.50	0.550	10.80	3.56	0.598	0.055	32	8	1.52	SGW 22	
			2.0	1.00	3.50	0.750	15.70	5.20	0.828	0.053	30	12	1.51	SGW 24	
		C2	水平	1.8	1.00	3.50	0.850	19.00	6.30	0.804	0.042	29	16	1.51	SGW 26
				0.00	0.00	0.450	8.65	2.79	0.440	0.051	32	6	1.55	SGW 21	
			0.00	3.50	0.750	14.80	4.74	0.909	0.061	29	10	1.56	SGW 24		

材 料 表

(1m当たり)

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
SGW 20	1.00	0.40	0.300	2.020	
SGW 21	1.00	0.45	0.325	2.021	
SGW 22	1.00	0.55	0.375	2.031	
SGW 23	1.00	0.60	0.400	2.040	
SGW 24	1.00	0.75	0.475	2.079	
SGW 25	1.00	0.80	0.500	2.097	
SGW 26	1.00	0.85	0.525	2.116	

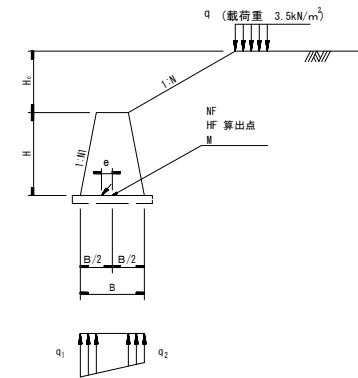
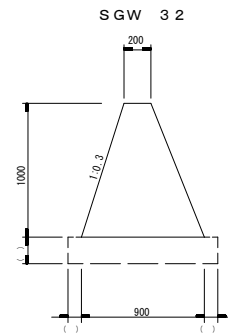
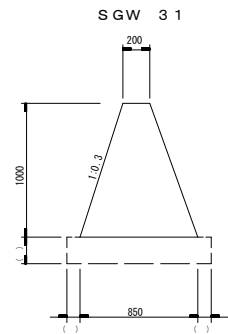
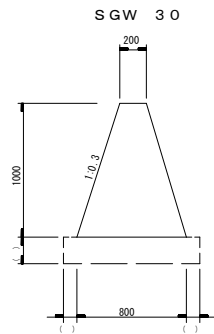
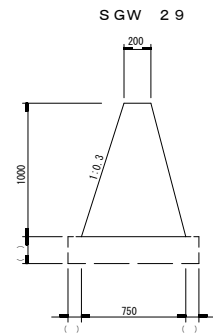
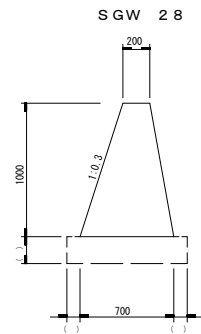
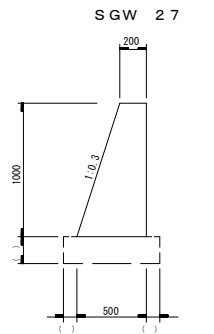
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、1.0m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）ー小型重力式コンクリート擁壁

断 面 図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	Ho	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	Ho/H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
	コンクリート	kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ _{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	Fs	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数μ＝0.6の場合

表 27 地盤反力度と安全率														
H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底幅幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)		
1.00	0.3	C1	水平	0.00	0.00	0.500	9.02	2.24	-0.011	-0.001	18	18	2.41	SGW 27
				0.00	3.50	0.500	9.36	3.03	0.166	0.018	23	15	1.85	SGW 27
			2.0	1.00	3.50	0.500	9.55	3.47	0.265	0.028	25	13	1.65	SGW 27
				1.8	1.00	3.50	0.500	9.69	3.80	0.340	0.035	28	11	1.53
			1.5	1.00	3.50	0.750	15.60	6.16	0.571	0.037	27	15	1.52	SGW 29
				0.00	0.00	0.500	9.02	2.65	0.126	0.014	21	15	2.04	SGW 27
		C2	水平	0.00	3.50	0.500	9.37	3.63	0.363	0.039	27	10	1.55	SGW 27
				2.0	1.00	3.50	0.800	16.30	6.39	0.701	0.043	27	14	1.53
			1.8	1.00	3.50	0.900	19.40	7.53	0.627	0.032	26	17	1.54	SGW 32
				0.00	0.00	0.500	9.02	2.24	-0.011	-0.001	18	18	2.01	SGW 27
			2.0	1.00	3.50	0.700	13.40	4.47	0.404	0.030	24	14	1.50	SGW 28
				1.8	1.00	3.50	0.850	17.40	5.78	0.406	0.023	24	17	1.50

数 値 表：滑動摩擦係数μ＝0.5の場合

表 4-1 土圧・滑動安全率計算表 (単位: m)															(1) 固定土	
H	N1	C	N	Ho/H	q	B	NF	HF	M	e	地盤反力度		Fs	SGW		
擁壁高	前面勾配	表込め土の種類	盛土勾配	高さ比	載荷重 (kN/m ²)	底幅幅 (m)	鉛直力 (kN)	水平力 (kN)	モーメント (kN・m)	偏心距離 (m)	q1	q2	滑動安全率	断面形状番号		
1.00	0.3	C1	水平	0.00	0.00	0.500	9.02	2.24	-0.011	-0.001	18	18	2.01	SGW 27		
				0.00	3.50	0.500	9.36	3.03	0.166	0.018	23	15	1.54	SGW 27		
			2.0	1.00	3.50	0.700	13.40	4.47	0.404	0.030	24	14	1.50	SGW 28		
				1.8	1.00	3.50	0.850	17.40	5.78	0.406	0.023	24	17	1.50	SGW 31	
		C2	水平	0.00	0.00	0.500	9.02	2.65	0.126	0.014	21	15	1.70	SGW 27		
				0.00	3.50	0.700	13.00	4.32	0.484	0.037	24	13	1.50	SGW 28		

材 料 表

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
SGW 27	1.00	0.50	0.350	2.044	
SGW 28	1.00	0.70	0.450	2.064	
SGW 29	1.00	0.75	0.475	2.075	
SGW 30	1.00	0.80	0.500	2.088	
SGW 31	1.00	0.85	0.525	2.104	
SGW 32	1.00	0.90	0.550	2.121	

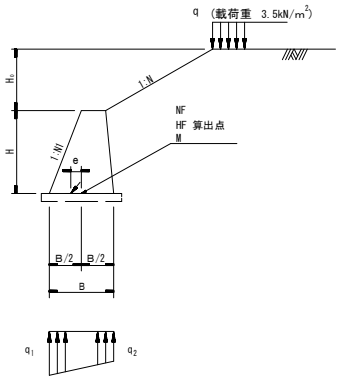
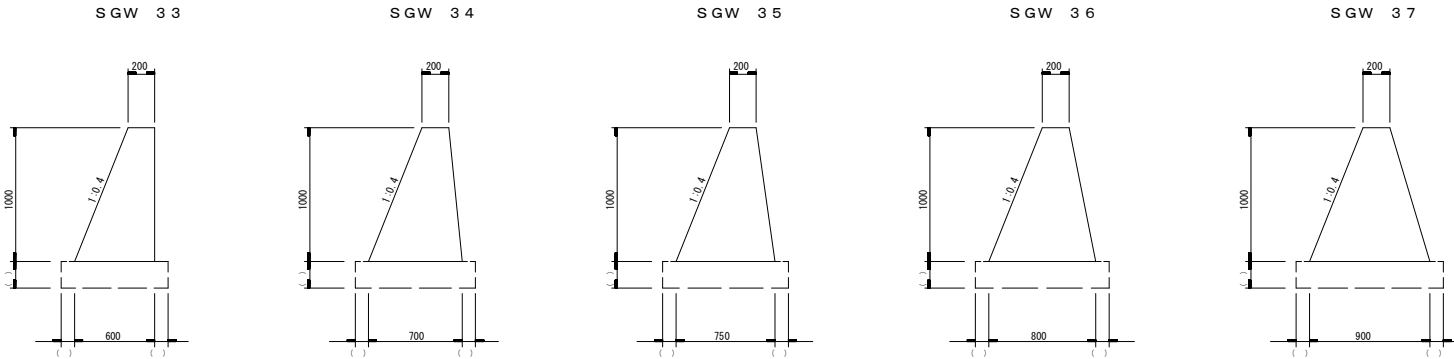
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ75）を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断面図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	Ho	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	Ho/H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
コンクリート		kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ_{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	Fs	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

(1 m当たり)

H	N1	C	N	Ho/H	q	B	NF	HF	M	e	地盤反力度		Fs	SGW	
擁壁高 (m)	前面勾配	表込め土の種類	盛土勾配	高さ比	載荷重 (kN/m ²)	底版幅 (m)	鉛直力 (kN)	水平力 (kN)	モーメント (kN・m)	偏心距離 (m)	q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)	滑 動 安全率	断面形 状番号	
1.00	0.4	C1	水平	0.00	0.00	0.600	10.2	2.24	-0.309	-0.030	12	22	2.72	SGW 33	
				0.00	3.50	0.600	10.5	3.03	-0.149	-0.014	15	20	2.08	SGW 33	
			2.0	1.00	3.50	0.600	10.7	3.47	-0.059	-0.005	17	19	1.85	SGW 33	
				1.8	1.00	3.50	0.600	10.8	3.80	0.009	0.001	18	18	1.71	SGW 33
				1.5	1.00	3.50	0.700	13.3	5.26	0.195	0.015	21	17	1.51	SGW 34
					1.8	1.00	3.50	0.900	17.9	7.01	0.259	0.014	22	18	1.53
		C2	水平	0.00	0.00	0.600	10.2	2.65	-0.172	-0.017	14	20	2.30	SGW 33	
				0.00	3.50	0.600	10.5	3.63	0.047	0.005	18	17	1.74	SGW 33	
			2.0	1.00	3.50	0.750	14.0	5.58	0.323	0.023	22	15	1.50	SGW 35	
				1.8	1.00	3.50	0.900	17.9	7.01	0.259	0.014	22	18	1.53	SGW 37

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

(1 m当たり)

H	N1	C	N	Ho/H	q	B	NF	HF	M	e	地盤反力度		Fs	SGW
擁壁高 (m)	前面勾配	表込め土の種類	盛土勾配	高さ比	載荷重 (kN/m ²)	底版幅 (m)	鉛直力 (kN)	水平力 (kN)	モーメント (kN・m)	偏心距離 (m)	q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)	滑 動 安全率	断面形 状番号
1.00	0.4	C1	水平	0.00	0.00	0.600	10.2	2.24	-0.309	-0.030	12	22	2.27	SGW 33
				0.00	3.50	0.600	10.5	3.03	-0.149	-0.014	15	20	1.73	SGW 33
			2.0	1.00	3.50	0.600	10.7	3.47	-0.059	-0.005	17	19	1.54	SGW 33
				1.8	1.00	3.50	0.800	14.9	4.95	0.050	0.003	19	18	1.51
		C2	水平	0.00	0.00	0.600	10.2	2.65	-0.172	-0.017	14	20	1.92	SGW 33
				0.00	3.50	0.700	12.3	3.99	0.089	0.007	19	16	1.54	SGW 34

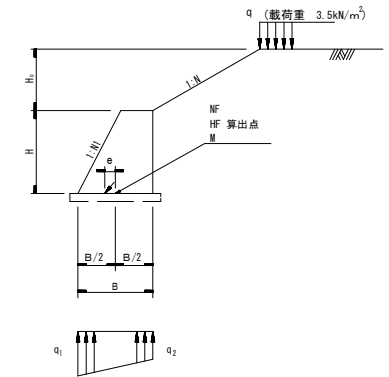
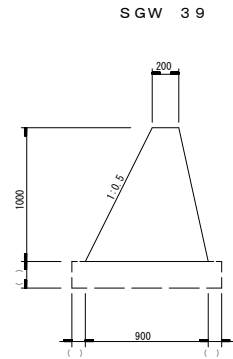
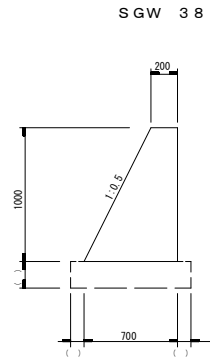
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1 mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、壁厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10 m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5 m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3 m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断面図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	H ₀	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	H ₀ /H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
	コンクリート	kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ _{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	F _s	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数μ＝0.6の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ₁ (kN/m ²)	q ₂ (kN/m ²)		
1.00	0.5	C1	水平	0.00	0.00	0.700	11.3	2.24	-0.645	-0.057	8	24	3.03	SGW 38
				0.00	3.50	0.700	11.7	3.03	-0.502	-0.043	11	23	2.31	SGW 38
			2.0	1.00	3.50	0.700	11.8	3.47	-0.421	-0.036	12	22	2.05	SGW 38
			1.8	1.00	3.50	0.700	12.0	3.80	-0.361	-0.030	13	22	1.89	SGW 38
			1.5	1.00	3.50	0.700	12.4	4.64	-0.208	-0.017	15	20	1.60	SGW 38
		C2	水平	0.00	0.00	0.700	11.3	2.65	-0.508	-0.045	10	22	2.56	SGW 38
				0.00	3.50	0.700	11.7	3.63	-0.306	-0.026	13	20	1.93	SGW 38
			2.0	1.00	3.50	0.700	12.1	4.74	-0.078	-0.006	16	18	1.53	SGW 38
			1.8	1.00	3.50	0.900	16.6	6.46	-0.100	-0.006	18	19	1.54	SGW 39

材 料 表

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
SGW 38	1.00	0.70	0.450	2.118	
SGW 39	1.00	0.90	0.550	2.138	

数 値 表：滑動摩擦係数μ＝0.5の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ₁ (kN/m ²)	q ₂ (kN/m ²)		
1.00	0.5	C1	水平	0.00	0.00	0.700	11.3	2.24	-0.645	-0.057	8	24	2.52	SGW 38
				0.00	3.50	0.700	11.7	3.03	-0.502	-0.043	11	23	1.92	SGW 38
			2.0	1.00	3.50	0.700	11.8	3.47	-0.421	-0.036	12	22	1.71	SGW 38
			1.8	1.00	3.50	0.700	12.0	3.80	-0.361	-0.030	13	22	1.58	SGW 38
				0.00	0.00	0.700	11.3	2.65	-0.508	-0.045	10	22	2.13	SGW 38
		C2	水平	0.00	3.50	0.700	11.7	3.63	-0.306	-0.026	13	20	1.61	SGW 38

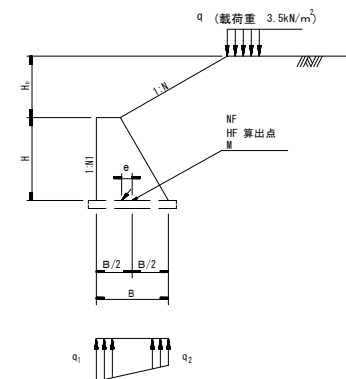
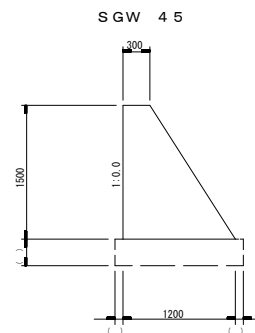
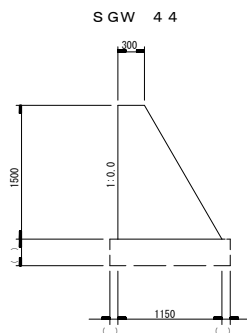
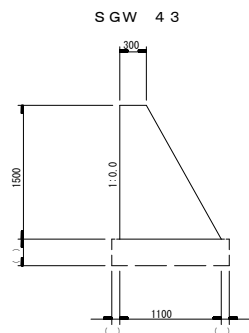
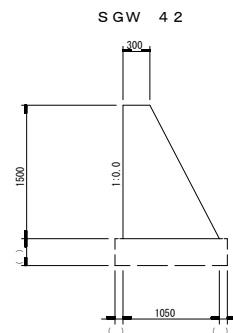
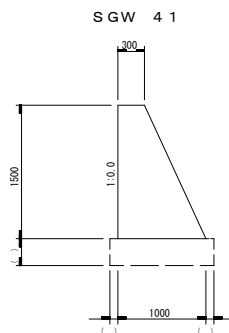
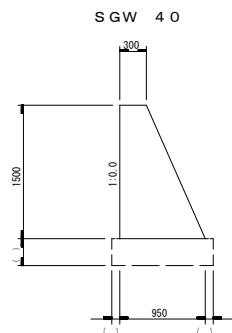
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、壁厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ75）を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断 面 図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	Ho	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	Ho/H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
コンクリート		kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ _{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	Fs	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu=0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)		
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)		
1.50	0.0	C1	水平	0.00	0.00	0.950	29.3	7.25	4.53	0.155	61	1	2.42	SGW 40
				0.00	3.50	0.950	31.1	8.94	4.91	0.158	65	0	2.09	SGW 40
			2.0	1.00	3.50	1.000	37.0	13.00	5.82	0.157	72	2	1.71	SGW 41
				1.8	1.00	3.50	1.000	38.4	14.20	0.158	75	2	1.62	SGW 41
			1.5	1.00	3.50	1.000	40.7	16.20	6.47	0.159	79	2	1.50	SGW 41
				0.00	0.00	1.050	32.1	8.32	5.30	0.165	59	2	2.31	SGW 42
		C2	水平	0.00	3.50	1.050	34.2	10.40	5.73	0.167	64	1	1.98	SGW 42
				2.0	1.00	3.50	1.100	42.8	16.70	0.164	74	4	1.53	SGW 43
			1.8	1.00	3.50	1.150	46.5	18.40	7.18	0.154	73	8	1.52	SGW 44
				0.00	0.00	0.950	29.3	7.25	4.53	0.155	61	1	2.02	SGW 40
			2.0	1.00	3.50	1.100	41.3	13.70	5.89	0.143	67	8	1.51	SGW 43
				1.8	1.00	3.50	1.200	47.5	15.50	0.125	64	15	1.53	SGW 45

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu=0.5$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)		
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)		
1.50	0.0	C1	水平	0.00	0.00	0.950	29.3	7.25	4.53	0.155	61	1	2.02	SGW 40
				0.00	3.50	0.950	31.1	8.94	4.91	0.158	65	0	1.74	SGW 40
			2.0	1.00	3.50	1.100	41.3	13.70	5.89	0.143	67	8	1.51	SGW 43
				1.8	1.00	3.50	1.200	47.5	15.50	0.125	64	15	1.53	SGW 45
		C2	水平	0.00	0.00	1.050	32.1	8.32	5.30	0.165	59	2	1.93	SGW 42
				0.00	3.50	1.050	34.2	10.40	5.73	0.167	64	1	1.65	SGW 42

材 料 表

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
SGW 40	1.00	0.73	0.515	2.089	
	1.50	0.95	0.938	3.135	
SGW 41	1.00	0.77	0.535	2.105	
	1.50	1.00	0.975	3.155	
SGW 42	1.00	0.80	0.550	2.118	
	1.50	1.05	1.013	3.177	
SGW 43	1.00	0.83	0.565	2.132	
	1.50	1.10	1.050	3.200	
SGW 44	1.00	0.87	0.585	2.151	
	1.50	1.15	1.088	3.224	
SGW 45	1.00	0.90	0.600	2.166	
	1.50	1.20	1.125	3.249	

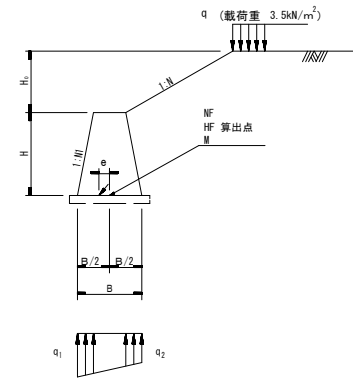
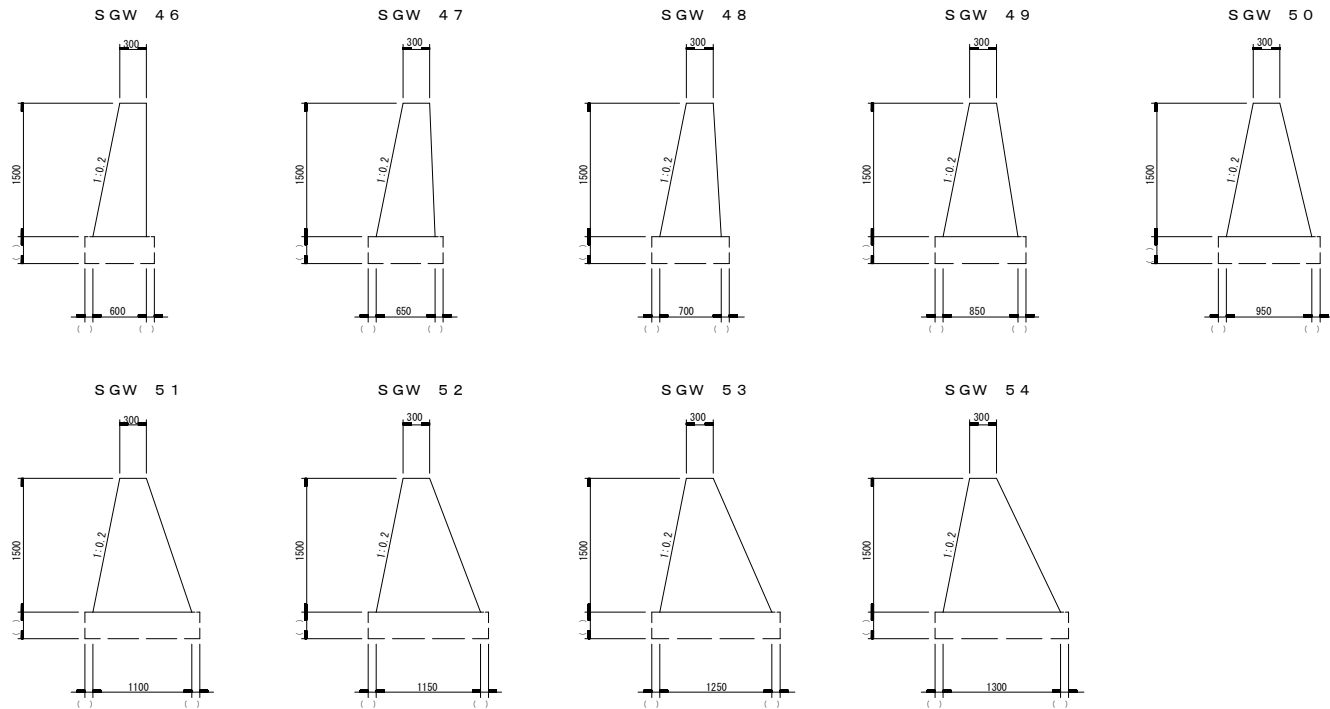
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ75）を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断面図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	H ₀	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	H ₀ /H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
コンクリート		kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ _{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	F _s	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数μ＝0.6の場合

表 2-7 地盤反力度とせん断力係数															(単位: kN)	
H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底幅幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号		
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)				
1.50	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.600	17.7	5.05	0.836	0.047	43	16	2.10	SGW 46		
				0.00	3.50	0.600	18.2	6.23	1.270	0.070	52	9	1.75	SGW 46		
				2.0	1.00	3.50	0.700	21.6	8.56	2.140	0.099	57	5	1.52	SGW 48	
			1.8	1.00	3.50	0.850	26.7	10.60	2.770	0.104	54	8	1.51	SGW 49		
			1.5	1.00	3.50	1.100	37.3	14.70	3.290	0.088	50	18	1.52	SGW 51		
			0.00	0.00	0.600	17.7	5.97	1.300	0.073	51	8	1.78	SGW 46			
		C2	水平	0.00	3.50	0.650	19.5	7.69	1.990	0.102	58	2	1.52	SGW 47		
				2.0	1.00	3.50	1.150	37.7	15.00	3.800	0.101	50	15	1.51	SGW 52	
				1.8	1.00	3.50	1.250	42.9	17.00	3.800	0.089	49	20	1.51	SGW 53	

数 値 表：滑動摩擦係数μ＝0.5の場合

（単位：mm）															
H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底幅幅 (m)	NF 鉛直力	HF 水平力	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号	
											q ₁ (kN/m ²)	q ₂ (kN/m ²)			
													清 掃 状 勢		
1.50	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.600	17.7	5.05	0.836	0.047	43	16	1.75	SGW 46	
				0.00	3.50	0.650	19.4	6.48	1.400	0.072	50	10	1.50	SGW 47	
				2.0	1.00	3.50	1.150	36.3	11.90	2.790	0.077	44	19	1.53	SGW 52
			1.8	1.00	3.50	1.300	43.6	14.20	2.630	0.060	43	24	1.53	SGW 54	
		C2	水平	0.00	0.00	0.650	18.9	6.17	1.420	0.075	49	9	1.53	SGW 47	
				0.00	3.50	0.950	27.5	9.05	2.630	0.096	46	11	1.52	SGW 50	

材 料 表

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
SGW 46	1.00	0.50	0.400	2.020	
	1.50	0.60	0.675	3.030	
SGW 47	1.00	0.53	0.415	2.020	
	1.50	0.65	0.713	3.031	
SGW 48	1.00	0.57	0.435	2.022	
	1.50	0.70	0.750	3.033	
SGW 49	1.00	0.67	0.485	2.034	
	1.50	0.85	0.863	3.050	
SGW 50	1.00	0.73	0.515	2.046	
	1.50	0.95	0.938	3.070	
SGW 51	1.00	0.83	0.565	2.073	
	1.50	1.10	1.050	3.111	
SGW 52	1.00	0.87	0.585	2.086	
	1.50	1.15	1.088	3.127	
SGW 53	1.00	0.93	0.615	2.108	
	1.50	1.25	1.163	3.164	
SGW 54	1.00	0.97	0.635	2.125	
	1.50	1.30	1.200	3.185	

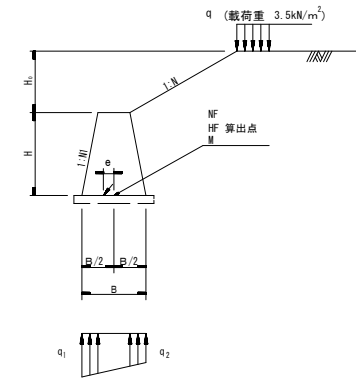
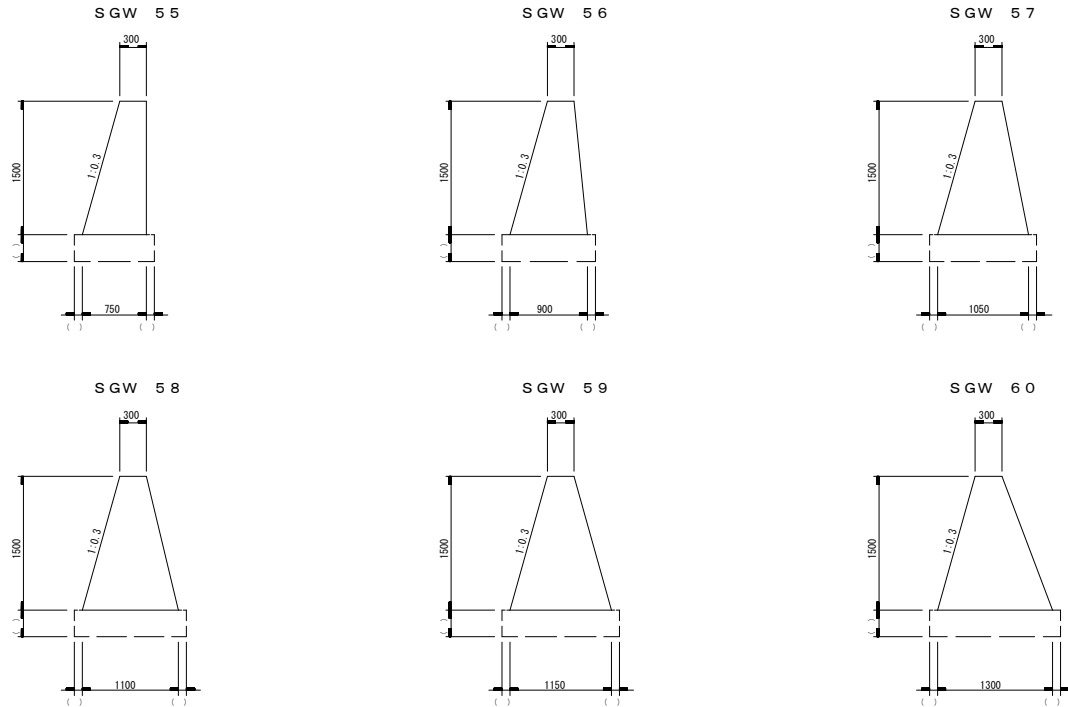
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ75）を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断面図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	H ₀	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	H ₀ /H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
コンクリート		kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ _{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	F _s	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ₁ (kN/m ²)	q ₂ (kN/m ²)		
1.50	0.3	C1	水平	0.00	0.00	0.750	20.3	5.05	-0.039	-0.002	27	27	2.41	SGW 55
				0.00	3.50	0.750	20.8	6.23	0.360	0.017	32	24	2.00	SGW 55
			2.0	1.00	3.50	0.750	21.5	7.81	0.896	0.042	38	19	1.65	SGW 55
				1.8	1.00	3.50	0.750	21.8	8.52	1.140	41	17	1.53	SGW 55
			1.5	1.00	3.50	1.100	34.1	13.40	1.930	0.057	41	21	1.52	SGW 58
				0.00	0.00	0.750	20.3	5.97	0.424	0.021	32	23	2.04	SGW 55
		C2	水平	0.00	3.50	0.750	20.8	7.44	0.957	0.046	38	18	1.68	SGW 55
				2.0	1.00	3.50	34.7	13.80	2.400	0.069	41	19	1.50	SGW 59
			1.8	1.00	3.50	1.300	41.4	16.30	2.280	0.055	40	24	1.52	SGW 60
				0.00	0.00	0.750	20.3	5.05	-0.039	-0.002	27	27	2.01	SGW 55
			2.0	1.00	3.50	1.050	30.2	10.10	1.360	0.045	36	21	1.50	SGW 57
				1.8	1.00	3.50	1.300	40.0	13.10	1.300	35	26	1.53	SGW 60

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ₁ (kN/m ²)	q ₂ (kN/m ²)		
1.50	0.3	C1	水平	0.00	0.00	0.750	20.3	5.05	-0.039	-0.002	27	27	2.01	SGW 55
				0.00	3.50	0.750	20.8	6.23	0.360	0.017	32	24	1.67	SGW 55
			2.0	1.00	3.50	1.050	30.2	10.10	1.360	0.045	36	21	1.50	SGW 57
				1.8	1.00	3.50	1.300	40.0	13.10	1.300	35	26	1.53	SGW 60
		C2	水平	0.00	0.00	0.750	20.3	5.97	0.424	0.021	32	23	1.70	SGW 55
				0.00	3.50	0.900	24.6	8.17	1.220	0.049	36	18	1.51	SGW 56

材 料 表

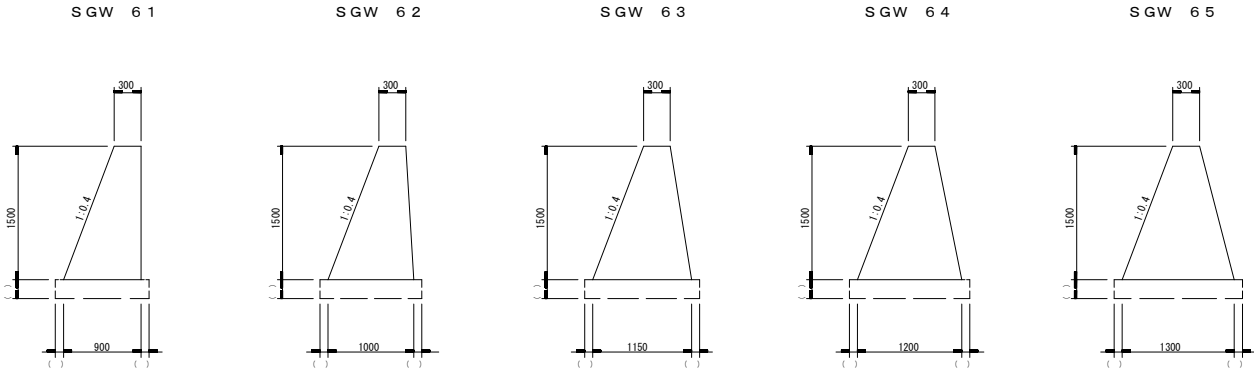
SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
SGW 55	1.00	0.60	0.450	2.044	
	1.50	0.75	0.788	3.066	
SGW 56	1.00	0.70	0.500	2.049	
	1.50	0.90	0.900	3.074	
SGW 57	1.00	0.80	0.550	2.064	
	1.50	1.05	1.013	3.096	
SGW 58	1.00	0.83	0.565	2.070	
	1.50	1.10	1.050	3.106	
SGW 59	1.00	0.87	0.585	2.080	
	1.50	1.15	1.088	3.118	
SGW 60	1.00	0.97	0.635	2.110	
	1.50	1.30	1.200	3.164	

注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

場所打擁壁工（構造物単位）ー小型重力式コンクリート擁壁

断面図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	H ₀	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	H ₀ /H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
コンクリート		kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ _{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	F _s	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数μ＝0.6の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底幅幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)		
1.50	0.4	C1	水平	0.00	0.00	0.900	22.9	5.05	-1.040	-0.046	18	33	2.72	SGW 61
				0.00	3.50	0.900	23.4	6.23	-0.683	-0.029	21	31	2.25	SGW 61
			2.0	1.00	3.50	0.900	24.1	7.81	-0.198	-0.008	25	28	1.85	SGW 61
				1.8	1.00	3.50	0.900	24.4	8.52	0.019	0.001	27	27	1.72
			1.5	1.00	3.50	1.000	28.2	11.20	0.621	0.022	32	24	1.51	SGW 62
				0.00	0.00	0.900	22.9	5.97	-0.580	-0.025	21	30	2.30	SGW 61
		C2	水平	0.00	3.50	0.900	23.4	7.44	-0.087	-0.004	25	27	1.89	SGW 61
				2.0	1.00	3.50	1.150	32.2	12.60	1.050	0.033	33	23	1.53
			1.8	1.00	3.50	1.300	38.2	15.10	1.010	0.027	33	26	1.51	SGW 65
				0.00	0.00	0.900	22.9	5.97	-0.580	-0.025	21	30	2.30	SGW 61
			2.0	1.00	3.50	0.900	23.4	7.44	-0.087	-0.004	25	27	1.89	SGW 61
				1.8	1.00	3.50	1.300	38.2	15.10	1.010	0.027	33	26	1.51

数 値 表：滑動摩擦係数μ＝0.5の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
1.50	0.4	C1	水平	0.00	0.00	0.900	22.9	5.05	-1.040	-0.046	18	33	2.27	SGW 61
				0.00	3.50	0.900	23.4	6.23	-0.683	-0.029	21	31	1.88	SGW 61
			2.0	1.00	3.50	0.900	24.1	7.81	-0.198	-0.008	25	28	1.54	SGW 61
				1.8	1.00	3.50	1.200	33.5	11.10	0.157	0.005	29	27	1.51
		C2	水平	0.00	0.00	0.900	22.9	5.97	-0.580	-0.025	21	30	1.92	SGW 61
				0.00	3.50	0.900	23.4	7.44	-0.087	-0.004	25	27	1.57	SGW 61

材 料 表

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
SGW 61	1.00	0.70	0.500	2.077	
	1.50	0.90	0.900	3.116	
SGW 62	1.00	0.77	0.535	2.079	
	1.50	1.00	0.975	3.119	
SGW 63	1.00	0.87	0.585	2.091	
	1.50	1.15	1.088	3.136	
SGW 64	1.00	0.90	0.600	2.097	
	1.50	1.20	1.125	3.145	
SGW 65	1.00	0.97	0.635	2.113	
	1.50	1.30	1.200	3.168	

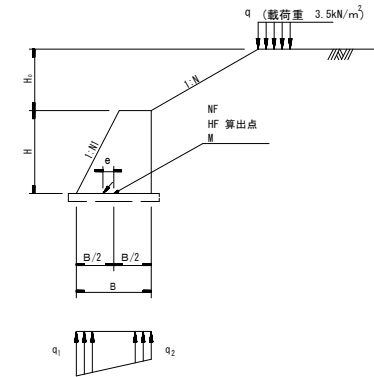
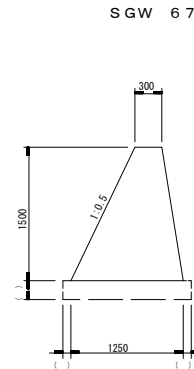
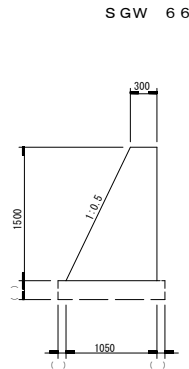
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、壁厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断面図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	H ₀	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	H ₀ /H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
	コンクリート	kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ _{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	F _s	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底板幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ₁ (kN/m ²)	q ₂ (kN/m ²)		
1.50	0.5	C1	水平	0.00	0.00	1.050	25.5	5.05	-2.180	-0.085	12	36	3.03	SGW 66
				0.00	3.50	1.050	26.0	6.23	-1.850	-0.071	15	35	2.50	SGW 66
			2.0	1.00	3.50	1.050	26.7	7.81	-1.420	-0.053	18	33	2.05	SGW 66
				1.8	1.00	3.50	1.050	27.0	8.52	-1.230	-0.045	19	32	1.90
			1.5	1.00	3.50	1.050	27.7	10.30	-0.741	-0.027	22	30	1.62	SGW 66
				0.00	0.00	1.050	25.5	5.97	-1.710	-0.067	15	34	2.56	SGW 66
		C2	水平	0.00	0.00	1.050	26.0	7.44	-1.260	-0.048	18	32	2.10	SGW 66
				2.0	1.00	3.50	1.050	27.1	10.60	-0.288	-0.011	24	27	1.54
			1.8	1.00	3.50	1.250	33.8	13.50	-0.120	-0.004	27	27	1.50	SGW 67
			1.5	1.00	3.50	1.050	27.7	10.30	-0.741	-0.027	22	30	1.62	SGW 66
				0.00	0.00	1.050	25.5	5.97	-1.710	-0.067	15	34	2.56	SGW 66

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	H0/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底幅幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
1.50	0.5	C1	水平	0.00	0.00	1.050	25.5	5.05	-2.180	-0.085	12	36	2.52	SGW 66
				0.00	3.50	1.050	26.0	6.23	-1.850	-0.071	15	35	2.09	SGW 66
			2.0	1.00	3.50	1.050	26.7	7.81	-1.420	-0.053	18	33	1.71	SGW 66
				1.8	1.00	3.50	1.050	27.0	8.52	-1.230	-0.045	19	32	1.58
		C2	水平	0.00	0.00	1.050	25.5	5.97	-1.710	-0.067	15	34	2.13	SGW 66
				0.00	3.50	1.050	26.0	7.44	-1.260	-0.048	18	32	1.75	SGW 66

材 料 表

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
SGW 66	1.00	0.80	0.550	2.118	
SGW 67	1.50	1.05	1.013	3.177	
	1.00	0.93	0.615	2.126	
	1.50	1.25	1.163	3.190	

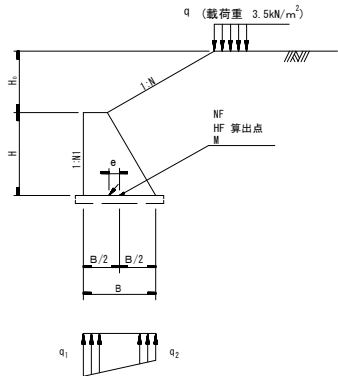
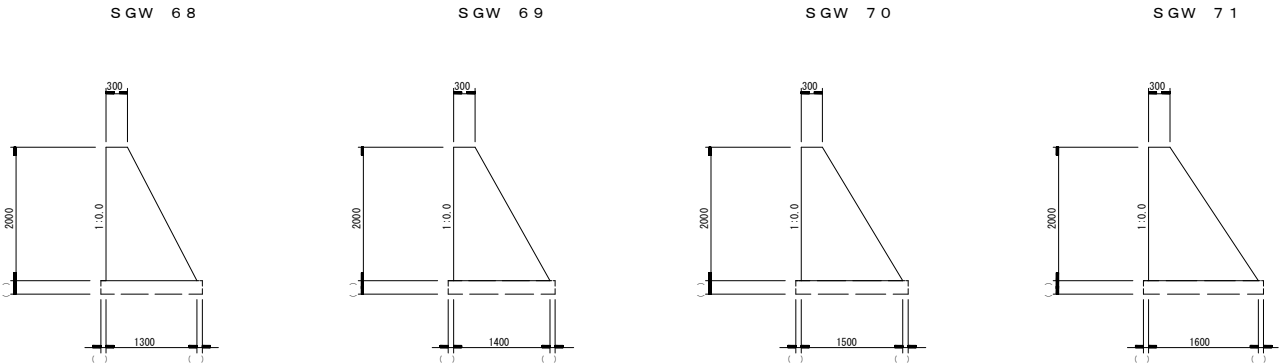
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断面図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	H ₀	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	H ₀ /H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
コンクリート		kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ _{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	F _s	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数μ＝0.6の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底幅幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)		
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)		
2.00	0.0	C1	水平	0.00	0.00	1.300	52.6	13.3	11.1	0.212	80	1	2.38	SGW 68
				0.00	3.50	1.300	55.3	15.6	11.8	0.214	84	1	2.13	SGW 68
			2.0	1.00	3.50	1.400	70.7	24.5	14.3	0.202	94	7	1.73	SGW 69
				1.8	1.00	3.50	73.4	26.7	14.8	0.201	98	7	1.65	SGW 69
				1.5	1.00	3.50	77.8	30.0	15.6	0.200	103	8	1.55	SGW 69
		C2	水平	0.00	0.00	1.400	56.3	15.0	12.7	0.226	79	1	2.25	SGW 69
				0.00	3.50	1.400	59.4	17.8	13.5	0.227	84	1	2.00	SGW 69
			2.0	1.00	3.50	1.500	79.2	30.7	16.9	0.213	98	8	1.55	SGW 70
				1.8	1.00	3.50	88.3	33.6	17.0	0.192	95	15	1.58	SGW 71

数 値 表：滑動摩擦係数μ＝0.5の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底幅幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)		
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)		
2.00	0.0	C1	水平	0.00	0.00	1.300	52.6	13.3	11.1	0.212	80	1	1.98	SGW 68
				0.00	3.50	1.300	55.3	15.6	11.8	0.214	84	1	1.77	SGW 68
			2.0	1.00	3.50	1.500	76.7	25.4	14.2	0.185	89	13	1.51	SGW 70
				1.8	1.00	3.50	86.1	28.2	14.2	0.165	87	20	1.53	SGW 71
		C2	水平	0.00	0.00	1.400	56.3	15.0	12.7	0.226	79	1	1.87	SGW 69
				0.00	3.50	1.400	59.4	17.8	13.5	0.227	84	1	1.67	SGW 69

材 料 表

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート		基礎材 (m ²)
			型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)	
SGW 68	1.00	0.80	0.550	2.118	
	1.50	1.05	1.013	3.177	
	2.00	1.30	1.600	4.236	
SGW 69	1.00	0.85	0.575	2.141	
	1.50	1.13	1.073	3.214	
	2.00	1.40	1.700	4.283	
SGW 70	1.00	0.90	0.600	2.166	
	1.50	1.20	1.125	3.249	
	2.00	1.50	1.800	4.332	
SGW 71	1.00	0.95	0.625	2.193	
	1.50	1.28	1.185	3.292	
	2.00	1.60	1.900	4.385	

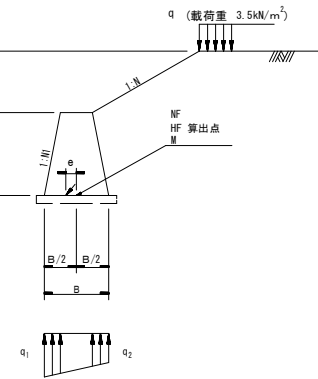
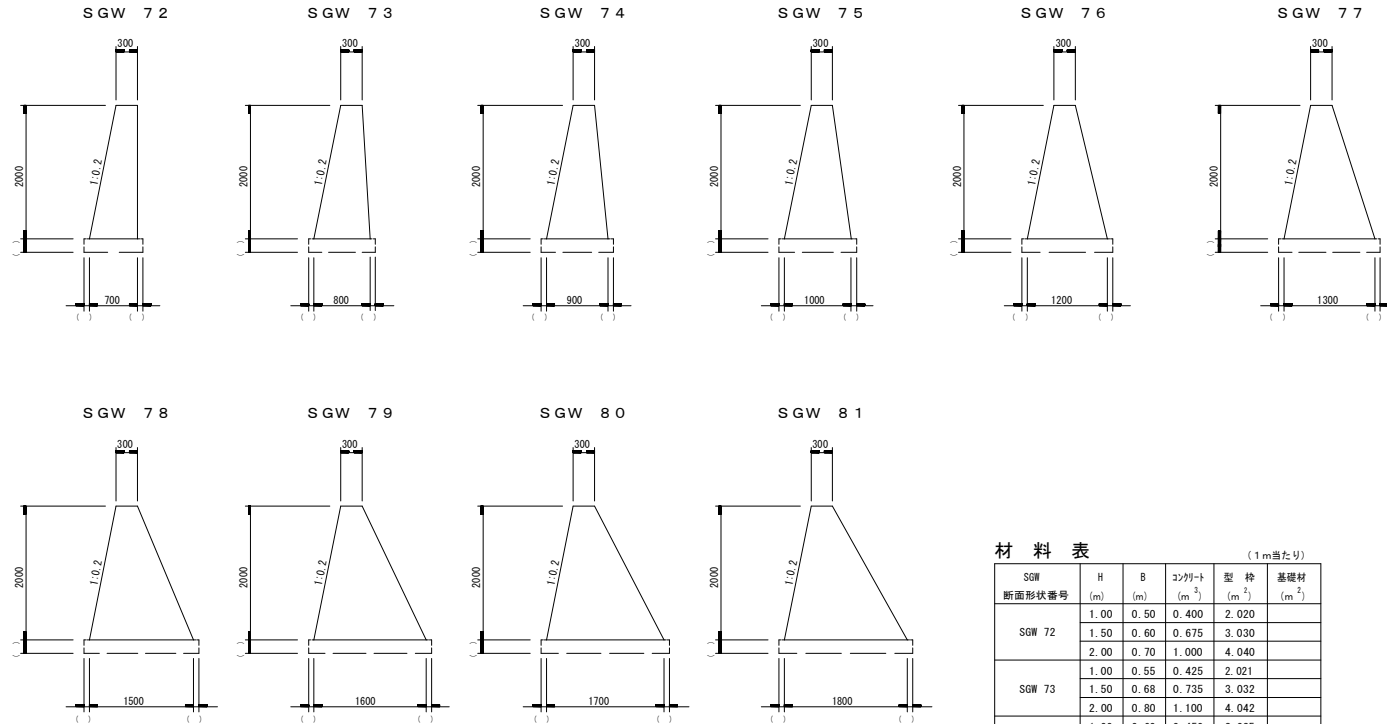
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、壁厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断面図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	Ho	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	Ho/H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
載 荷 重	q	kN/m ²	23
コンクリート設計基準強度	σ _{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	F _s	-	1.5

材 料 表

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
SGW 72	1.00	0.50	0.400	2.020	
	1.50	0.60	0.675	3.030	
	2.00	0.70	1.000	4.040	
SGW 73	1.00	0.55	0.425	2.021	
	1.50	0.68	0.735	3.032	
	2.00	0.80	1.100	4.042	
SGW 74	1.00	0.60	0.450	2.025	
	1.50	0.75	0.788	3.037	
	2.00	0.90	1.200	4.050	
SGW 75	1.00	0.65	0.475	2.031	
	1.50	0.83	0.848	3.047	
	2.00	1.00	1.300	4.062	
SGW 76	1.00	0.75	0.525	2.051	
	1.50	0.98	0.960	3.077	
	2.00	1.20	1.500	4.101	
SGW 77	1.00	0.80	0.550	2.064	
	1.50	1.05	1.013	3.096	
	2.00	1.30	1.600	4.128	
SGW 78	1.00	0.90	0.600	2.097	
	1.50	1.20	1.125	3.145	
	2.00	1.50	1.800	4.194	
SGW 79	1.00	0.95	0.625	2.116	
	1.50	1.28	1.185	3.177	
	2.00	1.60	1.900	4.233	
SGW 80	1.00	1.00	0.650	2.138	
	1.50	1.35	1.238	3.207	
	2.00	1.70	2.000	4.276	
SGW 81	1.00	1.05	0.675	2.161	
	1.50	1.43	1.298	3.244	
	2.00	1.80	2.100	4.322	

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)	Fs 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
2.00	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.700	26.9	8.98	2.64	0.098	71	6	1.80	SGW 72
				0.00	3.50	0.800	30.8	11.20	3.83	0.124	74	3	1.65	SGW 73
				2.0	3.50	1.200	48.9	18.90	7.03	0.144	70	11	1.55	SGW 76
			1.8	1.00	3.50	1.300	55.1	21.80	7.75	0.141	70	15	1.52	SGW 77
				1.5	3.50	1.500	68.8	27.30	8.16	0.119	68	24	1.51	SGW 78
				0.00	0.00	0.900	33.2	11.70	4.47	0.135	70	4	1.71	SGW 74
		C2	水平	0.00	3.50	1.000	37.7	14.40	5.85	0.155	73	3	1.57	SGW 75
				2.0	3.50	1.600	71.1	28.10	9.28	0.131	66	23	1.52	SGW 79
				1.8	3.50	1.700	79.0	31.30	9.07	0.115	65	28	1.52	SGW 80

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

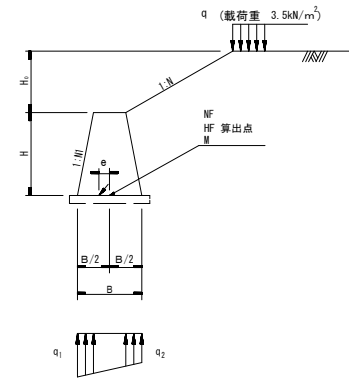
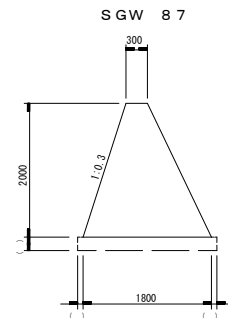
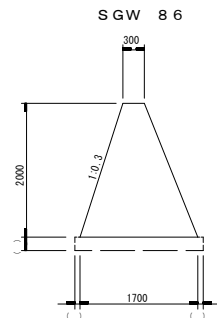
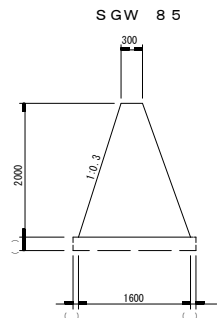
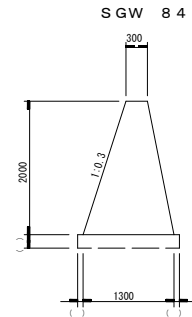
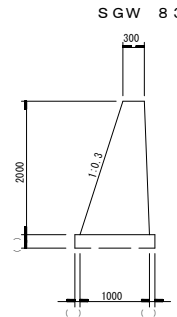
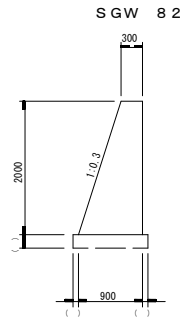
H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)	Fs 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
2.00	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.800	30.0	9.52	3.02	0.101	66	9	1.58	SGW 73
				0.00	3.50	1.000	37.6	12.40	4.57	0.122	65	10	1.52	SGW 75
				2.0	3.50	1.600	68.5	22.70	6.94	0.101	59	27	1.51	SGW 79
			1.8	1.00	3.50	1.800	82.6	26.70	5.92	0.072	57	35	1.55	SGW 81
				0.00	0.00	1.000	36.5	12.20	4.85	0.133	66	7	1.50	SGW 75
				0.00	3.50	1.300	48.7	16.00	6.74	0.138	61	4	1.53	SGW 77

注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ75）を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断面図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	H ₀	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	H ₀ /H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
コンクリート		kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ _{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	F _s	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底幅幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ₁ (kN/m ²)	q ₂ (kN/m ²)		
2.00	0.3	C1	水平	0.00	0.00	0.900	31.5	8.98	0.792	0.025	41	29	2.10	SGW 82
				0.00	3.50	0.900	32.2	10.50	1.530	0.048	47	24	1.83	SGW 82
			2.0	1.00	3.50	1.000	37.2	14.90	3.440	0.092	58	17	1.50	SGW 83
				1.8	1.00	3.50	50.4	19.60	4.620	0.092	55	22	1.54	SGW 84
			1.5	1.00	3.50	1.600	67.9	26.30	4.660	0.069	53	32	1.55	SGW 85
				0.00	0.00	0.900	31.5	10.60	1.890	0.060	49	21	1.78	SGW 82
		C2	0.00	0.00	3.50	0.900	32.2	12.60	2.870	0.089	57	14	1.54	SGW 82
				1.00	3.50	1.700	70.3	27.20	5.710	0.081	53	30	1.55	SGW 86
			1.8	1.00	3.50	1.800	77.9	30.40	5.270	0.068	53	33	1.54	SGW 87
				0.00	0.00	0.900	31.5	8.98	0.792	0.025	41	29	1.75	SGW 82
			2.0	1.00	3.50	1.600	62.9	20.80	3.870	0.061	48	30	1.51	SGW 85
				1.8	1.00	3.50	75.5	24.90	3.020	0.040	48	36	1.52	SGW 87

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底幅幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ₁ (kN/m ²)	q ₂ (kN/m ²)		
2.00	0.3	C1	水平	0.00	0.00	0.900	31.5	8.98	0.792	0.025	41	29	1.75	SGW 82
				0.00	3.50	0.900	32.2	10.50	1.530	0.048	47	24	1.52	SGW 82
			2.0	1.00	3.50	1.600	62.9	20.80	3.870	0.061	48	30	1.51	SGW 85
				1.8	1.00	3.50	75.5	24.90	3.020	0.040	48	36	1.52	SGW 87
		C2	水平	0.00	0.00	1.000	34.6	11.10	2.170	0.063	48	22	1.55	SGW 83
				0.00	3.50	1.300	45.9	14.90	3.810	0.083	49	22	1.54	SGW 84

材 料 表

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ²)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
SGW 82	1.00	0.60	0.450	2.044	
	1.50	0.75	0.788	3.066	
	2.00	0.90	1.200	4.088	
SGW 83	1.00	0.65	0.475	2.045	
	1.50	0.83	0.848	3.068	
	2.00	1.00	1.300	4.091	
SGW 84	1.00	0.80	0.550	2.064	
	1.50	1.05	1.013	3.096	
	2.00	1.30	1.600	4.128	
SGW 85	1.00	0.95	0.625	2.104	
	1.50	1.28	1.185	3.157	
	2.00	1.60	1.900	4.207	
SGW 86	1.00	1.00	0.650	2.121	
	1.50	1.35	1.238	3.182	
	2.00	1.70	2.000	4.242	
SGW 87	1.00	1.05	0.675	2.141	
	1.50	1.43	1.298	3.213	
	2.00	1.80	2.100	4.281	

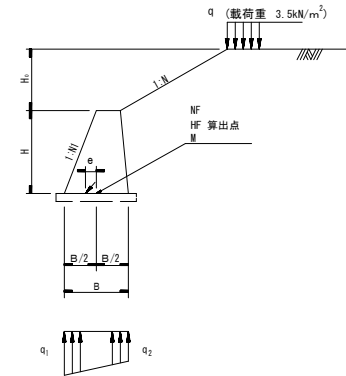
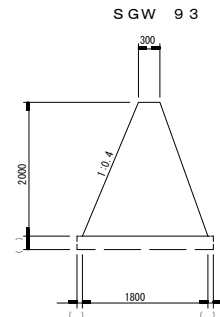
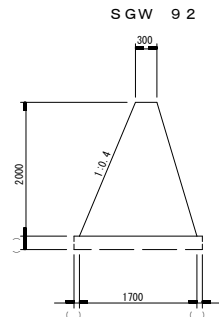
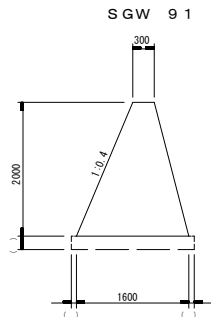
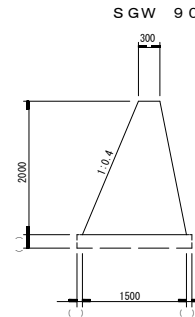
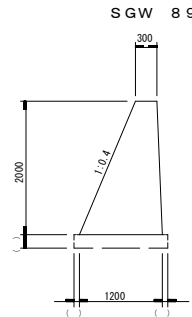
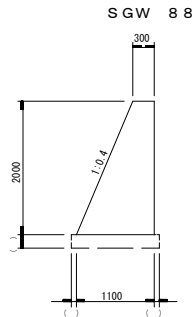
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断面図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	Ho	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	Ho/H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
重 量	コンクリート	kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ_{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	Fs	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

(1m当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底幅幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)		
2.00	0.4	C1	水平	0.00	0.00	1.100	36.1	8.98	-1.360	-0.038	26	40	2.41	SGW 88
				0.00	3.50	1.100	36.8	10.50	-0.684	-0.019	30	37	2.09	SGW 88
			2.0	1.00	3.50	1.100	38.2	13.90	0.751	0.020	38	31	1.65	SGW 88
				1.8	1.00	3.50	1.100	38.7	15.10	1.290	0.033	42	29	1.54
			1.5	1.00	3.50	1.600	62.1	24.10	1.880	0.030	43	34	1.55	SGW 91
				0.00	0.00	1.100	36.1	10.60	-0.261	-0.007	31	34	2.04	SGW 88
		C2	水平	0.00	0.00	1.100	36.8	12.60	0.651	0.018	37	30	1.76	SGW 88
				2.0	1.00	3.50	1.700	64.8	25.20	2.830	0.044	44	32	1.54
			1.8	1.00	3.50	1.800	71.6	28.40	2.530	0.035	44	35	1.51	SGW 93
				0.00	0.00	1.100	36.1	8.98	-1.360	-0.038	26	40	2.01	SGW 88
			2.0	1.00	3.50	1.500	53.8	17.90	1.080	0.020	39	33	1.50	SGW 90
				1.8	1.00	3.50	1.800	69.3	22.90	0.295	0.004	39	38	1.52

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

(1m当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底幅幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ¹ (kN/m ²)	q ² (kN/m ²)		
2.00	0.4	C1	水平	0.00	0.00	1.100	36.1	8.98	-1.360	-0.038	26	40	2.01	SGW 88
				0.00	3.50	1.100	36.8	10.50	-0.684	-0.019	30	37	1.74	SGW 88
			2.0	1.00	3.50	1.500	53.8	17.90	1.080	0.020	39	33	1.50	SGW 90
				1.8	1.00	3.50	1.800	69.3	22.90	0.295	0.004	39	38	1.52
			1.5	1.00	3.50	1.600	62.1	24.10	1.880	0.030	43	34	1.55	SGW 91
				0.00	0.00	1.100	36.1	10.60	-0.261	-0.007	31	34	1.70	SGW 88
		C2	水平	0.00	0.00	1.100	36.1	10.60	-0.261	-0.007	31	34	1.70	SGW 88
				2.0	1.00	3.50	1.200	40.1	13.20	0.816	0.020	37	30	1.52
			1.8	1.00	3.50	1.800	71.6	28.40	2.530	0.035	44	35	1.51	SGW 93
				0.00	0.00	1.100	36.1	8.98	-1.360	-0.038	26	40	2.01	SGW 88
			2.0	1.00	3.50	1.500	53.8	17.90	1.080	0.020	39	33	1.50	SGW 90
				1.8	1.00	3.50	1.800	69.3	22.90	0.295	0.004	39	38	1.52

材 料 表

(1m当たり)

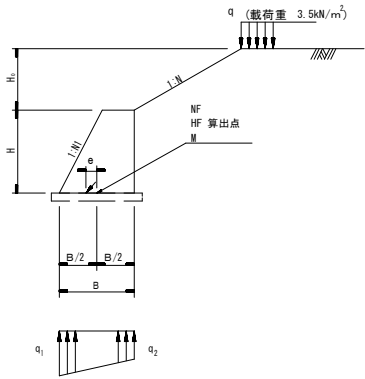
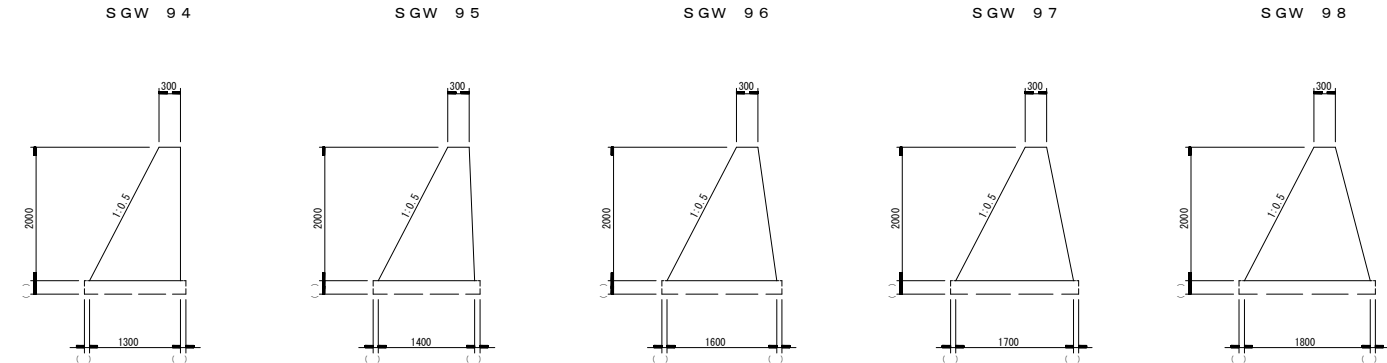
SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
SGW 88	1.00	0.70	0.500	2.077	
	1.50	0.90	0.900	3.116	
	2.00	1.10	1.400	4.154	
SGW 89	1.00	0.75	0.525	2.078	
	1.50	0.98	0.960	3.118	
	2.00	1.20	1.500	4.157	
SGW 90	1.00	0.90	0.600	2.097	
	1.50	1.20	1.125	3.145	
	2.00	1.50	1.800	4.194	
SGW 91	1.00	0.95	0.625	2.108	
	1.50	1.28	1.185	3.163	
	2.00	1.60	1.900	4.216	
SGW 92	1.00	1.00	0.650	2.121	
	1.50	1.35	1.238	3.182	
	2.00	1.70	2.000	4.242	
SGW 93	1.00	1.05	0.675	2.137	
	1.50	1.43	1.298	3.206	
	2.00	1.80	2.100	4.273	

注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断面図



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	H ₀	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	H ₀ /H	-	
単位体積重量	土 砂	kN/m ³	
コンクリート		kN/m ³	23
載 荷 重	q	kN/m ²	
コンクリート設計基準強度	σ _{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	F _s	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	H ₀ /H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q ₁ (kN/m ²)	q ₂ (kN/m ²)		
2.00	0.5	C1	水平	0.00	0.00	1.300	40.7	8.98	-3.820	-0.094	18	45	2.72	SGW 94
				0.00	3.50	1.300	41.4	10.5	-3.210	-0.078	20	43	2.35	SGW 94
			2.0	1.00	3.50	1.300	42.8	13.9	-1.920	-0.045	26	40	1.85	SGW 94
				1.8	1.00	3.50	1.300	43.3	15.1	-1.440	-0.033	28	38	1.72
			1.5	1.00	3.50	1.400	48.6	19.4	-0.337	-0.007	34	36	1.51	SGW 95
				0.00	0.00	1.300	40.7	10.6	-2.720	-0.067	22	41	2.30	SGW 94
		C2	水平	0.00	3.50	1.300	41.4	12.6	-1.880	-0.045	25	38	1.97	SGW 94
				2.0	1.00	3.50	1.600	55.7	22.0	0.397	0.007	36	34	1.52
			1.8	1.00	3.50	1.800	66.1	26.4	-0.082	-0.001	37	37	1.50	SGW 98
				0.00	0.00	1.300	40.7	10.6	-2.720	-0.067	22	41	2.30	SGW 94
			2.0	1.00	3.50	1.300	42.8	13.9	-1.920	-0.045	26	40	1.85	SGW 94
				1.8	1.00	3.50	1.700	59.6	19.6	-1.930	-0.032	31	39	1.52

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土の種類	N 盛土勾配	H0/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m ²)	B 底幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		F _s 滑 動 安全率	SGW 断面形 状番号
											q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
2.00	0.5	C1	水平	0.00	0.00	1.300	40.7	8.98	-3.820	-0.094	18	45	2.27	SGW 94
				0.00	3.50	1.300	41.4	10.5	-3.210	-0.078	20	43	1.96	SGW 94
			2.0	1.00	3.50	1.300	42.8	13.9	-1.920	-0.045	26	40	1.54	SGW 94
				1.8	1.00	3.50	1.700	59.6	19.6	-1.930	-0.032	31	39	1.52
		C2	水平	0.00	0.00	1.300	40.7	10.6	-2.720	-0.067	22	41	1.92	SGW 94
				0.00	3.50	1.300	41.4	12.6	-1.880	-0.045	25	38	1.65	SGW 94

材 料 表

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
SGW 94	1.00	0.80	0.550	2.118	
	1.50	1.05	1.013	3.177	
	2.00	1.30	1.600	4.236	
SGW 95	1.00	0.85	0.575	2.119	
	1.50	1.13	1.073	3.179	
	2.00	1.40	1.700	4.239	
SGW 96	1.00	0.95	0.625	2.129	
	1.50	1.28	1.185	3.195	
	2.00	1.60	1.900	4.258	
SGW 97	1.00	1.00	0.650	2.138	
	1.50	1.35	1.238	3.207	
	2.00	1.70	2.000	4.276	
SGW 98	1.00	1.05	0.675	2.149	
	1.50	1.43	1.298	3.224	
	2.00	1.80	2.100	4.298	

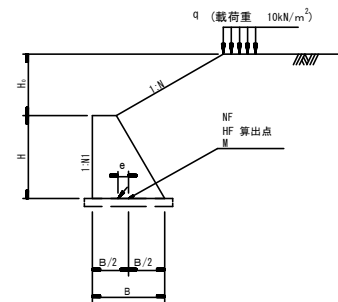
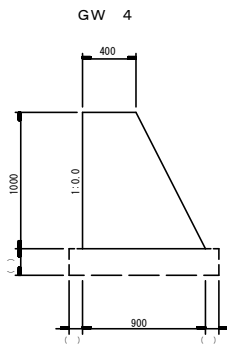
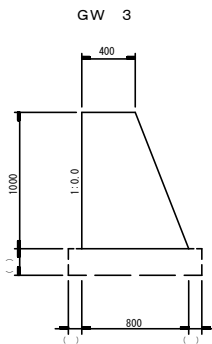
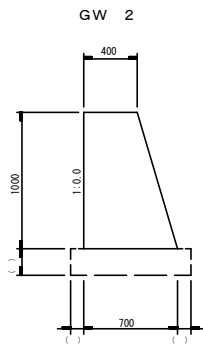
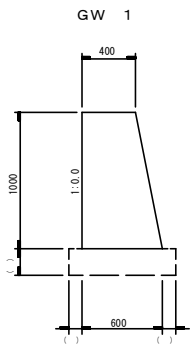
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、壁厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断面図



数値表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土の 種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑動 安全率	GW 断面形 状番号	
										q1	q2			
										(kN/m ²)	(kN/m ²)			
1.00	0.0	C1	水平	0.00	0.600	15.3	5.52	1.49	0.097	50	1	1.67	GW 1	
				0.25	0.600	15.2	5.38	1.46	0.096	50	1	1.70	GW 1	
				0.50	0.600	15.0	5.12	1.42	0.094	49	1	1.76	GW 1	
				0.75	0.600	14.8	4.80	1.36	0.092	47	2	1.85	GW 1	
			2.0	1.00	0.600	14.6	4.47	1.31	0.090	46	3	1.96	GW 1	
				0.25	0.600	15.3	5.57	1.50	0.097	51	1	1.65	GW 1	
				0.50	0.600	15.3	5.51	1.48	0.097	50	1	1.67	GW 1	
				0.75	0.600	15.2	5.37	1.46	0.096	50	1	1.70	GW 1	
			1.8	1.00	0.600	15.1	5.18	1.43	0.095	49	1	1.75	GW 1	
				0.25	0.600	15.6	5.87	1.55	0.099	52	0	1.59	GW 1	
				0.50	0.700	18.3	6.69	1.69	0.092	47	5	1.64	GW 2	
				0.75	0.700	18.5	6.91	1.71	0.093	47	5	1.60	GW 2	
			1.5	1.00	0.700	18.6	7.07	1.73	0.093	48	5	1.58	GW 2	
				0.00	0.700	17.8	6.91	1.88	0.106	48	2	1.54	GW 2	
				0.25	0.700	17.9	7.00	1.89	0.106	49	2	1.53	GW 2	
		0.50		0.700	17.9	7.01	1.89	0.106	49	2	1.53	GW 2		
		C2	2.0	0.75	0.700	17.8	6.95	1.88	0.106	49	2	1.54	GW 2	
				1.00	0.700	17.8	6.86	1.87	0.105	48	2	1.55	GW 2	
				0.25	0.800	20.7	7.67	1.95	0.095	44	7	1.62	GW 3	
				0.50	0.800	20.9	7.94	1.98	0.095	45	8	1.58	GW 3	
			1.8	0.75	0.800	21.1	8.14	2.00	0.095	45	8	1.55	GW 3	
				1.00	0.800	21.2	8.29	2.01	0.095	45	8	1.54	GW 3	
			C3	水平	0.00	0.900	23.1	8.65	2.21	0.096	42	9	1.60	GW 4
					0.25	0.900	23.5	9.09	2.24	0.095	43	10	1.55	GW 4
				2.0	0.50	0.900	23.9	9.48	2.26	0.095	43	10	1.51	GW 4

数値表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土の 種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1	q2		
										(kN/m ²)	(kN/m ²)		
1.00	0.0	C1	水平	0.00	0.800	20.2	6.33	1.64	0.081	41	10	1.59	GW 3
				0.25	0.800	20.2	6.35	1.64	0.081	41	10	1.59	GW 3
				0.50	0.800	20.0	6.20	1.63	0.081	40	10	1.61	GW 3
			2.0	0.75	0.800	19.8	5.95	1.62	0.082	40	10	1.66	GW 3
				1.00	0.800	19.5	5.63	1.59	0.082	39	9	1.73	GW 3
				0.25	0.800	20.4	6.55	1.65	0.081	41	10	1.56	GW 3
		C2	1.8	0.50	0.800	20.4	6.60	1.66	0.081	41	10	1.55	GW 3
				0.75	0.800	20.4	6.54	1.65	0.081	41	10	1.56	GW 3
				1.00	0.800	20.2	6.41	1.65	0.081	41	10	1.58	GW 3
			1.5	0.25	0.800	20.7	6.84	1.67	0.081	42	10	1.51	GW 3
				0.50	0.900	24.1	7.67	1.61	0.067	39	15	1.57	GW 4
				0.75	0.900	24.5	8.01	1.60	0.066	39	15	1.53	GW 4
			水平	0.00	0.900	23.0	7.59	1.89	0.082	39	12	1.51	GW 4

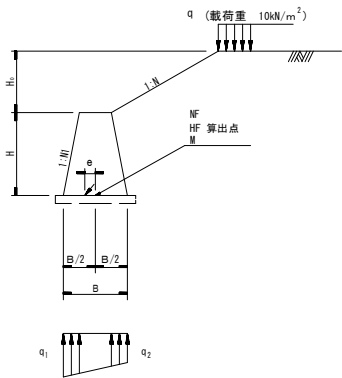
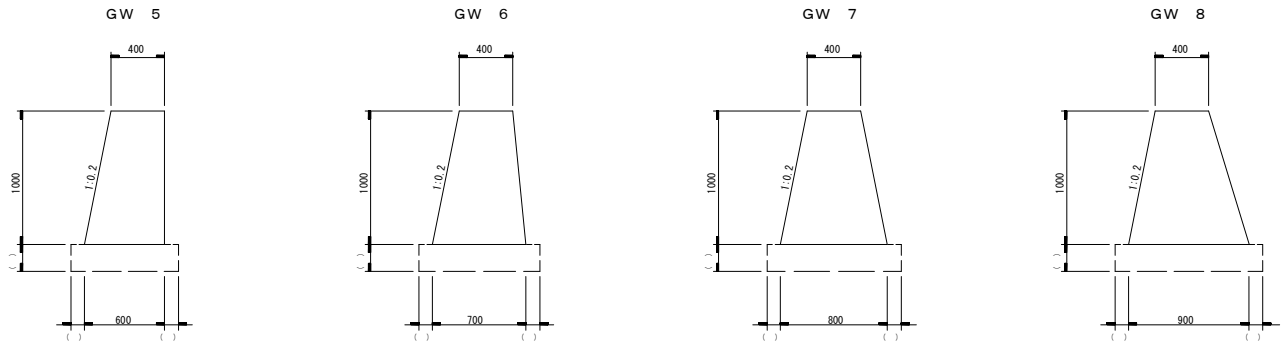
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ75）を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断 面 図



数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (mm)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	GW 断面形 状番号	
										q1	q2			
										(kN/m ²)	(kN/m ²)			
1.00	0.2	C1	2.0	水平	0.00	0.600	13.4	4.49	0.379	0.028	29	16	1.80	GW 5
				0.25	0.600	13.3	4.26	0.332	0.025	28	17	1.88	GW 5	
				0.50	0.600	13.2	3.96	0.271	0.021	27	17	2.00	GW 5	
				0.75	0.600	13.1	3.63	0.203	0.016	25	18	2.16	GW 5	
			1.8	1.00	0.600	13.0	3.47	0.171	0.013	25	19	2.25	GW 5	
				0.25	0.600	13.4	4.44	0.369	0.027	29	16	1.81	GW 5	
				0.50	0.600	13.4	4.32	0.343	0.026	28	17	1.86	GW 5	
				0.75	0.600	13.3	4.14	0.307	0.023	27	17	1.93	GW 5	
			1.5	1.00	0.600	13.2	3.94	0.266	0.020	26	18	2.01	GW 5	
				0.25	0.600	13.5	4.72	0.426	0.031	30	15	1.72	GW 5	
				0.50	0.600	13.6	4.88	0.458	0.034	30	15	1.67	GW 5	
				0.75	0.600	13.7	4.99	0.480	0.035	31	15	1.64	GW 5	
		C2	2.0	1.00	0.600	13.7	5.05	0.494	0.036	31	15	1.62	GW 5	
				水平	0.00	0.700	15.5	5.98	0.795	0.051	32	12	1.56	GW 6
				0.25	0.700	15.5	5.95	0.789	0.051	32	13	1.56	GW 6	
				0.50	0.700	15.5	5.88	0.776	0.050	32	13	1.58	GW 6	
			1.8	0.75	0.700	15.4	5.77	0.757	0.049	31	13	1.60	GW 6	
				1.00	0.700	15.4	5.64	0.733	0.048	31	13	1.63	GW 6	
				0.25	0.700	15.6	6.16	0.827	0.053	32	12	1.52	GW 6	
				0.50	0.800	18.0	6.87	0.898	0.050	31	14	1.57	GW 7	
			1.5	0.75	0.800	18.1	6.99	0.913	0.051	31	14	1.55	GW 7	
				1.00	0.800	18.1	7.07	0.923	0.051	31	14	1.54	GW 7	
				0.00	0.900	20.2	7.99	1.15	0.057	31	14	1.52	GW 8	

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	GW 断面形 状番号	
										q1	q2			
										kN/m^2	kN/m^2			
1.00	0.2	C1	2.0	水平	0.00	0.700	15.4	5.02	0.503	0.033	28	16	1.54	GW 6
				0.25	0.700	15.3	4.83	0.473	0.031	28	16	1.59	GW 6	
				0.50	0.700	15.2	4.54	0.428	0.028	27	16	1.67	GW 6	
				0.75	0.700	15.0	4.21	0.376	0.025	26	17	1.78	GW 6	
			1.8	1.00	0.700	14.9	3.97	0.338	0.023	25	17	1.87	GW 6	
				0.25	0.700	15.4	5.02	0.503	0.033	28	16	1.54	GW 6	
				0.50	0.700	15.4	4.91	0.486	0.032	28	16	1.56	GW 6	
				0.75	0.700	15.3	4.75	0.461	0.030	27	16	1.61	GW 6	
			1.5	1.00	0.700	15.2	4.55	0.430	0.028	27	16	1.67	GW 6	
				0.25	0.800	17.9	5.87	0.605	0.034	28	17	1.52	GW 7	
				0.50	0.900	20.6	6.69	0.589	0.029	27	18	1.54	GW 8	
				0.75	0.900	20.8	6.91	0.598	0.029	27	19	1.50	GW 8	

材 料 表

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
GW 5	1.00	0.60	0.500	2.020	
GW 6	1.00	0.70	0.550	2.025	
GW 7	1.00	0.80	0.600	2.040	
GW 8	1.00	0.90	0.650	2.064	

設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	Ho	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	Ho/H	-	
単位体積	土 砂	kN/m ³	
重 量	コンクリート	kN/m ³	23
コンクリート設計基準強度	σ_{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	Fs	-	1.5

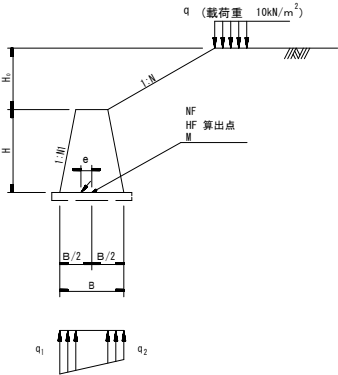
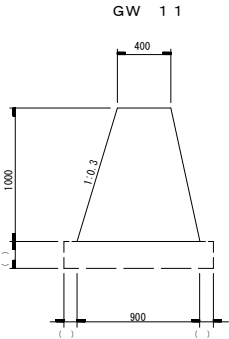
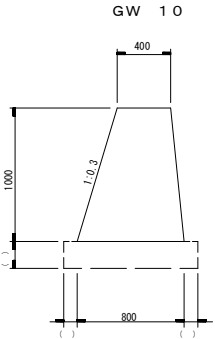
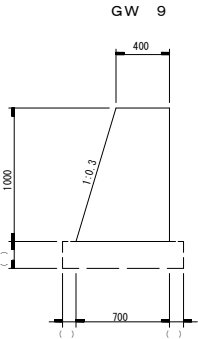
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ75）を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断 面 図



数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (mm)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	GW 断面形 状番号		
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)				
1.00	0.3	C1	2.0	水平	0.00	0.700	14.6	4.49	-0.044	-0.003	20	21	1.95	GW 9	
				0.25	0.700	14.5	4.26	-0.086	-0.006	20	22	2.04	GW 9		
				0.50	0.700	14.4	3.96	-0.140	-0.010	19	22	2.17	GW 9		
			0.75	0.700	14.2	3.63	-0.201	-0.014	18	23	2.35	GW 9			
			1.00	0.700	14.1	3.47	-0.229	-0.016	17	23	2.44	GW 9			
			1.8	0.25	0.700	14.6	4.44	-0.053	-0.004	20	21	1.97	GW 9		
				0.50	0.700	14.5	4.32	-0.076	-0.005	20	22	2.02	GW 9		
				0.75	0.700	14.4	4.14	-0.108	-0.007	19	22	2.09	GW 9		
			1.00	0.700	14.3	3.94	-0.145	-0.010	19	22	2.19	GW 9			
			1.5	0.25	0.700	14.7	4.72	-0.002	0.000	21	21	1.87	GW 9		
				0.50	0.700	14.8	4.88	0.027	0.002	21	21	1.81	GW 9		
				0.75	0.700	14.8	4.99	0.047	0.003	22	21	1.78	GW 9		
			1.00	0.700	14.8	5.05	0.059	0.004	22	20	1.76	GW 9			
			C2	2.0	水平	0.00	0.700	14.6	5.45	0.259	0.018	24	18	1.61	GW 9
					0.25	0.700	14.6	5.39	0.247	0.017	24	18	1.63	GW 9	
		0.50			0.700	14.6	5.29	0.227	0.016	24	18	1.65	GW 9		
		1.8		0.75	0.700	14.5	5.17	0.202	0.014	23	18	1.69	GW 9		
				1.00	0.700	14.5	5.03	0.174	0.012	23	19	1.73	GW 9		
				0.25	0.700	14.7	5.58	0.288	0.020	24	17	1.58	GW 9		
				0.50	0.700	14.7	5.68	0.307	0.021	25	17	1.55	GW 9		
				0.75	0.700	14.7	5.74	0.321	0.022	25	17	1.54	GW 9		
		C3	2.0	水平	0.00	0.700	14.8	5.78	0.329	0.022	25	17	1.53	GW 9	
				0.00	0.900	19.0	7.57	0.656	0.035	26	16	1.50	GW 11		

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (mm)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kNm)	e 偏心距離 (mm)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	GW 断面形 状番号	
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)			
1.00	0.3	C1	2.0	水平	0.00	0.700	14.6	4.49	-0.044	-0.003	20	21	1.62	GW 9
				0.25	0.700	14.5	4.26	-0.086	-0.006	20	22	1.70	GW 9	
				0.50	0.700	14.4	3.96	-0.140	-0.010	19	22	1.81	GW 9	
			0.75	0.700	14.2	3.63	-0.201	-0.014	18	23	1.96	GW 9		
			1.00	0.700	14.1	3.47	-0.229	-0.016	17	23	2.04	GW 9		
			1.8	0.25	0.700	14.6	4.44	-0.053	-0.004	20	21	1.64	GW 9	
				0.50	0.700	14.5	4.32	-0.076	-0.005	20	22	1.68	GW 9	
				0.75	0.700	14.4	4.14	-0.108	-0.007	19	22	1.74	GW 9	
			1.00	0.700	14.3	3.94	-0.145	-0.010	19	22	1.82	GW 9		
		1.5	0.25	0.700	14.7	4.72	-0.002	0.000	21	21	1.56	GW 9		
			0.50	0.700	14.8	4.88	0.027	0.002	21	21	1.51	GW 9		
			0.75	0.800	16.9	5.64	0.119	0.007	22	20	1.50	GW 10		
			1.00	0.900	19.4	6.41	0.113	0.006	22	21	1.51	GW 11		

材 料 表

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
GW 9	1.00	0.70	0.550	2.044	
GW 10	1.00	0.80	0.600	2.049	
GW 11	1.00	0.90	0.650	2.064	

設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	Ho	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	Ho/H	-	
単位体積	土 砂	kN/m ³	
重 量	コンクリート	kN/m ³	23
コンクリート設計基準強度	σ_{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	Fs	-	1.5

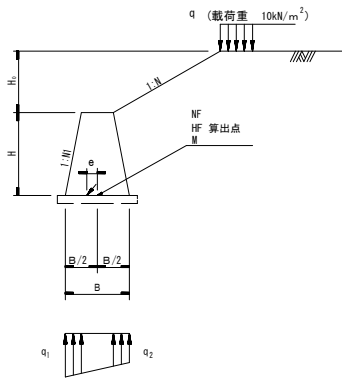
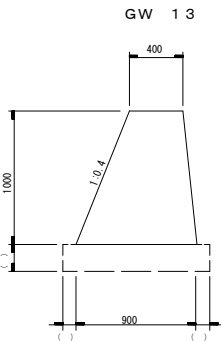
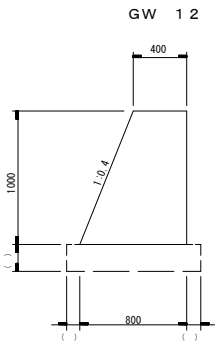
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ75）を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断面図



数値表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑動 安全率	GW 断面形 状番号	
										q1	q2			
										(kN/m ²)	(kN/m ²)			
1.00	0.4	C1	2.0	水平	0.00	0.800	15.7	4.49	-0.505	-0.032	15	24	2.10	GW 12
				0.25	0.800	15.6	4.26	-0.542	-0.035	14	25	2.20	GW 12	
				0.50	0.800	15.5	3.96	-0.590	-0.038	14	25	2.35	GW 12	
				0.75	0.800	15.4	3.63	-0.643	-0.042	13	25	2.54	GW 12	
				1.00	0.800	15.3	3.47	-0.668	-0.044	13	25	2.64	GW 12	
			1.8	0.25	0.800	15.7	4.44	-0.513	-0.033	15	24	2.12	GW 12	
				0.50	0.800	15.7	4.32	-0.533	-0.034	15	25	2.18	GW 12	
				0.75	0.800	15.6	4.14	-0.561	-0.036	14	25	2.26	GW 12	
				1.00	0.800	15.5	3.94	-0.594	-0.038	14	25	2.36	GW 12	
			1.5	0.25	0.800	15.8	4.72	-0.468	-0.030	15	24	2.01	GW 12	
				0.50	0.800	15.9	4.88	-0.442	-0.028	16	24	1.96	GW 12	
				0.75	0.800	16.0	4.99	-0.425	-0.027	16	24	1.92	GW 12	
				1.00	0.800	16.0	5.05	-0.414	-0.026	16	24	1.90	GW 12	
		C2	2.0	水平	0.00	0.800	15.8	5.45	-0.204	-0.013	18	22	1.74	GW 12
				0.25	0.800	15.8	5.39	-0.216	-0.014	18	22	1.76	GW 12	
				0.50	0.800	15.7	5.29	-0.233	-0.015	17	22	1.78	GW 12	
				0.75	0.800	15.7	5.17	-0.256	-0.016	17	22	1.82	GW 12	
				1.00	0.800	15.6	5.03	-0.282	-0.018	17	22	1.86	GW 12	
			1.8	0.25	0.800	15.8	5.58	-0.178	-0.011	18	21	1.70	GW 12	
				0.50	0.800	15.9	5.68	-0.160	-0.010	18	21	1.68	GW 12	
				0.75	0.800	15.9	5.74	-0.148	-0.009	18	21	1.66	GW 12	
				1.00	0.800	15.9	5.78	-0.141	-0.009	19	21	1.65	GW 12	
			C3	水平	0.00	0.900	17.9	7.09	0.170	0.010	21	19	1.51	GW 13

数値表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
1.00	0.4	C1	水平	0.00	0.800	15.7	4.49	-0.505	-0.032	15	24	1.75	GW 12
			2.0	0.25	0.800	15.6	4.26	-0.542	-0.035	14	25	1.84	GW 12
				0.50	0.800	15.5	3.96	-0.590	-0.038	14	25	1.96	GW 12
				0.75	0.800	15.4	3.63	-0.643	-0.042	13	25	2.12	GW 12
				1.00	0.800	15.3	3.47	-0.668	-0.044	13	25	2.20	GW 12
			1.8	0.25	0.800	15.7	4.44	-0.513	-0.033	15	24	1.77	GW 12
				0.50	0.800	15.7	4.32	-0.533	-0.034	15	25	1.81	GW 12
				0.75	0.800	15.6	4.14	-0.561	-0.036	14	25	1.88	GW 12
				1.00	0.800	15.5	3.94	-0.594	-0.038	14	25	1.97	GW 12
			1.5	0.25	0.800	15.8	4.72	-0.468	-0.030	15	24	1.68	GW 12
				0.50	0.800	15.9	4.88	-0.442	-0.028	16	24	1.63	GW 12
				0.75	0.800	16.0	4.98	-0.425	-0.027	16	24	1.60	GW 12
				1.00	0.800	16.0	5.05	-0.414	-0.026	16	24	1.58	GW 12

設計条件

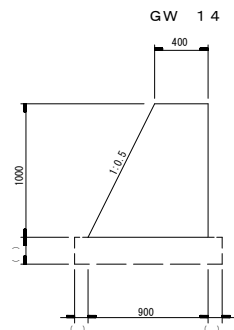
項	目	記号	単位	数値
擁壁高		H	m	
盛土高		Ho	m	
表込め土の種類		C	-	
盛土勾配		1:N	-	
高さ比		Ho/H	-	
単位体積重量	土砂		kN/m ³	
コンクリート設計基準強度		σ_{ck}	N/mm ²	23
滑動摩擦係数		μ	-	18
滑動安全率		Fs	-	1.5

注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1 mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10 m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5 m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ75）を壁面3 m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

断 面 図



場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

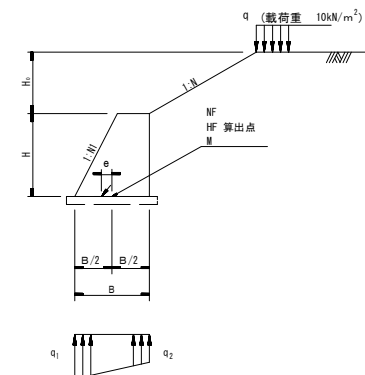
(1 m 当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
1.00	0.5	C1	水平	0.00	0.900	16.9	4.49	-1.000	-0.059	11	26	2.26	GW 14
			2.0	0.25	0.900	16.8	4.26	-1.040	-0.062	11	26	2.37	GW 14
				0.50	0.900	16.7	3.96	-1.080	-0.065	11	26	2.52	GW 14
				0.75	0.900	16.5	3.63	-1.120	-0.068	10	27	2.73	GW 14
				1.00	0.900	16.4	3.47	-1.150	-0.070	10	27	2.84	GW 14
			1.8	0.25	0.900	16.9	4.44	-1.010	-0.060	11	26	2.28	GW 14
				0.50	0.900	16.8	4.32	-1.030	-0.061	11	26	2.34	GW 14
				0.75	0.900	16.7	4.14	-1.050	-0.063	11	26	2.43	GW 14
				1.00	0.900	16.6	3.94	-1.080	-0.065	10	27	2.54	GW 14
			1.5	0.25	0.900	17.0	4.72	-0.972	-0.057	12	26	2.16	GW 14
				0.50	0.900	17.1	4.88	-0.950	-0.056	12	26	2.10	GW 14
				0.75	0.900	17.1	4.99	-0.935	-0.055	12	26	2.06	GW 14
				1.00	0.900	17.1	5.05	-0.926	-0.054	12	26	2.03	GW 14
		C2	水平	0.00	0.900	16.9	5.45	-0.705	-0.042	14	24	1.86	GW 14
			2.0	0.25	0.900	16.9	5.39	-0.716	-0.042	13	24	1.88	GW 14
				0.50	0.900	16.9	5.29	-0.732	-0.043	13	24	1.91	GW 14
				0.75	0.900	16.8	5.17	-0.753	-0.045	13	24	1.95	GW 14
				1.00	0.900	16.8	5.03	-0.776	-0.046	13	24	2.00	GW 14
			1.8	0.25	0.900	17.0	5.58	-0.682	-0.040	14	24	1.82	GW 14
				0.50	0.900	17.0	5.68	-0.666	-0.039	14	24	1.80	GW 14
				0.75	0.900	17.0	5.74	-0.655	-0.038	14	24	1.78	GW 14
				1.00	0.900	17.1	5.78	-0.649	-0.038	14	24	1.77	GW 14
		C3	水平	0.00	0.900	16.9	6.57	-0.325	-0.019	16	21	1.55	GW 14
			2.0	0.25	0.900	17.0	6.72	-0.294	-0.017	17	21	1.51	GW 14

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

(1 m 当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
1.00	0.5	C1	水平	0.00	0.900	16.9	4.49	-1.000	-0.059	11	26	1.88	GW 14
			2.0	0.25	0.900	16.8	4.26	-1.040	-0.062	11	26	1.97	GW 14
				0.50	0.900	16.7	3.96	-1.080	-0.065	11	26	2.10	GW 14
				0.75	0.900	16.5	3.63	-1.120	-0.068	10	27	2.28	GW 14
				1.00	0.900	16.4	3.47	-1.150	-0.070	10	27	2.37	GW 14
			1.8	0.25	0.900	16.9	4.44	-1.010	-0.060	11	26	1.90	GW 14
				0.50	0.900	16.8	4.32	-1.030	-0.061	11	26	1.95	GW 14
				0.75	0.900	16.7	4.14	-1.050	-0.063	11	26	2.02	GW 14
				1.00	0.900	16.6	3.94	-1.080	-0.065	10	27	2.12	GW 14
		1.5	0.25	0.900	17.0	4.72	-0.972	-0.057	-0.057	12	26	1.80	GW 14
			1.5	0.50	0.900	17.1	4.88	-0.950	-0.056	12	26	1.75	GW 14
				0.75	0.900	17.1	4.99	-0.935	-0.055	12	26	1.71	GW 14
				1.00	0.900	17.1	5.05	-0.926	-0.054	12	26	1.70	GW 14
		C2	水平	0.00	0.900	16.9	5.45	-0.705	-0.042	14	24	1.55	GW 14
			2.0	0.25	0.900	16.9	5.39	-0.716	-0.042	13	24	1.57	GW 14
				0.50	0.900	16.9	5.29	-0.732	-0.043	13	24	1.59	GW 14
				0.75	0.900	16.8	5.17	-0.753	-0.045	13	24	1.63	GW 14
				1.00	0.900	16.8	5.03	-0.776	-0.046	13	24	1.67	GW 14
			1.8	0.25	0.900	17.0	5.58	-0.682	-0.040	14	24	1.52	GW 14
				0.50	0.900	17.0	5.68	-0.666	-0.039	14	24	1.52	GW 14
				0.75	0.900	17.0	5.74	-0.655	-0.038	14	24	1.52	GW 14



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	Ho	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	Ho/H	-	
単位体積	土 砂	kN/m ³	
重 量	コンクリート	kN/m ³	23
コンクリート設計基準強度	σ_{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	Fs	-	1.5

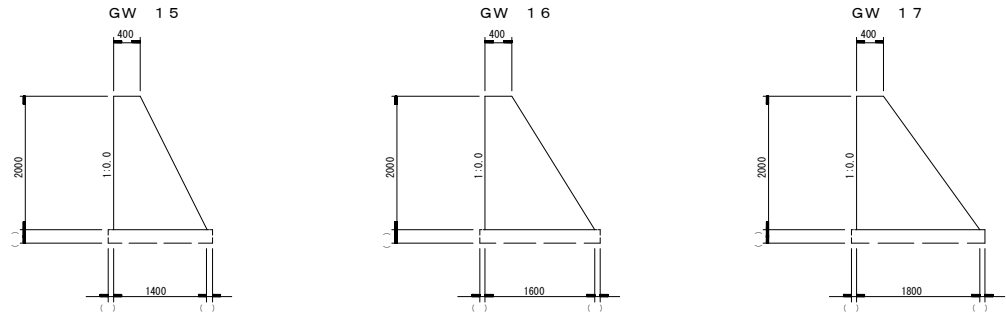
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1 mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10 m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5 m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3 m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断面図

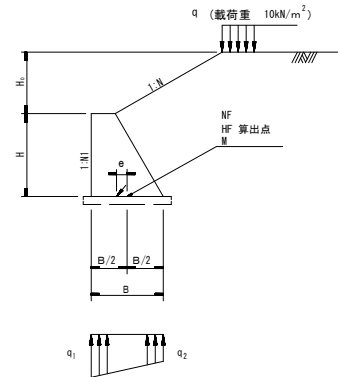


数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	GW 断面形 状番号	
										q1	q2			
										(kN/m ²)	(kN/m ²)			
2.00	0.0	C1	2.0	水平	0.00	1.400	65.0	19.9	13.0	0.200	86	7	1.96	GW 15
					0.25	1.400	68.4	22.7	13.7	0.200	91	7	1.81	GW 15
					0.50	1.400	69.9	24.0	14.0	0.200	93	7	1.75	GW 15
					0.75	1.400	70.3	24.3	14.1	0.200	93	7	1.73	GW 15
					1.00	1.400	69.8	23.9	14.0	0.200	93	7	1.75	GW 15
			1.8	0.25	1.400	68.9	23.2	13.8	0.200	91	7	1.78	GW 15	
				0.50	1.400	71.2	25.1	14.2	0.200	94	7	1.70	GW 15	
				0.75	1.400	72.4	26.1	14.5	0.200	96	7	1.66	GW 15	
				1.00	1.400	72.9	26.5	14.6	0.200	97	7	1.65	GW 15	
				0.25	1.400	69.8	23.9	14.0	0.200	93	7	1.75	GW 15	
			1.5	0.50	1.400	73.3	26.8	14.6	0.200	97	8	1.64	GW 15	
				0.75	1.400	75.8	29.0	15.1	0.200	101	8	1.57	GW 15	
				1.00	1.400	77.8	30.6	15.5	0.200	103	8	1.52	GW 15	
		C2	2.0	水平	0.00	1.400	65.2	22.6	14.7	0.226	92	1	1.73	GW 15
					0.25	1.400	68.9	26.0	15.7	0.228	97	1	1.59	GW 15
					0.50	1.400	71.1	28.1	16.3	0.229	101	1	1.52	GW 15
					0.75	1.600	84.2	31.0	16.4	0.195	91	14	1.63	GW 16
					1.00	1.600	85.3	31.8	16.6	0.194	92	14	1.61	GW 16
			1.8	0.25	1.400	69.4	26.5	15.8	0.228	98	1	1.57	GW 15	
				0.50	1.600	83.7	30.6	16.3	0.195	91	14	1.64	GW 16	
				0.75	1.600	86.5	32.9	16.7	0.193	93	15	1.58	GW 16	
				1.00	1.600	88.6	34.5	17.0	0.192	95	15	1.54	GW 16	
		C3	2.0	水平	0.00	1.600	74.7	26.2	17.0	0.228	87	7	1.71	GW 16
					0.25	1.600	79.6	30.7	18.0	0.227	92	7	1.56	GW 16
					0.50	1.800	95.0	35.1	18.1	0.191	86	19	1.62	GW 17
					0.75	1.800	98.6	38.0	18.5	0.187	89	21	1.56	GW 17
					1.00	1.800	102.0	40.3	18.7	0.184	91	22	1.51	GW 17

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (mm)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
2.00	0.0	C1	水平	0.00	1.400	65.0	19.9	13.0	0.200	86	7	1.63	GW 15
				0.25	1.400	68.4	22.7	13.7	0.200	91	7	1.51	GW 15
				0.50	1.600	81.3	25.3	13.8	0.170	83	18	1.60	GW 16
				0.75	1.600	82.1	25.9	13.9	0.169	84	19	1.58	GW 16
				1.00	1.600	81.9	25.8	13.9	0.169	84	19	1.59	GW 16
			1.8	0.25	1.600	79.6	24.2	13.7	0.172	82	18	1.65	GW 16
				0.50	1.600	82.8	26.4	13.9	0.169	84	19	1.57	GW 16
				0.75	1.600	84.6	27.7	14.1	0.167	86	20	1.53	GW 16
				1.00	1.600	85.5	28.4	14.2	0.166	87	20	1.51	GW 16
			1.5	0.25	1.600	80.6	24.9	13.8	0.171	83	18	1.62	GW 16
				0.50	1.600	85.1	28.1	14.1	0.166	86	20	1.51	GW 16
				0.75	1.800	102.0	31.7	12.8	0.126	80	33	1.61	GW 17
				1.00	1.800	106.0	33.9	12.7	0.121	82	35	1.56	GW 17
		C2	水平	0.00	1.600	74.7	23.2	15.1	0.202	82	11	1.61	GW 16
				0.25	1.800	90.3	27.8	15.3	0.169	78	22	1.62	GW 17
				0.50	1.800	94.2	30.5	15.4	0.164	81	24	1.54	GW 17
				0.75	1.800	91.0	28.3	15.3	0.168	79	22	1.61	GW 17
				0.50	1.800	95.8	31.6	15.5	0.162	82	25	1.51	GW 17
			1.8	0.25	1.800	91.0	28.3	15.3	0.168	79	22	1.61	GW 17
				0.50	1.800	95.8	31.6	15.5	0.162	82	25	1.51	GW 17



設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	Ho	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	Ho/H	-	
単位体積	土 砂	kN/m ³	
重 量	コンクリート	kN/m ³	23
コンクリート設計基準強度	σ_{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	Fs	-	1.5

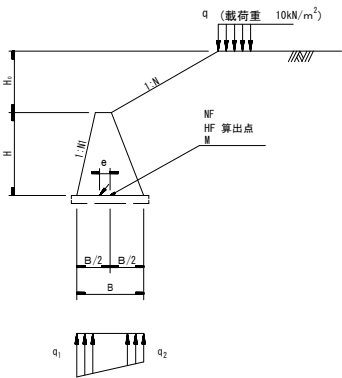
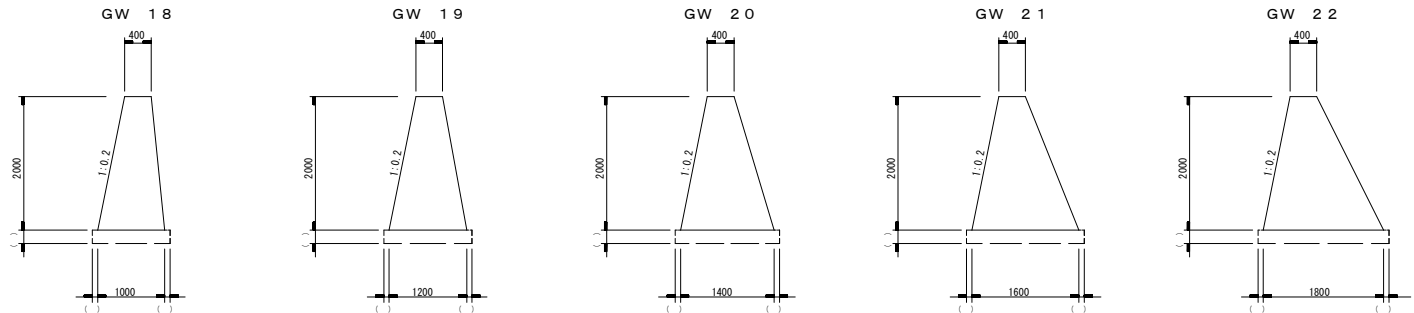
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ75）を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断 面 図



数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土の 種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1	q2		
										(kN/m ²)	(kN/m ²)		
2.00	0.2	C1	水平	0.00	1.000	40.6	15.1	5.04	0.124	71	10	1.62	GW 18
				0.25	1.000	41.3	16.5	5.63	0.136	75	8	1.51	GW 18
				0.50	1.200	49.7	18.7	6.43	0.129	68	15	1.60	GW 19
			2.0	0.75	1.200	49.5	18.3	6.32	0.128	68	15	1.62	GW 19
				1.00	1.200	49.2	17.9	6.16	0.125	67	15	1.65	GW 19
				0.25	1.200	49.8	18.8	6.46	0.130	68	15	1.59	GW 19
			1.8	0.50	1.200	50.5	19.8	6.82	0.135	70	14	1.53	GW 19
				0.75	1.200	50.7	20.1	6.92	0.137	71	13	1.51	GW 19
				1.00	1.200	50.6	20.0	6.87	0.136	71	14	1.52	GW 19
			1.5	0.25	1.200	50.3	19.5	6.72	0.134	70	14	1.55	GW 19
				0.50	1.400	61.1	23.5	7.48	0.122	67	21	1.56	GW 20
				0.75	1.600	73.3	27.2	7.24	0.099	63	29	1.62	GW 21
		C2	水平	0.00	1.600	74.7	28.6	7.42	0.099	64	29	1.57	GW 21
				0.25	1.200	48.5	19.3	7.38	0.152	71	10	1.51	GW 19
				0.25	1.400	58.8	23.3	8.55	0.145	68	16	1.51	GW 20
			2.0	0.50	1.600	69.8	26.6	8.73	0.125	64	23	1.57	GW 21
				0.75	1.600	70.7	27.6	8.92	0.126	65	23	1.54	GW 21
				1.00	1.600	71.1	28.1	9.01	0.127	66	23	1.52	GW 21
			1.8	0.25	1.600	68.6	25.3	8.48	0.124	63	23	1.63	GW 21
				0.50	1.600	70.9	27.8	8.96	0.126	65	23	1.53	GW 21
				0.75	1.800	83.7	31.3	8.11	0.097	62	31	1.60	GW 22
				1.00	1.800	85.2	32.8	8.21	0.096	63	32	1.56	GW 22
		C3	水平	0.00	1.600	65.6	24.6	9.66	0.147	64	18	1.60	GW 21
			2.0	0.25	1.800	78.5	29.7	9.96	0.127	62	25	1.59	GW 22

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土の 種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1	q2		
										(kN/m ²)	(kN/m ²)		
2.00	0.2	C1	水平	0.00	1.400	56.4	17.9	6.10	0.108	59	22	1.58	GW 20
				0.25	1.600	67.5	21.4	6.48	0.096	57	27	1.58	GW 21
				0.50	1.600	68.5	22.4	6.61	0.097	58	27	1.53	GW 21
			2.0	0.75	1.600	68.6	22.5	6.62	0.097	58	27	1.53	GW 21
				1.00	1.600	68.0	21.9	6.55	0.096	58	27	1.55	GW 21
			1.8	0.25	1.600	68.0	21.9	6.55	0.096	58	27	1.55	GW 21
				0.50	1.800	80.4	25.1	5.82	0.072	55	34	1.60	GW 22
				0.75	1.800	81.6	26.1	5.82	0.071	56	35	1.56	GW 22
			1.5	1.00	1.800	82.1	26.5	5.81	0.071	56	35	1.55	GW 22
				0.25	1.600	68.8	22.7	6.65	0.097	59	27	1.52	GW 21
				0.50	1.800	82.5	26.8	5.81	0.070	57	35	1.54	GW 22
		C2	水平	0.00	1.600	65.4	21.7	7.79	0.119	59	23	1.51	GW 21

設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	Ho	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	Ho/H	-	
単位体積	土 砂	kN/m ³	
重 量	コンクリート	kN/m ³	23
コンクリート設計基準強度	σ_{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	Fs	-	1.5

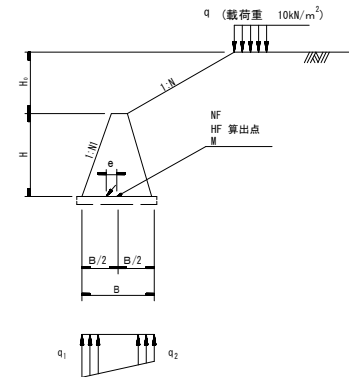
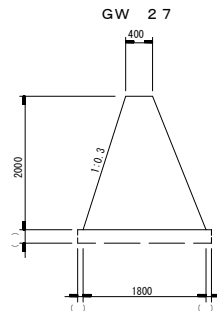
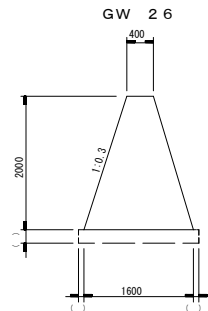
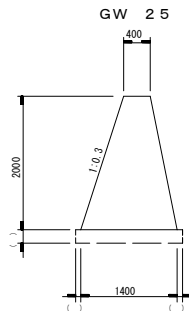
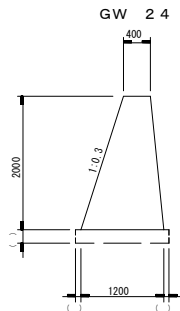
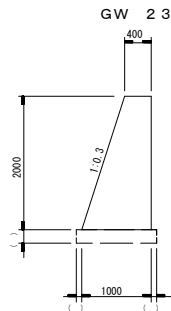
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ75）を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断面図



数値表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

(1m当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
2.00	0.3	C1	水平	0.00	1.000	38.0	13.5	1.93	0.051	50	26	1.69	GW 23
				0.25	1.000	38.5	14.6	2.43	0.063	53	24	1.59	GW 23
				0.50	1.000	38.5	14.6	2.44	0.063	53	24	1.58	GW 23
				0.75	1.000	38.3	14.0	2.19	0.057	51	25	1.64	GW 23
			2.0	1.00	1.000	38.2	13.9	2.12	0.056	51	25	1.65	GW 23
				0.25	1.000	38.7	15.0	2.64	0.068	55	23	1.54	GW 23
				0.50	1.200	46.6	17.7	3.50	0.075	53	24	1.58	GW 24
				0.75	1.200	46.7	17.9	3.56	0.076	54	24	1.57	GW 24
			1.8	1.00	1.200	46.6	17.6	3.46	0.074	53	24	1.59	GW 24
				0.25	1.200	46.6	17.7	3.48	0.075	53	24	1.58	GW 24
				0.50	1.400	56.3	21.5	4.24	0.075	53	27	1.57	GW 25
				0.75	1.600	67.1	25.2	4.09	0.061	52	32	1.60	GW 26
		C2	水平	1.00	1.600	68.1	26.3	4.28	0.063	53	33	1.55	GW 26
				0.00	1.200	45.4	17.8	4.23	0.093	55	20	1.53	GW 24
				0.25	1.400	54.6	21.7	5.30	0.097	55	23	1.51	GW 25
				0.50	1.600	64.5	24.9	5.46	0.085	53	28	1.56	GW 26
			2.0	0.75	1.600	65.1	25.6	5.63	0.086	54	28	1.52	GW 26
				1.00	1.600	65.3	26.0	5.70	0.087	54	27	1.51	GW 26
			1.8	0.25	1.600	63.8	23.9	5.24	0.082	52	28	1.60	GW 26
				0.50	1.600	65.4	26.1	5.72	0.087	54	27	1.51	GW 26
				0.75	1.800	77.0	29.5	4.96	0.064	52	34	1.56	GW 27
				1.00	1.800	78.1	30.8	5.08	0.065	53	34	1.52	GW 27
		C3	水平	0.00	1.600	61.5	23.6	6.40	0.104	53	23	1.57	GW 26
				0.25	1.800	73.3	28.5	6.66	0.091	53	28	1.54	GW 27

数値表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

(1m当たり)

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
2.00	0.3	C1	水平	0.00	1.400	52.8	16.6	2.87	0.054	47	29	1.60	GW 25
				0.25	1.600	62.8	20.0	3.24	0.052	47	32	1.57	GW 26
				0.50	1.600	63.3	20.6	3.36	0.053	47	32	1.53	GW 26
				0.75	1.600	63.2	20.5	3.33	0.053	47	32	1.54	GW 26
			2.0	1.00	1.600	62.7	19.9	3.23	0.052	47	32	1.58	GW 26
				0.25	1.600	63.2	20.4	3.32	0.053	47	32	1.55	GW 26
				0.50	1.800	74.3	23.5	2.71	0.036	46	36	1.58	GW 27
				0.75	1.800	75.0	24.3	2.73	0.036	47	37	1.54	GW 27
			1.8	1.00	1.800	75.2	24.5	2.74	0.036	47	37	1.54	GW 27
				0.25	1.600	63.8	21.2	3.45	0.054	48	32	1.51	GW 26
				0.50	1.800	76.0	25.3	2.76	0.036	47	37	1.50	GW 27
				1.00	1.800	70.0	21.7	4.17	0.060	47	31	1.61	GW 27
		C2	水平	0.00	1.800	70.0	21.7	4.17	0.060	47	31	1.61	GW 27

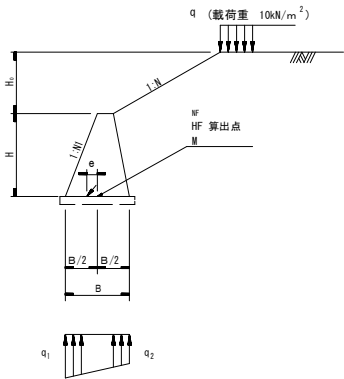
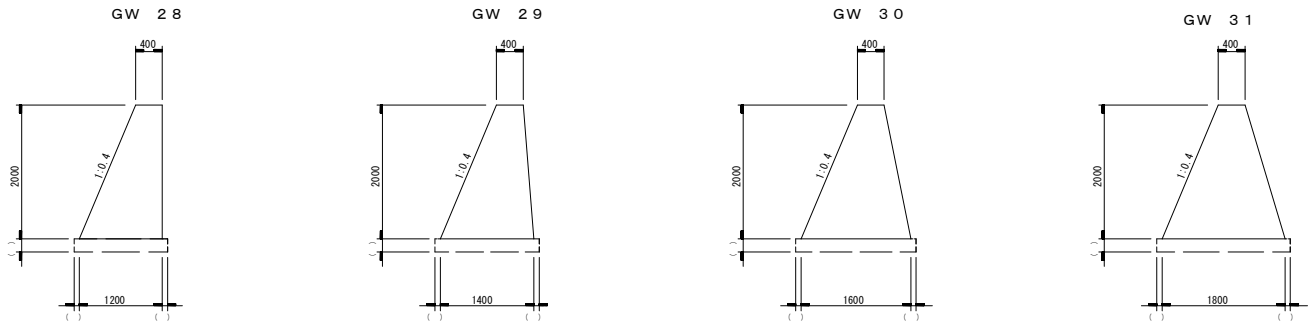
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断 面 図



数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu=0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
2.00	0.4	C1	水平	0.00	1.200	42.6	13.5	-0.642	-0.015	33	38	1.90	GW 28
				0.25	1.200	43.1	14.6	-0.194	-0.005	35	37	1.78	GW 28
				0.50	1.200	43.1	14.6	-0.183	-0.004	35	37	1.77	GW 28
				0.75	1.200	42.9	14.0	-0.412	-0.010	34	37	1.83	GW 28
				1.00	1.200	42.8	13.9	-0.469	-0.011	34	38	1.85	GW 28
				0.25	1.200	43.3	15.0	-0.005	0.000	36	36	1.73	GW 28
			1.8	0.50	1.200	43.5	15.6	0.233	0.005	37	35	1.67	GW 28
				0.75	1.200	43.5	15.6	0.240	0.006	37	35	1.67	GW 28
				1.00	1.200	43.4	15.3	0.101	0.002	37	36	1.70	GW 28
				0.25	1.200	43.6	15.7	0.284	0.007	38	35	1.66	GW 28
				0.50	1.200	44.2	17.2	0.890	0.020	41	33	1.54	GW 28
				0.75	1.400	52.8	20.6	1.430	0.027	42	33	1.54	GW 29
		C2	水平	1.00	1.600	62.5	23.9	1.250	0.020	42	36	1.57	GW 30
				0.00	1.200	42.7	16.2	1.130	0.026	40	31	1.58	GW 28
				0.25	1.400	51.0	19.9	2.150	0.042	43	30	1.54	GW 29
				0.50	1.600	60.0	23.0	2.320	0.039	43	32	1.57	GW 30
				0.75	1.600	60.3	23.6	2.470	0.041	44	32	1.54	GW 30
				1.00	1.600	60.4	23.7	2.520	0.042	44	32	1.53	GW 30
			2.0	0.25	1.400	51.2	20.4	2.330	0.046	44	29	1.50	GW 29
				0.50	1.600	60.7	24.2	2.630	0.043	44	32	1.51	GW 30
				0.75	1.800	71.1	27.6	2.000	0.028	43	36	1.55	GW 31
				1.00	1.800	71.9	28.6	2.160	0.030	44	36	1.51	GW 31
		C3	水平	0.00	1.600	57.9	22.3	3.290	0.057	44	28	1.56	GW 30
				0.25	1.800	68.5	27.2	3.590	0.052	45	31	1.51	GW 31

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu=0.5$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
2.00	0.4	C1	水平	0.00	1.200	42.6	13.5	-0.642	-0.015	33	38	1.58	GW 28
				0.25	1.400	50.5	16.5	0.124	0.002	36	36	1.54	GW 29
				0.50	1.400	50.7	16.7	0.188	0.004	37	36	1.52	GW 29
				0.75	1.400	50.4	16.2	0.038	0.001	36	36	1.56	GW 29
				1.00	1.400	50.2	15.9	-0.058	-0.001	36	36	1.58	GW 29
			1.8	0.25	1.600	59.0	18.8	0.186	0.003	37	36	1.57	GW 30
				0.50	1.600	59.7	19.8	0.399	0.007	38	36	1.51	GW 30
				0.75	1.800	69.3	22.3	-0.242	-0.003	38	39	1.56	GW 31
				1.00	1.800	69.3	22.3	-0.243	-0.003	38	39	1.56	GW 31
			1.5	0.25	1.600	59.5	19.5	0.341	0.006	38	36	1.52	GW 30
				0.00	1.800	65.9	20.6	0.987	0.015	38	35	1.60	GW 31
		C2	水平	0.00	1.800	65.9	20.6	0.987	0.015	38	35	1.60	GW 31

設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	Ho	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	Ho/H	-	
単位体積 土 砂		kN/m ³	
重 量 コンクリート		kN/m ³	23
コンクリート設計基準強度	σ_{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	Fs	-	1.5

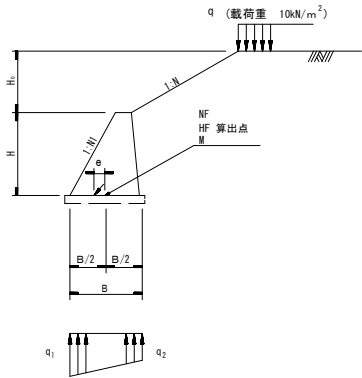
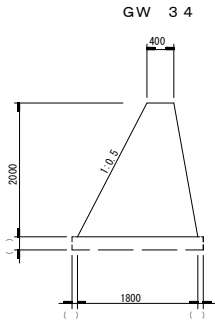
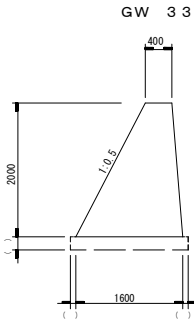
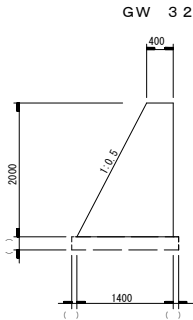
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とする。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図
番

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断面図



数値表：滑动摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
2.00	0.5	C1	水平	0.00	1.400	47.2	13.5	-3.520	-0.075	23	45	2.10	GW 32
				0.25	1.400	47.7	14.6	-3.120	-0.065	24	44	1.96	GW 32
				0.50	1.400	47.7	14.6	-3.110	-0.065	25	44	1.96	GW 32
				0.75	1.400	47.5	14.0	-3.320	-0.070	24	44	2.03	GW 32
				1.00	1.400	47.4	13.9	-3.370	-0.071	24	44	2.05	GW 32
				0.25	1.400	47.9	15.0	-2.950	-0.062	25	43	1.91	GW 32
			1.8	0.50	1.400	48.1	15.6	-2.740	-0.057	26	43	1.85	GW 32
				0.75	1.400	48.1	15.6	-2.730	-0.057	26	43	1.85	GW 32
				1.00	1.400	48.0	15.3	-2.860	-0.060	26	43	1.88	GW 32
				0.25	1.400	48.2	15.7	-2.690	-0.056	26	43	1.84	GW 32
				0.50	1.400	48.8	17.2	-2.150	-0.044	28	41	1.70	GW 32
				0.75	1.400	49.3	18.2	-1.780	-0.036	30	41	1.62	GW 32
		C2	水平	1.00	1.400	49.6	18.9	-1.540	-0.031	31	40	1.57	GW 32
				0.00	1.400	47.3	16.2	-1.760	-0.037	28	39	1.75	GW 32
				0.25	1.400	48.0	18.0	-1.000	-0.021	31	37	1.59	GW 32
				0.50	1.400	48.3	18.9	-0.648	-0.013	33	36	1.53	GW 32
				0.75	1.400	48.4	19.2	-0.524	-0.011	33	36	1.51	GW 32
				1.00	1.400	48.4	19.2	-0.532	-0.011	33	36	1.51	GW 32
			1.8	0.25	1.400	48.1	18.5	-0.796	-0.017	32	37	1.56	GW 32
				0.50	1.600	56.7	22.1	-0.423	-0.007	34	36	1.54	GW 33
				0.75	1.800	66.1	25.5	-0.880	-0.013	35	38	1.56	GW 34
				1.00	1.800	66.6	26.4	-0.699	-0.010	36	38	1.52	GW 34
		C3	水平	0.00	1.600	54.6	20.9	0.264	0.005	35	34	1.57	GW 33
				0.25	1.800	64.2	25.6	0.662	0.010	37	34	1.50	GW 34

数値表：滑动摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
2.00	0.5	C1	水平	0.00	1.400	47.2	13.5	-3.520	-0.075	23	45	1.75	GW 32
				0.25	1.400	47.7	14.6	-3.120	-0.065	24	44	1.64	GW 32
				0.50	1.400	47.7	14.6	-3.110	-0.065	25	44	1.63	GW 32
				0.75	1.400	47.5	14.0	-3.320	-0.070	24	44	1.69	GW 32
				1.00	1.400	47.4	13.9	-3.370	-0.071	24	44	1.71	GW 32
			1.8	0.25	1.400	47.9	15.0	-2.950	-0.062	25	43	1.59	GW 32
				0.50	1.400	48.1	15.6	-2.740	-0.057	26	43	1.54	GW 32
				0.75	1.400	48.1	15.6	-2.730	-0.057	26	43	1.54	GW 32
				1.00	1.400	48.0	15.3	-2.860	-0.060	26	43	1.57	GW 32
			1.5	0.25	1.400	48.2	15.7	-2.690	-0.056	26	43	1.53	GW 32
				0.50	1.800	65.5	21.5	-3.030	-0.046	31	42	1.52	GW 34
		C2	水平	0.00	1.600	54.6	17.8	-1.780	-0.033	30	38	1.53	GW 33

設計条件

項目	記号	単位	数値
擁壁高	H	m	
盛土高	Ho	m	
表込め土の種類	C	-	
盛土勾配	1:N	-	
高さ比	Ho/H	-	
単位体積重量	土砂	kN/m ³	
コンクリート設計基準強度	σ_{ck}	N/mm ²	23
滑动摩擦係数	μ	-	18
滑動安全率	Fs	-	1.5

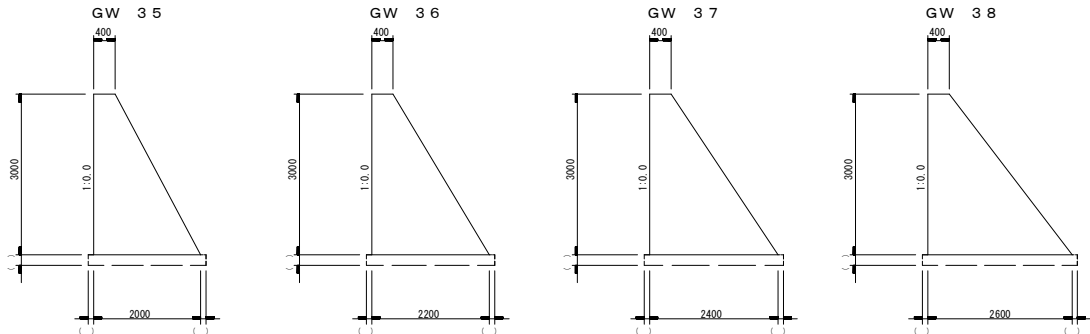
注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とする。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ75）を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断面図

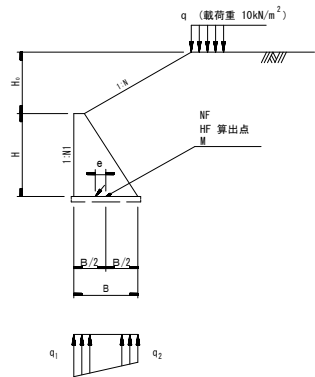


数値表：滑動摩擦係数 $\mu=0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1	q2		
										(kN/m ²)	(kN/m ²)		
3.00	0.0	C1	水平	0.00	2.000	133	40.3	42.5	0.319	130	3	1.99	GW 35
				0.25	2.000	144	48.7	46.0	0.320	141	3	1.77	GW 35
				0.50	2.000	149	53.1	47.8	0.320	146	3	1.69	GW 35
				0.75	2.000	152	54.9	48.6	0.320	149	3	1.66	GW 35
				1.00	2.000	152	54.9	48.5	0.320	149	3	1.66	GW 35
			2.0	0.25	2.000	145	49.5	46.3	0.320	142	3	1.76	GW 35
				0.50	2.000	152	55.2	48.7	0.320	149	3	1.65	GW 35
				0.75	2.000	156	58.5	50.1	0.321	153	3	1.60	GW 35
				1.00	2.000	158	60.2	50.7	0.321	155	3	1.58	GW 35
				0.25	2.000	146	50.8	46.8	0.320	143	3	1.73	GW 35
			1.8	0.50	2.000	156	58.5	50.0	0.321	153	3	1.60	GW 35
				0.75	2.000	163	64.2	52.4	0.321	160	3	1.53	GW 35
				1.00	2.200	189	71.1	52.7	0.279	151	20	1.59	GW 36
				0.00	2.200	147	46.3	48.8	0.332	127	6	1.90	GW 36
			2.0	0.25	2.200	160	56.7	52.8	0.331	138	7	1.69	GW 36
				0.50	2.200	168	63.4	55.3	0.330	145	8	1.59	GW 36
				0.75	2.200	173	67.6	57.0	0.329	149	8	1.54	GW 36
				1.00	2.200	176	70.3	58.0	0.329	152	8	1.51	GW 36
				0.25	2.200	161	57.5	53.1	0.331	139	7	1.68	GW 36
			1.8	0.50	2.200	171	65.5	56.2	0.329	147	8	1.56	GW 36
				0.75	2.400	196	73.3	56.9	0.290	141	23	1.61	GW 37
				1.00	2.400	203	78.0	58.2	0.287	145	24	1.56	GW 37
			2.0	0.00	2.400	160	52.5	55.5	0.347	124	9	1.83	GW 37
				0.25	2.400	175	65.0	60.0	0.343	135	10	1.62	GW 37
				0.50	2.400	186	74.2	63.2	0.340	143	12	1.51	GW 37
				0.75	2.600	213	82.9	63.7	0.299	139	25	1.54	GW 38

数値表：滑動摩擦係数 $\mu=0.5$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1	q2		
										(kN/m ²)	(kN/m ²)		
3.00	0.0	C1	水平	0.00	2.000	133	40.3	42.5	0.319	130	3	1.65	GW 35
				0.25	2.200	159	50.0	46.3	0.290	130	15	1.59	GW 36
				0.50	2.200	166	54.9	47.8	0.288	135	16	1.51	GW 36
				0.75	2.400	188	59.1	47.3	0.252	128	29	1.59	GW 37
				1.00	2.400	189	59.9	47.5	0.251	128	29	1.58	GW 37
			2.0	0.25	2.200	160	50.8	46.5	0.290	131	15	1.58	GW 36
				0.50	2.400	187	58.4	47.2	0.253	127	29	1.60	GW 37
				0.75	2.400	193	62.6	47.9	0.248	130	31	1.54	GW 37
				1.00	2.400	197	65.1	48.4	0.246	132	32	1.51	GW 37
				0.25	2.200	162	52.0	46.9	0.289	132	16	1.56	GW 36
			1.5	0.50	2.400	191	61.5	47.8	0.249	129	30	1.56	GW 37
				0.75	2.600	222	69.6	45.4	0.205	126	45	1.60	GW 38
				1.00	2.600	231	75.1	45.6	0.197	129	49	1.54	GW 38
			2.0	0.00	2.200	147	46.3	48.8	0.332	127	6	1.59	GW 36
				0.25	2.400	175	52.7	52.6	0.300	128	18	1.52	GW 37
				0.50	2.600	203	66.2	53.1	0.262	125	31	1.53	GW 38
				0.25	2.400	176	58.6	52.9	0.300	129	18	1.50	GW 37
			1.8	0.50	2.600	206	68.2	53.4	0.260	127	32	1.51	GW 38



設計条件

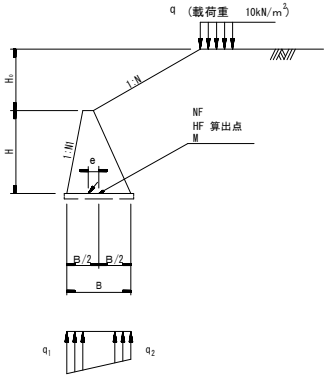
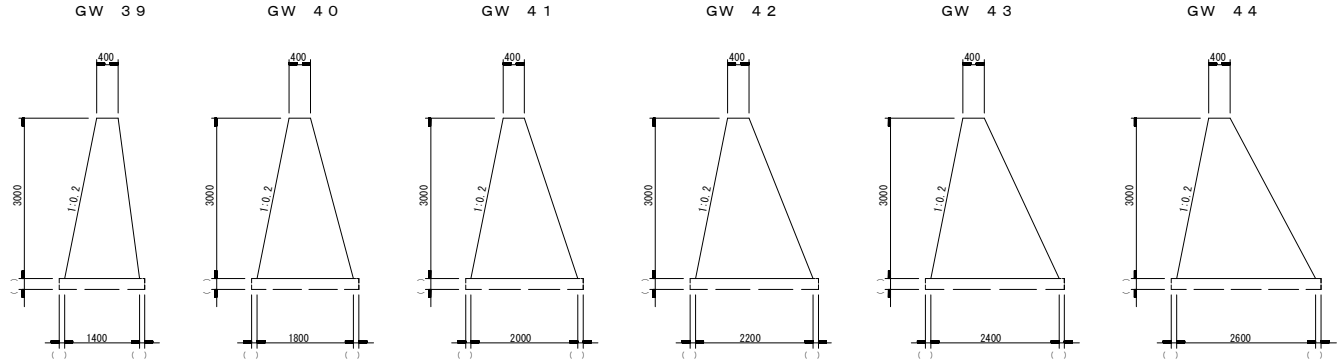
項	目	記号	単位	数値
擁壁高	H	m		
盛土高	Ho	m		
表込め土の種類	C	-		
盛土勾配	1:N	-		
高さ比	Ho/H	-		
単位体積重量	土砂	kN/m ³		
コンクリート設計基準強度	σ_{ck}	N/mm ²		23
滑動摩擦係数	μ	-		18
滑動安全率	Fs	-		1.5

注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 擁壁高さが、2.5m以上で中位の砂質地盤を支持地盤とする場合、根入れの深さは、擁壁高さの0.2倍以上確保することが望ましい。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断面図



数値表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土の 種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (mm)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑動 安全率	GW 断面形 状番号	
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)			
3.00	0.2	C1	2.0	水平	0.00	1.400	80.8	31.2	18.0	0.223	113	2	1.56	GW 39
				0.25	1.800	108.0	41.1	23.6	0.218	104	17	1.58	GW 40	
				0.50	1.800	110.0	43.6	24.8	0.225	107	15	1.52	GW 40	
				0.75	1.800	111.0	43.9	24.9	0.226	108	15	1.51	GW 40	
				1.00	1.800	110.0	43.2	24.6	0.224	107	16	1.53	GW 40	
			1.8	0.25	1.800	109.0	42.0	24.0	0.220	105	16	1.56	GW 40	
				0.50	2.000	126.0	48.5	26.0	0.207	102	24	1.56	GW 41	
				0.75	2.000	128.0	50.5	26.9	0.210	104	24	1.52	GW 41	
				1.00	2.000	128.0	51.2	27.1	0.211	105	24	1.51	GW 41	
				1.5	0.25	1.800	110.0	43.3	24.7	0.224	107	15	1.52	GW 40
			0.50		2.200	144.0	54.3	26.5	0.183	98	33	1.59	GW 42	
			0.75		2.200	149.0	59.2	27.9	0.187	102	33	1.51	GW 42	
		1.00	2.400		171.0	65.8	26.3	0.154	98	44	1.56	GW 43		
		C2	2.0	水平	0.00	1.800	104.0	40.1	25.4	0.244	105	11	1.55	GW 40
				0.25	2.200	136.0	52.1	29.8	0.219	99	25	1.57	GW 42	
				0.50	2.400	156.0	59.6	30.6	0.196	97	33	1.57	GW 43	
				0.75	2.400	160.0	63.1	31.5	0.197	99	34	1.52	GW 43	
				1.00	2.600	179.0	67.7	29.5	0.165	95	43	1.59	GW 44	
			1.8	0.25	2.200	137.0	53.0	30.2	0.220	100	25	1.55	GW 42	
				0.50	2.400	158.0	61.9	31.2	0.197	99	34	1.54	GW 43	
				0.75	2.600	181.0	69.3	29.7	0.164	96	43	1.56	GW 44	
				1.00	2.600	185.0	73.3	30.3	0.164	98	44	1.52	GW 44	
				C3	水平	0.00	2.200	128.0	48.8	32.0	0.249	98	19	1.58
			2.0		0.25	2.600	166.0	62.6	34.6	0.209	94	33	1.59	GW 44

数値表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土の 種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
3.00	0.2	C1	2.0	水平	0.00	2.000	115.0	36.6	0.184	90	26	1.58	GW 41
				0.25	2.400	150.0	47.1	23.0	0.154	86	38	1.59	GW 43
				0.50	2.400	154.0	51.0	23.7	0.154	89	40	1.51	GW 43
				0.75	2.600	172.0	54.9	21.7	0.126	86	47	1.57	GW 44
				1.00	2.600	172.0	54.9	21.7	0.126	86	47	1.57	GW 44
			1.8	0.25	2.400	151.0	48.0	23.1	0.154	87	39	1.57	GW 43
				0.50	2.600	173.0	55.2	21.7	0.126	86	47	1.56	GW 44
				0.75	2.600	177.0	58.5	21.9	0.124	87	49	1.51	GW 44
				0.25	2.400	152.0	49.3	23.4	0.154	88	39	1.54	GW 43
			1.5	0.50	2.600	177.0	58.5	21.9	0.124	87	49	1.51	GW 44
		C2	水平	0.00	2.400	141.0	44.4	26.5	0.188	86	31	1.59	GW 43

材料表

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
GW 39	1.00	0.73	0.565	2.028	
	1.50	0.90	0.975	3.043	
	2.00	1.07	1.470	4.058	
	2.50	1.23	2.038	5.071	
	3.00	1.40	2.700	6.086	
GW 40	1.00	0.87	0.635	2.056	
	1.50	1.10	1.125	3.082	
	2.00	1.33	1.730	4.109	
	2.50	1.57	2.463	5.138	
	3.00	1.80	3.300	6.164	
GW 41	1.00	0.93	0.665	2.073	
	1.50	1.20	1.200	3.111	
	2.00	1.47	1.870	4.149	
	2.50	1.73	2.663	5.184	
	3.00	2.00	3.600	6.222	
GW 42	1.00	1.00	0.700	2.097	
	1.50	1.30	1.275	3.145	
	2.00	1.60	2.000	4.194	
	2.50	1.90	2.875	5.242	
	3.00	2.20	3.900	6.291	
GW 43	1.00	1.07	0.735	2.125	
	1.50	1.40	1.350	3.185	
	2.00	1.73	2.130	4.245	
	2.50	2.07	3.088	5.310	
	3.00	2.40	4.200	6.370	
GW 44	1.00	1.13	0.765	2.152	
	1.50	1.50	1.425	3.230	
	2.00	1.87	2.270	4.308	
	2.50	2.23	3.288	5.381	
	3.00	2.60	4.500	6.459	

設計条件

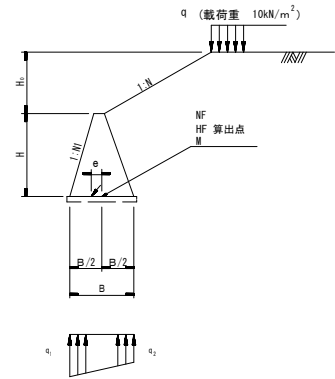
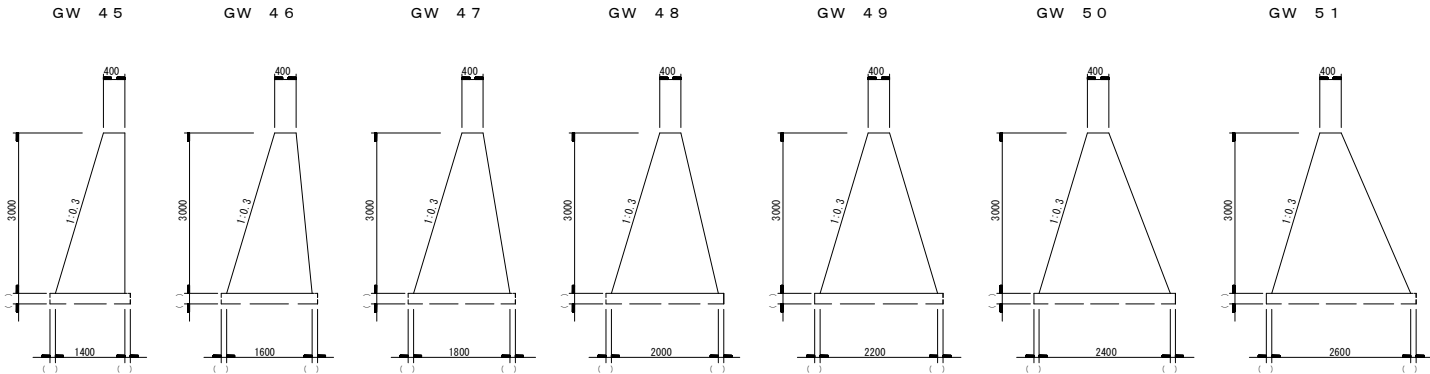
項目	記号	単位	数値
擁壁高	H	m	
盛土高	Ho	m	
表込め土の種類	C	-	
盛土勾配	1:N	-	
高さ比	Ho/H	-	
単位体積重量	土砂	kN/m ³	
コンクリート設計基準強度	σ_{ck}	N/mm ²	23
滑動摩擦係数	μ	-	
滑動安全率	Fs	-	1.5

注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 擁壁高さが、2.5m以上で中位の砂質地盤を支持地盤とする場合、根入れの深さは、擁壁高さの0.2倍以上確保することが望ましい。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断面図



数値表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土の 種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
3.00	0.3	C1	水平	0.00	1.400	75.3	28.0	9.09	0.121	82	26	1.61	GW 45
				0.25	1.600	88.4	35.0	13.10	0.148	86	25	1.52	GW 46
				0.50	1.800	101.0	39.4	14.80	0.146	84	29	1.54	GW 47
				0.75	1.800	101.0	39.2	14.70	0.145	83	29	1.55	GW 47
				1.00	1.800	101.0	38.7	14.50	0.143	83	29	1.56	GW 47
				0.25	1.800	101.0	38.4	14.30	0.142	82	29	1.57	GW 47
		1.8	2.0	0.50	2.000	116.0	44.4	16.00	0.139	82	34	1.56	GW 48
				0.75	2.000	117.0	45.9	16.70	0.143	83	33	1.52	GW 48
				1.00	2.000	117.0	46.2	16.80	0.144	84	33	1.52	GW 48
				0.25	1.800	102.0	39.7	15.00	0.148	84	29	1.53	GW 47
				0.50	2.200	132.0	50.5	16.60	0.125	81	40	1.57	GW 49
				0.75	2.400	151.0	57.8	15.80	0.104	80	47	1.57	GW 50
		C2	1.5	1.00	2.400	155.0	61.2	16.50	0.107	82	47	1.52	GW 50
				0.00	1.800	97.0	37.4	15.90	0.164	83	24	1.56	GW 47
			2.0	0.25	2.200	126.0	49.1	19.80	0.157	82	33	1.54	GW 49
				0.50	2.400	144.0	56.2	20.40	0.142	81	39	1.54	GW 50
				0.75	2.600	162.0	61.8	18.90	0.117	79	46	1.57	GW 51
				1.00	2.600	164.0	63.6	19.20	0.118	80	46	1.55	GW 51
		C3	1.8	0.25	2.200	127.0	50.0	20.20	0.159	83	33	1.52	GW 49
				0.50	2.600	161.0	60.8	18.70	0.116	79	45	1.59	GW 51
				0.75	2.600	166.0	65.6	19.60	0.118	81	46	1.51	GW 51
				0.00	2.200	120.0	46.7	22.10	0.183	82	27	1.55	GW 49
				2.0	0.25	2.600	154.0	60.4	0.156	81	38	1.53	GW 51

数値表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土の 種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
3.00	0.3	C1	水平	0.00	1.800	96.6	32.1	11.00	0.114	74	33	1.50	GW 47
				0.25	2.400	139.0	44.4	13.00	0.094	71	44	1.56	GW 50
				0.50	2.600	157.0	49.9	11.70	0.075	71	50	1.57	GW 51
				0.75	2.600	158.0	51.1	11.80	0.075	71	50	1.54	GW 51
				1.00	2.600	157.0	50.6	11.80	0.075	71	50	1.56	GW 51
			2.0	0.25	2.400	139.0	45.2	13.20	0.094	72	44	1.54	GW 50
				0.50	2.600	159.0	52.1	11.90	0.075	72	51	1.52	GW 51
				1.5	0.25	2.400	141.0	46.6	0.096	73	45	1.51	GW 50
		C2	水平	0.00	2.400	132.0	42.5	16.30	0.123	72	38	1.56	GW 50

材料表

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
GW 45	1.00	0.73	0.565	2.044	
	1.50	0.90	0.975	3.067	
	2.00	1.07	1.470	4.089	
	2.50	1.23	2.038	5.111	
	3.00	1.40	2.700	6.134	
GW 46	1.00	0.80	0.600	2.049	
	1.50	1.00	1.050	3.074	
	2.00	1.20	1.600	4.098	
	2.50	1.40	2.250	5.123	
	3.00	1.60	3.000	6.147	
GW 47	1.00	0.87	0.635	2.058	
	1.50	1.10	1.125	3.087	
	2.00	1.33	1.730	4.115	
	2.50	1.57	2.463	5.145	
	3.00	1.80	3.300	6.173	
GW 48	1.00	0.93	0.665	2.070	
	1.50	1.20	1.200	3.106	
	2.00	1.47	1.870	4.143	
	2.50	1.73	2.663	5.176	
	3.00	2.00	3.600	6.213	
GW 49	1.00	1.00	0.700	2.088	
	1.50	1.30	1.275	3.132	
	2.00	1.60	2.000	4.176	
	2.50	1.90	2.875	5.220	
	3.00	2.20	3.900	6.264	
GW 50	1.00	1.07	0.735	2.110	
	1.50	1.40	1.350	3.164	
	2.00	1.73	2.130	4.217	
	2.50	2.07	3.088	5.274	
	3.00	2.40	4.200	6.327	
GW 51	1.00	1.13	0.765	2.133	
	1.50	1.50	1.425	3.201	
	2.00	1.87	2.270	4.269	
	2.50	2.23	3.288	5.333	
	3.00	2.60	4.500	6.402	

設計条件

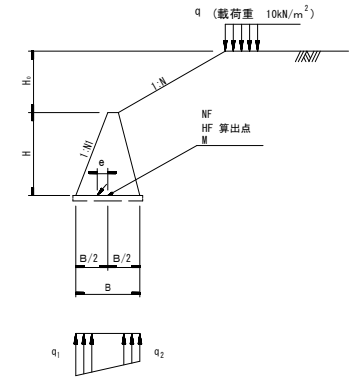
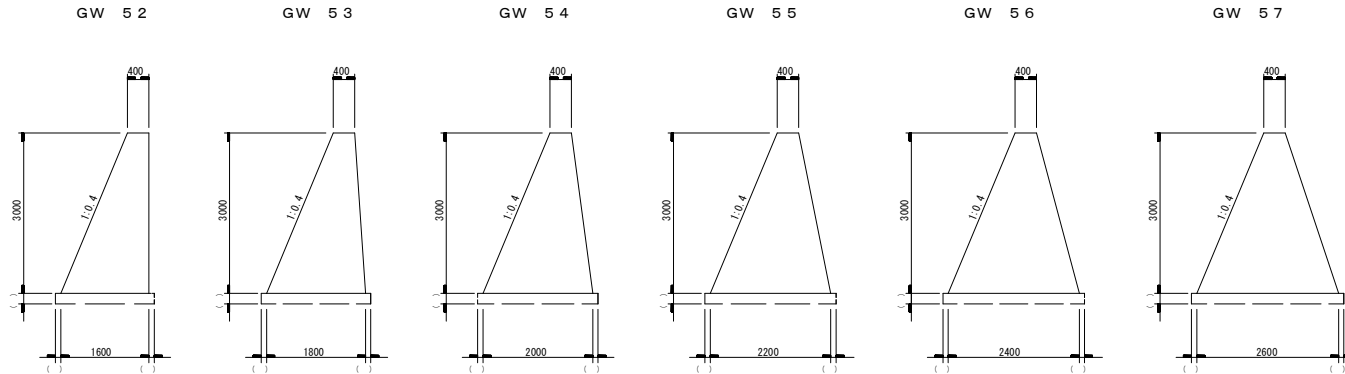
項目	記号	単位	数値
擁壁高	H	m	
盛土高	Ho	m	
表込め土の種類	C	-	
盛土勾配	1:N	-	
高さ比	Ho/H	-	
単位体積重量	土砂	kN/m ³	
コンクリート設計基準強度	σ_{ck}	N/mm ²	23
滑動摩擦係数	μ	-	
滑動安全率	Fs	-	1.5

注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 擁壁高さが、2.5m以上で中位の砂質地盤を支持地盤とする場合、根入れの深さは、擁壁高さの0.2倍以上確保することが望ましい。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、1.0m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断 面 図



数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
3.00	0.4	C1	水平	0.00	1.600	80.6	26.9	1.08	0.013	53	48	1.80	GW 52
				0.25	1.600	82.4	31.0	3.73	0.045	60	43	1.60	GW 52
				0.50	1.600	82.8	32.0	4.40	0.053	62	41	1.55	GW 52
				0.75	1.600	82.5	31.3	3.96	0.048	61	42	1.58	GW 52
				1.00	1.600	82.5	31.3	3.91	0.047	61	42	1.58	GW 52
				0.25	1.600	82.7	31.8	4.27	0.052	62	42	1.56	GW 52
			2.0	0.50	1.800	94.9	37.0	6.26	0.066	64	41	1.54	GW 53
				0.75	1.800	95.3	37.9	6.73	0.071	65	40	1.51	GW 53
				1.00	1.800	95.2	37.6	6.59	0.069	65	41	1.52	GW 53
				0.25	1.600	83.3	33.1	5.11	0.061	64	40	1.51	GW 52
				0.50	2.000	109.0	43.3	7.96	0.073	66	42	1.51	GW 54
				0.75	2.400	139.0	53.3	6.69	0.048	65	51	1.56	GW 56
			1.5	1.00	2.400	141.0	56.2	7.47	0.053	66	51	1.50	GW 56
				0.00	1.600	80.7	32.3	6.31	0.078	65	36	1.50	GW 52
			2.0	0.25	2.200	117.0	45.7	10.30	0.088	66	41	1.54	GW 55
				0.50	2.400	133.0	52.4	10.90	0.082	67	44	1.53	GW 56
				0.75	2.600	149.0	57.7	9.52	0.064	66	49	1.55	GW 57
				1.00	2.600	150.0	59.0	9.84	0.065	67	49	1.53	GW 57
		C2	1.8	0.25	2.200	118.0	46.6	10.70	0.091	67	40	1.52	GW 55
				0.50	2.600	149.0	57.3	9.43	0.063	66	49	1.56	GW 57
		C3	水平	0.00	2.200	113.0	44.2	12.70	0.113	67	36	1.54	GW 55

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	GW 断面形 状番号
										q1 (kN/m ²)	q2 (kN/m ²)		
3.00	0.4	C1	水平	0.00	1.800	90.8	29.1	1.71	0.019	54	47	1.56	GW 53
				0.25	2.200	116.0	38.7	4.30	0.037	58	48	1.50	GW 55
				0.50	2.400	131.0	43.6	4.15	0.032	59	50	1.50	GW 56
				0.75	2.600	145.0	46.9	2.49	0.017	58	54	1.55	GW 57
				1.00	2.600	145.0	46.1	2.39	0.017	58	54	1.57	GW 57
			2.0	0.25	2.400	130.0	42.0	3.72	0.029	58	50	1.54	GW 56
				0.50	2.600	147.0	48.5	2.71	0.018	59	54	1.51	GW 57
				1.5	0.25	2.400	131.0	43.3	4.08	59	50	1.51	GW 56
		C2	水平	0.00	2.400	125.0	40.1	6.61	0.053	59	45	1.55	GW 56

材 料 表

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)
GW 52	1.00	0.80	0.600	2.077	
	1.50	1.00	1.050	3.116	
	2.00	1.20	1.600	4.154	
	2.50	1.40	2.250	5.193	
	3.00	1.60	3.000	6.231	
	1.00	0.87	0.635	2.079	
GW 53	1.50	1.10	1.125	3.119	
	2.00	1.33	1.730	4.158	
	2.50	1.57	2.463	5.198	
	3.00	1.80	3.300	6.238	
	1.00	0.93	0.665	2.085	
	1.50	1.20	1.200	3.129	
GW 54	2.00	1.47	1.870	4.172	
	2.50	1.73	2.663	5.214	
	3.00	2.00	3.600	6.258	
	1.00	1.00	0.700	2.097	
	1.50	1.30	1.275	3.145	
	2.00	1.60	2.000	4.194	
GW 55	2.50	1.90	2.875	5.242	
	3.00	2.20	3.900	6.291	
	1.00	1.07	0.735	2.113	
	1.50	1.40	1.350	3.168	
	2.00	1.73	2.130	4.223	
	2.50	2.07	3.088	5.281	
GW 56	3.00	2.40	4.200	6.336	
	1.00	1.13	0.765	2.130	
	1.50	1.50	1.425	3.197	
	2.00	1.87	2.270	4.263	
	2.50	2.23	3.288	5.327	
	3.00	2.60	4.500	6.393	
GW 57					

設計条件

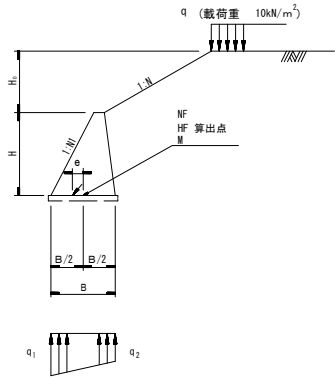
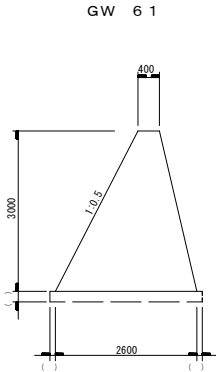
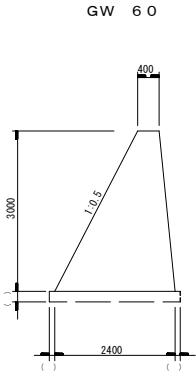
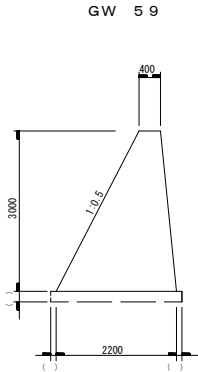
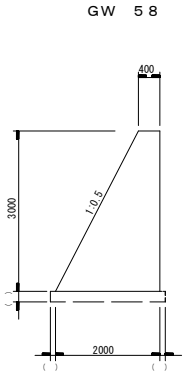
項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	Ho	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	Ho/H	-	
単位体積	土 砂	kN/m ³	
重 量	コンクリート	kN/m ³	23
コンクリート設計基準強度	σ_{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	Fs	-	1.5

注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 擁壁高さが、2.5m以上で中位の砂質地盤を支持地盤とする場合、根入れの深さは、擁壁高さの0.2倍以上確保することが望ましい。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、1.0m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断 面 図



数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底板幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	GW 断面形 状番号	
										q1	q2			
										(kN/m ²)	(kN/m ²)			
3.00	0.5	C1	2.0	水平	0.00	2.000	96.0	28.0	-7.290	-0.076	37	59	2.06	GW 58
				0.25	2.000	98.0	32.3	-4.960	-0.051	42	56	1.82	GW 58	
				0.50	2.000	98.6	33.5	-4.310	-0.044	43	56	1.77	GW 58	
				0.75	2.000	98.3	32.9	-4.630	-0.047	42	56	1.79	GW 58	
			1.8	1.00	2.000	98.2	32.7	-4.720	-0.048	42	56	1.80	GW 58	
				0.25	2.000	98.4	33.2	-4.490	-0.046	42	56	1.78	GW 58	
				0.50	2.000	99.5	35.5	-3.220	-0.032	45	55	1.68	GW 58	
				0.75	2.000	99.9	36.2	-2.830	-0.028	46	54	1.65	GW 58	
			1.5	1.00	2.000	99.7	35.9	-3.020	-0.030	45	54	1.67	GW 58	
				0.25	2.000	99.0	34.4	-3.790	-0.038	44	55	1.73	GW 58	
				0.50	2.000	101.0	38.7	-1.490	-0.015	48	53	1.57	GW 58	
				0.75	2.200	115.0	45.0	-0.690	-0.006	51	53	1.53	GW 59	
		C2	2.0	1.00	2.400	129.0	50.9	-1.410	-0.011	52	55	1.53	GW 60	
				水平	0.00	2.000	96.2	33.3	-2.160	-0.022	45	51	1.73	GW 58
				0.25	2.000	98.6	39.4	1.520	0.015	52	47	1.50	GW 58	
				0.50	2.400	124.0	48.3	1.700	0.014	53	50	1.54	GW 60	
			1.8	0.75	2.600	138.0	53.3	0.541	0.004	54	53	1.56	GW 61	
				1.00	2.600	139.0	54.2	0.836	0.006	54	53	1.54	GW 61	
				0.25	2.200	110.0	42.9	1.540	0.014	52	48	1.54	GW 59	
				0.50	2.600	138.0	53.4	0.566	0.004	54	53	1.56	GW 61	
		C3	水平	0.00	2.200	107.0	41.4	3.670	0.034	53	44	1.55	GW 59	

数 値 表：滑動摩擦係数 $\mu = 0.5$ の場合

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 表込め土 の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底板幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度		Fs 滑 動 安全率	GW 断面形 状番号	
										q1 (kN/m^2)	q2 (kN/m^2)			
3.00	0.5	C1	2.0	水平	0.00	2.000	96.0	28.0	-7.290	-0.076	37	59	1.71	GW 58
				0.25	2.000	98.0	32.3	-4.960	-0.051	42	56	1.52	GW 58	
				0.50	2.200	110.0	36.5	-4.480	-0.041	44	56	1.51	GW 59	
				0.75	2.200	110.0	36.1	-4.670	-0.043	44	56	1.52	GW 59	
			1.8	1.00	2.200	110.0	35.7	-4.810	-0.044	44	56	1.53	GW 59	
				0.25	2.200	110.0	35.8	-4.770	-0.044	44	56	1.53	GW 59	
				0.50	2.600	136.0	44.4	-6.240	-0.046	47	58	1.54	GW 61	
			1.5	0.25	2.400	122.0	39.7	-5.120	-0.042	46	56	1.54	GW 60	
				水平	0.00	2.200	107.0	35.4	-2.320	-0.022	46	51	1.51	GW 59
		C2	水平	0.00	2.200	107.0	35.4	-2.320	-0.022	46	51	1.51	GW 59	

材 料 表

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	(1 m当たり)		基礎材 (m ²)
			コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	
GW 58	1.00	0.93	0.665	2.118	
	1.50	1.20	1.220	2.178	
	2.00	1.47	1.870	4.237	
	2.50	1.73	2.663	5.296	
	3.00	2.00	3.600	6.356	
GW 59	1.00	1.00	0.700	2.123	
	1.50	1.30	1.275	3.185	
	2.00	1.60	2.000	4.246	
	2.50	1.90	2.875	5.308	
	3.00	2.20	3.900	6.369	
GW 60	1.00	1.07	0.735	2.132	
	1.50	1.40	1.350	3.198	
	2.00	1.73	2.130	4.263	
	2.50	2.07	3.088	5.330	
	3.00	2.40	4.200	6.395	
GW 61	1.00	1.13	0.765	2.144	
	1.50	1.50	1.425	3.217	
	2.00	1.87	2.270	4.291	
	2.50	2.23	3.288	5.361	
	3.00	2.60	4.500	6.435	

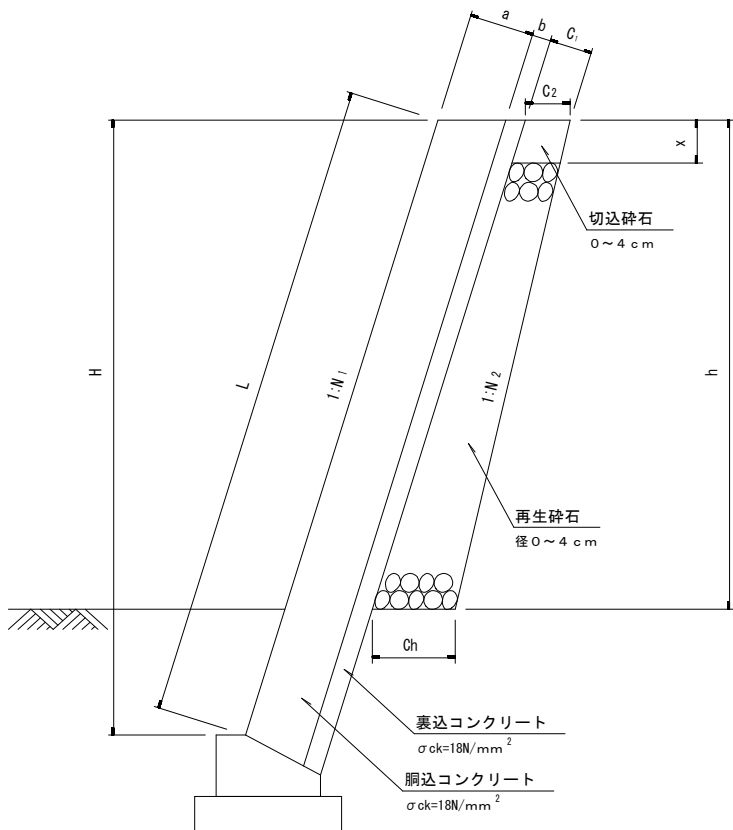
設計条件

項 目	記 号	単 位	数 値
擁 壁 高	H	m	
盛 土 高	Ho	m	
表込め土の種類	C	-	
盛 土 勾 配	1:N	-	
高 さ 比	Ho/H	-	
単位体積	土 砂	kN/m ³	
重 量	コンクリート	kN/m ³	23
コンクリート設計基準強度	σ_{ck}	N/mm ²	18
滑 動 摩 擦 係 数	μ	-	
滑 動 安 全 率	Fs	-	1.5

注意事項

- 断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
- 本図は、1 mあたりの設計であり、地震は考慮していない。
- 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
- 設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
- 擁壁高さが、2.5 m以上で中位の砂質地盤を支持地盤とする場合、根入れの深さは、擁壁高さの0.2倍以上確保することが望ましい。
- 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
- 伸縮目地の間隔は、1.0 m以下とすること。また、擁壁前面にV字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、5 m以下を標準とする。
- 設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いないようにしておくこと。
- 水抜管は、塩化ビニールパイプ(φ75)を壁面3 m²につき1箇所設置すること。
- 水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

ブロック積工、練石積工、裏込工 (道路用)



任意の高さにおける裏込砕石計算式 (m³)
$A = \left[C_2 + \frac{h(N_1 - N_2)}{2} \right] \cdot h$
天端部分の裏込砕石を省略する場合 の任意の高さにおける裏込砕石計算 式 (m³)
$A = \left\{ C_2 + \frac{(h+x)(N_1 - N_2)}{2} \right\} \cdot (h-x)$
x : 裏込砕石を省略する高さ

- 注意事項
- よく締った地山の切土に使用する場合 は下記による。
 - 裏込砕石を上下等厚 $C_1 = 40 \text{ cm}$ とする。ただし、背面が岩で湧水がない場合は裏込砕石を省略する。
 - 前面勾配 N_1 を 1 ランク下げることができる。(寸法表欄の () 書部分を使用できる。)
 - 鉛直方向目地の間隔は 2.0 m 以下とすること。
 - 擁壁背面の水抜きには特に注意し、水抜パイプを 3 m^2 に 1 箇所設け $\text{VP } \phi 7.5 \text{ mm}$ 程度のものを使用すること。(水抜孔周辺は吸出し防止工を施工すること)
 - 擁壁天端が田および道路の場合で天端部分の裏込砕石が不要な場合は下記による。
 - 田の場合 : 天端から 50 cm 裏込砕石を省略する。
 - 道路の場合 : 天端から舗装部分について裏込砕石を省略する。

R () - U () - N ₁ () - b () - x ()	裏込砕石の形状
裏込形状 土の種類 前面勾配 裏コン厚さ 裏砕の省略高さ	
R (A) - U () - N ₁ () - b () - x ()	盛土部 (N ₂ 勾配で裏込砕石を計上)
R (C) - U () - N ₁ () - b () - x ()	切土部 (裏込砕石の厚さは 40 cm 等厚)

寸 法 表

○ 印 施 工	工 種	H (直高)	L (のり長)			a (控長)	b (裏コン厚さ)	N ₂ (背面勾配) , C ₁			x 裏砕の 省略高
			N ₁ =0.3	N ₁ =0.4	N ₁ =0.5			R (A) の場合		R (C) の 場 合	
								U ₁ (基本の場合)	U ₂ (背面土砂が 良好な場合)		
	H 500-U-N ₁ -b-x	500	522	539	559	350	100	N ₂ =N ₁ -0.1 C ₁ =300	N ₂ =N ₁ -0.1 C ₁ =200	N ₂ =N ₁ C ₁ =400	
	H1000-U-N ₁ -b-x	1,000	1,044	1,077	1,118						
	H1500-U-N ₁ -b-x	1,500	1,566	1,616	1,677						
	H2000-U-N ₁ -b-x	2,000	(2,088)	2,154	2,236						
	H2500-U-N ₁ -b-x	2,500	(2,610)	2,693	2,795		150				
	H3000-U-N ₁ -b-x	3,000	(3,132)	3,231	3,354						
	H3500-U-N ₁ -b-x	3,500		(3,770)	3,913						
	H4000-U-N ₁ -b-x	4,000		(4,308)	4,473						
	H4500-U-N ₁ -b-x	4,500		(4,847)	5,031						
	H5000-U-N ₁ -b-x	5,000		(5,385)	5,590						

(参考) $C_h = C_1 \sqrt{(N_1)^2 + 1} + h(N_1 - N_2)$

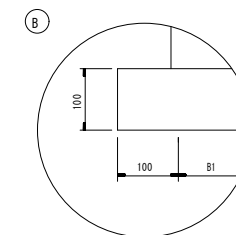
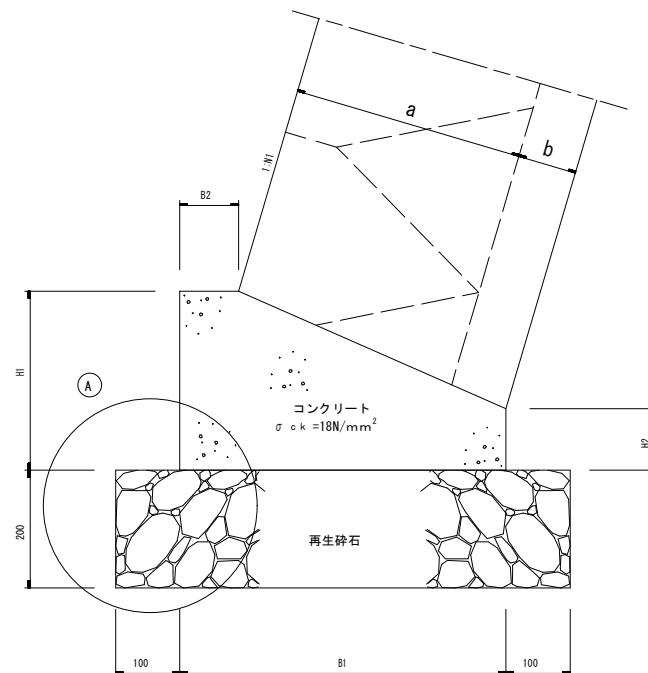
U h	U ₁ (基本の場合)			U ₂ (背面土砂が良好な場合)		
	0.3	0.4	0.5	0.3	0.4	0.5
0	315	325	335	210	215	225
500	365	375	385	260	265	275
1000	415	425	435	310	315	325
1500	465	475	485	360	365	375
2000	(515)	525	535	(410)	415	425
2500	(565)	575	585	(460)	465	475
3000	(615)	625	635	(510)	515	525
3500		(675)	685		(565)	575
4000		(725)	735		(615)	625
4500		(775)	785		(665)	675
5000		(825)	835		(715)	725

図
番

基礎工（ブロック積用、石積用）

基礎の種類

区分	品 質	規格・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4 c m
Ⓑ	コンクリート	18-8-20BB



寸 法 表

(mm)

数 量 表

(1m当り)

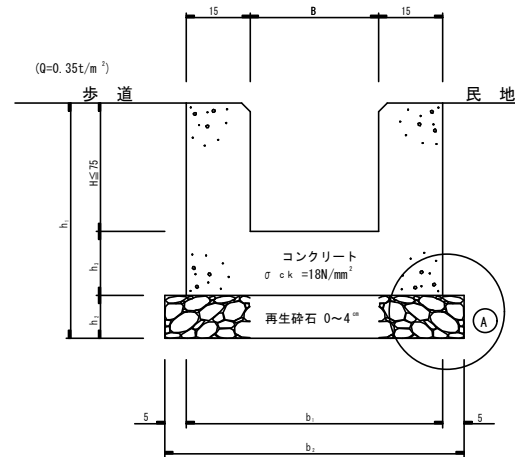
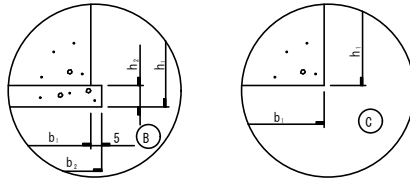
工 種	a	b	B1	B2	H1	H2											基 礎 m ³		m ²	m ³										
																	再生砕石	コンクリート	型 枠	コンクリート										
石積基礎工 b(0)	350	—	430	100	250	100											0.126	0.063	0.350	0.083										
b(10)	350	100	520	100	300	100											0.144	0.072	0.400	0.114										
b(15)	350	150	550	100	350	100											0.150	0.075	0.450	0.136										

図
番

$$\underline{H \leq 75}$$

基礎の種類

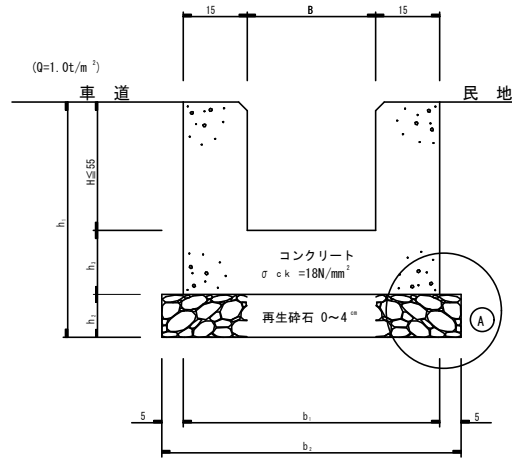
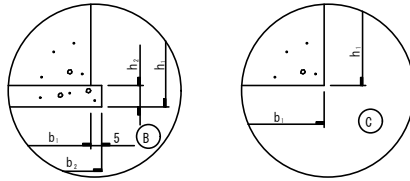
区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{N/mm}^2$

[illegible]

$$\underline{H \leq 55}$$

基礎の種類

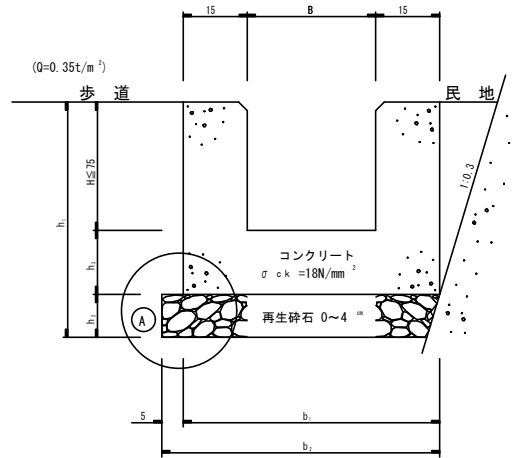
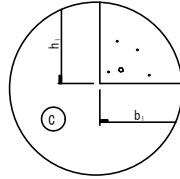
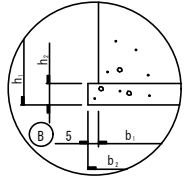
区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生碎石	0~4cm
Ⓑ	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

[illegible]

$$\underline{H \leq 75}$$

基礎の種類

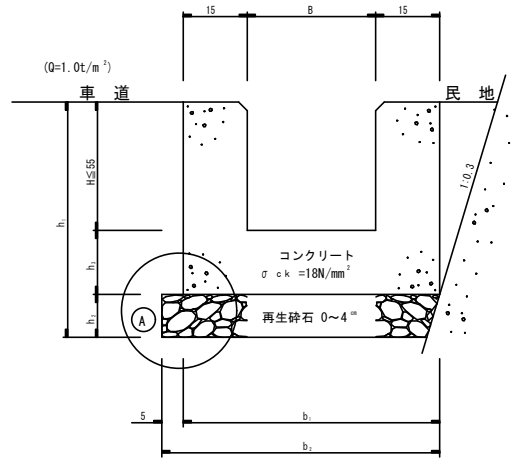
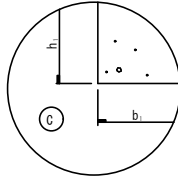
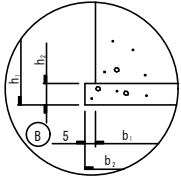
区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

[illegible]

$$\underline{H \leq 55}$$

基礎の種類

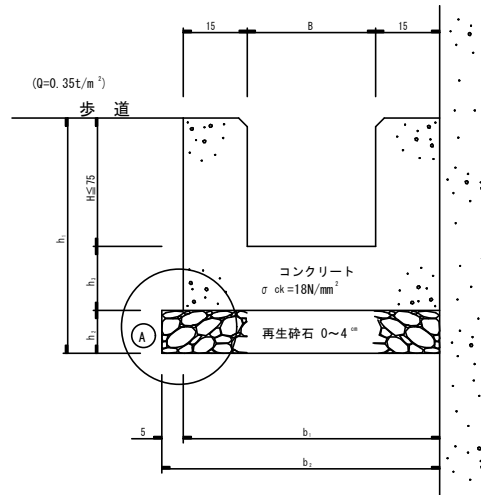
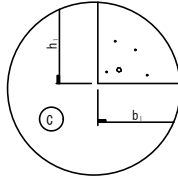
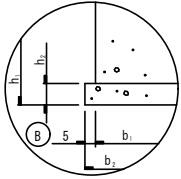
区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生碎石	0~4cm
Ⓑ	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{N/mm}^2$

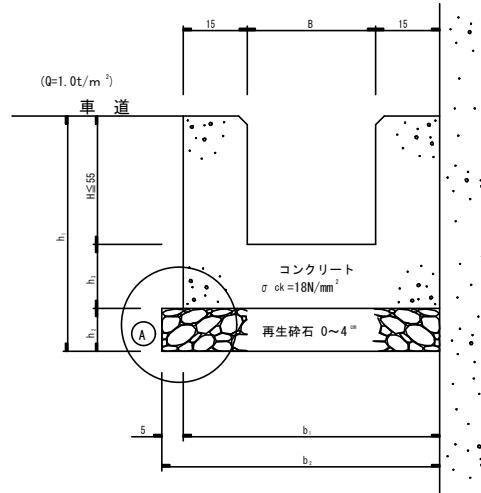
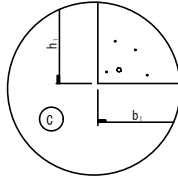
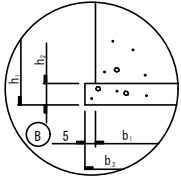
[illegible]

$$\underline{H \leq 75}$$

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

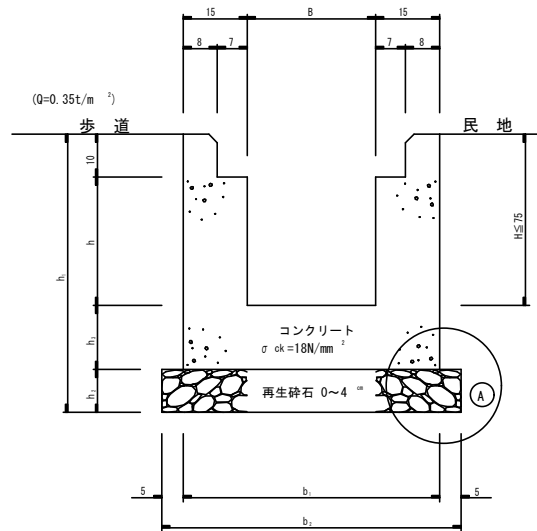
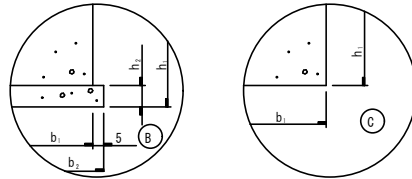
[illegible]

$$\underline{H \leq 55}$$


基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{N/mm}^2$

[illegible]

$$H \leq 75$$


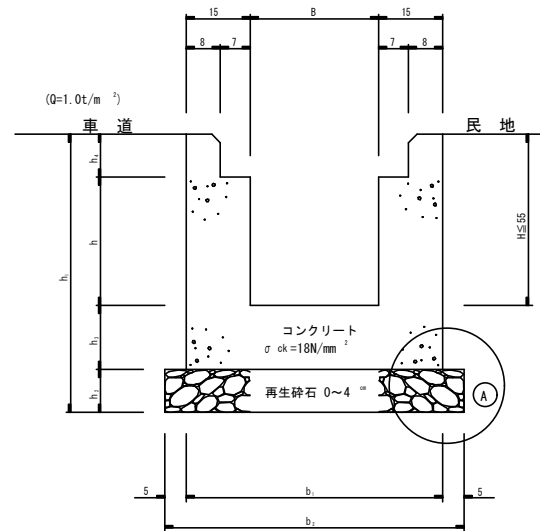
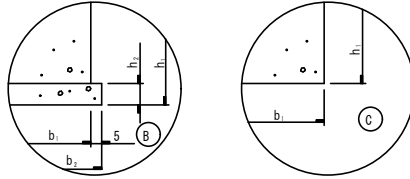
基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

[illegible]

U型側溝工 (UB-1-R)

車道用

$$\underline{H \leq 55}$$


基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0~4cm
Ⓑ	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

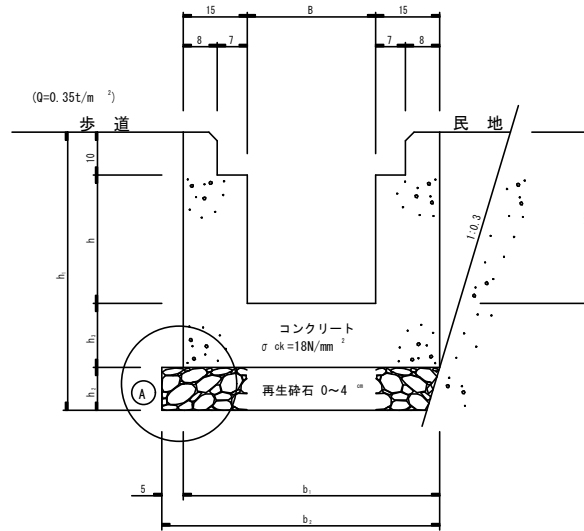
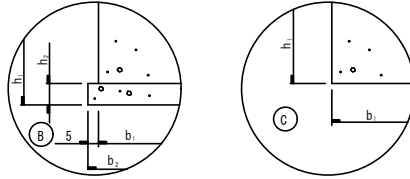
Bの区分による h_4 の変化

記 号	h_i
$B \leq 20$	10
$20 < B \leq 30$	11
$30 < B \leq 40$	12
$40 < B \leq 50$	13
$50 < B \leq 60$	14
$60 < B$	15

[illegible]

U型側溝工 (UB-2)

歩道用

$$H \leq 75$$


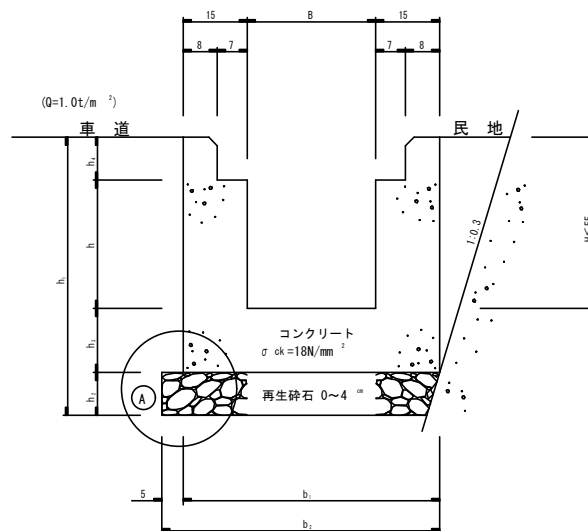
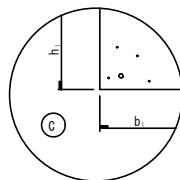
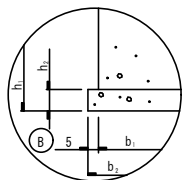
基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

[illegible]

U型側溝工 (UB-2-R)

車道用

$$H \leq 55$$


基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生碎石	0~4cm
Ⓑ	コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

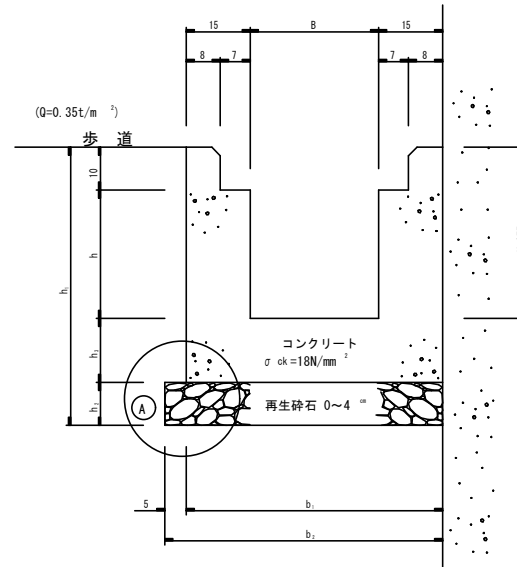
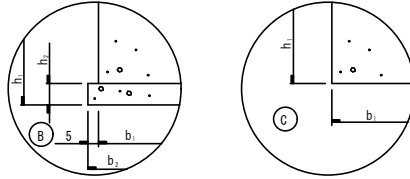
Bの区分による h_4 の変化

記号 Bの区分	h
$B \leq 20$	10
$20 < B \leq 30$	11
$30 < B \leq 40$	12
$40 < B \leq 50$	13
$50 < B \leq 60$	14
$60 < B$	15

[illegible]

U型側溝工 (UB-3)

歩道用

$$\underline{H \leq 75}$$


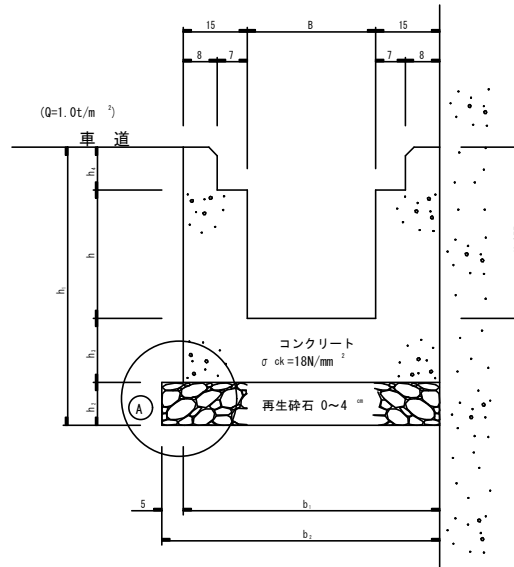
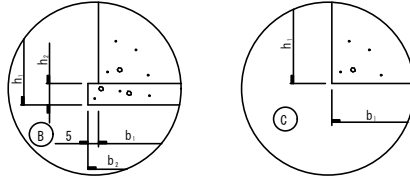
基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

[illegible]

U型側溝工 (UB-3-R)

車道用

$$H \leq 55$$


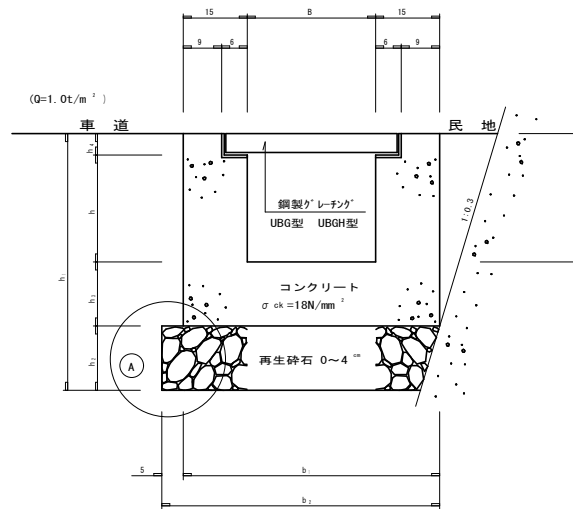
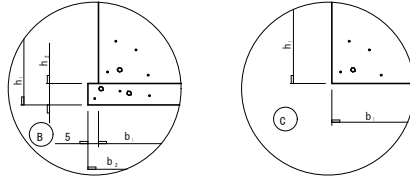
基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

Bの区分による h_4 の変化

記号	
Bの区分	h_4
$B \leq 20$	10
$20 < B \leq 30$	11
$30 < B \leq 40$	12
$40 < B \leq 50$	13
$50 < B \leq 60$	14
$60 < B$	15

寸 法 表																数 量 表												
(cm)																(1m当り)												
工 種	B	H	h ₁			h ₂		h ₃	h ₄	b ₁	b ₂						基 礎				m ²	m ²						
			A	B	C	A	B										①	②	③	④								
			再生砕石 (t=10) m ²	再生砕石 (t=15) m ²	コンクリート (t=5) m ³	基礎型砕 m ²	型 枠										コンクリート											
UB-3-R (20×30)	20	30	55	50	45	10	5	15	10	50	55						0.550	—	0.028	0.050	1.350	0.151						
(30×40)	30	40	70	60	55	15	5	15	11	60	65						—	0.650	0.033	0.050	1.650	0.195						
(40×50)	40	50	80	70	65	15	5	15	12	70	75						—	0.750	0.038	0.050	1.950	0.238						

$$H \leq 55$$


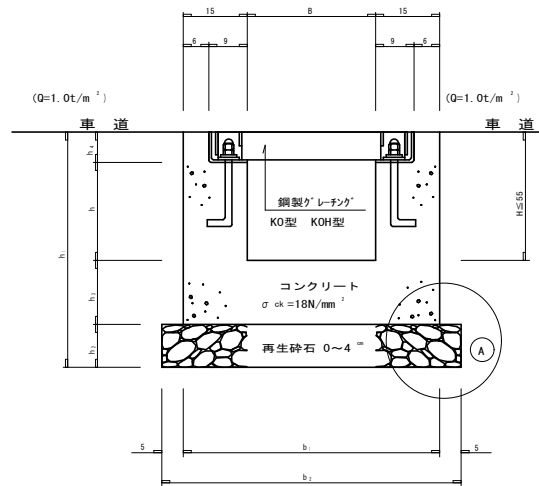
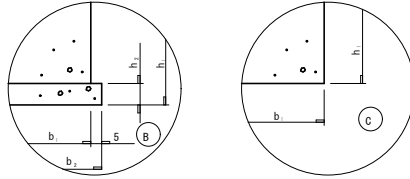
基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0～4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

[illegible]

U型側溝工 (UD-K-R, UD-KH-R)

車道用

$$H \leq 55$$


基礎の種類

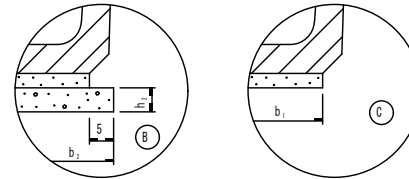
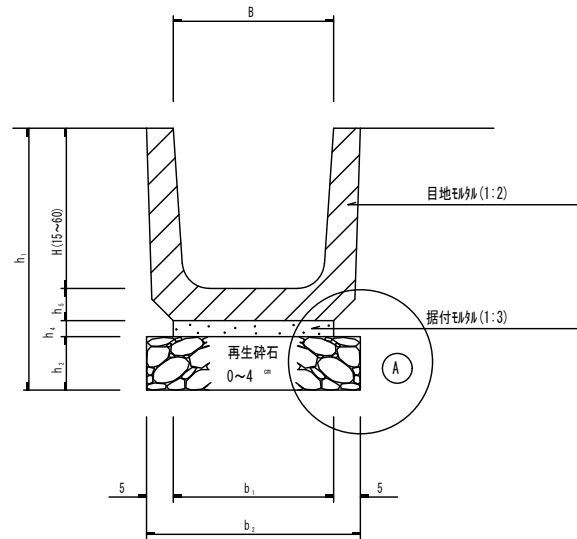
区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0～4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

Bの区分による h_4 の変化

記号 Bの区分	粗目	細目
30	7.1	7.1
40	8.1	8.1
50	9.6	9.6

[illegible]

U型側溝工 (UP1-1)



基礎の種類

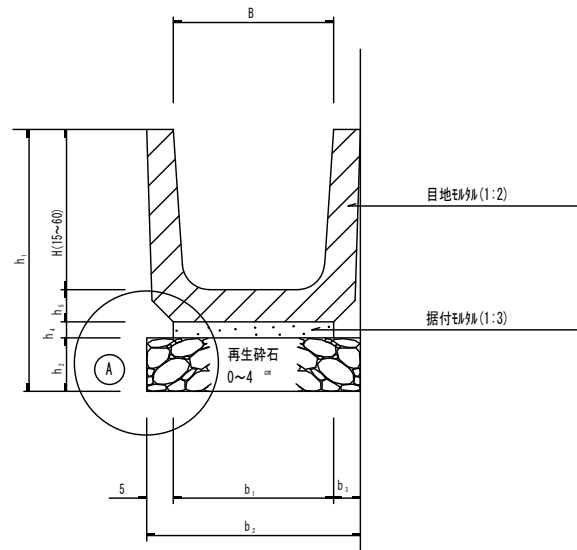
区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生砕石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

[illegible]

U型側溝工 (UP1-3)

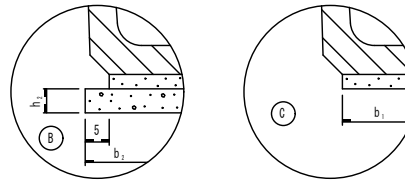


基礎の種類

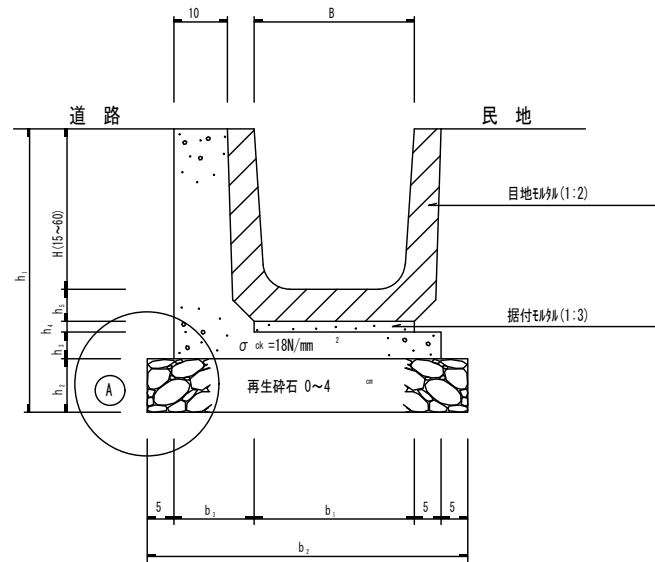
区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生砕石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

[illegible]

U型側溝工 (UP2-1)

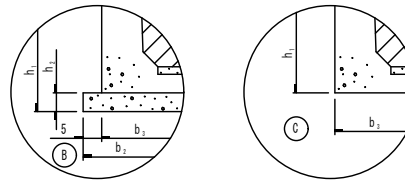


基礎の種類

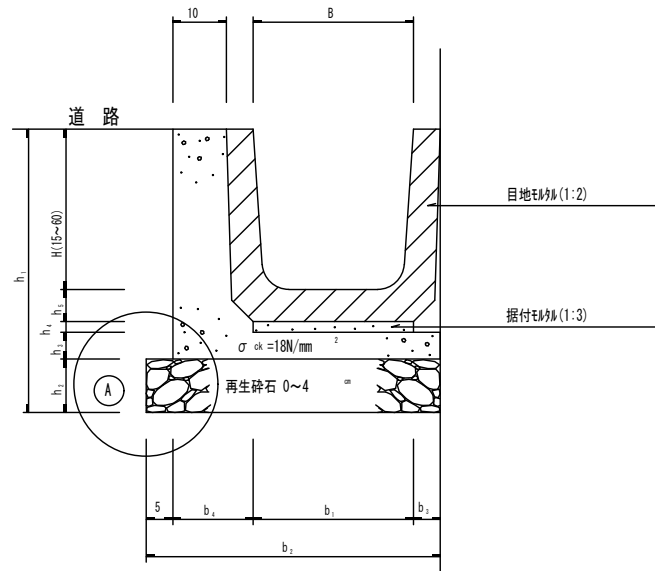
区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生砕石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付珉珉珉	1 : 3
目地珉珉珉	1 : 2

[illegible]

U型側溝工 (UP2-3)

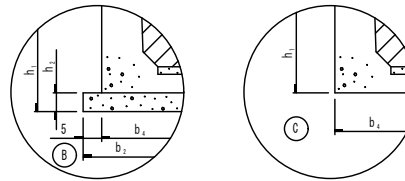


基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生砕石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付珉珉珉	1 : 3
目地珉珉珉	1 : 2



寸 法 表

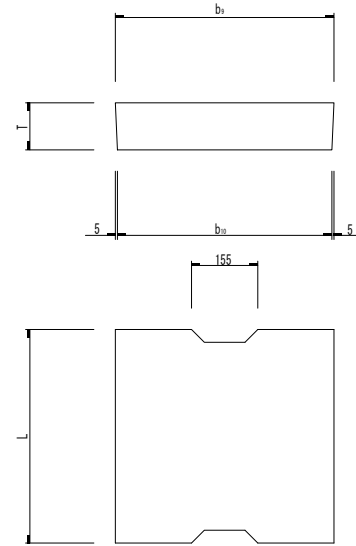
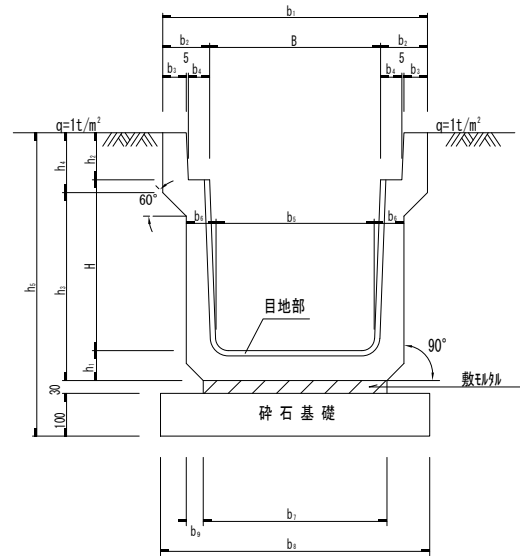
[illegible]

数 量 表

[illegible]

U型側溝工（プレキャストJIS型）

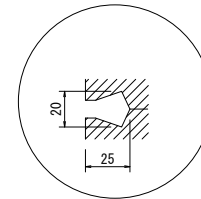
車道用



（道路用プレキャスト鉄筋コンクリートU型側こうぶた）寸法表

記号	寸法表 (単位mm)				1枚当たり重量 (kg)	摘要
	b ₁	b ₂	T	L		
B250	362	352	90	500	37	JIS A 5372 3種
B300	412	402	95	500	45	
B400	512	502	110	500	65	
B500	622	612	125	500	91	

※目地部はモルタル詰め
で処理すること。

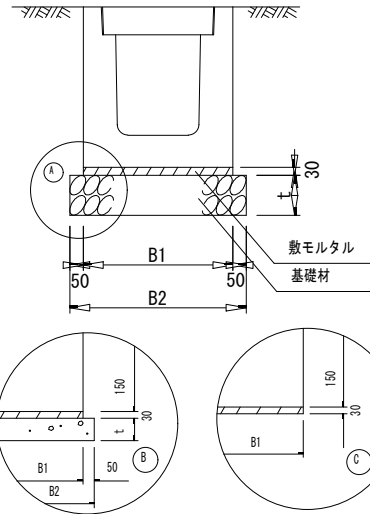


目地部 (参考)

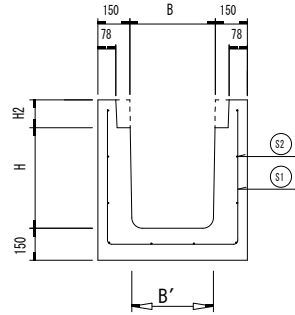
（道路用プレキャスト鉄筋コンクリートU型側こう：ふた付き）寸法および材料表

記号	寸法表 (単位mm)																	材 料 表 (10m当たり)				側こう一個 当たり重量 (kg)	摘 要
	B	H	b ₁	b ₂	b ₃	b ₄	b ₅	b ₆	b ₇	b ₈	b ₉	h ₁	h ₂	h ₃	h ₄	h ₅	L	砕石基礎 (m ²)	据付モルタル (m ³)	側こう (個)	側こうふた (枚)		
B250-H250	250	250	460	105	45	55	230	65	300	500	30	65	90	285	120	535	2000	5.000	0.090	5	20	333	JIS A 5372 3種
B300-H300	300	300	520	110	50	55	280	70	360	560	30	70	95	325	140	595	2000	5.600	0.108	5	20	419	
B300-H400	300	400	520	110	50	55	270	70	330	530	40	70	95	425	140	695	2000	5.300	0.099	5	20	472	
B300-H500	300	500	520	110	50	55	260	80	340	540	40	80	95	535	140	805	2000	5.400	0.102	5	20	585	
B400-H400	400	400	630	115	55	55	370	70	430	630	40	70	110	440	140	710	2000	6.300	0.129	5	20	516	
B400-H500	400	500	630	115	55	55	360	80	440	640	40	80	110	550	140	820	2000	6.400	0.132	5	20	634	
B500-H500	500	500	750	125	60	60	460	80	540	740	40	80	125	550	155	835	2000	7.400	0.162	5	20	700	
B500-H600	500	600	750	125	60	60	450	90	550	750	40	90	125	640	175	945	2000	7.500	0.165	5	20	849	

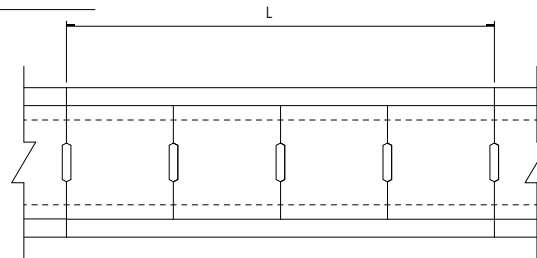
標準施工断面図



断面図

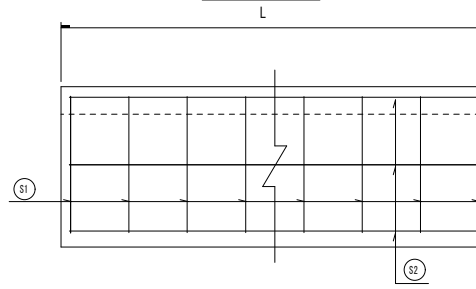


標準施工平面図

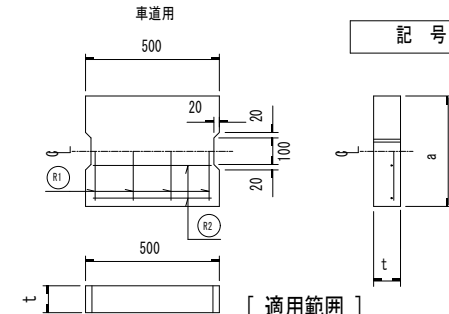


プレキャストU型側溝

側面図



〔蓋版構造図〕



〔適用範囲〕

1. 活荷重は、一般車両のT-25とし
道路と平行に載荷する。

〔2次製品仕様〕

1. コンクリート強度

強度・応用度	側溝
設計基準強度 σ_{ck}	24N/mm ² 以上
許容曲げ 圧縮応力度 σ_{ca}	8N/mm ²

2. 鉄筋類

種別	許容引張応力度 σ_{sa}
SD295A	160N/mm ²

寸法表

(mm)

O 仕 組 H	記 号	工 種	B	B'	H	H2	B1	B2	t		鉄 筋 表 径×本数								質量 (参考) (k g /個)								m ³		m		枚					
											L=2000				L=1000																					
									A	B	S1 筋 筋	S2 筋 筋	S1 筋 筋	S2 筋 筋	S1 筋 筋	S2 筋 筋	S1 筋 筋	S2 筋 筋	S1 筋 筋	S2 筋 筋	S1 筋 筋	S2 筋 筋	S1 筋 筋	S2 筋 筋	砕 石 (t=150) m ²	20号砕 (t=50) m ²	基礎型枠 m ²	掘付モルタル	プレキャスト U型側溝	プレキャスト 蓋板						
	PU234	300×400	300	290	290	110	600	700	150	50	D10×8	D6×7	D10×4	D6×7	D10×16	D6×7					2.0m	1.0m	4.0m (参考)	3.0m (参考)	0.700	0.035	0.100	0.018	1.000	4.000						
	PU235	300×500	300	287	390	110	600	700	150	50	D10×8	D6×7	D10×4	D6×7	D10×16	D6×7					1, 095	548	2, 890		0.700	0.035	0.100	0.018	1.000	4.000						
	PU236	300×600	300	280	490	110	600	700	150	50	D10×8	D6×9	D10×4	D6×9	D10×16	D6×9					1, 235	618	2, 470		0.700	0.035	0.100	0.018	1.000	4.000						
	PU244	400×400	400	390	280	120	700	800	150	50	D10×8	D6×8	D10×4	D6×8	D10×16	D6×8					1, 010	505	2, 020		0.800	0.040	0.100	0.021	1.000	4.000						
	PU245	400×500	400	387	380	120	700	800	150	50	D10×8	D6×8	D10×4	D6×8	D10×16	D6×8					1, 160	580	2, 320		0.800	0.040	0.100	0.021	1.000	4.000						
	PU246	400×600	400	380	480	120	700	800	150	50	D10×8	D6×8	D10×4	D6×8			D10×12	D6×8			1, 307	653		1, 960	0.800	0.040	0.100	0.021	1.000	4.000						
	PU255	500×500	500	487	370	130	800	900	150	50	D10×10	D6×8	D10×5	D6×8			D10×15	D6×8			1, 220	610			0.900	0.045	0.100	0.024	1.000	4.000						
	PU256	500×600	500	480	470	130	800	900	150	100	D10×10	D6×10	D10×5	D6×10			D10×15	D6×10			1, 367	683			0.900	0.090	0.200	0.024	1.000	4.000						
	PU257	500×700	500	480	570	130	800	900	150	100	D10×10	D6×10	D10×5	D6×10			D10×15	D6×10			1, 513	757			0.900	0.090	0.200	0.024	1.000	4.000						

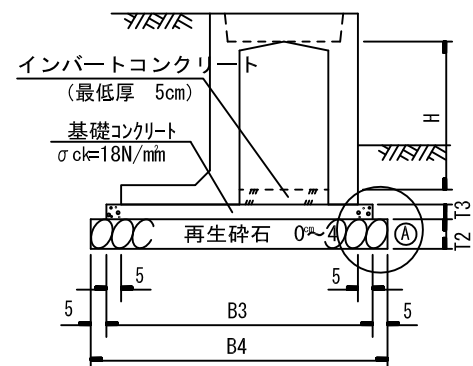
○ 印 施 工	記 号	工 種	a	t	鉄 筋 表 径×本数												質量 (参考) (kg/個)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
------------------	-----	-----	---	---	---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※切り欠き部のない製品も製造可能。

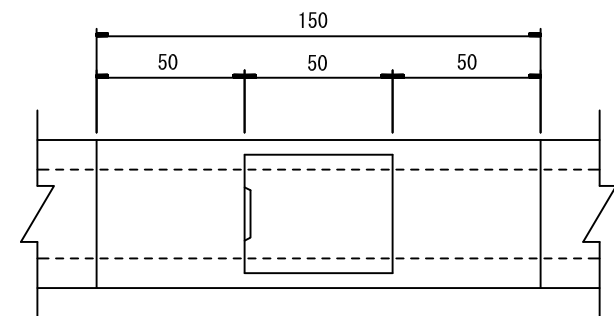
蓋版は、グレーチング蓋も使用可能。

自由勾配側溝（門留－２）

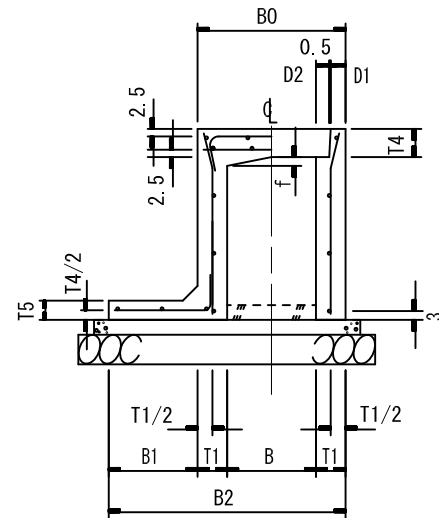
標準施工断面図



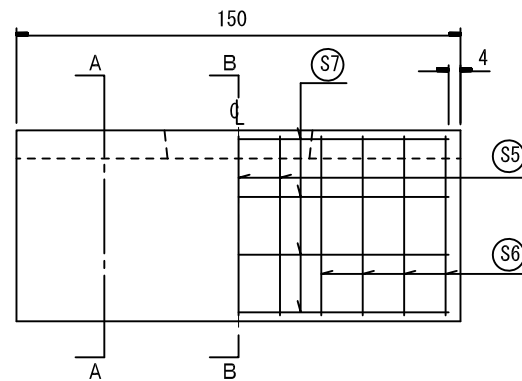
標準施工平面図



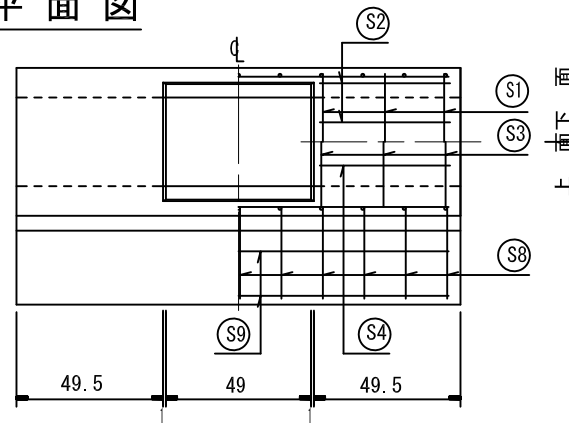
A-A断面図 B-B断面図



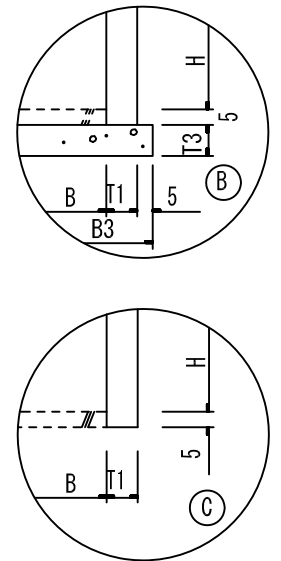
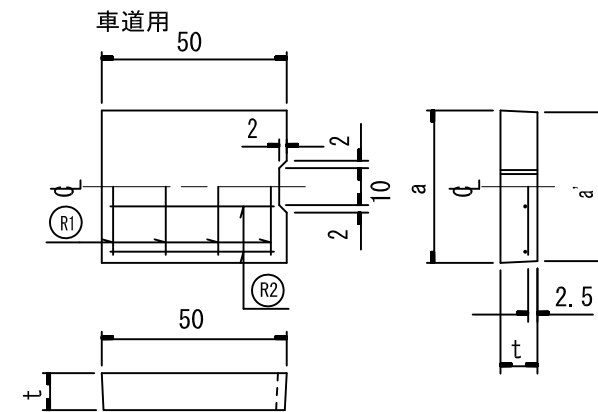
側面図



平面図



〔蓋版構造図〕



〔蓋版寸法表〕

工 種	寸 法 表 (c m)			質量(参考) (kg/個)
	a	a'	t	
30用	41.2	40.2	10.0	51
40用	51.2	50.2	11.0	70
50用	62.2	61.2	12.5	96
60用	72.2	71.2	14.0	125

※切り欠き部のない製品も製造可能。
※蓋版は、グレーチング蓋も使用可能。

※インポートコンクリートについては実数計上とする。

〔適用範囲〕

1. 活荷重は、一般車両のT-25とし
道路と平行に载荷する。

寸 法 表

(cm)

数 量 表

(1m当り)

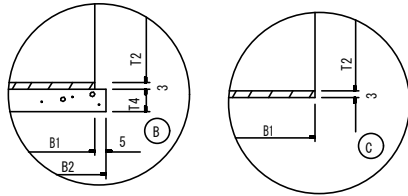
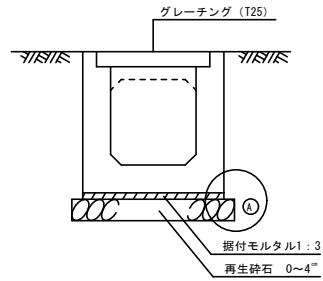
○印 施工	工 種	B	H	B0	B1	B2	B3	B4	T1	T2	T3	T4	T5	D1	D2	f	質量 (参考) (k g/個)	基礎					m³ インバート コンクリート	個 門留型側溝	枚 蓋板						
																		(A)		(B)											
																		再生砕石 (t=10)m³	コンクリート m³	型枠 m²	コンクリート m³	型枠 m²									
	300×300	30	30	50	15	65	75	85	10.0	10	5	10.0	10.0	4.0	5.5	3	465	0.850	0.038	0.100	0.038	0.100	実数計上	0.500	1.000						
	300×400	30	40	50	20	70	80	90	10.0	10	5	10.0	10.0	4.0	5.5	3	559	0.900	0.040	0.100	0.040	0.100	実数計上	0.500	1.000						
	300×500	30	50	50	25	75	85	95	10.0	10	5	10.0	10.0	4.0	5.5	3	653	0.950	0.043	0.100	0.043	0.100	実数計上	0.500	1.000						
	300×600	30	60	50	30	80	90	100	10.0	10	5	10.0	10.0	4.0	5.5	3	746	1.000	0.045	0.100	0.045	0.100	実数計上	0.500	1.000						
	400×400	40	40	61	20	81	91	101	10.5	10	5	11.0	10.5	4.5	5.5	4	628	1.010	0.046	0.100	0.046	0.100	実数計上	0.500	1.000						
	400×500	40	50	61	25	86	96	106	10.5	10	5	11.0	10.5	4.5	5.5	4	707	1.060	0.048	0.100	0.048	0.100	実数計上	0.500	1.000						
	400×600	40	60	61	25	86	96	106	10.5	10	5	11.0	10.5	4.5	5.5	4	805	1.060	0.048	0.100	0.048	0.100	実数計上	0.500	1.000						
	400×700	40	70	61	30	91	101	111	10.5	10	5	11.0	10.5	4.5	5.5	4	902	1.110	0.051	0.100	0.051	0.100	実数計上	0.500	1.000						
	500×500	50	50	72	20	92	102	112	11.0	10	10	12.5	11.0	4.5	6.0	5	799	1.120	0.102	0.200	0.102	0.200	実数計上	0.500	1.000						
	500×600	50	60	72	25	97	107	117	11.0	10	10	12.5	11.0	4.5	6.0	5	900	1.170	0.107	0.200	0.107	0.200	実数計上	0.500	1.000						
	500×700	50	70	72	30	102	112	122	11.0	10	10	12.5	11.0	4.5	6.0	5	1002	1.220	0.112	0.200	0.112	0.200	実数計上	0.500	1.000						
	500×800	50	80	72	35	107	117	127	11.0	10	10	12.5	11.0	4.5	6.0	5	1103	1.270	0.117	0.200	0.117	0.200	実数計上	0.500	1.000						
	600×600	60	60	83	25	108	118	128	11.5	10	10	14.0	11.5	5.0	6.0	6	1008	1.280	0.118	0.200	0.118	0.200	実数計上	0.500	1.000						
	600×700	60	70	83	30	113	123	133	11.5	10	10	14.0	11.5	5.0	6.0	6	1113	1.330	0.123	0.200	0.123	0.200	実数計上	0.500	1.000						
	600×800	60	80	83	35	118	128	138	11.5	10	10	14.0	11.5	5.0	6.0	6	1199	1.380	0.128	0.200	0.128	0.200	実数計上	0.500	1.000						
	600×900	60	90	83	35	118	128	138	11.5	10	10	14.0	11.5	5.0	6.0	6	1304	1.380	0.128	0.200	0.128	0.200	実数計上	0.500	1.000						

図
番

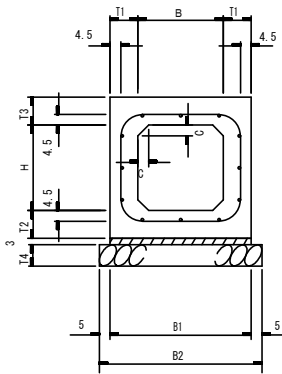


箱 型 側 溝 (箱-2)

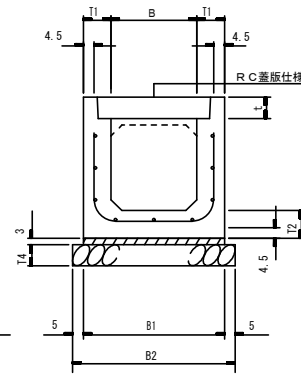
グレーチング部施工断面図



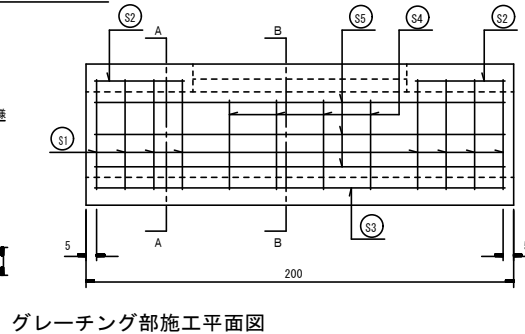
A-A断面図



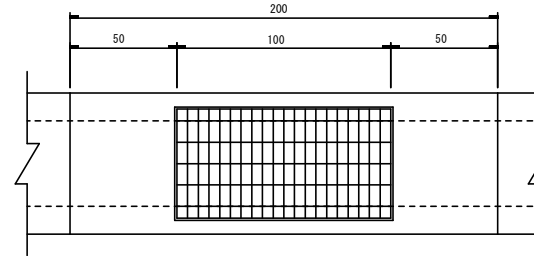
B-B断面図



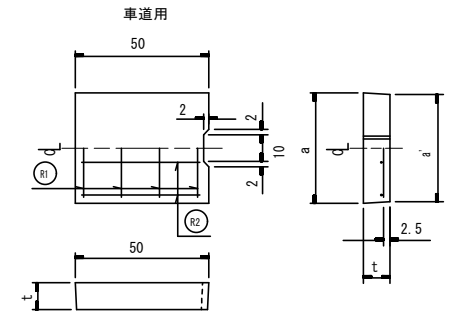
側 面 図



グレーチング部施工平面図



[蓋版構造図]



[適用範囲]

1. 活荷重は、一般車両のT-25とし
道路と平行に載荷する。

(注) 電算未設定

寸 法 表

(cm)

○ 印 施 工	工 種	B	H	B1	B2	T1	T2	T3	T4		C		質量（参考） （kg/個）				
									A	B			2.0m	1.5m			
	300×300	30	30	50	60	10	10	10	10	5	5		771	——			
	300×400	30	40	50	60	10	10	10	15	5	5		871	——			
	300×500	30	50	50	60	10	10	10	15	5	5		971	——			
	300×600	30	60	50	60	10	10	10	15	5	5		1071	——			
	400×400	40	40	66	76	13	13	13	15	5	5		1305	——			
	400×500	40	50	66	76	13	13	13	15	5	5		1435	——			
	400×600	40	60	66	76	13	13	13	15	5	5		1565	——			
	400×700	40	70	66	76	13	13	13	15	5	5		1695	——			
	500×500	50	50	76	86	13	13	13	15	5	5		1565	——			
	500×600	50	60	76	86	13	13	13	15	10	5		1697	——			
	500×700	50	70	76	86	13	13	13	15	10	5		1827	——			

数 量 表

(1m当り)

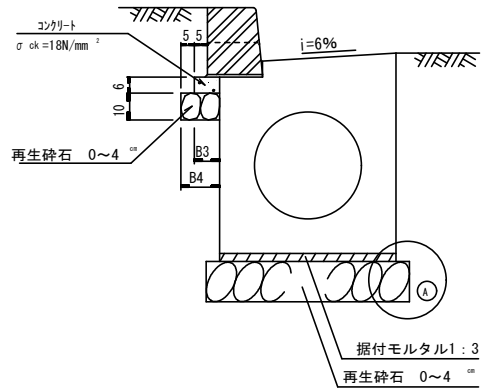
基礎				m ²	個	枚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
----	--	--	--	----------------	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※切り欠き部のない製品も製造可能。蓋版は、グレーチング蓋も使用可能。

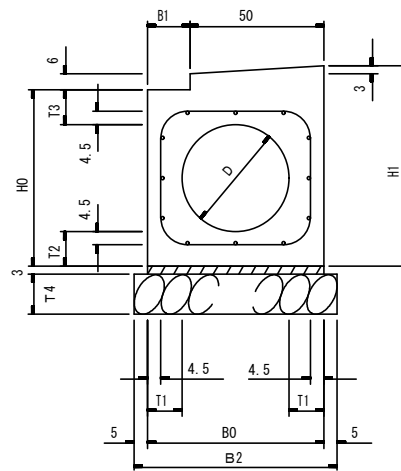
図
番

円型側溝(円-1)

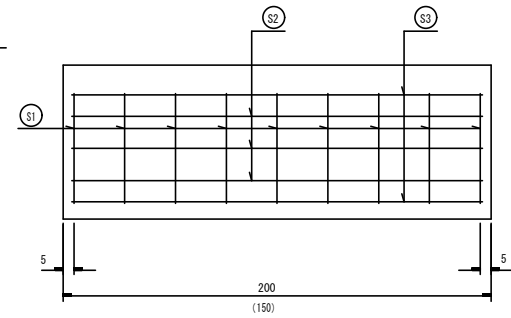
標準施工断面図



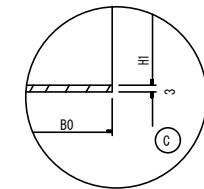
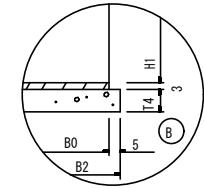
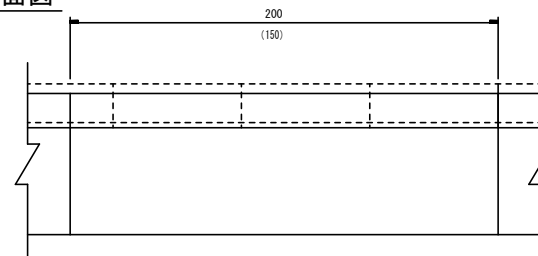
断面図



側面図



標準施工平面図



[適用範囲]

- 活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。

寸法表

工種	D	B0	B1	B2	B3	B4	H0	H1	T1	T2	T3	質量(参考) (kg/個)	
												T4	
												A	B
500-A	50	76	26	86	—	—	76	85	13	13	13	15	5
500-A2	50	76	26	86	—	—	76	85	13	13	13	15	5
500-B	50	76	26	86	—	—	76	85	13	13	13	15	5
500-B2	50	76	26	86	—	—	76	85	13	13	13	15	5
500-B3	50	76	26	86	—	—	76	85	13	13	13	15	5
600-A	60	86	36	96	—	—	86	95	13	13	13	20	10
600-A2	60	86	36	96	—	—	86	95	13	13	13	20	10
600-B	60	86	36	96	—	—	86	95	13	13	13	20	10
600-B2	60	86	36	96	—	—	86	95	13	13	13	20	10
600-B3	60	86	36	96	—	—	86	95	13	13	13	20	10

数量表

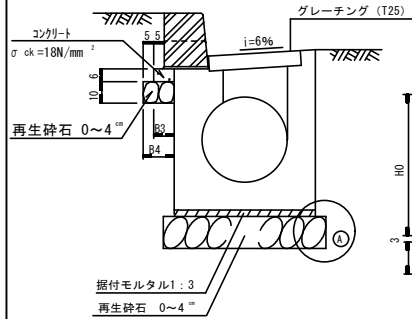
数量	再生砕石 (t=10) m ³	再生砕石 (t=15) m ³	再生砕石 (t=20) m ³	コンクリート (t=6) m ³	型枠 m ²	再生砕石 (t=10) m ³	コンクリート m ³	型枠 m ²	再生砕石 (t=10) m ³	コンクリート (t=6) m ³	型枠 m ²	据付モルタル	縁石	円型側溝
500-A	0.860	—	—	—	—	0.043	0.100	—	—	—	—	0.025	1.000	0.500
500-A2	0.860	—	—	—	—	0.043	0.100	—	—	—	—	0.025	1.000	0.500
500-B	0.860	—	—	—	—	0.043	0.100	—	—	—	—	0.025	1.000	0.500
500-B2	0.860	—	—	—	—	0.043	0.100	—	—	—	—	0.025	1.000	0.500
500-B3	0.860	—	—	—	—	0.043	0.100	—	—	—	—	0.025	1.000	0.500
600-A	—	—	0.960	—	—	0.096	0.200	—	—	—	—	0.028	1.000	0.500
600-A2	—	—	0.960	—	—	0.096	0.200	—	—	—	—	0.028	1.000	0.500
600-B	—	—	0.960	—	—	0.096	0.200	—	—	—	—	0.028	1.000	0.500
600-B2	—	—	0.960	—	—	0.096	0.200	—	—	—	—	0.028	1.000	0.500
600-B3	—	—	0.960	—	—	0.096	0.200	—	—	—	—	0.028	1.000	0.500

図番

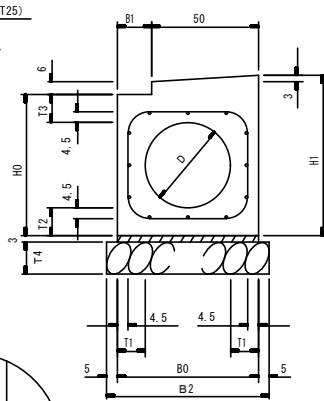
／

円型側溝(円-2)

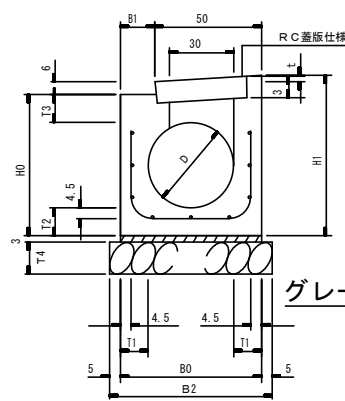
グレーチング部施工断面図



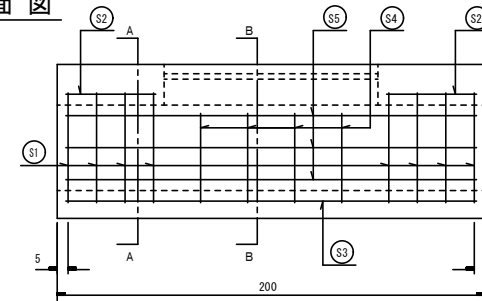
A-A断面図



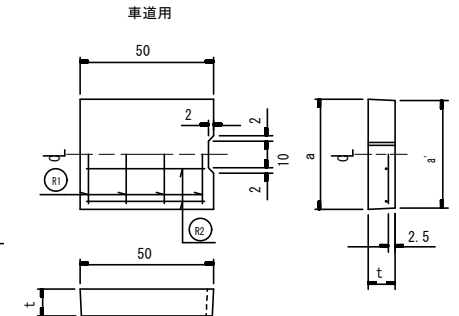
B-B断面図



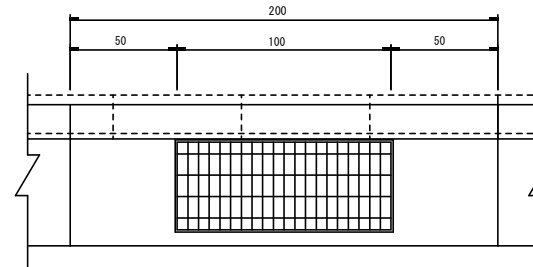
側面図



〔蓋版構造図〕



グレーチング部施工平面図



〔適用範囲〕

- 活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。

寸 法 表

○ 田 工	工 種	D	B0	B1	B2	B3	B4	H0	H1	T1	T2	T3	T4		質量 (参考) (kg/個)	
													A	B	2.0m	1.5m
	500-A	50	76	26	86	—	—	76	85	13	13	13	15	5	1975	—
	500-A2	50	76	26	86	—	—	76	85	13	13	13	15	5	1975	—
	500-B	50	76	26	86	—	—	76	85	13	13	13	15	5	1975	—
	500-B2	50	76	26	86	—	—	76	85	13	13	13	15	5	1975	—
	500-B3	50	76	26	86	—	—	76	85	13	13	13	15	5	1975	—
	600-A	60	86	36	96	—	—	86	95	13	13	13	20	10	2271	—
	600-A2	60	86	36	96	—	—	86	95	13	13	13	20	10	2271	—
	600-B	60	86	36	96	—	—	86	95	13	13	13	20	10	2271	—
	600-B2	60	86	36	96	—	—	86	95	13	13	13	20	10	2271	—
	600-B3	60	86	36	96	—	—	86	95	13	13	13	20	10	2271	—

数 量 表

基 礎												(1m当り)			
												m ²	m	個	枚
再生砕石 (t=10)m ²	再生砕石 (t=15)m ²	再生砕石 (t=20)m ²	コンクリート (t=6)m ³	型枠 m ²	再生砕石 (t=10)m ²	コンクリート m ³	型枠 m ²	再生砕石 (t=10)m ²	コンクリート (t=6)m ³	型枠 m ²	振付モルタル				
—	0.860	—	—	—	—	0.043	0.100	—	—	—	0.025	1.000	0.500	0.500	
—	0.860	—	—	—	—	0.043	0.100	—	—	—	0.025	1.000	0.500	0.500	
—	0.860	—	—	—	—	0.043	0.100	—	—	—	0.025	1.000	0.500	0.500	
—	0.860	—	—	—	—	0.043	0.100	—	—	—	0.025	1.000	0.500	0.500	
—	0.860	—	—	—	—	0.043	0.100	—	—	—	0.025	1.000	0.500	0.500	
—	—	0.960	—	—	—	0.096	0.200	—	—	—	0.028	1.000	0.500	0.500	
—	—	0.960	—	—	—	0.096	0.200	—	—	—	0.028	1.000	0.500	0.500	
—	—	0.960	—	—	—	0.096	0.200	—	—	—	0.028	1.000	0.500	0.500	
—	—	0.960	—	—	—	0.096	0.200	—	—	—	0.028	1.000	0.500	0.500	

○ 田 工	工 種	a	a'	t	質量 (参考) (kg/個)	
	蓋版 (車道用)					
	NC230	41.2	40.2	10.0		51

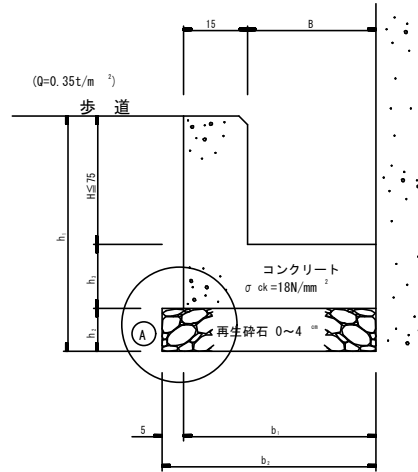
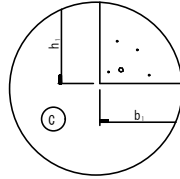
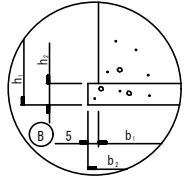
※切り欠き部のない製品も製造可能。

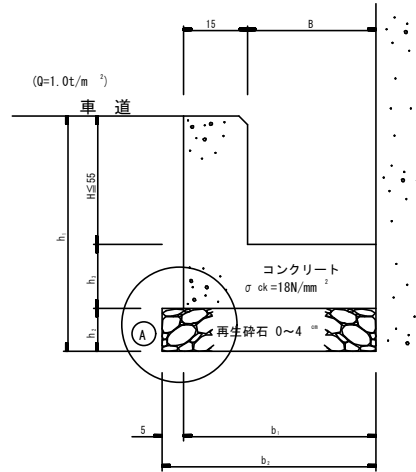
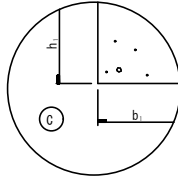
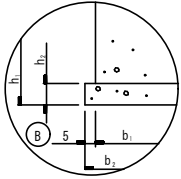
図
番

$$H \leq 75$$

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生碎石	0~4cm
Ⓑ	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

[illegible]

$$H \leq 55$$


基礎の種類

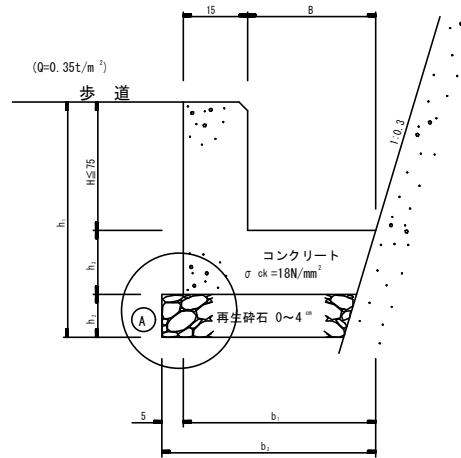
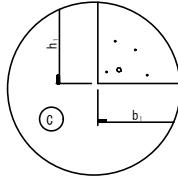
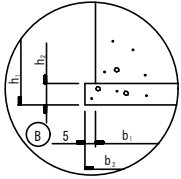
区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

[illegible]

$$H \leq 75$$

基礎の種類

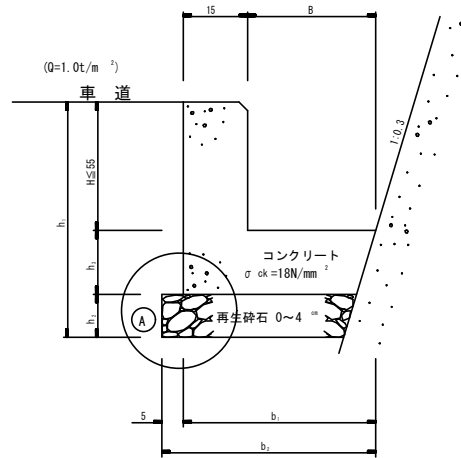
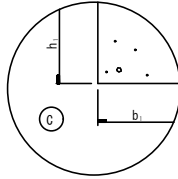
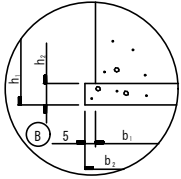
区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生碎石	0~4cm
Ⓑ	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

[illegible]

$$H \leq 55$$

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生碎石	0~4cm
Ⓑ	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

[illegible]

旧 名 称	GF-L
-------	------

新 名 称	NG-L
-------	------

NG-L-FA

NG-L-FB

NG-L-LB(新規格)

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

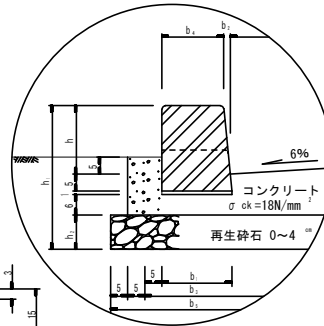
モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

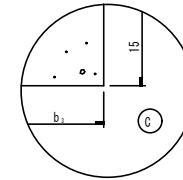
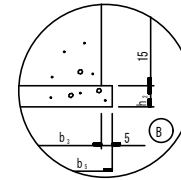
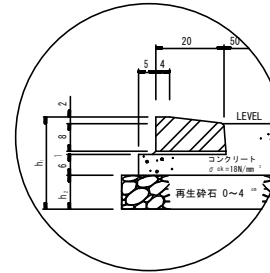
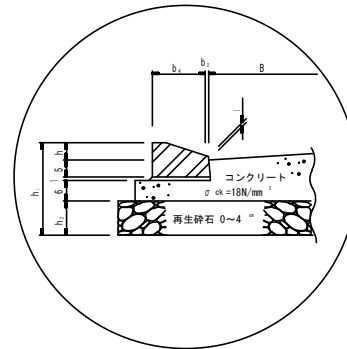
NG-L-A, NG-L-A2

NG-L-B, NG-L-B2

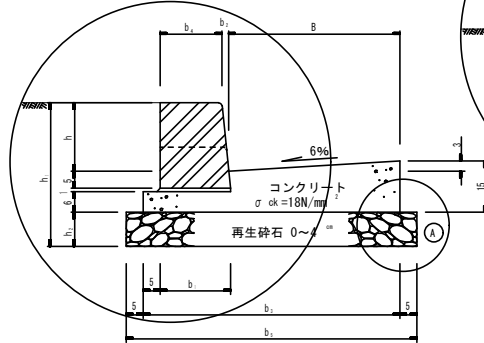
セミフラット型



NG-L-B3



マウンドアップ型



寸 法 表

(cm)

数 量 表

(1m当り)

[illegible]

四 番

旧 名 称	GF-C
-------	------

新 名 称	NG-C
-------	------

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

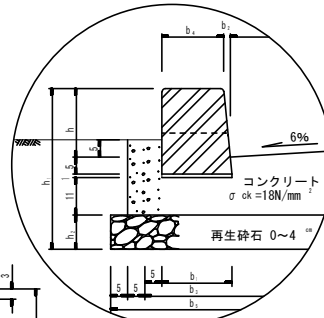
モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

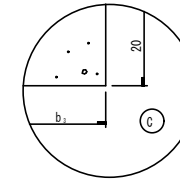
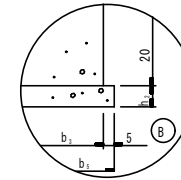
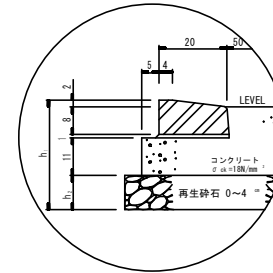
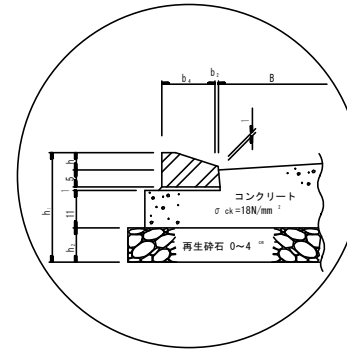
NG-C-FA
NG-C-FB

NG-C-A, NG-C-A2
NG-C-B, NG-C-B2

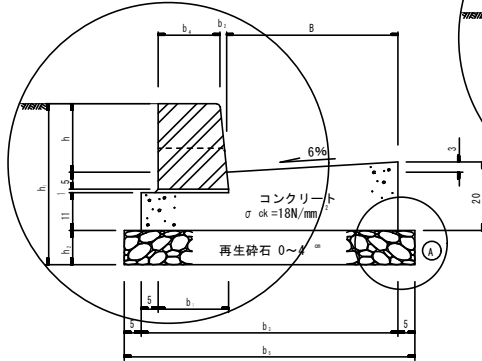
セミフラット型



NG-C-B3



マウンドアップ型



寸 法 表

[illegible]

数 量 表

[illegible]

四 番

旧 名 称	GF-D
-------	------

新 名 称	NG-D
-------	------

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

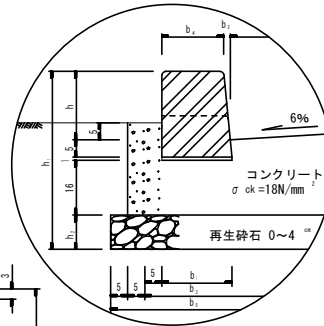
モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

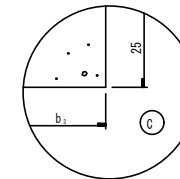
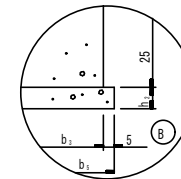
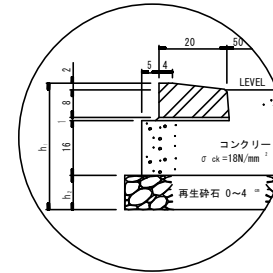
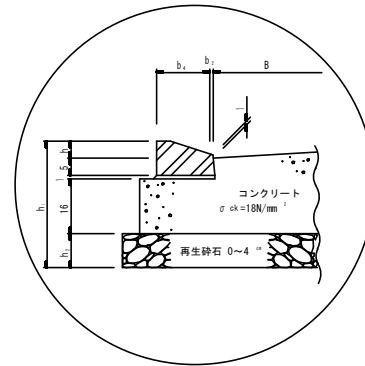
$$\frac{\text{NG-D-FA}}{\text{NG-D-FB}}$$

NG-D-A, NG-D-A2
NG-D-B, NG-D-B2

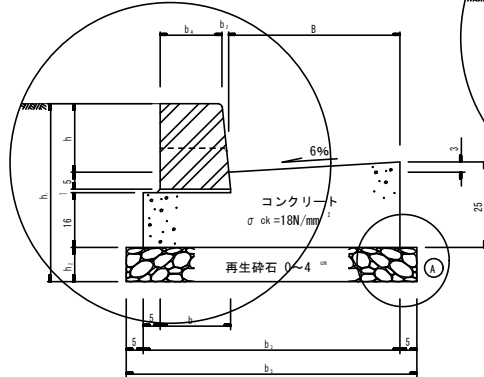
セミフラット型



NG-D-B3



マウンドアップ型



寸 法 表

[illegible]

数 量 表

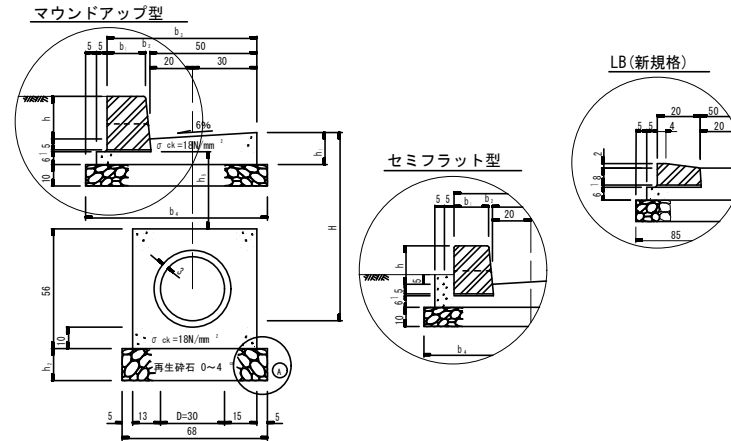
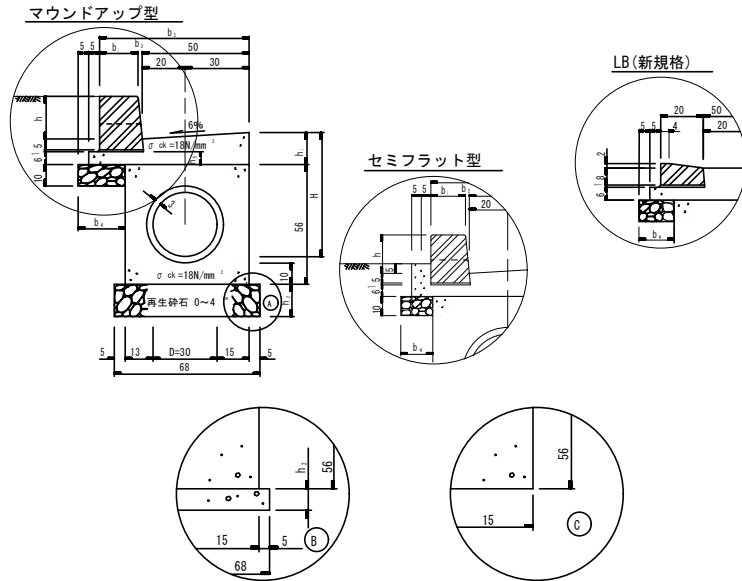
[illegible]

圖
番

旧 名 称	GFP-L-30
新 名 称	NGP-L-30

$6 \leq h_5 < 16$ の場合

$h_5 \geq 16$ の場合



Hの変化による h_1, h_5 の変化

Hの変化	h_1	h_5
58	15	6
?	?	?
67.9	24.9	15.9
68	15	16
?		?

()はLの時の値

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0~4cm
Ⓑ	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

寸 法 表

[illegible]

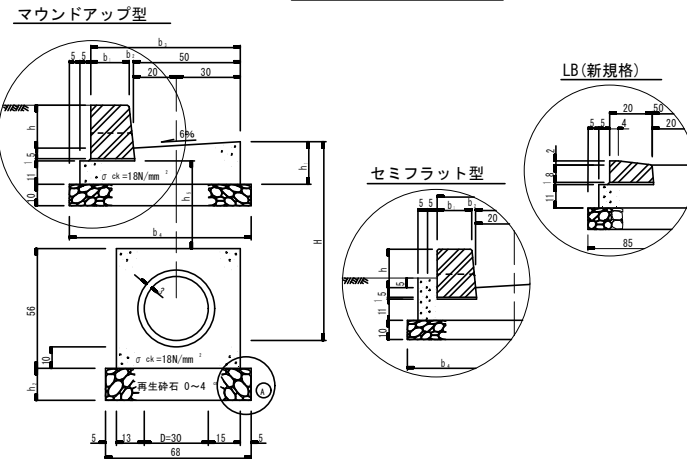
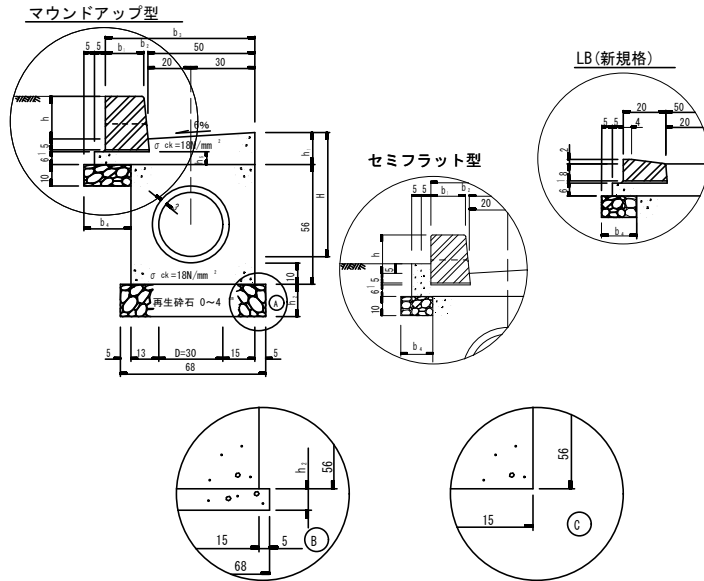
数 量 表

[illegible]

旧 名 称	GFP-C-30
新 名 称	NGP-C-30

$6 \leq h_5 < 21$ の場合

$h_5 \geq 21$ の場合



Hの変化による h_1, h_5 の変化

Hの変化	h_i	h_s
58 2 72.9	15 2 29.9	6 2 20.9
73 2	20	21 2

()はLの時の値

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

寸 法 表

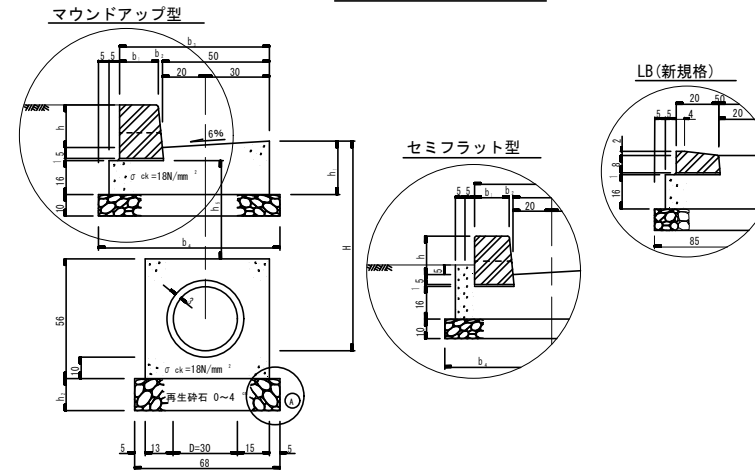
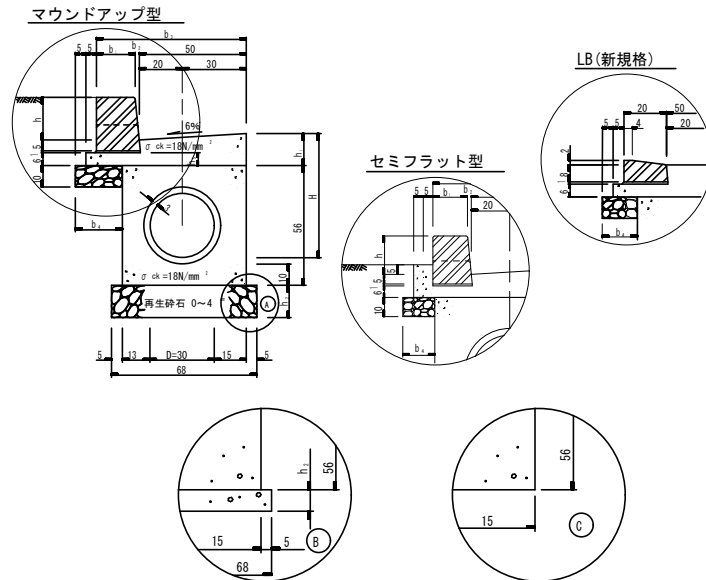
[illegible]

数 量 表

[illegible]

6 ≤ h₅ < 26 の場合

$h_5 \geq 26$ の場合



Hの変化による h_1, h_5 の変化

Hの変化	h_1	h_2
58 2 77.9	15 2 34.9	6 2 25.9
78 2	25	26 2

()はLの時の値

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生碎石	0~4cm
Ⓑ	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

モルタルの品質

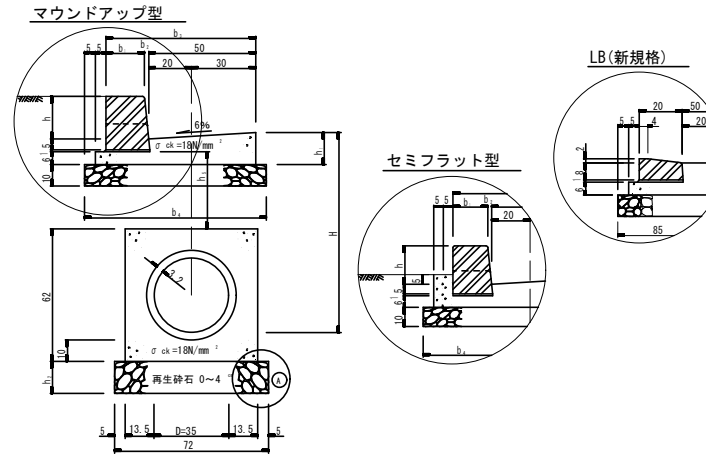
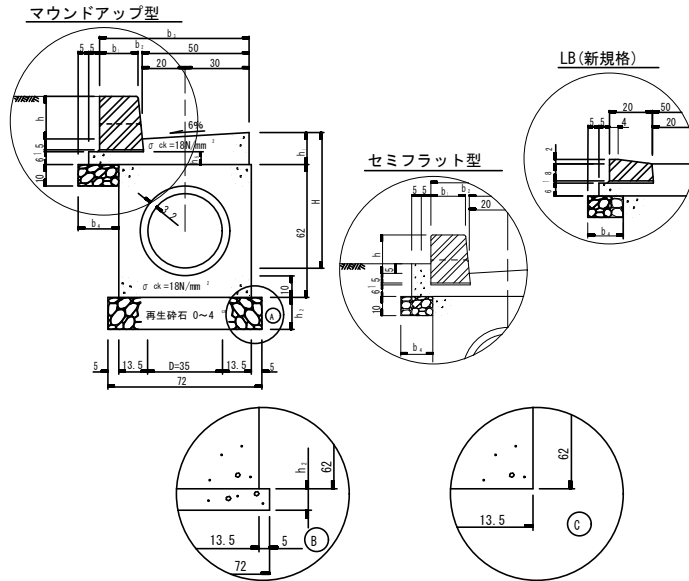
	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

寸 法 表															数 量 表																
(cm)															(1m当り)																
○ 目 指 工	工 種	h	H	h ₁	h ₂			h ₅	b ₁	b ₂	b ₃	b ₄					基 礎 部				型 枠		コンクリート		据付モルタル	ヒューム管	緑 石				
					A	B	C										緑石・血清部 (t=10)㎡	管 渠 部			緑石・血清部	管渠部	緑石・血清部	管渠部							
																		再生緑石 (t=15)㎡	コンクリート (t=5)㎡	基礎型枠 ㎡											
																														㎡	㎡
	NGP-D-A-30	15	58	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	18.5						0.185	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.080	0.223	0.002	1.000	1.000			
	A ₂	7	58	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	18.5						0.185	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.080	0.223	0.002	1.000	1.000			
	B	20	58	15	15	5	0	6	18	2	70	22						0.220	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.083	0.223	0.002	1.000	1.000			
	B ₂	7	58	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	22						0.220	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.083	0.223	0.002	1.000	1.000			
	B ₃	5	58	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	22						0.220	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.083	0.223	0.002	1.000	1.000			
	FA	15	58	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	23.5						0.235	0.680	0.034	0.100	0.440	1.120	0.094	0.223	0.002	1.000	1.000			
	FB	20	58	15	15	5	0	6	18	2	70	27						0.270	0.680	0.034	0.100	0.440	1.120	0.097	0.223	0.002	1.000	1.000			
	LB	2	58	15	15	5	0	6	20	――	70	22						0.220	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.090	0.223	0.002	1.000	1.000			
	NGP-D-A-30	15	78	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	81.5						0.815	0.680	0.034	0.100	0.570	1.120	0.152	0.223	0.002	1.000	1.000			
	A ₂	7	78	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	81.5						0.815	0.680	0.034	0.100	0.570	1.120	0.152	0.223	0.002	1.000	1.000			
	B	20	78	25	15	5	0	26	18	2	70	85						0.850	0.680	0.034	0.100	0.570	1.120	0.158	0.223	0.002	1.000	1.000			
	B ₂	7	78	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	85						0.850	0.680	0.034	0.100	0.570	1.120	0.158	0.223	0.002	1.000	1.000			
	B ₃	5	78	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	85						0.850	0.680	0.034	0.100	0.570	1.120	0.158	0.223	0.00					

旧 名 称	GFP-L-35
新 名 称	NGP-L-35

6 ≤ h₅ < 16 の場合

$h_5 \geq 16$ の場合



Hの変化による h_1, h_5 の変化

Hの変化	h_1	h_5
63.8 ?	15 ?	6 ?
73.7 ?	24.9 ?	15.9 ?
73.8 ?	15 ?	16 ?

()はLの時の値

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

寸 法 表

[illegible]

数 量 表

[illegible]

$6 \leq h_5 < 21$ の場合

$h_5 \geq 21$ の場合

旧 名 称	GFP-C-35
新 名 称	NGP-C-35

Hの変化による h_1, h_5 の変化

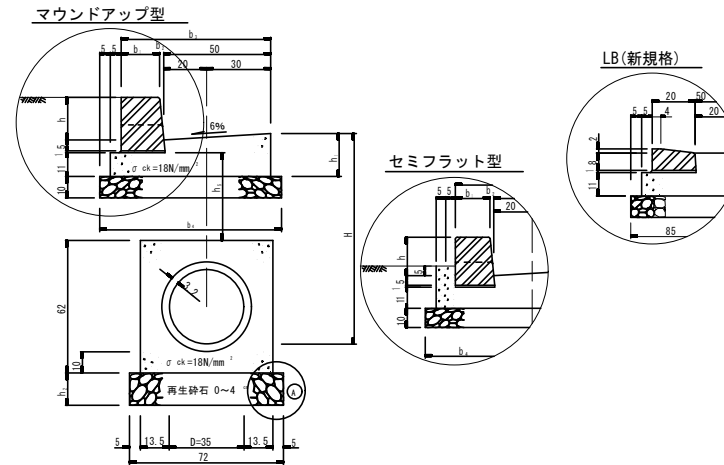
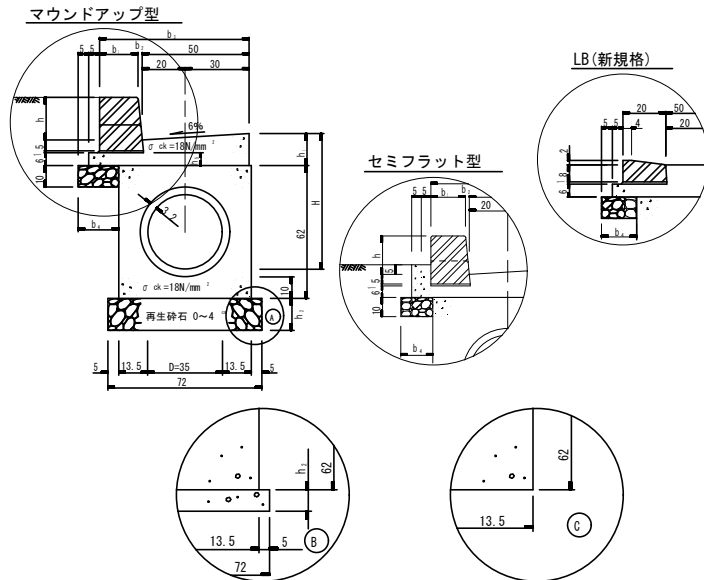
Hの変化	h_1	h_5
63.8 ?	15 ?	6 ?
78.7 ?	29.9 ?	20.9 ?
78.8 ?	20 ?	21 ?

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2



寸 法 表

[illegible]

数 量 表

[illegible]

旧 名 称	GFP-C-40
新 名 称	NGP-C-40

$6 \leq h_5 < 21$ の場合

$h_5 \geq 21$ の場合

Hの変化による h_1, h_5 の変化

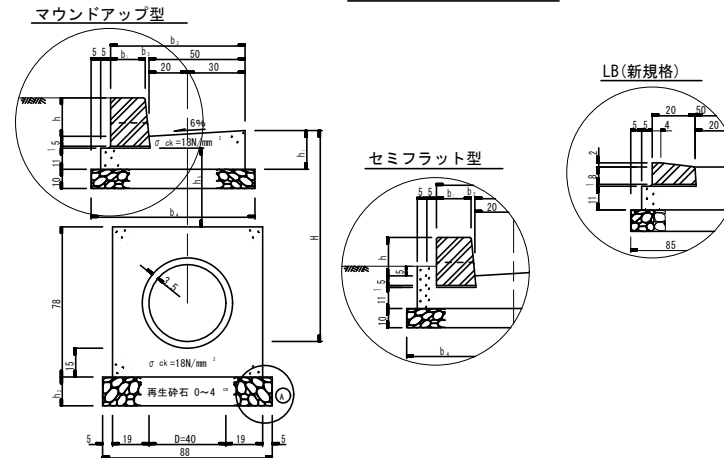
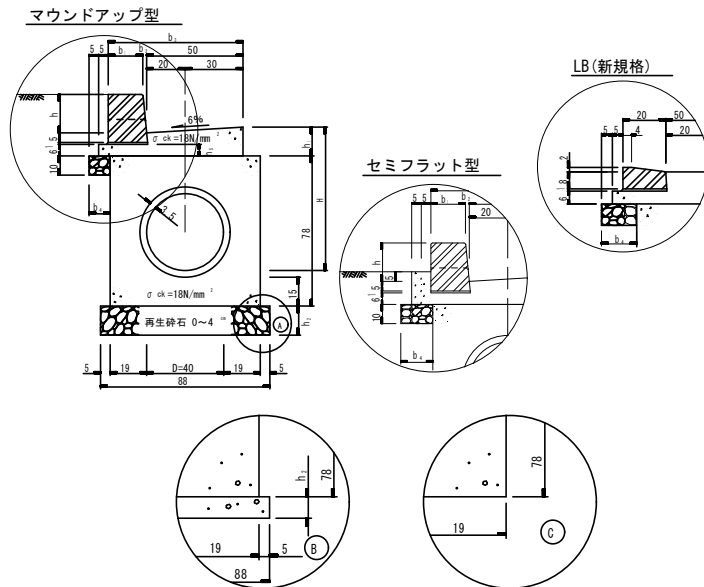
Hの変化	h_1	h_5
74.5 ?	15 ?	6 ?
89.4 ?	29.9 ?	20.9 ?
89.5 ?	20 ?	21 ?

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生碎石	0~4cm
Ⓑ	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2



寸 法 表

[illegible]

数 量 表

[illegible]

旧 名 称	GFP-D-40
新 名 称	NGP-D-40

6 ≤ h₅ < 26 の場合

$h_5 \geq 26$ の場合

Hの変化による h_1, h_5 の変化

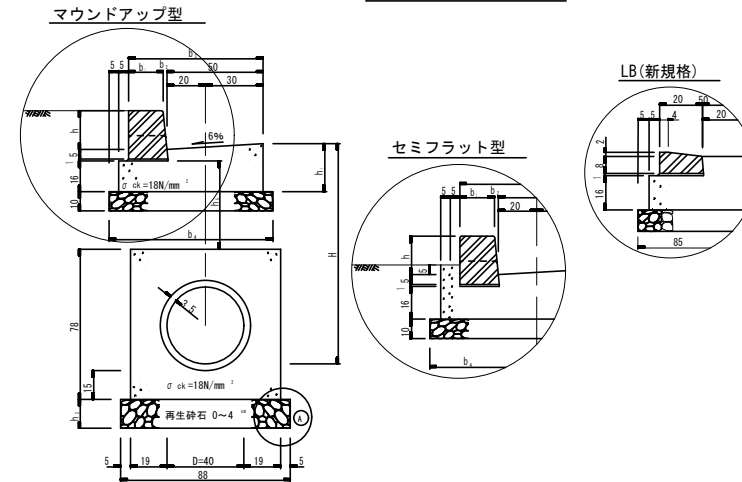
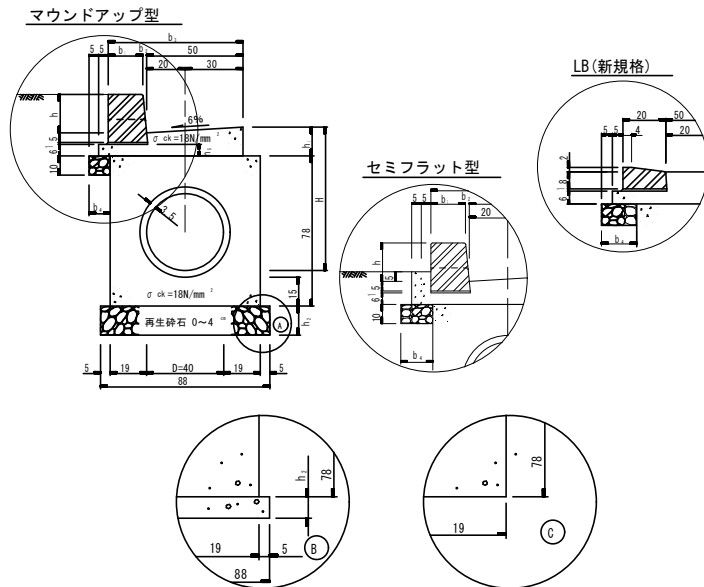
Hの変化	h_1	h_2
74.5 }	15 }	6 }
94.4 }	34.9 }	25.9 }
94.5 }	25 }	26 }

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2



寸 法 表

[illegible]

数 量 表

[illegible]

$6 \leq h_5 < 16$ の場合

$h_5 \geq 16$ の場合

旧 名 称	GFP-L-45
新 名 称	NGP-L-45

Hの変化による h_1, h_5 の変化

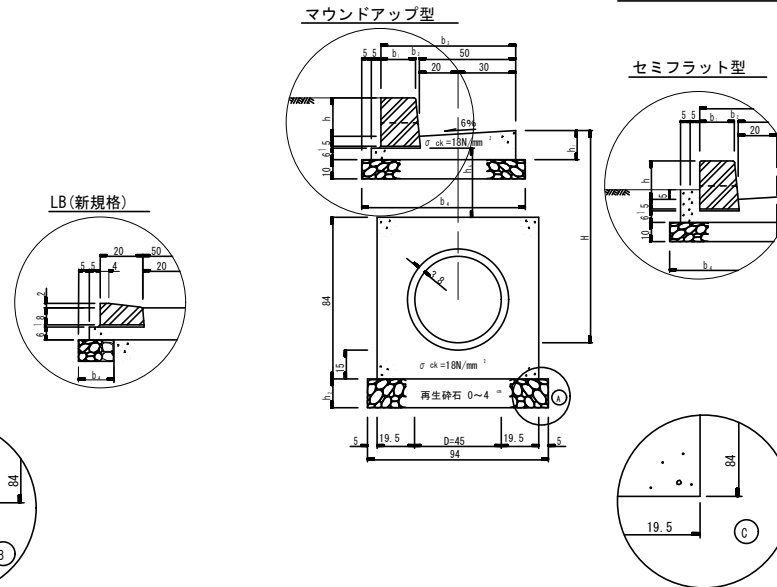
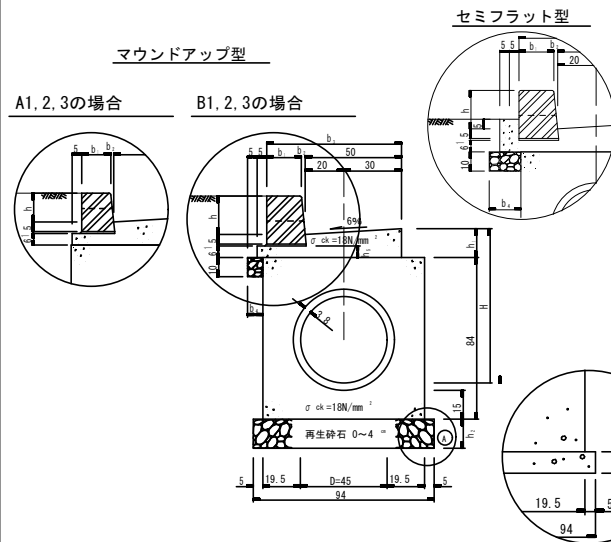
Hの変化	h_1	h_5
80.2 ?	15 ?	6 ?
90.1 ?	24.9 ?	15.9 ?
90.2 ?	15 ?	16 ?

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2



寸 法 表

[illegible]

数量表

[illegible]

旧 名 称	GFP-C-45
新 名 称	NGP-C-45

$6 \leq h_5 < 21$ の場合

$h_5 \geq 21$ の場合

Hの変化による h_1, h_5 の変化

Hの変化	h_1	h_5
80.2 ?	15 ?	6 ?
95.1 ?	29.9 ?	20.9 ?

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生碎石	0~4cm
Ⓑ	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

マウンドアップ型

A1, 2, 3の場合

B1, 2, 3の場合

セミフラット型

LB(新規格)

マウンドアップ型

セミフラット型

LB(新規格)

寸 法 表

[illegible]

数 量 表

[illegible]

$6 \leq h_5 < 26$ の場合

$h_5 \geq 26$ の場合

Hの変化による h_1, h_5 の変化

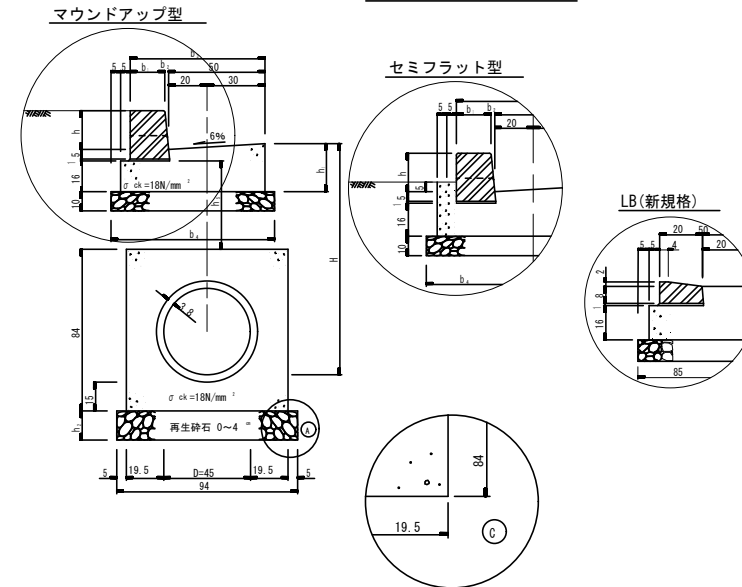
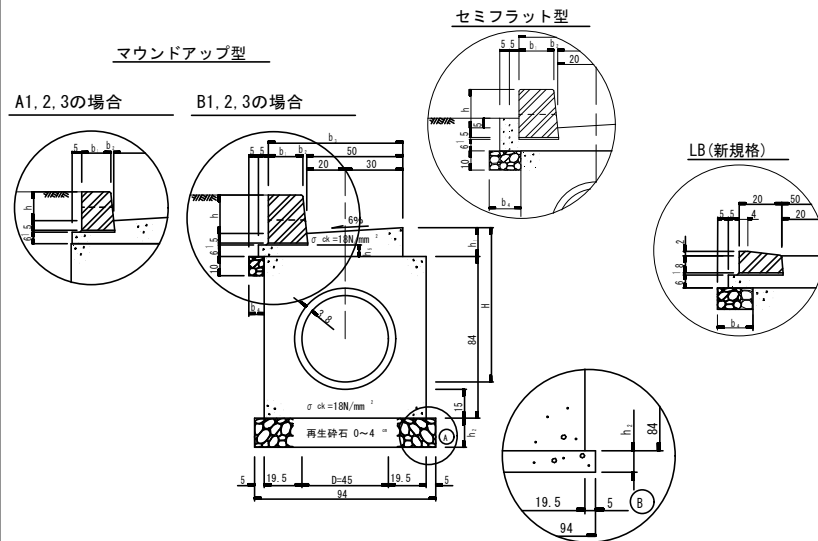
Hの変化	h_1	h_5
80.2 ? 100.1	15 ? 34.9	6 ? 25.9
100.2 ?	25	26 ?

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2



寸 法 表															数 量 表																
(cm)															(1m当り)																
○ 商 標 工	工 種	h	H	h ₁	h ₂			h ₅	b ₁	b ₂	b ₃	b ₄					基 礎 部				型 枠		コンクリート		据付モルタル	ヒューム管	縁 石				
					A	B	C										縁石・血溝部 (t=10) m ²	管 渠 部			縁石・血溝部 m ²	管渠部 m ²	縁石・血溝部 m ³	管渠部 m ³							
																		再生砕石 (t=15) m ²	コンクリート (t=5) m ²	基礎型枠 m ²											
	NGP-D-A-45	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	0						0	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.080	0.489	0.002	1.000	1.000			
	A ₂	7	80.2	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	0						0	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.080	0.489	0.002	1.000	1.000			
	B	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	8.0						0.080	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.083	0.489	0.002	1.000	1.000			
	B ₂	7	80.2	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	8.0						0.080	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.083	0.489	0.002	1.000	1.000			
	B ₃	5	80.2	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	8.0						0.080	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.083	0.489	0.002	1.000	1.000			
	FA	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	10.0						0.100	0.940	0.047	0.100	0.440	1.680	0.094	0.489	0.002	1.000	1.000			
	FB	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	13.0						0.130	0.940	0.047	0.100	0.440	1.680	0.097	0.489	0.002	1.000	1.000			
	LB	2	80.2	15	15	5	0	6	20	—	70	8.0						0.080	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.090	0.489	0.002	1.000	1.000			
	NGP-D-A-45	15	100.2	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	81.5						0.815	0.940	0.047	0.100	0.570	1.680	0.152	0.489	0.002	1.000	1.000			
	A ₂	7	100.2	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	81.5						0.815	0.940	0.047	0.100	0.570	1.680	0.152	0.489	0.002	1.000	1.000			
	B	20	100.2	25	15	5	0	26	18	2	70	85						0.850	0.940	0.047	0.100	0.570	1.680	0.158	0.489	0.002	1.000	1.000			
	B ₂	7	100.2	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	85						0.850	0.940	0.047	0.100	0.570	1.680	0.158	0.489	0.002	1.000	1.000			
	B ₃	5	100.2	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	85						0.850	0.940	0.047	0.1										

旧 名 称	GFP-L-60
新 名 称	NGP-L-60

$6 \leq h_5 < 16$ の場合

$h_5 \geq 16$ の場合

Hの変化による h_1, h_5 の変化

Hの変化	h_1	h_5
95 2	15 2	6 2
104.9	24.9	15.9
105 2	15	16 2

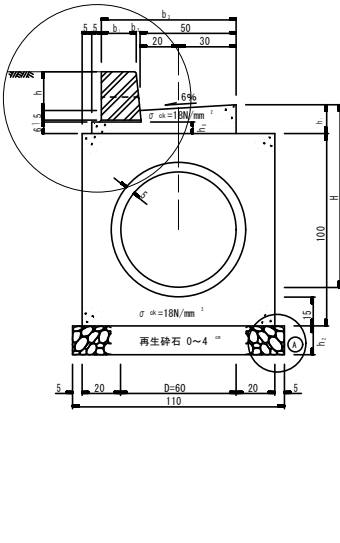
基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

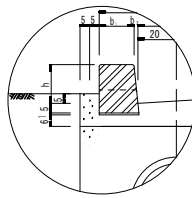
モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

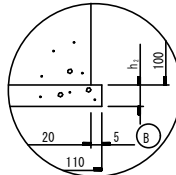
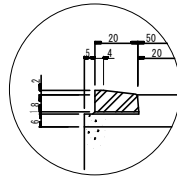
マウンドアップ型



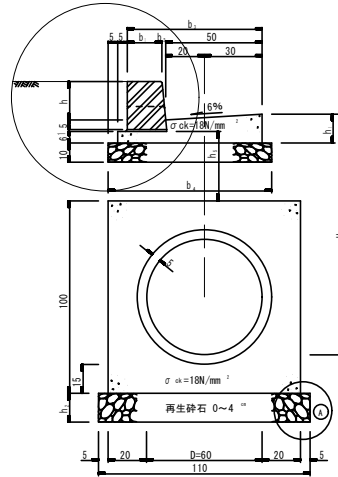
セミフラット型



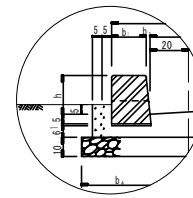
LB(新規格)



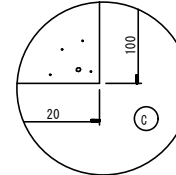
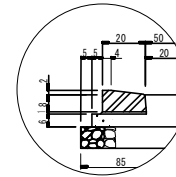
マウンドアップ型



セミフラット型



LB(新規格)



寸 法 表

[illegible]

数 量 表

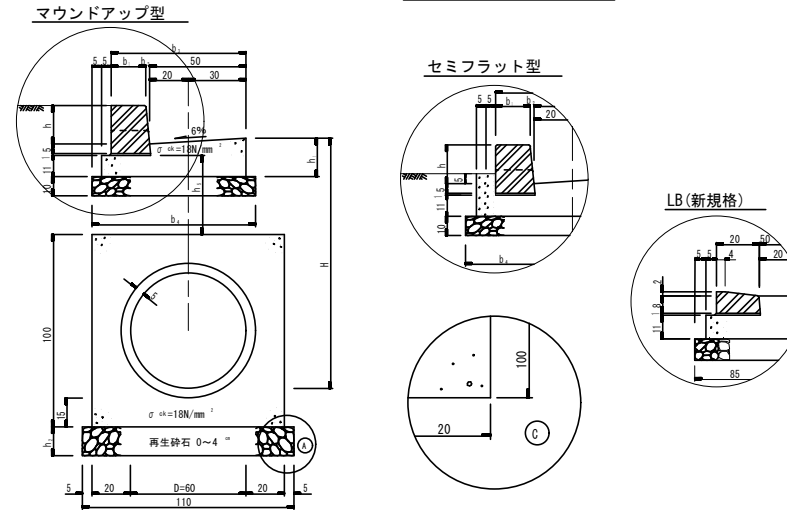
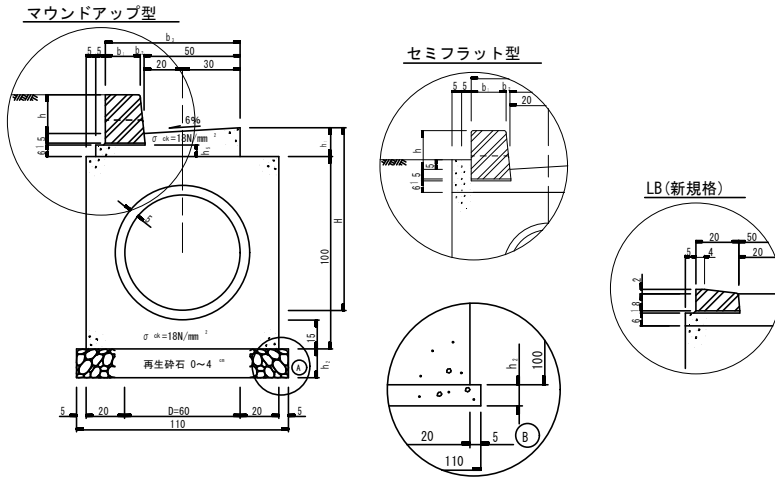
[illegible]

旧 名 称	GFP-C-60
新 名 称	NGP-C-60

6 ≤ h₅ < 21 の場合

$h_5 \geq 21$ の場合

Hの変化による h_1, h_5 の変化



Hの変化	h_1	h_3
95 ?	15 ?	6 ?
109.9	29.9	20.9
110 ?	20	21 ?

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生碎石	0~4cm
Ⓑ	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

寸 法 表

[illegible]

数量表

[illegible]

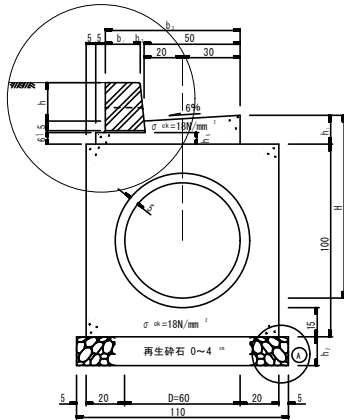
旧 名 称	GFP-D-60
新 名 称	NGP-D-60

6 ≤ h₅ < 26 の場合

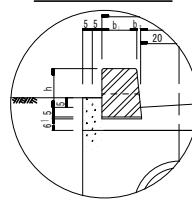
$h_5 \geq 26$ の場合

Hの変化による h_1, h_5 の変化

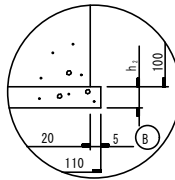
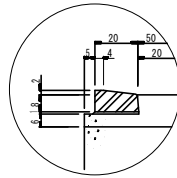
マウンドアップ型



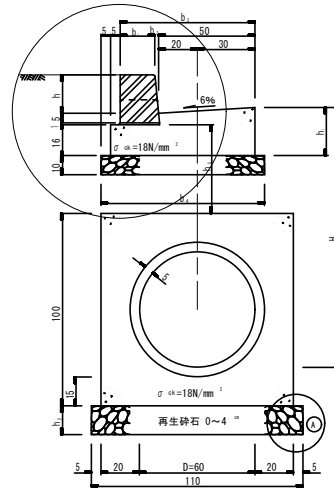
セミフラット型



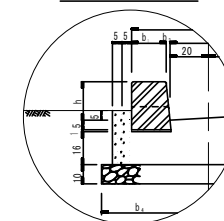
LB(新規格)



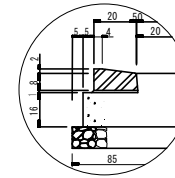
マウンドアップ型



セミフラット型



LB(新規格)



基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

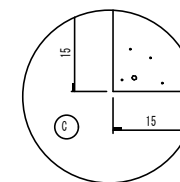
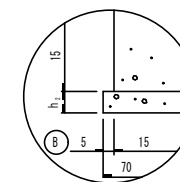
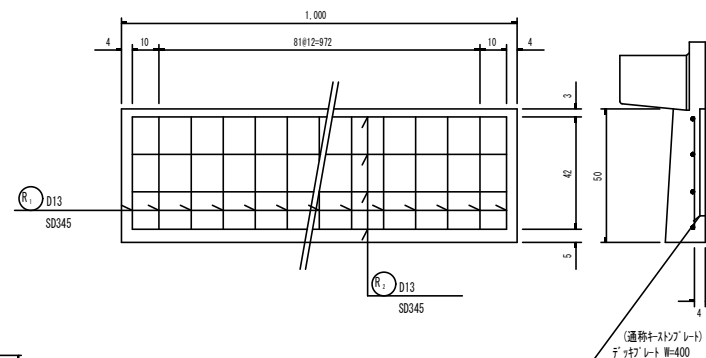
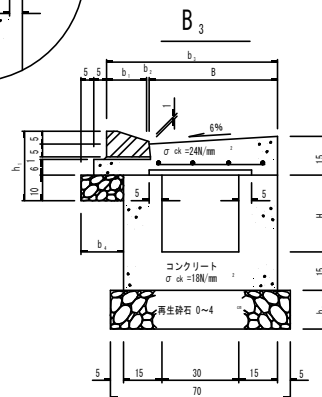
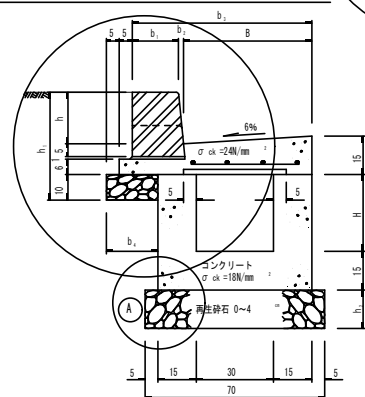
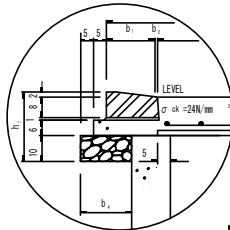
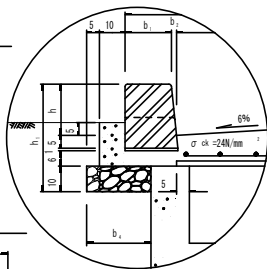
寸 法 表

[illegible]

数 量 表

[illegible]

切下用 (LB) (新規格)

寸 法 表

数	量	表
---	---	---

(1m当り)

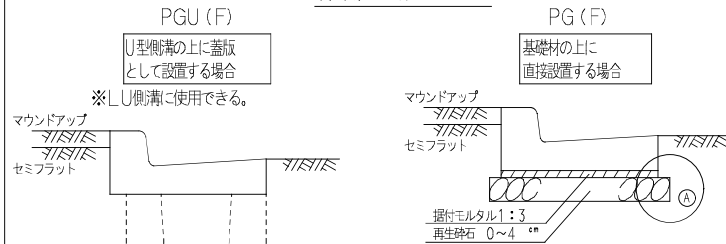
[illegible]

プレキャスト街渠（基本（新規格））

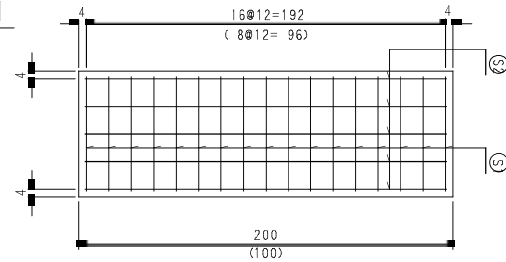
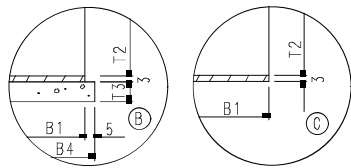
No. 55-1

記号	PG (U) (F)
地整図面番号	L-1

標準施工断面図

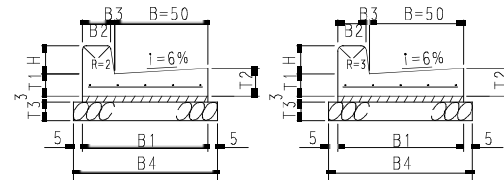


側面図



断面図

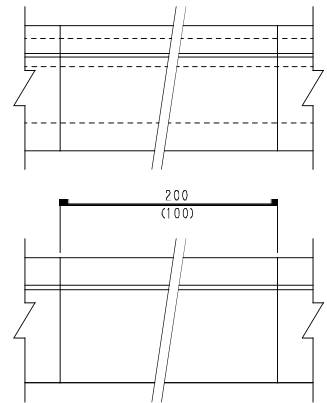
FA (セミフラット型 (Aタイプ)) FB (セミフラット型 (Bタイプ))



基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
①	再生砕石	0~4 cm
②	コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$

標準施工平面図



[適用範囲]

- 活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。

寸 法 表

(cm)

記号	工 種	B	H	B1	B2	B3	B4	T1	T2	T3		質量 (kg)	
										A	B	2.0m	1.0m
PG (F) 515-A	500A×15	50	15	66.5	15	1.5	76.5	12	15	10	5	539	263
PG (F) 520-A	500A×20	50	15	66.5	15	1.5	76.5	17	20	10	5	688	342
PG (F) 525-A	500A×25	50	15	66.5	15	1.5	76.5	22	25	10	5	848	422
PG (F) 515-B	500B×15	50	20	70.0	18	2.0	80.0	12	15	10	5	615	306
PG (F) 520-B	500B×20	50	20	70.0	18	2.0	80.0	17	20	10	5	783	389
PG (F) 525-B	500B×25	50	20	70.0	18	2.0	80.0	22	25	10	5	951	473

数 量 表

(1m当り)

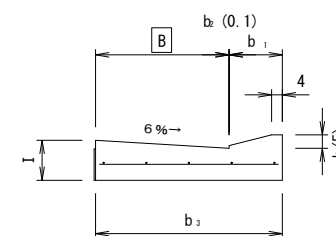
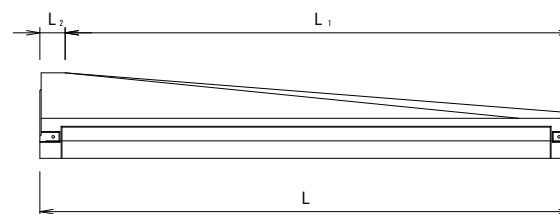
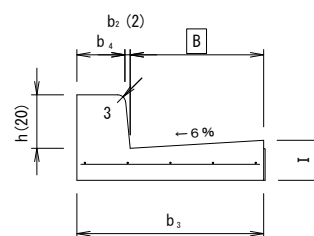
基 礎				掘付モルタル m ²	プレキャスト 街渠 m									
① 再生砕石 (1=1.02m)	② コンクリート (1=0.5)m	③ 砂 m ²												
0.765	0.038	0.100	0.020	1.000										
0.765	0.038	0.100	0.020	1.000										
0.765	0.038	0.100	0.020	1.000										
0.800	0.040	0.100	0.021	1.000										
0.800	0.040	0.100	0.021	1.000										
0.800	0.040	0.100	0.021	1.000										

図番

PG515-S-B-B3 L=200



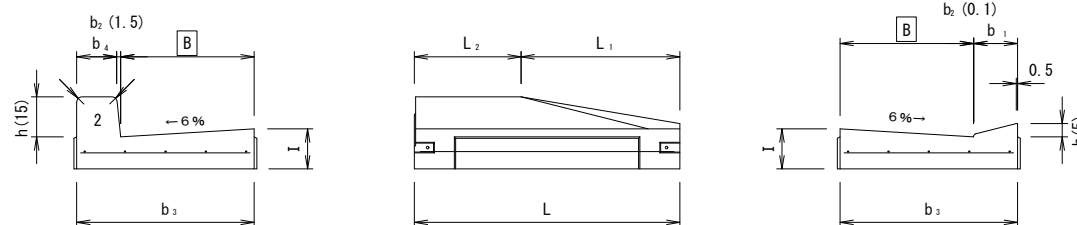
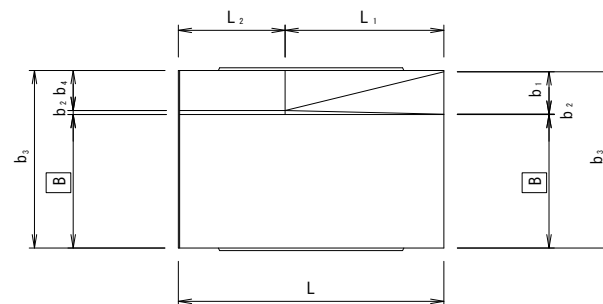
1. 活荷重は、一般車両のT-25とし
道路と平行に用いる。



PGF515-S4-A-B3 L=100



PGU型の場合の底部形状は、上図の通りとなる。



1. 活荷重は、一般車両のT-25とし
道路と平行に用いる。

プレキャスト街渠 (歩道すりつけ)

PG515-S-B-LB L=200

No. 60-4

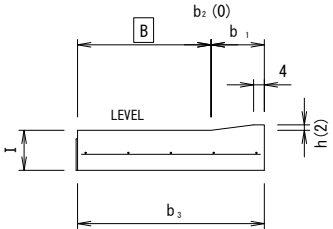
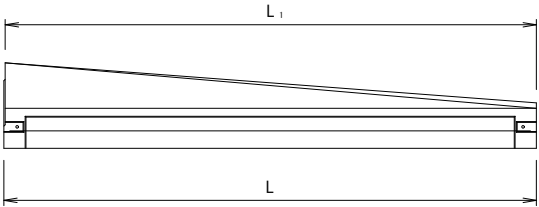
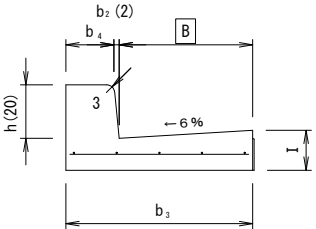
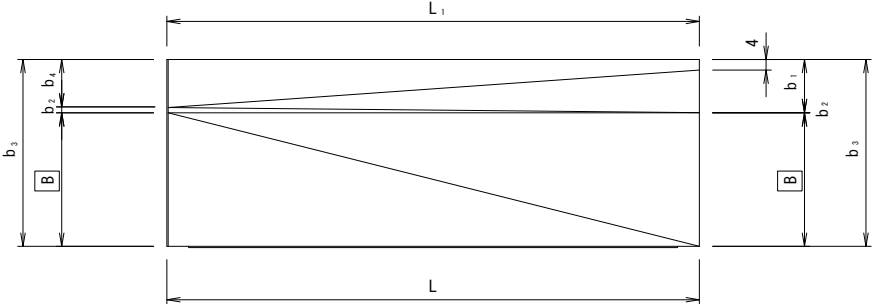
旧 名 称

新 名 称

PG515-S-B-LB



PGU型の場合の底部形状は、上図の通りとなる。



[適用範囲]

1. 活荷重は、一般車両のT-25とし
道路と平行に用いる。

寸 法 表

(cm)

質 量
(kg/個)

2.0m

1.0m

数 量 表

(1m当り)

○
部
材
名

工 種

B

h

I

b₁

b₂

b₃

b₄

R

L

L₁

L₂

m

プレキャスト

重量

PG515-S-B-LB

50

20~2

15

20

2.0~0

70

18

—

199.5

199.5

—

558

—

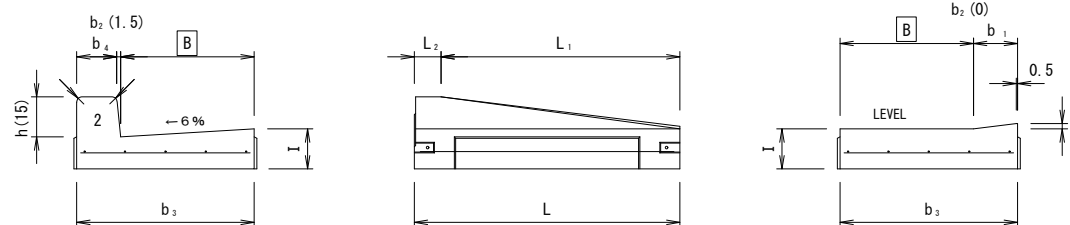
1.000

図
番

PGF515-S-A-LB L=100



1. 活荷重は、一般車両のT-25とし
道路と平行に用いる。

[illegible]

プレキャスト街渠 (歩道すりつけ)

PGF515-S-B-LB L=100

No. 60-6

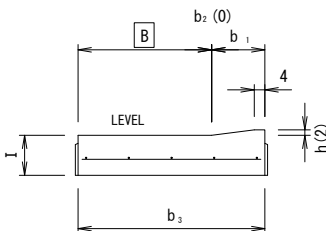
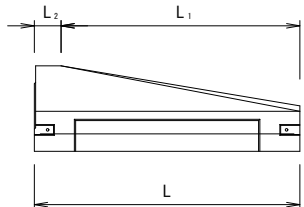
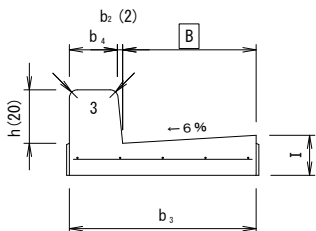
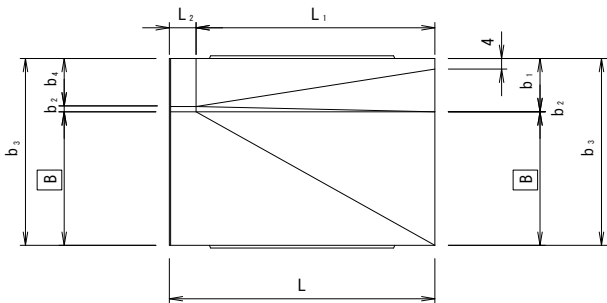
旧 名 称

新 名 称

PGF515-S-B-LB



PGU型の場合の底部形状は、上図の通りとなる。



[適用範囲]

1. 活荷重は、一般車両のT-25とし
道路と平行に用いる。

寸 法 表

(cm)

質 量
(kg/個)

2.0m

1.0m

数 量 表

(1m当り)

○
部
材
名

工 種

B

h

I

b₁

b₂

b₃

b₄

R

L

L₁

L₂

m
プレキャスト
重量

PGF515-S-B-LB

50

20~2

15

20

2.0~0

70

18

—

99.5

89.5

10

—

283

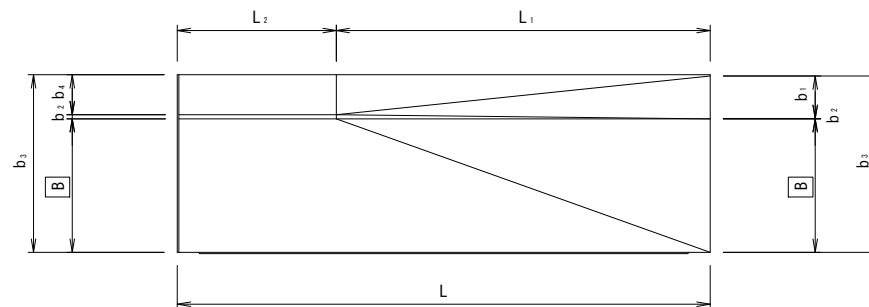
1.000

図
番

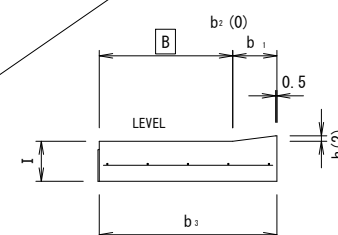
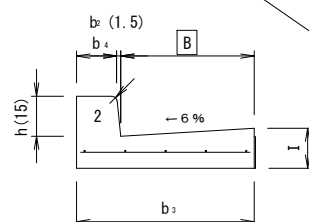


PG515-S6-A-LB L=200

PG515-S6-A-LB L=200



PGU型の場合の底部形状は、上図の通りとなる。



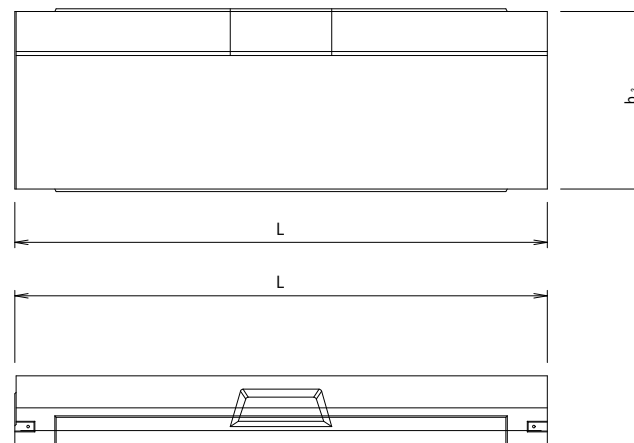
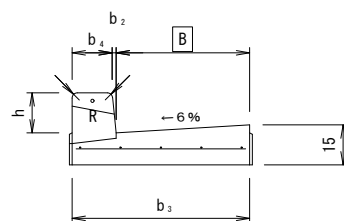
[適用範圍]

1. 活荷重は、一般車両のT-25とし
道路と平行に用いる。

表 法 寸

数 量 表	
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16
17	17
18	18
19	19
20	20
21	21
22	22
23	23
24	24
25	25
26	26
27	27
28	28
29	29
30	30
31	31
32	32
33	33
34	34
35	35
36	36
37	37
38	38
39	39
40	40
41	41
42	42
43	43
44	44
45	45
46	46
47	47
48	48
49	49
50	50
51	51
52	52
53	53
54	54
55	55
56	56
57	57
58	58
59	59
60	60
61	61
62	62
63	63
64	64
65	65
66	66
67	67
68	68
69	69
70	70
71	71
72	72
73	73
74	74
75	75
76	76
77	77
78	78
79	79
80	80
81	81
82	82
83	83
84	84
85	85
86	86
87	87
88	88
89	89
90	90
91	91
92	92
93	93
94	94
95	95
96	96
97	97
98	98
99	99
100	100

[illegible]

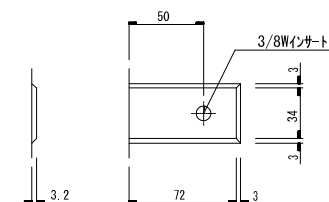
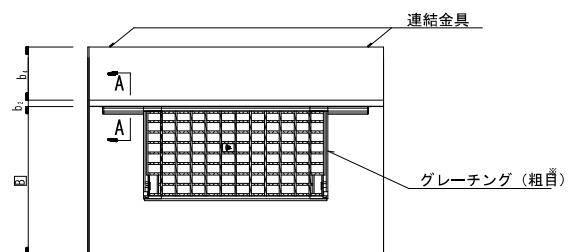


1. 活荷重は、一般車両のT-25とし
道路と平行に用いる。

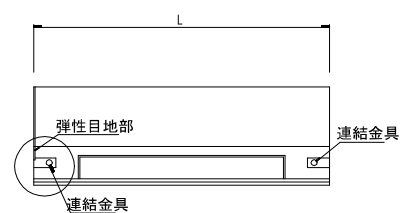
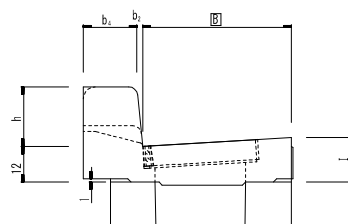
()内はBブロック

N O	種 別	質 量 (k g)	
		L=2.0m	L=1.0m
W-A	単体使用製品質量	515	249
	組合せ使用製品質量	519	251
W-B	単体使用製品質量	595	286
	組合せ使用製品質量	597	287

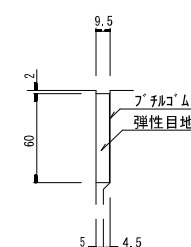
[illegible]



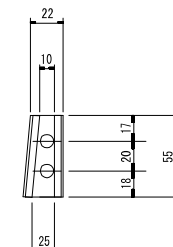
連結金具部詳細図 (mm)



※神戸市章付 180° 開閉式 スリットタイプ（テーパー付）を標準とする。
 グレーチング:285x600
 受け枠:317x620

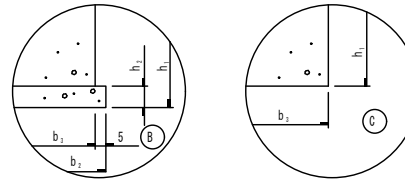
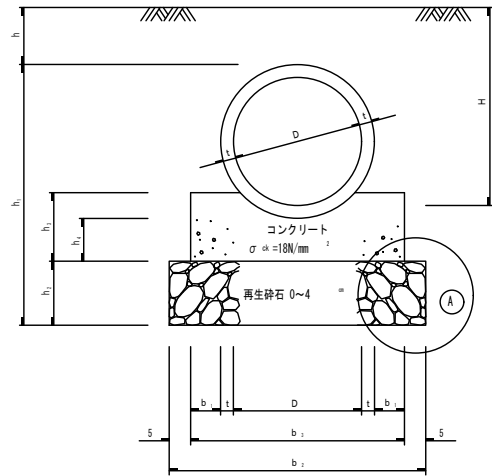


弾性目地部詳細 (mm)



スリット部詳細 (A-A断面)

[illegible]

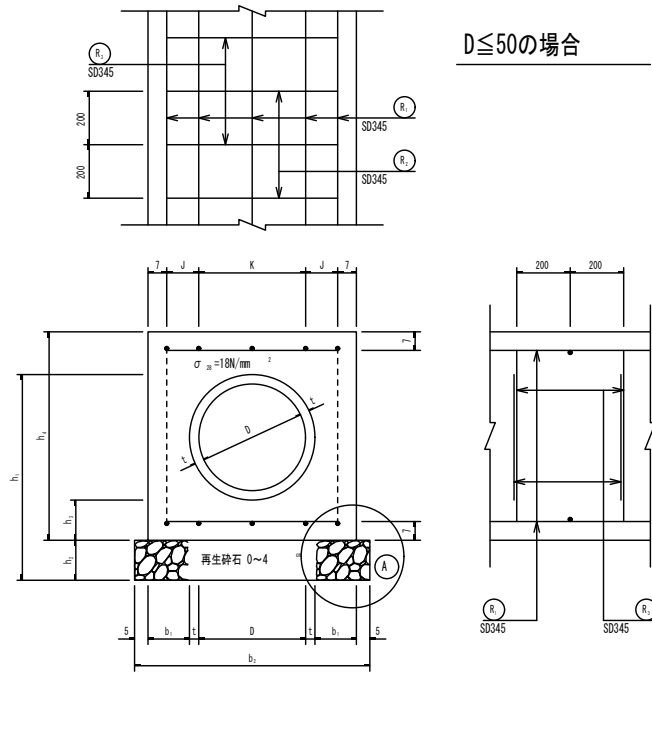


基礎の種類

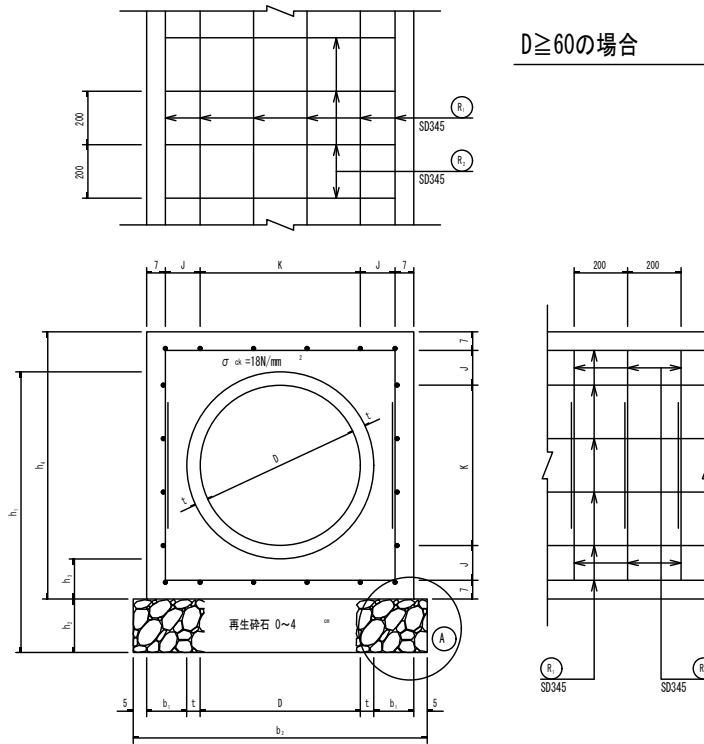
区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0~4cm
Ⓑ	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

寸 法 表															数 量 表																
(cm)															(1m当り)																
○ 品 目 工	工 種	D	h ₁			h ₂		h ₃	h ₄	t	b ₁	b ₂	b ₃				基 礎				m ²	m ³	m								
			A	B	C	A	B										○ 再生砕石 (t=15) 重 2	● 再生砕石 (t=20) 重 2	コンクリート 重 3	型枠 重 4											
	PH ₁ - (200)	20	50.4	40.4	35.4	15	5	14	10	2.7	7.3	50	40					0.500	――	0.025	0.100	0.280	0.047	1.000							
	(250)	25	55.6	45.6	40.6	15	5	15	10	2.8	7.2	55	45					0.550	――	0.028	0.100	0.300	0.055	1.000							
	(300)	30	61.0	51.0	46.0	15	5	16	10	3.0	7.0	60	50					0.600	――	0.030	0.100	0.320	0.061	1.000							
	(350)	35	66.4	56.4	51.4	15	5	17	10	3.2	6.8	65	55					0.650	――	0.033	0.100	0.340	0.069	1.000							
	(400)	40	77.0	67.0	62.0	15	5	22	15	3.5	4.0	65	55					0.650	――	0.033	0.100	0.440	0.091	1.000							
	(450)	45	82.6	72.6	67.6	15	5	23	15	3.8	3.7	70	60					0.700	――	0.035	0.100	0.460	0.100	1.000							
	(500)	50	88.4	78.4	73.4	15	5	24	15	4.2	3.3	75	65					0.750	――	0.038	0.100	0.480	0.108	1.000							
	(600)	60	105.0	95.0	85.0	20	10	26	15	5.0	2.5	85	75					――	0.850	0.085	0.200	0.520	0.126	1.000							
	(700)	70	121.6	111.6	101.6	20	10	32	20	5.8	1.7	95	85					――	0.950	0.095	0.200	0.640	0.183	1.000							
	(800)	80	133.2	123.2	113.2	20	10	34	20	6.6	0.9	105	95					――	1.050	0.105	0.200	0.680	0.204	1.000							
	(900)	90	145.0	135.0	125.0	20	10	36	20	7.5	0	115	105					――	1.150	0.115	0.200	0.720	0.226	1.000							
	(1000)	100	156.4	146.4	136.4	20	10	38	20	8.2	1.8	130	120					――	1.300	0.130	0.200	0.760	0.267	1.000							
	(1100)	110	172.6	162.6	152.6	20	10	44	25	8.8	1.2	140	130					――	1.400	0.140	0.200	0.880	0.351	1.000							
	(1200)	120	184.0	174.0	164.0	20	10	46	25	9.5	0.5	150	140					――	1.500	0.150	0.200	0.920	0.379	1.000							

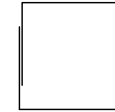
D≤50の場合



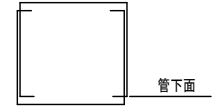
D≥60の場合



D=400以上
鉄筋加工図

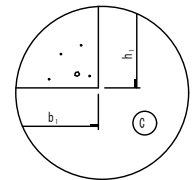
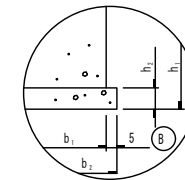


D=350以下
鉄筋加工図



基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生砕石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$



寸 法 表

数 量 表

○ 材 種 工	工 種	D	h ₁			h ₂		h ₃	h ₄	t	b ₁	b ₂	Y本		R ₁ D13		R ₂ D13		(mm)	(mm)						基礎				m ²	m ³	m	鉄 筋 (kg)	
			D13	D16	本	L (cm)	本						L (cm)	J	K	① 再生砕石 (t=15) 2	② 再生砕石 (t=20) 2	③ コーク 3	④ 型枠 m ²	型 枠	コーク 1					t=4管	D13	D16						
	PH ₁ - (200)	20	50.4	40.4	35.4	15	5	10	46	2.7	10.3	56	6	—	5	32	5	111	—	320 (=2×160)					0.560	—	0.028	0.100	0.920	0.161	1.000	13.084	—	
	(250)	25	55.6	45.6	40.6	15	5	10	52	2.8	10.7	62	6	—	5	38	5	123	—	380 (=2×190)					0.620	—	0.031	0.100	1.040	0.197	1.000	13.980	—	
	(300)	30	61.0	51.0	46.0	15	5	10	56	3.0	10.0	66	6	—	5	42	5	131	—	420 (=2×210)					0.660	—	0.033	0.100	1.120	0.212	1.000	14.577	—	
	(350)	35	66.4	56.4	51.4	15	5	10	62	3.2	10.3	72	8	—	5	48	5	143	140	200					0.720	—	0.036	0.100	1.240	0.250	1.000	17.462	—	
	(400)	40	77.0	67.0	62.0	15	5	15	78	3.5	15.5	88	10	—	5	64	5	175	120	400 (=2×200)					0.880	—	0.044	0.100	1.560	0.435	1.000	21.840	—	
	(450)	45	82.6	72.6	67.6	15	5	15	84	3.8	15.7	94	10	—	5	70	5	187	150	400 (=2×200)					0.940	—	0.047	0.100	1.680	0.488	1.000	22.736	—	
	(500)	50	88.4	78.4	73.4	15	5	15	90	4.2	15.8	100	—	10	5	76	5	199	180	400 (=2×200)					1.000	—	0.050	0.100	1.800	0.542	1.000	13.681	15.600	
	(600)	60	105.0	95.0	85.0	20	10	15	100	5.0	15.0	110	20	—	10	219	—	—	130	600 (=3×200)					—	1.100	0.110	0.200	2.000	0.615	1.000	41.691	—	
	(700)	70	121.6	111.6	101.6	20	10	20	122	5.8	20.2	132	24	—	10	263	—	—	140	800 (=4×200)					—	1.320	0.132	0.200	2.440	0.965	1.000	50.049	—	
	(800)	80	133.2	123.2	113.2	20	10	20	134	6.6	20.4	144	—	24	10	287	—	—	—	1200 (=6×200)					—	1.440	0.144	0.200	2.680	1.113	1.000	28.557	37.440	
	(900)	90	145.0	135.0	125.0	20	10	20	146	7.5	20.5	156	—	28	10	311	—	—	160	1000 (=5×200)					—	1.560	0.156	0.200	2.920	1.266	1.000	30.945	43.680	
	(1000)	100	156.4	146.4	136.4	20	10	20	158	8.2	20.8	168	—	32	10	335	—	—	120	1200 (=6×200)					—	1.680	0.168	0.200	3.160	1.432	1.000	33.333	49.920	

図
番

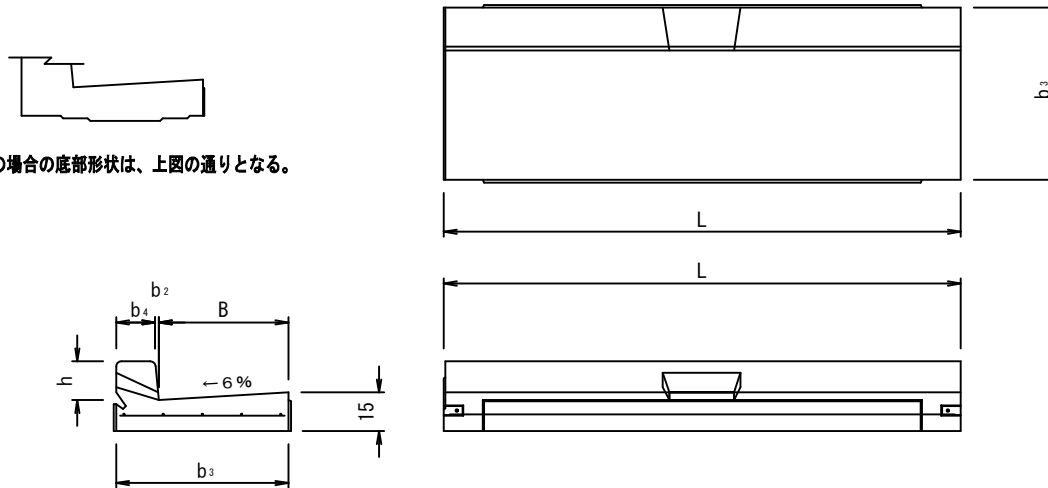


区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生碎石	0~4cm
Ⓑ	—	—

[illegible]

参考図

PGU型の場合の底部形状は、上図の通りとなる。



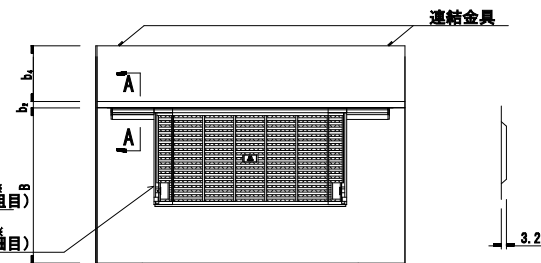
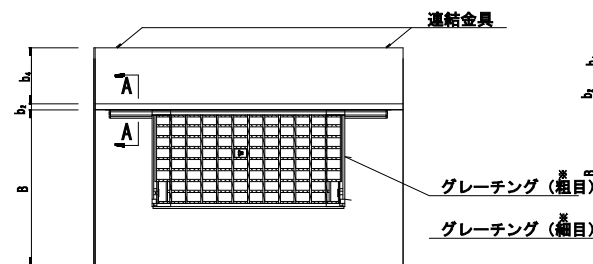
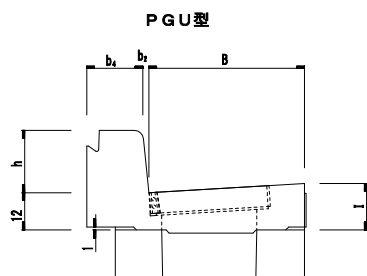
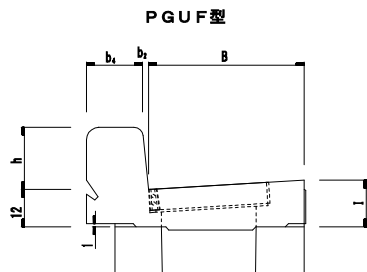
- 活荷重は、一般車両のT-25とし、道路と平行に用いる。
- 歩道舗装に、アスファルト舗装またはコンクリート舗装を採用する場合に適用する。

防草効果を最大限発現させるために、縁石切欠き部の
目地モルタルや路盤材を残さず清掃し、舗装材を埋設させること。

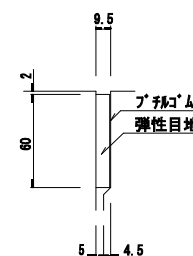
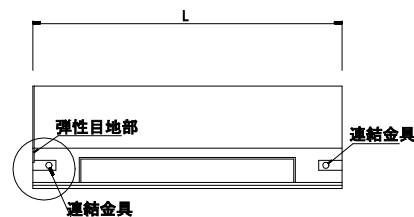
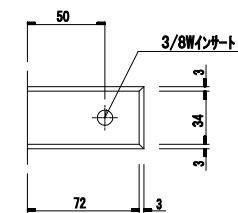
N O	種 別	質 量 (k g)	
		L=2.0m	L=1.0m
W-A	単体使用製品質量	515	249
	組合せ使用製品質量	519	251
W-B	単体使用製品質量	595	286
	組合せ使用製品質量	597	287

[illegible]

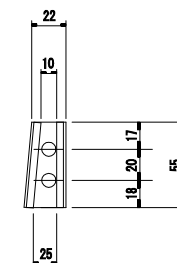
プレキャスト街渠(柵)(防草タイプ)



連結金具部詳細図 (mm)



弾性目地部詳細 (mm)



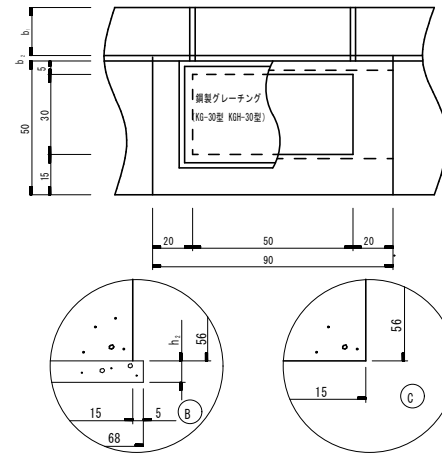
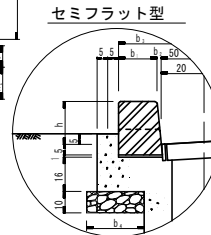
スリット部詳細 (A-A断面)(mm)

(施工上の留意点)
防草効果を最大限発現させるために、縁石切欠き部の
目地モルタルや路盤材を残さず清掃し、舗装材を埋設させること。

※神戸市章付 180° 開閉式 スリットタイプ（テーパー付）を標準とする。
 グレーチング:285x600
 受け枠:317x620

[illegible]

$h_5 \geq 26$ の場合



Hの変化による h_1, h_5 の変化

Hの変化	h_1	h_2
58 ㇿ 77.9	15 ㇿ 34.9	6 ㇿ 25.9
78 ㇿ	25	26 ㇿ

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0~4cm
Ⓑ	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

寸 法 表

○ 印 標 工	工 種	h	H	h ₁	h ₂			h ₃	b ₁	b ₂	b ₃	b ₄				
					A	B	C									
	MGP-D-A-30	15	58	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	18.5				
	A ₂	7	58	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	18.5				
	B	20	58	15	15	5	0	6	18	2	70	22				
	B ₂	7	58	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	22				
	B ₃	5	58	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	22				
	FA	15	58	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	23.5				
	FB	20	58	15	15	5	0	6	18	2	70	27				
	A ₂ H	7	58	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	18.5				
	B ₂ H	7	58	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	22				
	B ₃ H	5	58	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	22				
	LBH	2	58	15	15	5	0	6	20	0	70	22				
	MGP-D-A-30	15	78	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	18.5				
	A ₂	7	78	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	18.5				
	B	20	78	25	15	5	0	26	18	2	70	22				
	B ₂	7	78	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	22				
	B ₃	5	78	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	22				
	FA	15	78	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	23.5				
	FB	20	78	25	15	5	0	26	18	2	70	27				
	A ₂ H	7	78	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	18.5				
	B ₂ H	7	78	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	22				
	B ₃ H	5	78	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	22				
	LBH	2	78	25	15	5	0	26	20	0	70	22				

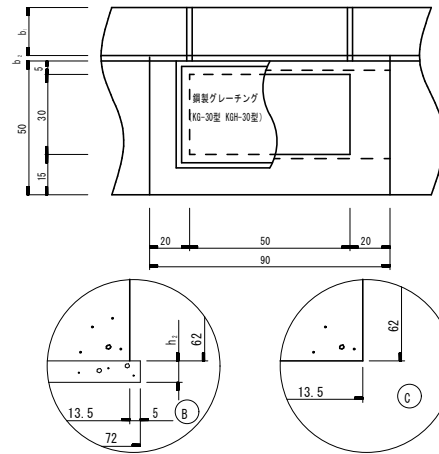
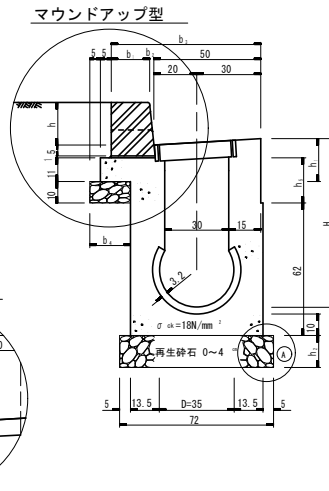
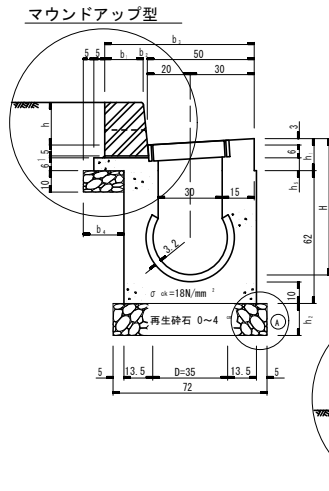
数 量 表	
数量	100
数量	200
数量	300
数量	400
数量	500
数量	600
数量	700
数量	800
数量	900
数量	1000

基 礎 部				型 枠		コンクリート		据付モルタル		ヒューム管	緑 石	ゲレックス	
緑石・血溝部	(A) 樹 部		(B) 型枠		緑石・血溝部	側部	緑石・血溝部	側部				粗 目	細 目
再生砂石 (t=10)m ²	再生砂石 (t=15)m ²	再生砂石 (t=20)m ²	コンクリート (t=5)m ³	型枠 m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m	m	枚	枚
0.167	0.612	—	0.031	0.090	0.365	1.456	0.050	0.184	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.167	0.612	—	0.031	0.090	0.365	1.456	0.050	0.184	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.198	0.612	—	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.198	0.612	—	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.198	0.612	—	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.212	0.612	—	0.031	0.090	0.464	1.456	0.063	0.184	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.243	0.612	—	0.031	0.090	0.464	1.456	0.064	0.184	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.167	0.612	—	0.031	0.090	0.365	1.456	0.050	0.184	0.001	0.900	0.900	—	1.000
0.198	0.612	—	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.198	0.612	—	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.198	0.612	—	0.031	0.090	0.393	1.456	0.056	0.184	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.167	0.612	—	0.031	0.090	0.795	1.912	0.099	0.221	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.167	0.612	—	0.031	0.090	0.795	1.912	0.099	0.221	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.198	0.612	—	0.031	0.090	0.795	1.912	0.104	0.221	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.198	0.612	—	0.031	0.090	0.795	1.912	0.104	0.221	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.198	0.612	—	0.031	0.090	0.795	1.912	0.104	0.221	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.212	0.612	—	0.031	0.090	0.894	1.912	0.116	0.221	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.243	0.612	—	0.031	0.090	0.894	1.912	0.121	0.221	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.167	0.612	—	0.031	0.090	0.795	1.912	0.099	0.221	0.001	0.900	0.900	—	1.000
0.198	0.612	—	0.031	0.090	0.795	1.912	0.104	0.221	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.198	0.612	—	0.031	0.090	0.795	1.912	0.104	0.221	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.198	0.612	—	0.031	0.090	0.823	1.912	0.108	0.221	0.002	0.900	0.900	—	1.000

四番

$6 \leq h_5 < 21$ の場合

$h_5 \geq 21$ の場合



Hの変化による h_1, h_5 の変化

Hの変化	h_1	h_2
63.8	15	6
?	?	?
78.7	29.9	20.9
78.8	20	21
?		?

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0~4cm
Ⓑ	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

寸 法 表

○ 印 標 工	工 種	h	H	h ₁	h ₂			h ₃	b ₁	b ₂	b ₃	b ₄				
					A	B	C									
	MGP-C-A-35	15	63.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	15.5				
	A ₂	7	63.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	15.5				
	B	20	63.8	15	15	5	0	6	18	2	70	19				
	B ₂	7	63.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	19				
	B ₃	5	63.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	19				
	FA	15	63.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	20.5				
	FB	20	63.8	15	15	5	0	6	18	2	70	24				
	A ₂ H	7	63.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	15.5				
	B ₂ H	7	63.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	19				
	B ₃ H	5	63.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	19				
	LBH	2	63.8	15	15	5	0	6	20	0	70	19				
	MGP-C-A-35	15	78.8	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	15.5				
	A ₂	7	78.8	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	15.5				
	B	20	78.8	20	15	5	0	21	18	2	70	19				
	B ₂	7	78.8	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	19				
	B ₃	5	78.8	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	19				
	FA	15	78.8	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	20.5				
	FB	20	78.8	20	15	5	0	21	18	2	70	24				
	A ₂ H	7	78.8	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	15.5				
	B ₂ H	7	78.8	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	19				
	B ₃ H	5	78.8	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	19				
	LBH	2	78.8	20	15	5	0	21	20	0	70	19				

数量表

基 礎 部				型 枠		コンクリート		据付モルタル		ヒューム管	緑 石	ケレンダグ蓋	
緑石・血溝部	(A)		(B)		緑石・血溝部	側部	緑石・血溝部	側部	m ²	m	m	粗 目	細 目
再生砂五	再生砂五	コンクリート	型枠		m ²	m ²	m ²	m ²				枚	枚
(t=10)m ²	(t=15)m ²	(t=20)m ²	m ²		m ²	m ²	m ²	m ²					
0.140	0.648	—	0.032	0.090	0.365	1.386	0.050	0.203	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.140	0.648	—	0.032	0.090	0.365	1.386	0.050	0.203	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.171	0.648	—	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.171	0.648	—	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.185	0.648	—	0.032	0.090	0.464	1.386	0.063	0.203	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.216	0.648	—	0.032	0.090	0.464	1.386	0.064	0.203	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.140	0.648	—	0.032	0.090	0.365	1.386	0.050	0.203	0.001	0.900	0.900	—	1.000
0.171	0.648	—	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.171	0.648	—	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.171	0.648	—	0.032	0.090	0.393	1.386	0.056	0.203	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.140	0.648	—	0.032	0.090	0.580	1.788	0.075	0.243	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.140	0.648	—	0.032	0.090	0.580	1.788	0.075	0.243	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.171	0.648	—	0.032	0.090	0.580	1.788	0.078	0.243	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.171	0.648	—	0.032	0.090	0.580	1.788	0.078	0.243	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.185	0.648	—	0.032	0.090	0.679	1.788	0.089	0.243	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.216	0.648	—	0.032	0.090	0.679	1.788	0.093	0.243	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.140	0.648	—	0.032	0.090	0.580	1.788	0.075	0.243	0.001	0.900	0.900	—	1.000
0.171	0.648	—	0.032	0.090	0.580	1.788	0.078	0.243	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.171	0.648	—	0.032	0.090	0.580	1.788	0.078	0.243	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.171	0.648	—	0.032	0.090	0.608	1.788	0.082	0.243	0.002	0.900	0.900	—	1.000

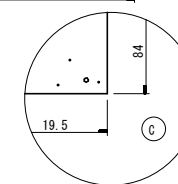
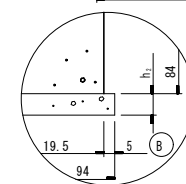
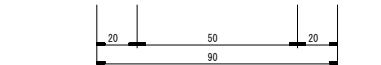
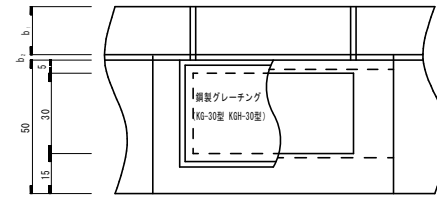
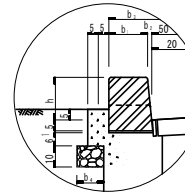
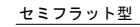
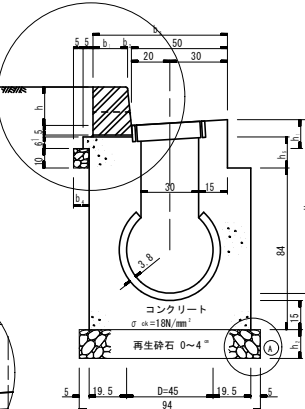
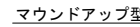
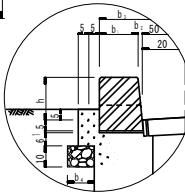
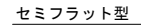
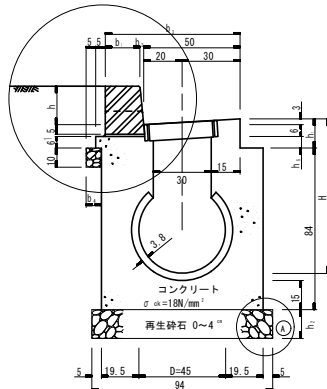
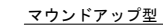
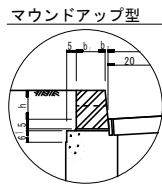
図
番

$6 \leq h_5 < 16$ の場合

$h_5 \geq 16$ の場合

A1, 2, 3の場合

B1, 2, 3の場合



Hの変化による h_1, h_5 の変化

Hの変化	h_i	h_s
80.2 ?	15 ?	6 ?
90.1 ?	24.9 ?	15.9 ?
90.2 ?	15 ?	16 ?

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

寸 法 表

○ 形 標 工	工 種	h	H	h ₁	h ₂			h ₃	b ₁	b ₂	b ₃	b ₄				
					A	B	C									
	MGP-L-A-45	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	——				
	A ₂	7	80.2	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——				
	B	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	8.0				
	B ₂	7	80.2	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	8.0				
	B ₃	5	80.2	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	8.0				
	FA	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	10.0				
	FB	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	13.0				
	A ₂ H	7	80.2	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——				
	B ₂ H	7	80.2	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	8.0				
	B ₃ H	5	80.2	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	8.0				
	LBH	2	80.2	15	15	5	0	6	20	0	70	8.0				
	MGP-L-A-45	15	90.2	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	——				
	A ₂	7	90.2	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	——				
	B	20	90.2	15	15	5	0	16	18	2	70	8.0				
	B ₂	7	90.2	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	8.0				
	B ₃	5	90.2	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	8.0				
	FA	15	90.2	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	10.0				
	FB	20	90.2	15	15	5	0	16	18	2	70	13.0				
	A ₂ H	7	90.2	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	——				
	B ₂ H	7	90.2	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	8.0				
	B ₃ H	5	90.2	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	8.0				
	LBH	2	90.2	15	15	5	0	16	20	0	70	8.0				

数	量	表
1	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12
13	14	15
16	17	18
19	20	21
22	23	24
25	26	27
28	29	30
31	32	33
34	35	36
37	38	39
40	41	42
43	44	45
46	47	48
49	50	51
52	53	54
55	56	57
58	59	60
61	62	63
64	65	66
67	68	69
70	71	72
73	74	75
76	77	78
79	80	81
82	83	84
85	86	87
88	89	90
91	92	93
94	95	96
97	98	99
100	101	102
103	104	105
106	107	108
109	110	111
112	113	114
115	116	117
118	119	120
121	122	123
124	125	126
127	128	129
130	131	132
133	134	135
136	137	138
139	140	141
142	143	144
145	146	147
148	149	150
151	152	153
154	155	156
157	158	159
160	161	162
163	164	165
166	167	168
169	170	171
172	173	174
175	176	177
178	179	180
181	182	183
184	185	186
187	188	189
190	191	192
193	194	195
196	197	198
199	200	201
202	203	204
205	206	207
208	209	210
211	212	213
214	215	216
217	218	219
220	221	222
223	224	225
226	227	228
229	230	231
232	233	234
235	236	237
238	239	240
241	242	243
244	245	246
247	248	249
250	251	252
253	254	255
256	257	258
259	260	261
262	263	264
265	266	267
268	269	270
271	272	273
274	275	276
277	278	279
280	281	282
283	284	285
286	287	288
289	290	291
292	293	294
295	296	297
298	299	300
301	302	303
304	305	306
307	308	309
310	311	312
313	314	315
316	317	318
319	320	321
322	323	324
325	326	327
328	329	330
331	332	333
334	335	336
337	338	339
340	341	342
343	344	345
346	347	348
349	350	351
352	353	354
355	356	357
358	359	360
361	362	363
364	365	366
367		

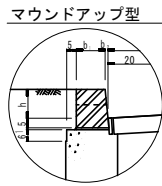
基 礎 部					型 枠		コンクリート		据付モルタル	ヒューム管	緑 石	ゲレックス	
緑石・血清部	(A)		(B)		緑石・血清部	側部	緑石・血清部	側部				粗 目	細 目
再生砂石 (t=10) m ²	再生砂石 (t=15) m ²	再生砂石 (t=20) m ²	コンクリート (t=5) m ³	基礎型枠 m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m	m	枚	枚
—	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	—
—	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.090	0.846	—	0.042	0.090	0.464	1.861	0.063	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.117	0.846	—	0.042	0.090	0.464	1.861	0.064	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	—
—	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	—	1.000
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.393	1.861	0.056	0.410	0.002	0.900	0.900	—	1.000
—	0.846	—	0.042	0.090	0.365	2.285	0.050	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	—
—	0.846	—	0.042	0.090	0.365	2.285	0.050	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	2.285	0.052	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	2.285	0.052	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	2.285	0.052	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.090	0.846	—	0.042	0.090	0.464	2.285	0.063	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.117	0.846	—	0.042	0.090	0.464	2.285	0.064	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	—
—	0.846	—	0.042	0.090	0.365	2.285	0.050	0.460	0.001	0.900	0.900	—	1.000
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	2.285	0.052	0.460	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	2.285	0.052	0.460	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.393	2.285	0.056	0.460	0.002	0.900	0.900	—	1.000

四
番

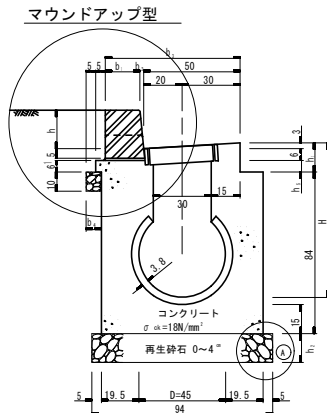
$6 \leq h_5 < 21$ の場合

$h_5 \geq 21$ の場合

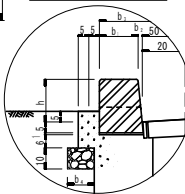
A1, 2, 3の場合



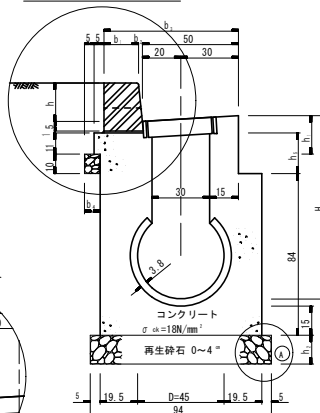
B1, 2, 3の場合



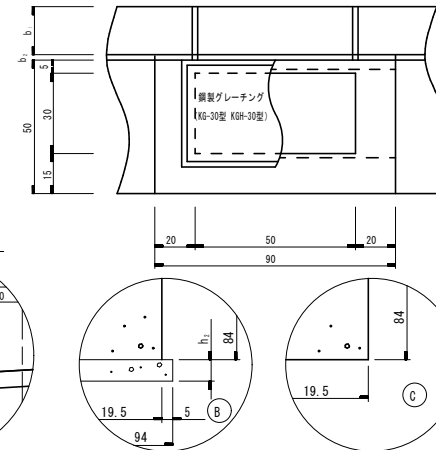
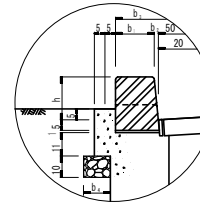
セミフラット型



マウンドアップ型



セミフラット型



Hの変化による h_1, h_5 の変化

Hの変化	h_1	h_5
80.2 ↗	15 ↗	6 ↗
95.1 ↘	29.9 ↘	20.9 ↘
95.2 ↗	20 ↗	21 ↗

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

寸 法 表

○ 用 機 工	工 種	h	H	h ₁	h ₂			h ₃	b ₁	b ₂	b ₃	b ₄				
					A	B	C									
	MGP-C-A-45	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	——				
	A ₂	7	80.2	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——				
	B	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	8.0				
	B ₂	7	80.2	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	8.0				
	B ₃	5	80.2	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	8.0				
	FA	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	10.0				
	FB	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	13.0				
	A ₂ H	7	80.2	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——				
	B ₂ H	7	80.2	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	8.0				
	B ₃ H	5	80.2	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	8.0				
	LBH	2	80.2	15	15	5	0	6	20	0	70	8.0				
	MGP-C-A-45	15	95.2	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	——				
	A ₂	7	95.2	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	——				
	B	20	95.2	20	15	5	0	21	18	2	70	8.0				
	B ₂	7	95.2	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	8.0				
	B ₃	5	95.2	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	8.0				
	FA	15	95.2	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	10.0				
	FB	20	95.2	20	15	5	0	21	18	2	70	13.0				
	A ₂ H	7	95.2	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	——				
	B ₂ H	7	95.2	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	8.0				
	B ₃ H	5	95.2	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	8.0				
	LBH	2	95.2	20	15	5	0	21	20	0	70	8.0				

数	量	表
1	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12
13	14	15
16	17	18
19	20	21
22	23	24
25	26	27
28	29	30
31	32	33
34	35	36
37	38	39
40	41	42
43	44	45
46	47	48
49	50	51
52	53	54
55	56	57
58	59	60
61	62	63
64	65	66
67	68	69
70	71	72
73	74	75
76	77	78
79	80	81
82	83	84
85	86	87
88	89	90
91	92	93
94	95	96
97	98	99
100	101	102
103	104	105
106	107	108
109	110	111
112	113	114
115	116	117
118	119	120
121	122	123
124	125	126
127	128	129
130	131	132
133	134	135
136	137	138
139	140	141
142	143	144
145	146	147
148	149	150
151	152	153
154	155	156
157	158	159
160	161	162
163	164	165
166	167	168
169	170	171
172	173	174
175	176	177
178	179	180
181	182	183
184	185	186
187	188	189
190	191	192
193	194	195
196	197	198
199	200	201
202	203	204
205	206	207
208	209	210
211	212	213
214	215	216
217	218	219
220	221	222
223	224	225
226	227	228
229	230	231
232	233	234
235	236	237
238	239	240
241	242	243
244	245	246
247	248	249
250	251	252
253	254	255
256	257	258
259	260	261
262	263	264
265	266	267
268	269	270
271	272	273
274	275	276
277	278	279
280	281	282
283	284	285
286	287	288
289	290	291
292	293	294
295	296	297
298	299	300
301	302	303
304	305	306
307	308	309
310	311	312
313	314	315
316	317	318
319	320	321
322	323	324
325	326	327
328	329	330
331	332	333
334	335	336
337	338	339
340	341	342
343	344	345
346	347	348
349	350	351
352	353	354
355	356	357
358	359	360
361	362	363
364	365	366
367		

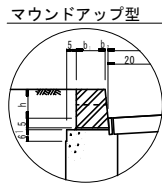
基 礎						型 枠		コンクリート		振付モルタル	ヒュー管	緑 石	（四角コンクリート） ゲレンデ 蓋			
緑石・血清部 (t=10) m ²	（A） 新 館		（B）		緑石・血清部 m ²	鋼 部 m ²	緑石・血清部 m ²	鋼 部 m ²	m ²				m	m	粗 目 枚	細 目 枚
	再生砕石 (t=15) m ²	(t=20) m ²	コンクリート (t=5) m ³	基礎型枠 m ²												
	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	—			
—	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	—			
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	—			
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	—			
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	—			
0.090	0.846	—	0.042	0.090	0.464	1.861	0.063	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	—			
0.117	0.846	—	0.042	0.090	0.464	1.861	0.064	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	—			
—	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	—	1.000			
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	—	1.000			
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	—	1.000			
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.393	1.861	0.056	0.410	0.002	0.900	0.900	—	1.000			
—	0.846	—	0.042	0.090	0.580	2.285	0.075	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	—			
—	0.846	—	0.042	0.090	0.580	2.285	0.075	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	—			
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.580	2.285	0.078	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	—			
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.580	2.285	0.078	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	—			
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.580	2.285	0.078	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	—			
0.090	0.846	—	0.042	0.090	0.679	2.285	0.089	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	—			
0.117	0.846	—	0.042	0.090	0.679	2.285	0.093	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	—			
—	0.846	—	0.042	0.090	0.580	2.285	0.075	0.460	0.001	0.900	0.900	—	1.000			
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.580	2.285	0.078	0.460	0.002	0.900	0.900	—	1.000			
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.580	2.285	0.078	0.460	0.002	0.900	0.900	—	1.000			
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.608	2.285	0.082	0.460	0.002	0.900	0.900	—	1.000			

四
番

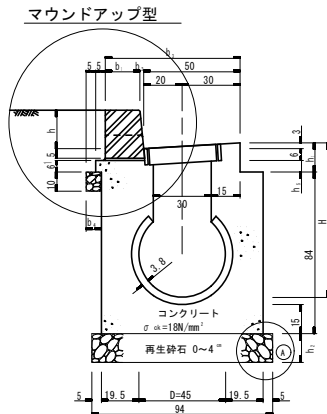
$6 \leq h_5 < 26$ の場合

$h_5 \geq 26$ の場合

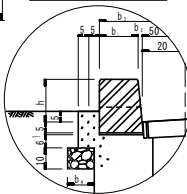
A1, 2, 3の場合



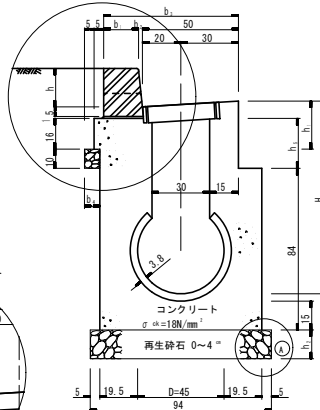
B1, 2, 3の場合



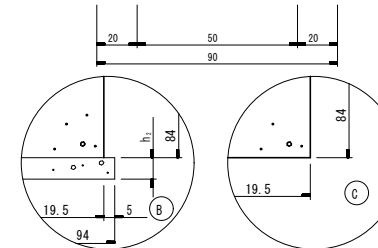
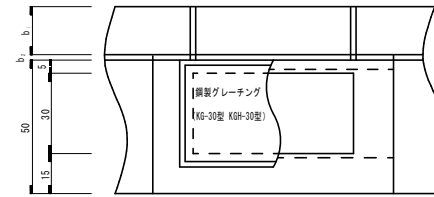
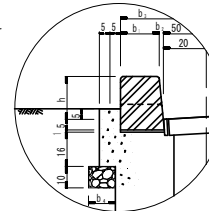
セミフラット型



マウンドアップ型



セミフラット型



Hの変化による h_1, h_5 の変化

Hの変化	h_1	h_5
80.2 ? 100.1	15 ? 34.9	6 ? 25.9
100.2 ?	25	26 ?

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

寸 法 表

○ 部 品 名	工 種	h	H	h ₁	h ₂			h ₃	b ₁	b ₂	b ₃	b ₄				
					A	B	C									
	MGP-D-A-45	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	——				
	A ₂	7	80.2	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——				
	B	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	8.0				
	B ₂	7	80.2	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	8.0				
	B ₃	5	80.2	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	8.0				
	FA	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	10.0				
	FB	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	13.0				
	A ₂ H	7	80.2	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——				
	B ₂ H	7	80.2	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	8.0				
	B ₃ H	5	80.2	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	8.0				
	LBH	2	80.2	15	15	5	0	6	20	0	70	8.0				
	MGP-D-A-45	15	100.2	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	——				
	A ₂	7	100.2	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	——				
	B	20	100.2	25	15	5	0	26	18	2	70	8.0				
	B ₂	7	100.2	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	8.0				
	B ₃	5	100.2	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	8.0				
	FA	15	100.2	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	10.0				
	FB	20	100.2	25	15	5	0	26	18	2	70	13.0				
	A ₂ H	7	100.2	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	——				
	B ₂ H	7	100.2	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	8.0				
	B ₃ H	5	100.2	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	8.0				
	LBH	2	100.2	25	15	5	0	26	20	0	70	8.0				

数	量	表
1	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12
13	14	15
16	17	18
19	20	21
22	23	24
25	26	27
28	29	30
31	32	33
34	35	36
37	38	39
40	41	42
43	44	45
46	47	48
49	50	51
52	53	54
55	56	57
58	59	60
61	62	63
64	65	66
67	68	69
70	71	72
73	74	75
76	77	78
79	80	81
82	83	84
85	86	87
88	89	90
91	92	93
94	95	96
97	98	99
100	101	102
103	104	105
106	107	108
109	110	111
112	113	114
115	116	117
118	119	120
121	122	123
124	125	126
127	128	129
130	131	132
133	134	135
136	137	138
139	140	141
142	143	144
145	146	147
148	149	150
151	152	153
154	155	156
157	158	159
160	161	162
163	164	165
166	167	168
169	170	171
172	173	174
175	176	177
178	179	180
181	182	183
184	185	186
187	188	189
190	191	192
193	194	195
196	197	198
199	200	201
202	203	204
205	206	207
208	209	210
211	212	213
214	215	216
217	218	219
220	221	222
223	224	225
226	227	228
229	230	231
232	233	234
235	236	237
238	239	240
241	242	243
244	245	246
247	248	249
250	251	252
253	254	255
256	257	258
259	260	261
262	263	264
265	266	267
268	269	270
271	272	273
274	275	276
277	278	279
280	281	282
283	284	285
286	287	288
289	290	291
292	293	294
295	296	297
298	299	300
301	302	303
304	305	306
307	308	309
310	311	312
313	314	315
316	317	318
319	320	321
322	323	324
325	326	327
328	329	330
331	332	333
334	335	336
337	338	339
340	341	342
343	344	345
346	347	348
349	350	351
352	353	354
355	356	357
358	359	360
361	362	363
364	365	366
367		

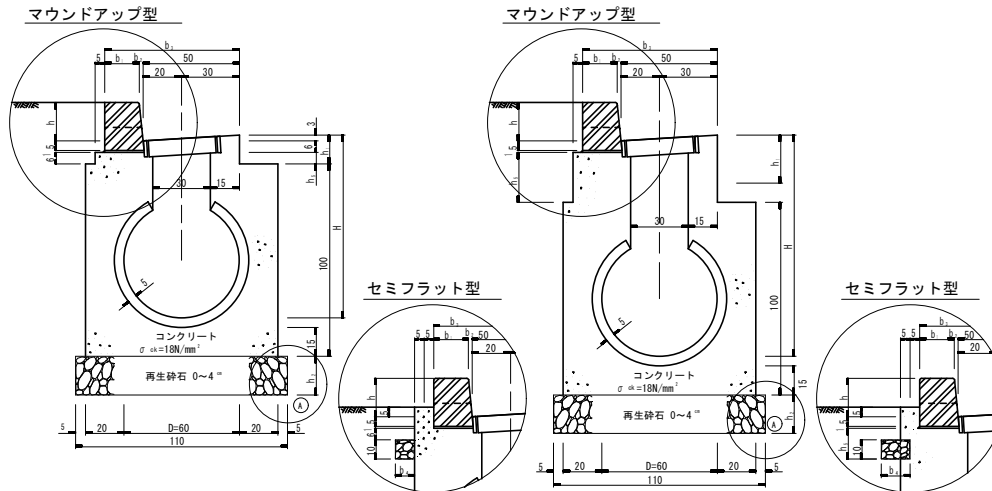
基 礎 部					型 枠		コンクリート		据付モルタル	ヒューム管	緑 石	（品名） 「仕様」書	
緑石・血清部	（A） 材 部		（B） 基礎型枠		緑石・血清部	樹 部	緑石・血清部	樹 部				粗 目	細 目
	再生砕石 (t=10) m ²	再生砕石 (t=20) m ²	コンクリート (t=50) m ³	基礎型枠 m ²									
—	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	—
—	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	—
緑石	0.846	—	0.042	0.090	0.464	1.861	0.063	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.117	0.846	—	0.042	0.090	0.464	1.861	0.064	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	—
—	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	—	1.000
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.393	1.861	0.056	0.410	0.002	0.900	0.900	—	1.000
—	0.846	—	0.042	0.090	0.795	2.285	0.099	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	—
—	0.846	—	0.042	0.090	0.795	2.285	0.099	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.795	2.285	0.104	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.795	2.285	0.104	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.795	2.285	0.104	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	—
0.090	0.846	—	0.042	0.090	0.894	2.285	0.116	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	—
0.117	0.846	—	0.042	0.090	0.894	2.285	0.121	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	—
—	0.846	—	0.042	0.090	0.795	2.285	0.099	0.460	0.001	0.900	0.900	—	1.000
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.795	2.285	0.104	0.460	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.795	2.285	0.104	0.460	0.002	0.900	0.900	—	1.000
0.072	0.846	—	0.042	0.090	0.823	2.285	0.108	0.460	0.002	0.900	0.900	—	1.000

四
番

交通量区分一 N7交通(D交通)

6 ≤ h₅ < 26 の場合

$h_5 \geq 26$ の場合



Hの変化による h_1, h_5 の変化

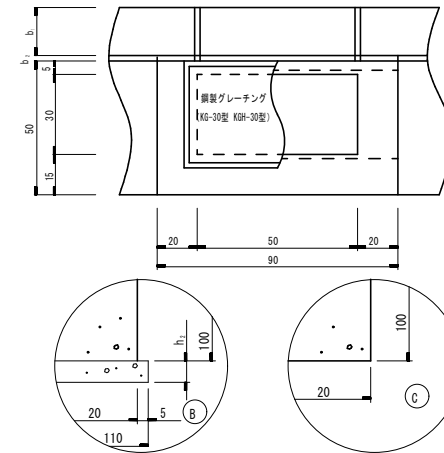
Hの変化	h_1	h_2
95 2	15 2	6 2
114.9	34.9	25.9
115 2	25	26 2

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{N/mm}^2$

モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

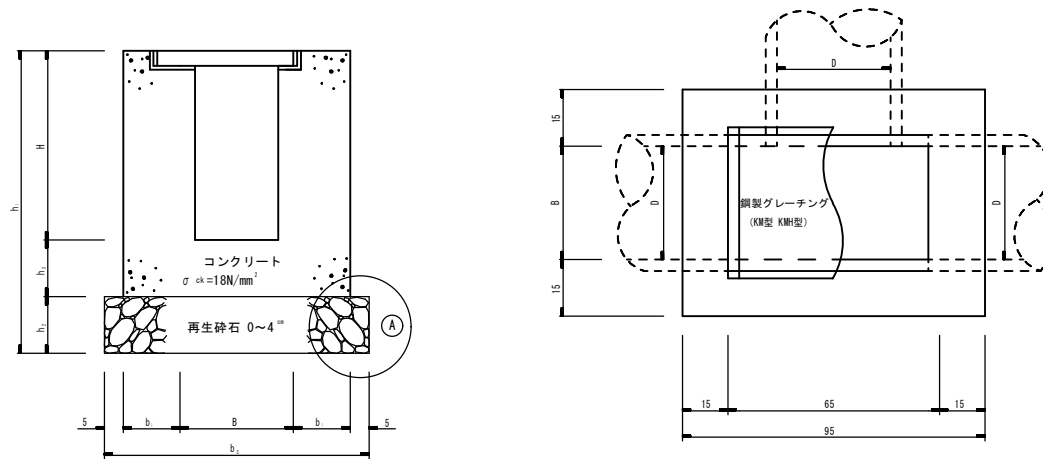


寸 法 表

数	量	表
1	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12
13	14	15
16	17	18
19	20	21
22	23	24
25	26	27
28	29	30
31	32	33
34	35	36
37	38	39
40	41	42
43	44	45
46	47	48
49	50	51
52	53	54
55	56	57
58	59	60
61	62	63
64	65	66
67	68	69
70	71	72
73	74	75
76	77	78
79	80	81
82	83	84
85	86	87
88	89	90
91	92	93
94	95	96
97	98	99
100	101	102
103	104	105
106	107	108
109	110	111
112	113	114
115	116	117
118	119	120
121	122	123
124	125	126
127	128	129
130	131	132
133	134	135
136	137	138
139	140	141
142	143	144
145	146	147
148	149	150
151	152	153
154	155	156
157	158	159
160	161	162
163	164	165
166	167	168
169	170	171
172	173	174
175	176	177
178	179	180
181	182	183
184	185	186
187	188	189
190	191	192
193	194	195
196	197	198
199	200	201
202	203	204
205	206	207
208	209	210
211	212	213
214	215	216
217	218	219
220	221	222
223	224	225
226	227	228
229	230	231
232	233	234
235	236	237
238	239	240
241	242	243
244	245	246
247	248	249
250	251	252
253	254	255
256	257	258
259	260	261
262	263	264
265	266	267
268	269	270
271	272	273
274	275	276
277	278	279
280	281	282
283	284	285
286	287	288
289	290	291
292	293	294
295	296	297
298	299	300
301	302	303
304	305	306
307	308	309
310	311	312
313	314	315
316	317	318
319	320	321
322	323	324
325	326	327
328	329	330
331	332	333
334	335	336
337	338	339
340	341	342
343	344	345
346	347	348
349	350	351
352	353	354
355	356	357
358	359	360
361	362	363
364	365	366
367		

○ 材 種 工	工 種	h	H	h ₁	h ₂			h ₃	b ₁	b ₂	b ₃	b ₄								緑石・血清部	基 礎				型 枠		コンクリート				据付モルタル	ヒューム管	緑 石	グレート・蓋						
					A	B	C														④ 枿 部		⑥	緑石・血清部	枿部	緑石・血清部	枿部	■	■	■				■	■	■	■	■		
																					再生緑石 (t=10)㎡	再生緑石 (t=15)㎡																	2/3グリット (t=5)㎡	基礎型枠 ■
	MGP-D-A-60	15	95	15	20	10	0	6	15	1.5	66.5	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.050	0.524	0.001	0.900	0.900	1.000	――								
	A ₂	7	95	15	20	10	0	6	15.8	0.7	66.5	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.050	0.524	0.001	0.900	0.900	1.000	――								
	B	20	95	15	20	10	0	6	18	2	70	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	1.000	――								
	B ₂	7	95	15	20	10	0	6	19.3	0.7	70	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	1.000	――								
	B ₃	5	95	15	20	10	0	6	19.9	0.1	70	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	1.000	――								
	FA	15	95	15	20	10	0	6	15	1.5	66.5	5.0							0.045	――	0.990	0.099	0.180	0.410	2.126	0.063	0.524	0.001	0.900	0.900	1.000	――								
	FB	20	95	15	20	10	0	6	18	2	70	5.0							0.045	――	0.990	0.099	0.180	0.410	2.126	0.064	0.524	0.002	0.900	0.900	1.000	――								
	A ₂ H	7	95	15	20	10	0	6	15.8	0.7	66.5	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.050	0.524	0.001	0.900	0.900	――	1.000								
	B ₂ H	7	95	15	20	10	0	6	19.3	0.7	70	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	――	1.000								
	B ₃ H	5	95	15	20	10	0	6	19.9	0.1	70	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	――	1.000								
	LBH	2	95	15	20	10	0	6	20	0	70	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.339	2.126	0.056	0.524	0.002	0.900	0.900	――	1.000								
	MGP-D-A-60	15	115	25	20	10	0	26	15	1.5	66.5	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.651	2.566	0.099	0.581	0.001	0.900	0.900	1.000	――								
	A ₂	7	115	25	20	10	0	26	15.8	0.7	66.5	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.651	2.566	0.099	0.581	0.001	0.900	0.900	1.000	――								
	B	20	115	25	20	10	0	26	18	2	70	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.651	2.566	0.104	0.581	0.002	0.900	0.900	1.000	――								
	B ₂	7	115	25	20	10	0	26	19.3	0.7	70	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.651	2.566	0.104	0.581	0.002	0.900	0.900	1.000	――								
	B ₃	5	115	25	20	10	0	26	19.9	0.1	70	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.651	2.566	0.104	0.581	0.002	0.900	0.900	1.000	――								
	FA	15	115	25	20	10	0	26	15	1.5	66.5	5.0							0.045	――	0.990	0.099	0.180	0.750	2.566	0.116	0.581	0.001	0.900	0.900	1.000	――								
	FB	20	115	25	20	10	0	26	18	2	70	5.0							0.045	――	0.990	0.099	0.180	0.750	2.566	0.121	0.581	0.002	0.900	0.900	1.000	――								
	A ₂ H	7	115	25	20	10	0	26	15.8	0.7	66.5	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.651	2.566	0.099	0.581	0.001	0.900	0.900	――	1.000								
	B ₂ H	7	115	25	20	10	0	26	19.3	0.7	70	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.651	2.566	0.104	0.581	0.002	0.900	0.900	――	1.000								
	B ₃ H	5	115	25	20	10	0	26	19.9	0.1	70	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.651	2.566	0.104	0.581	0.002	0.900	0.900	――	1.000								
	LBH	2	115	25	20	10	0	26	20	0	70	――							――	――	0.990	0.099	0.180	0.679	2.566	0.108	0.581	0.002	0.900	0.900	――	1.000								
																																						図番	／	

H ≤ 55 の場合

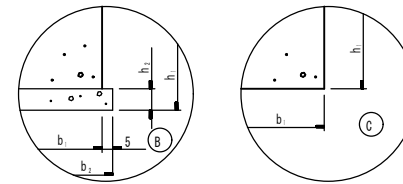


Hの区分による h_2, h_3 の変化

記号 基礎 Hの区分	h ₂			h ₃
	A	B	C	
H ≤ 55	15	5	0	15

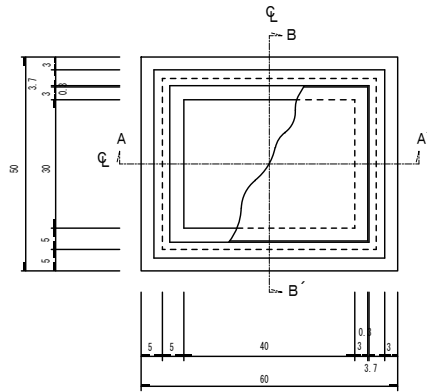
基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生碎石	0~4cm
(B)	コンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{N/mm}^2$

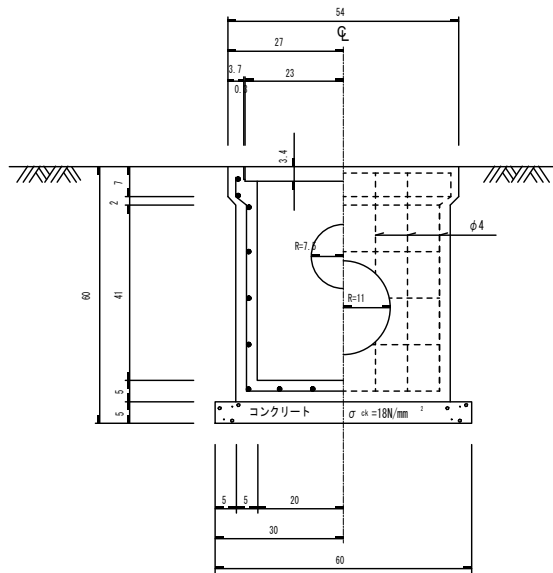
[illegible]

雨水樹工

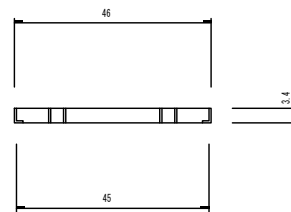
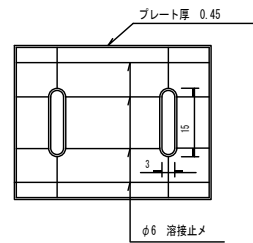
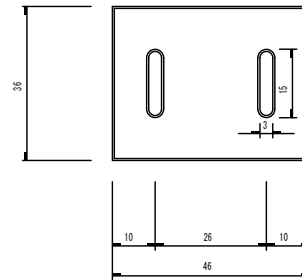
平面図



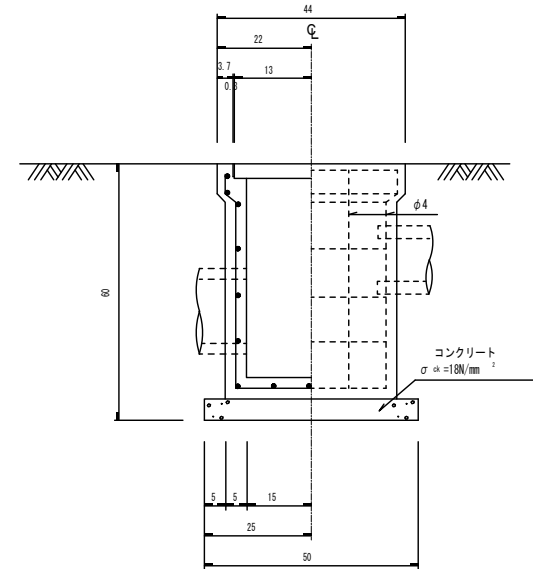
A~A'



蓋板詳細図



B~B'



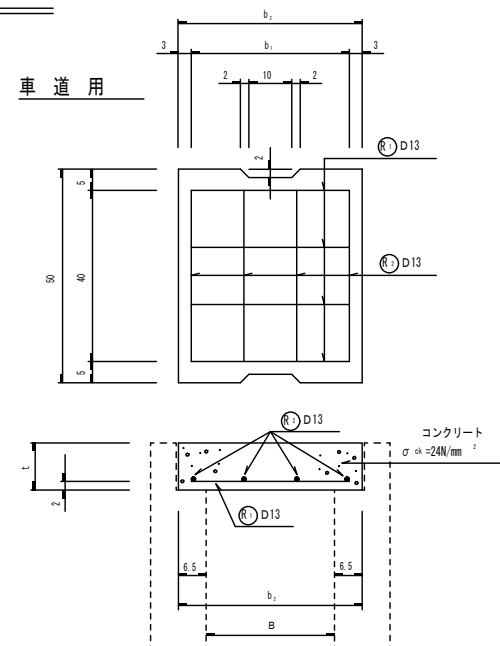
雨水樹工

1ヶ所当所要数量表

名称	形状寸法	数量
樹 及 蓋 板	内径40×30 cm	1.0組
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.015m ³
基礎型枠		0.110m ²

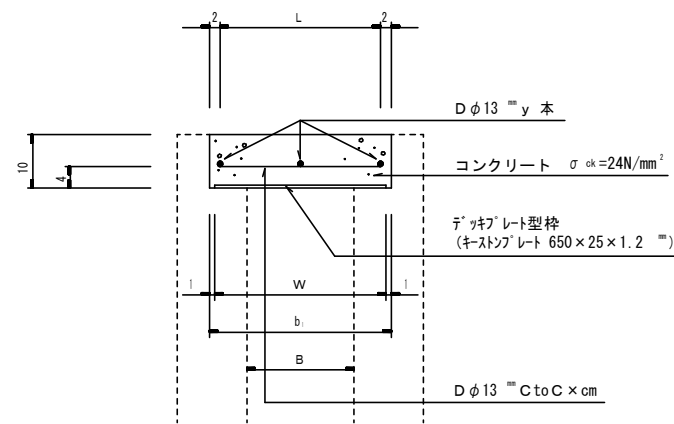
本体重量 130kg , 蓋重量 14kg

図
番



[4-4-1]

UB-(1~3)用



[4-4-2]

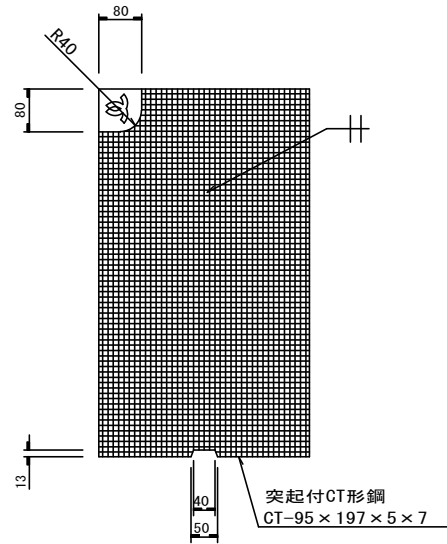
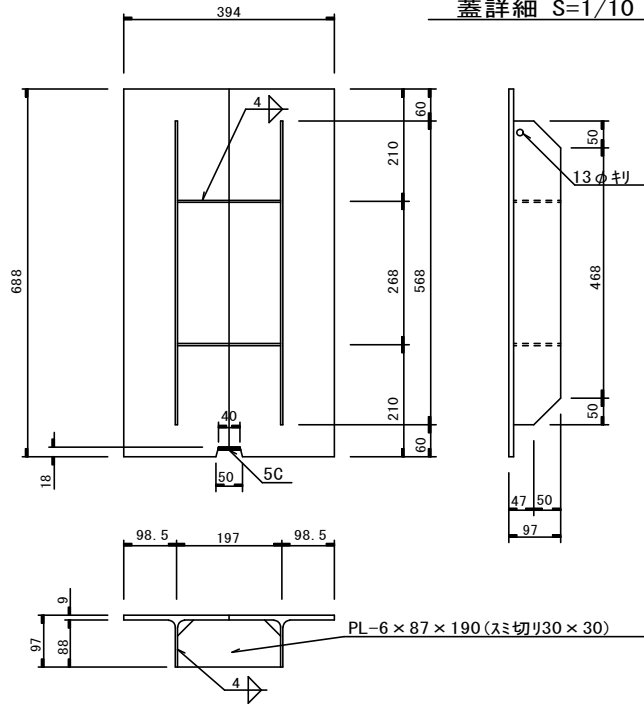
鉄蓋設置工（柵用）

蓋番号 13

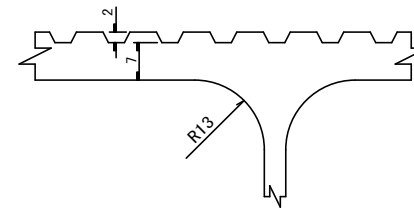
No. 102-2

1枚蓋 滑り止め
内径30×60 歩道用

蓋詳細 S=1/10

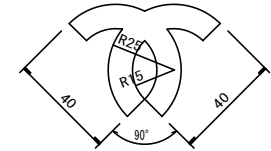


表面突起形状 S=1/1

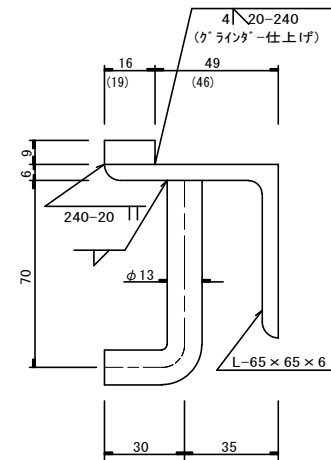
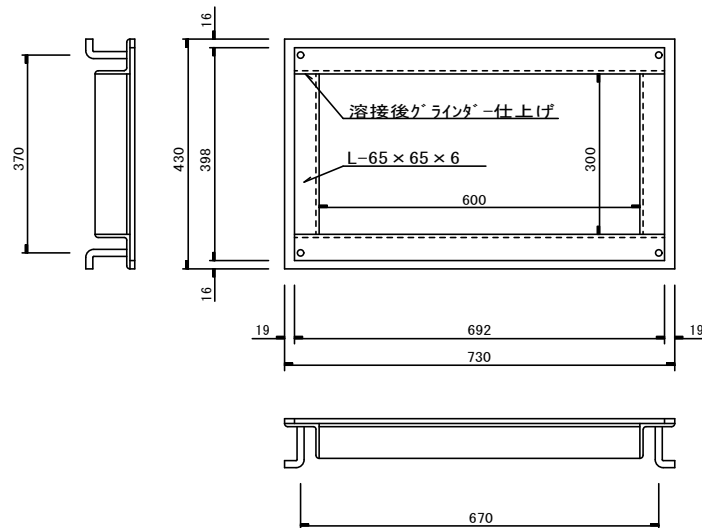


市章詳細 S=1/2

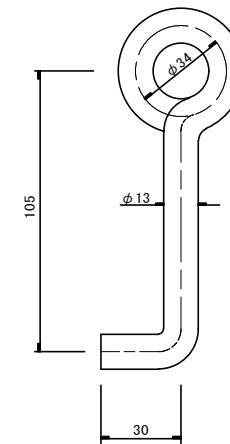
市章文字は3.2mm鉄板で
仕上げ溶接止めとする。



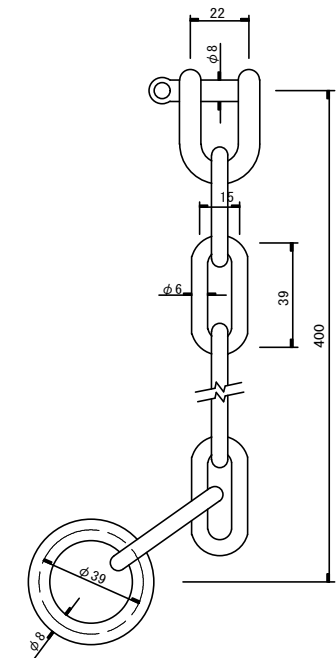
枠詳細 S=1/10



S=1/2



鎖取付アイボルト S=1/2



アイボルト接続シャックル

L=400 S=1/2

9K0KAK02

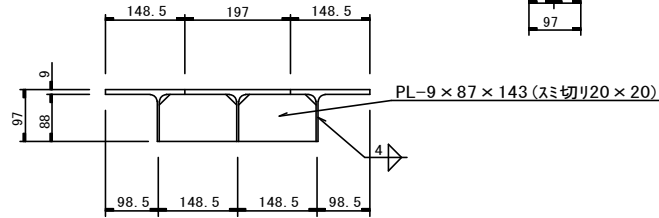
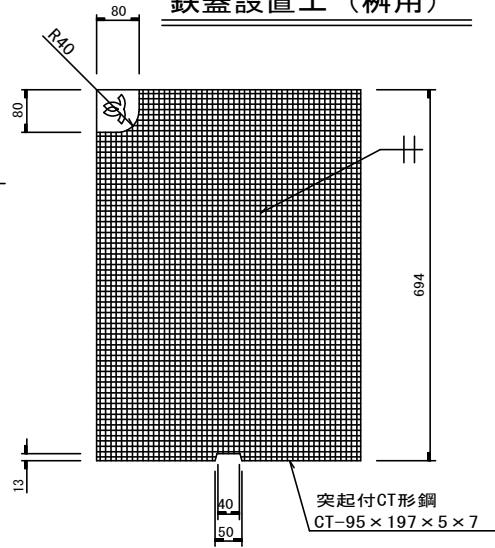
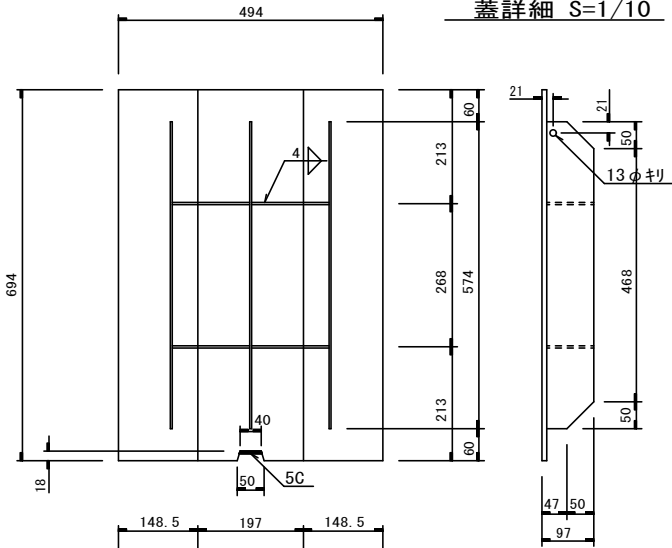
1セット重量 37.0kg

図番

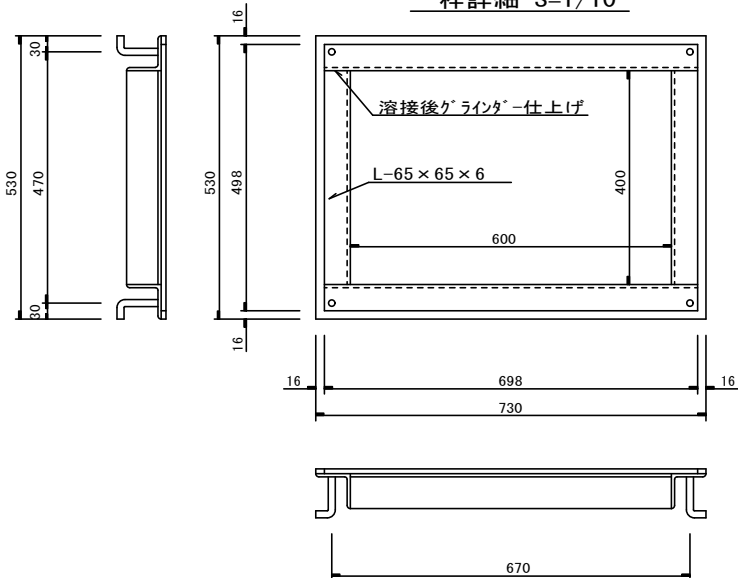
鉄蓋設置工（柵用）

1枚蓋 滑り止め
内径40×60 歩道用

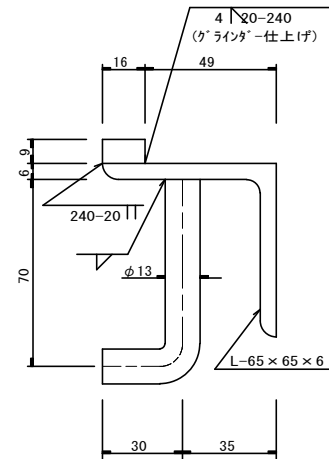
蓋詳細 S=1/10



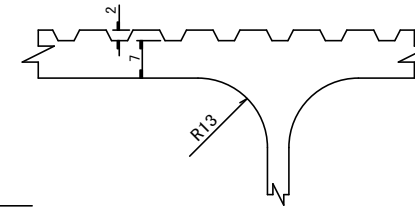
柵詳細 S=1/10



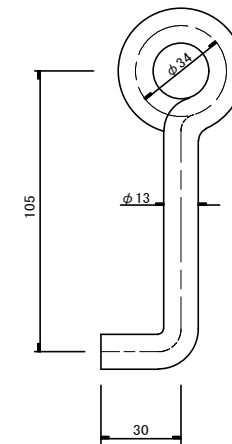
S=1/2



表面突起形状 S=1/1

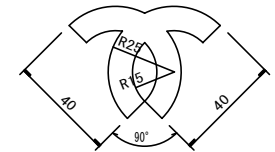


鎖取付アイボルト S=1/2



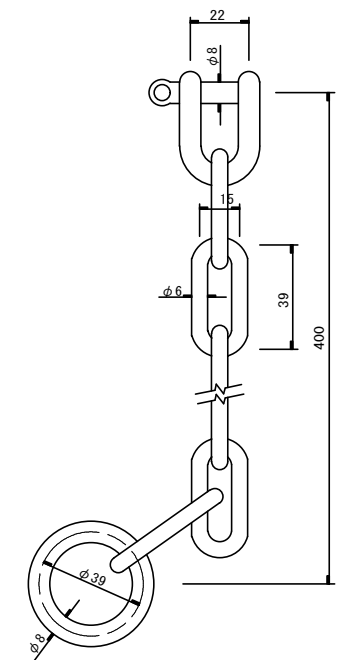
市章詳細 S=1/2

市章文字は3.2mm鉄板で
仕上げ溶接止めとする。



アイボルト接続シャックル

L=400 S=1/2



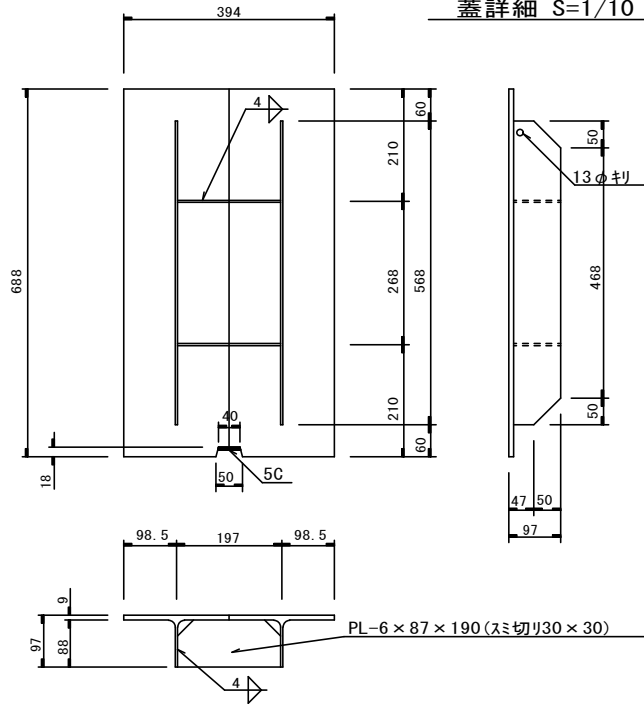
鉄蓋設置工（柵用）

蓋番号 15

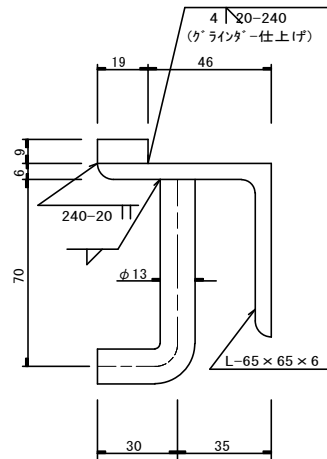
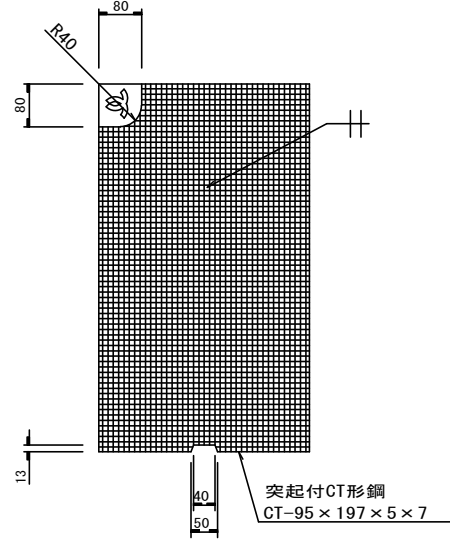
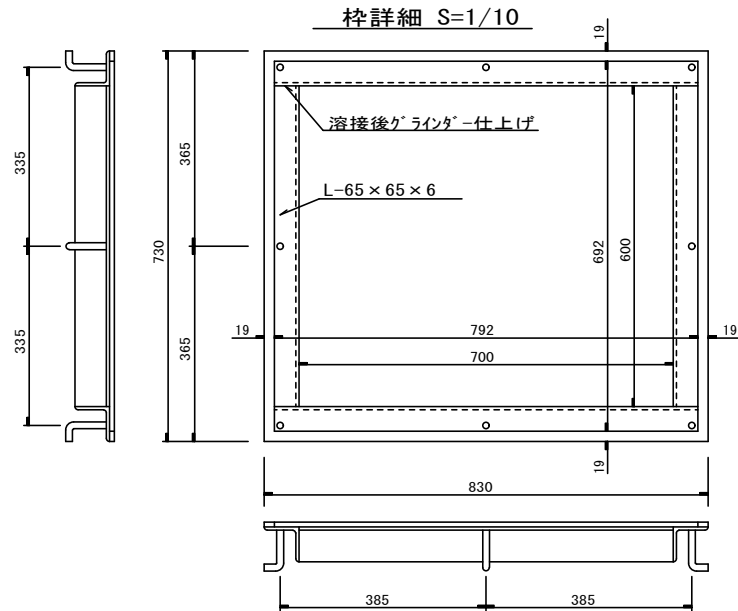
No. 103-2

2枚蓋 滑り止め
内径60×70 歩道用

蓋詳細 S=1/10

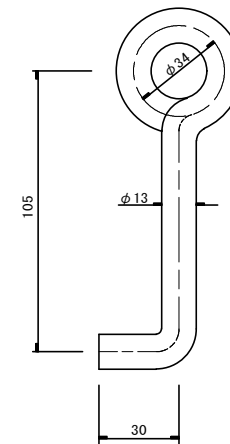
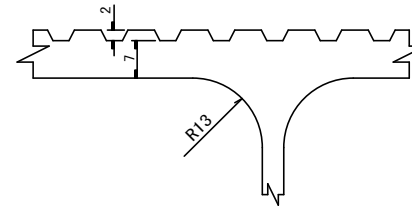


枠詳細 S=1/10



S=1/2

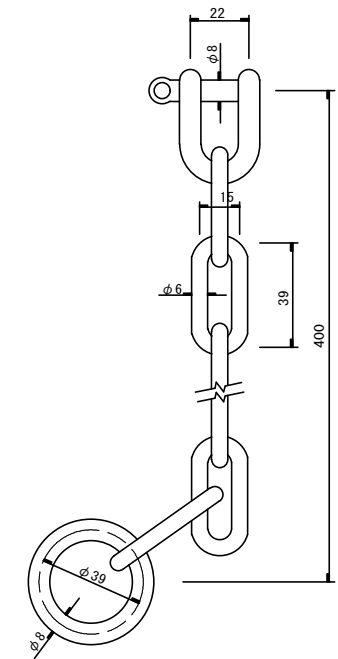
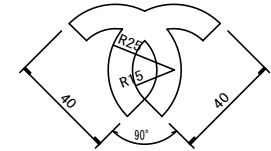
表面突起形状 S=1/1



鎖取付アイボルト S=1/2

市章詳細 S=1/2

市章文字は3.2mm鉄板で
仕上げ溶接止めとする。



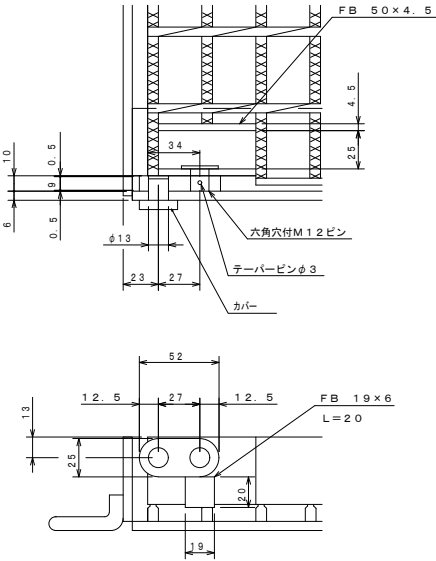
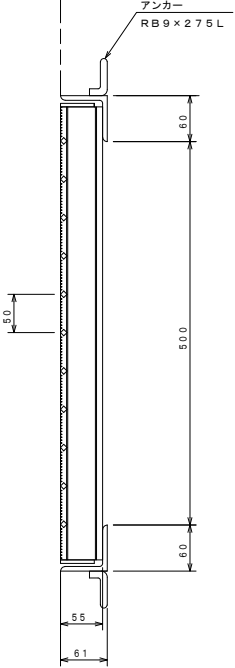
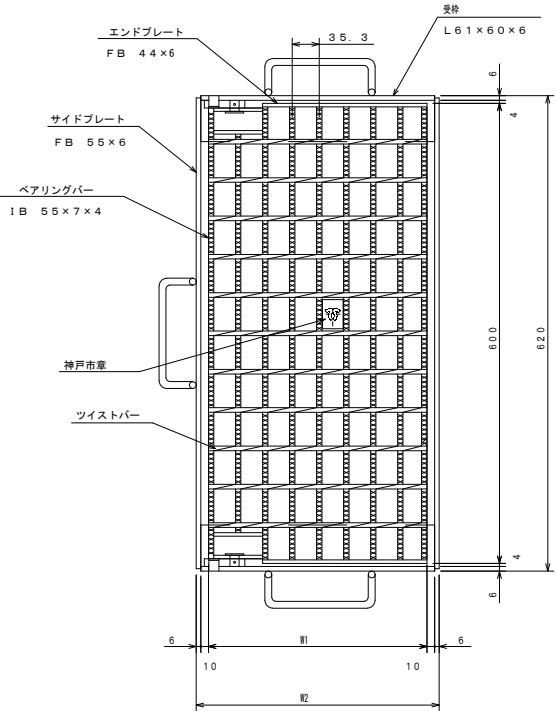
アイボルト接続シャックル
L=400 S=1/2

9K0KAK01

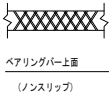
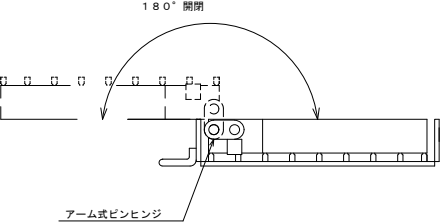
1セット重量 67.0kg

図番 /

鋼製グレーチング蓋設置工 (現場打街渠樹用) T-25 粗目
スリットなし



アーム式ピンヒンジ詳細



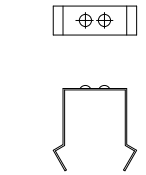
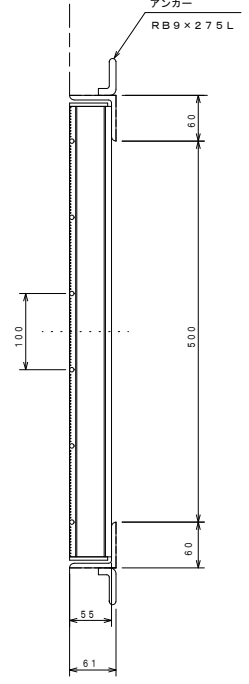
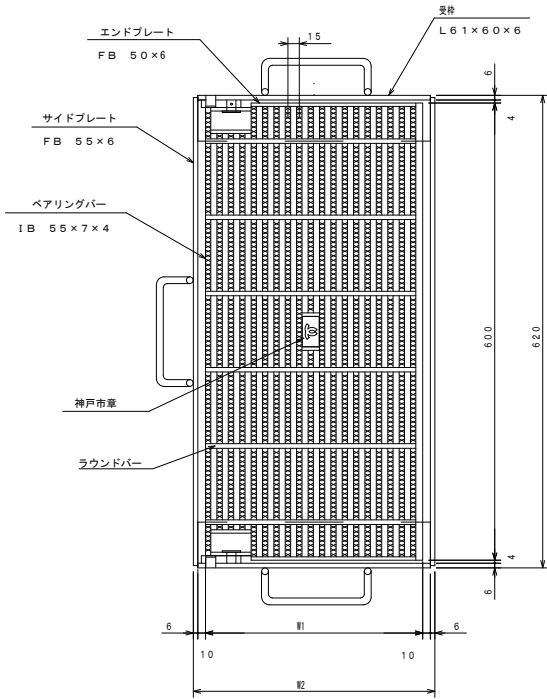
表面処理
粗目

本体～亜鉛メッキ、受枠～黒ペイント

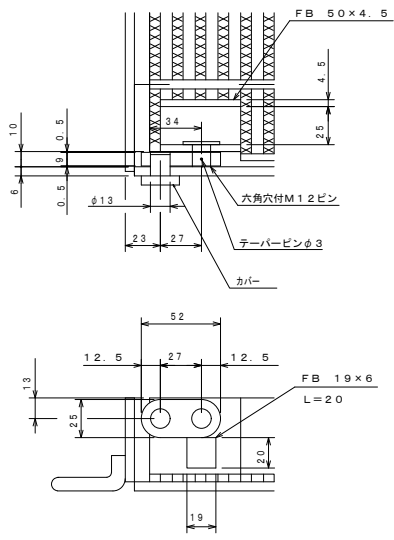
工 種	寸 法 表				蓋番号
	W1	W2	Kg鋼製蓋	Kg受枠	
KG-30	285	317	13.7	6.8	20
KG-40	395	428	17.9	7.9	21
KG-50	501	533	27.5	9.1	22

鋼製グレーチング蓋設置工（現場打街渠柵用）T-25 細目

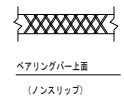
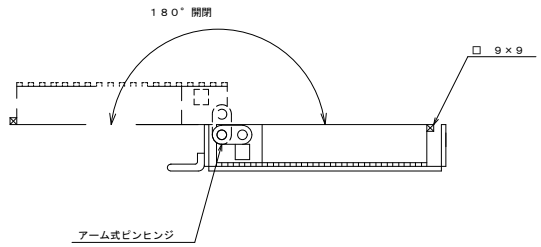
スリットなし



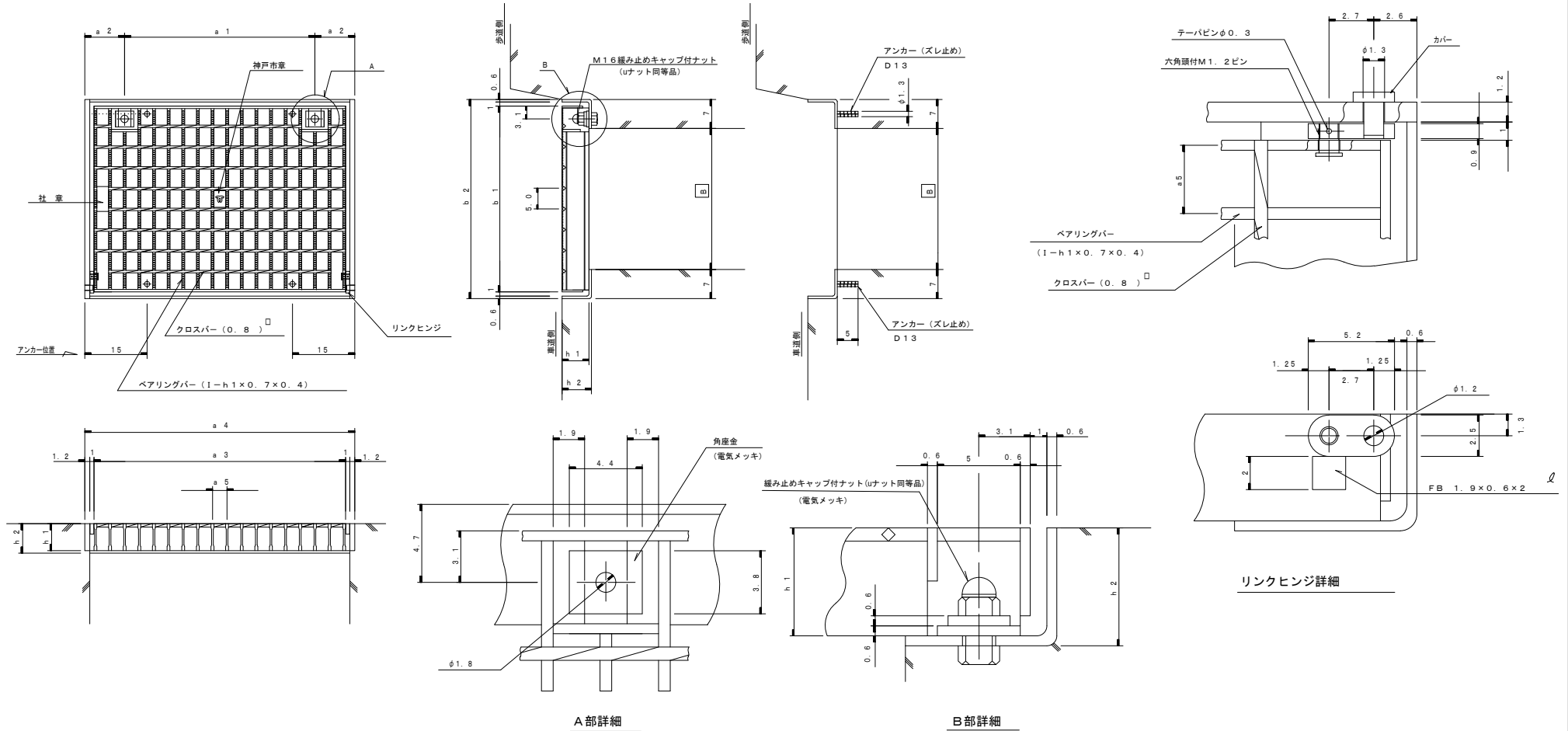
ヒンジキャップ図
(ステンレス製)



アーム式ピンヒンジ詳細

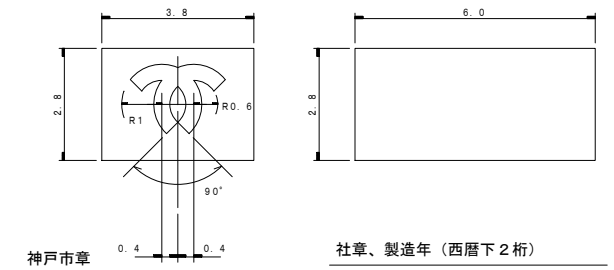


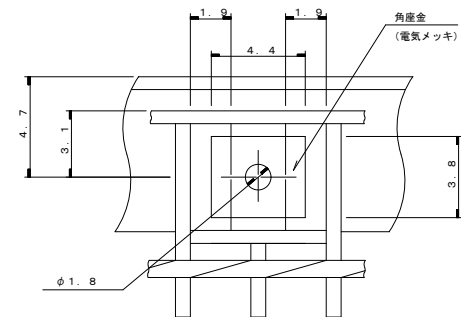
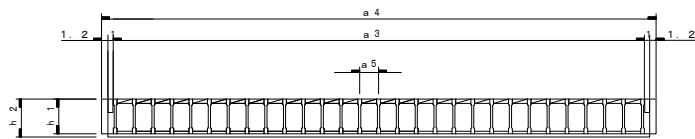
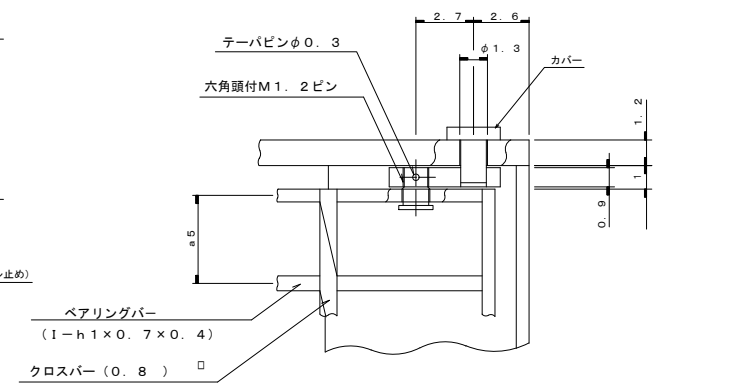
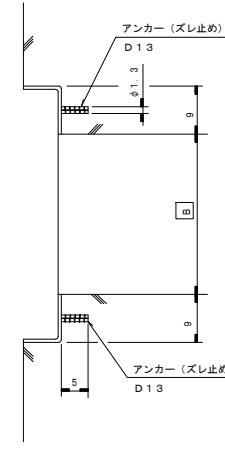
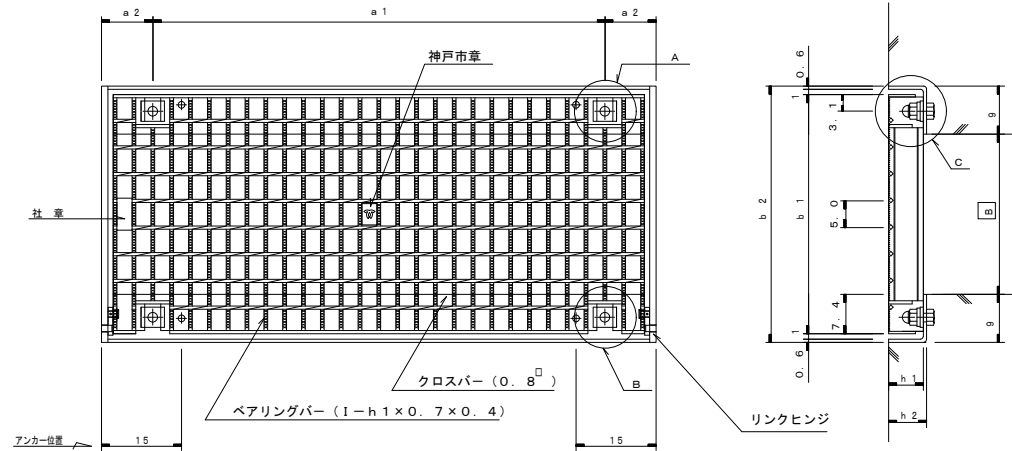
表面処理		細目				
		本体～垂鉛メッキ、受枠～黒ペイント				
		寸法表				
工種	W1	W2	Kg鋼製蓋	Kg受枠	蓋番号	
KGH-30	295	317	27.1	6.8	23	
KGH-40	396	428	36.8	7.9	24	
KGH-50	501	533	46.3	9.1	25	



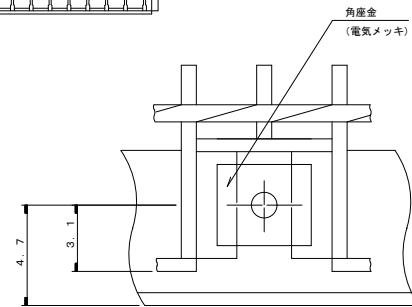
寸 法 表														
工 種	B	a1	a2	a3	a4	a5	b1	b2	h1	h2	kg 鋼製蓋	kg 受 枠	蓋番号	
KM-30	30	45.9	9.6	60.7	65.1	3.53	40.8	44	5.0	5.6	17.2	11.9	26	
KM-40	40	45.9	9.6	60.7	65.1	3.53	50.8	54	6.5	7.1	26.9	15.2	27	
KM-50	50	45.9	9.6	60.7	65.1	3.53	60.8	64	8.0	8.6	39.9	19.2	28	

表面処理
本体及び受枠共～亜鉛メッキ

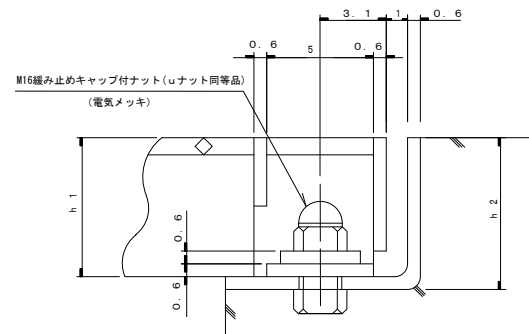




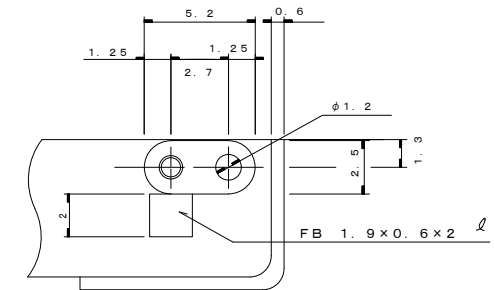
A部詳細



B部詳細

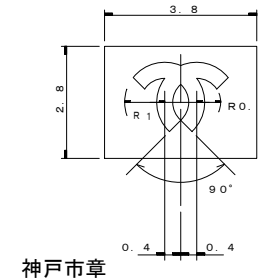
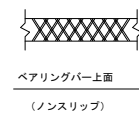


C部詳細

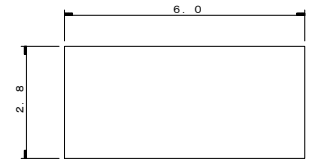


リンクヒンジ詳細

表面処理
本体及び受枠共へ亜鉛メッキ

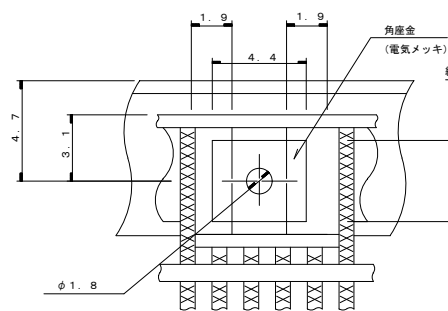
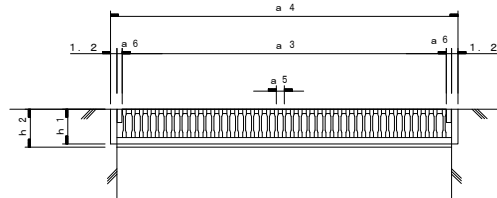
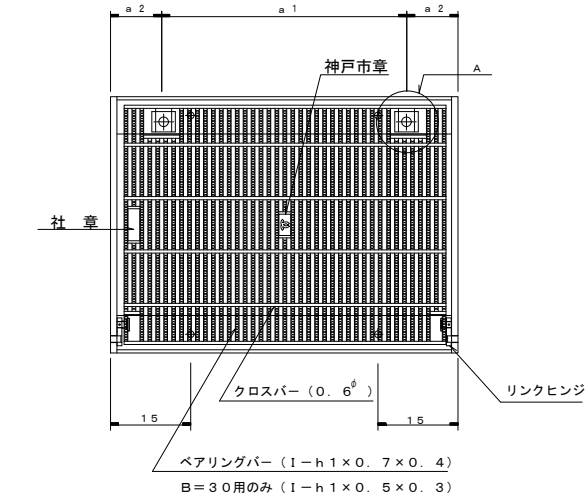


神戸市章

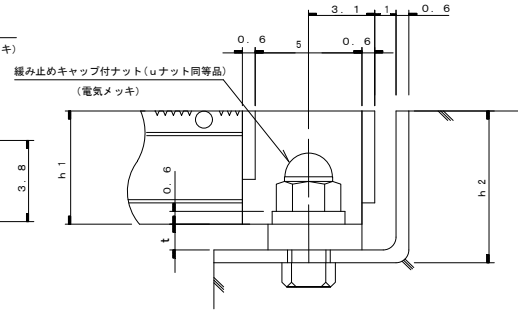


社章、製造年 (西暦下2桁)

寸 法 表													
工 種	B	a1	a2	a3	a4	a5	b1	b2	h1	h2	kg 鋼製蓋	kg 受 枠	蓋番号
KO-30	30	84.7	9.6	99.5	103.9	3.53	44.8	48	6.5	7.1	38.6	21.3	29
KO-40	40	84.7	9.6	99.5	103.9	3.53	54.8	58	7.5	8.1	53.5	24.3	30
KO-50	50	84.7	9.6	99.5	103.9	3.53	64.8	68	9.0	9.6	76.1	29.3	31



A部詳細

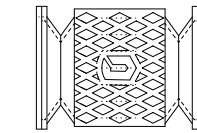
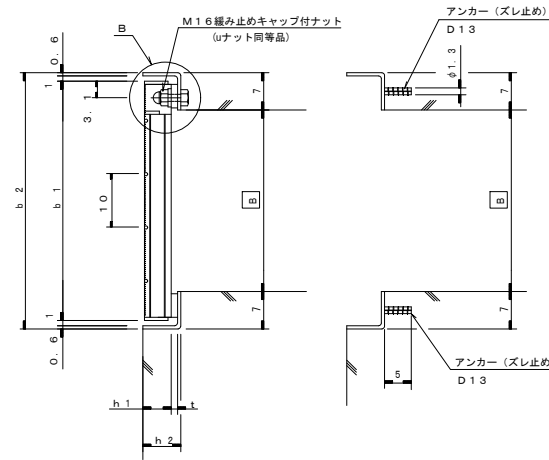


B部詳細

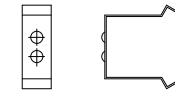
表面処理
本体及び受枠共～亜鉛メッキ

寸法表

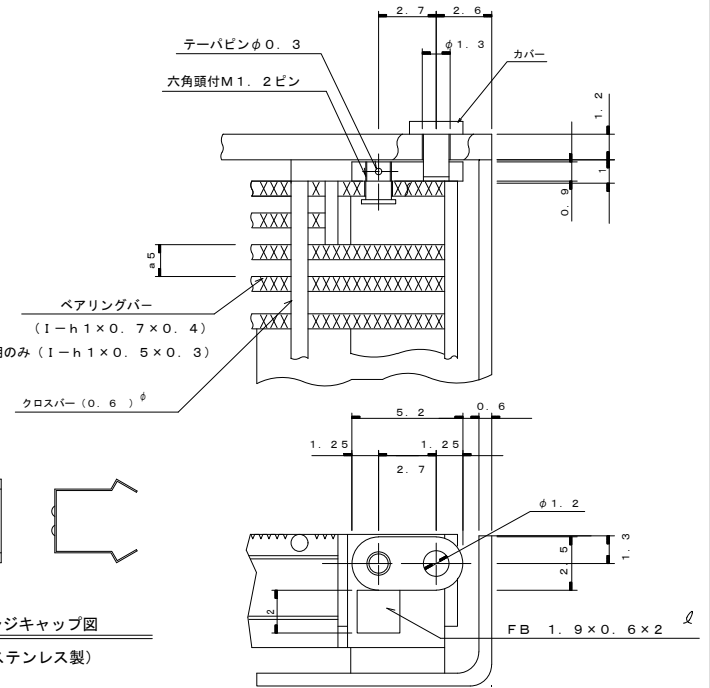
工種	B	a1	a2	a3	a4	a5	a6	b1	b2	h1	t	h2	kg 鋼製蓋	kg 受枠	蓋番号
KMH-30	30	45.9	9.6	60.5	65.1	1.5	1.1	40.8	44	4.4	0.6	5.6	26.2	11.9	32
KMH-40	40	45.9	9.6	60.6	65.1	1.5	1.05	50.8	54	5.0	1.6	7.1	50.2	15.2	33
KMH-50	50	45.9	9.6	60.6	65.1	1.5	1.05	60.8	64	5.5	2.5	8.6	59.9	19.2	34



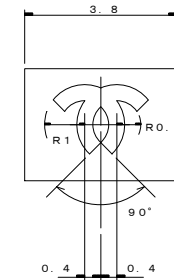
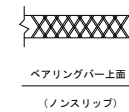
ボルキャップ詳細図
(ゴム製)



ヒンジキャップ図
(ステンレス製)

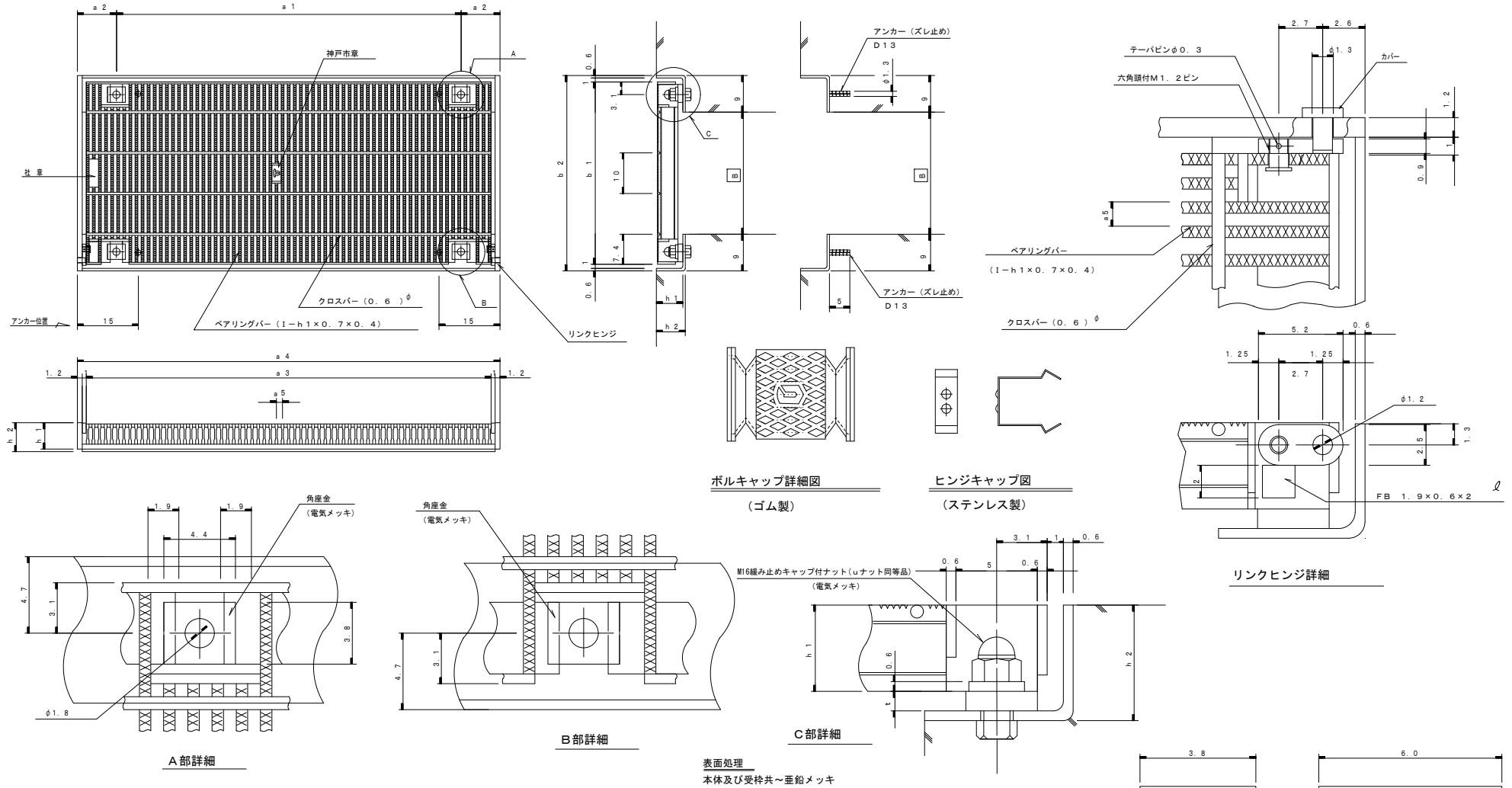


リンクヒンジ詳細



神戸市章

社章、製造年（西暦下2桁）



A部詳細

B部詳細

C部詳細

リンクヒンジ詳細

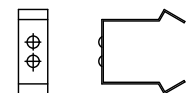
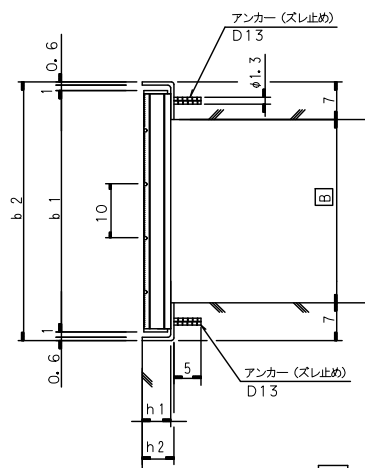
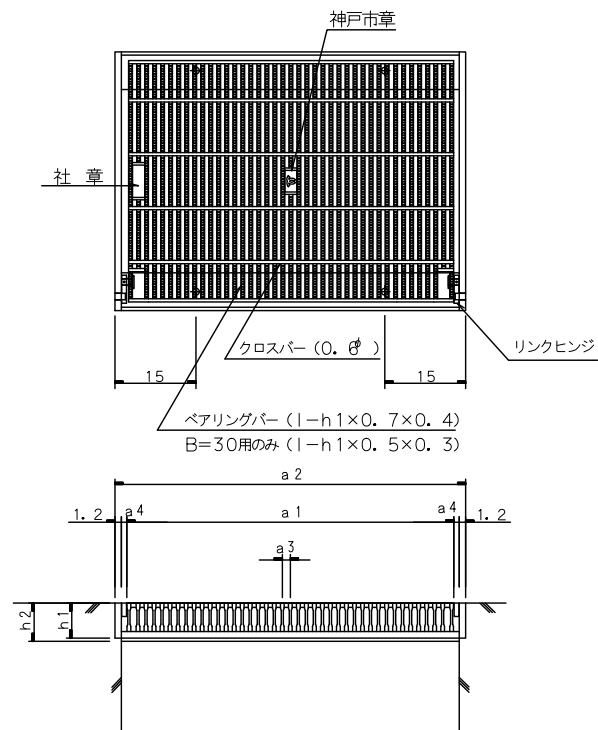
ボルキャップ詳細図
(ゴム製)

ヒンジキャップ図
(ステンレス製)

工種	寸 法 表												
	B	a 1	a 2	a 3	a 4	a 5	b 1	b 2	h 1	t	h 2	kg	kg
KOH-30	30	84.7	9.6	99.5	103.9	1.5	44.8	48	5.0	1.2	7.1	71.1	21.3
KOH-40	40	84.7	9.6	99.5	103.9	1.5	54.8	58	5.0	2.5	8.1	81.9	24.3
KOH-50	50	84.7	9.6	99.5	103.9	1.5	64.8	68	5.5	3.5	9.6	104.8	29.3

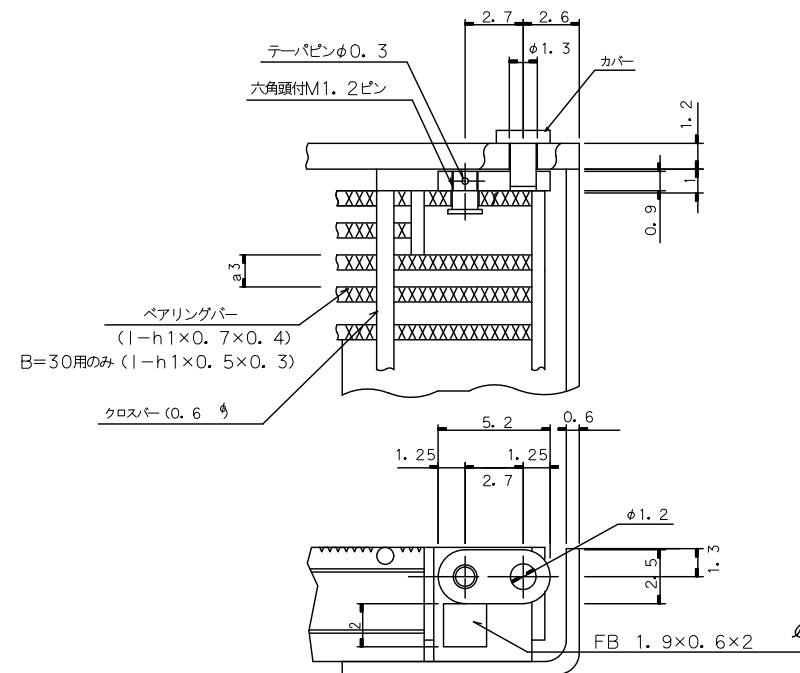
鋼製グレーチング蓋設置工（柵用）T-25 細目

(歩道乗入部)



ヒンジキャップ図

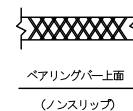
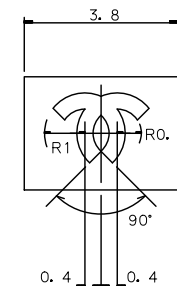
(ステンレス製)



リンクヒンジ詳細

表面処理
本体及び受枠共に亜鉛メッキ

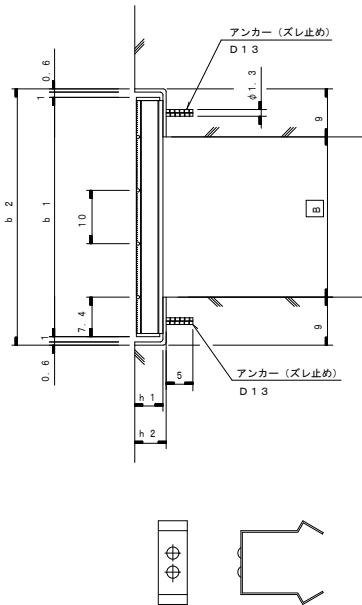
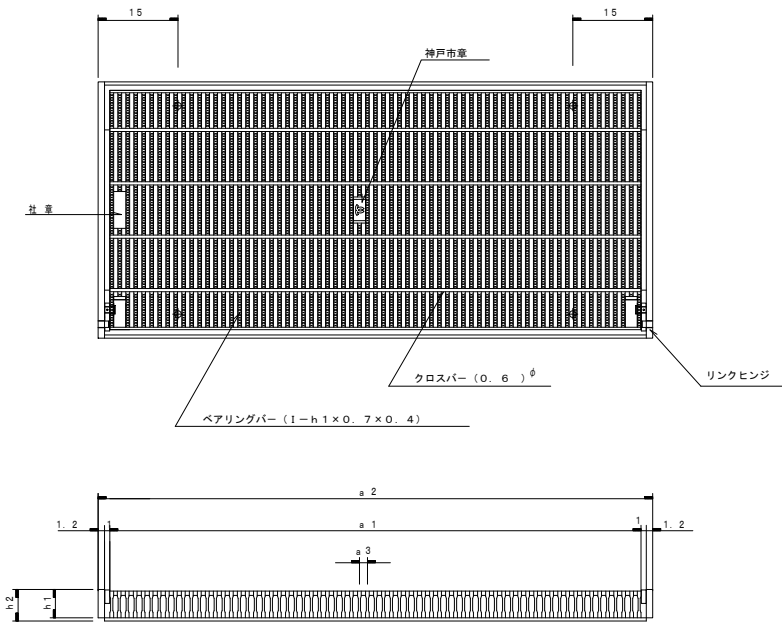
寸 法 表														
工 種	B	a1	a2	a3	a4	b1	b2	h1	h2	kg 鋼製蓋	kg 受 枠	蓋番号		
KMHH-30	30	60.5	65.1	1.5	1.1	40.8	44	4.4	5.0	23.7	10.0	38		
KMHH-40	40	60.6	65.1	1.5	1.05	50.8	54	5.0	5.6	43.5	12.8	39		
KMHH-50	50	60.6	65.1	1.5	1.05	60.8	64	5.5	6.1	56.6	14.7	40		

ペアリングバー上面
(ノンスリップ)

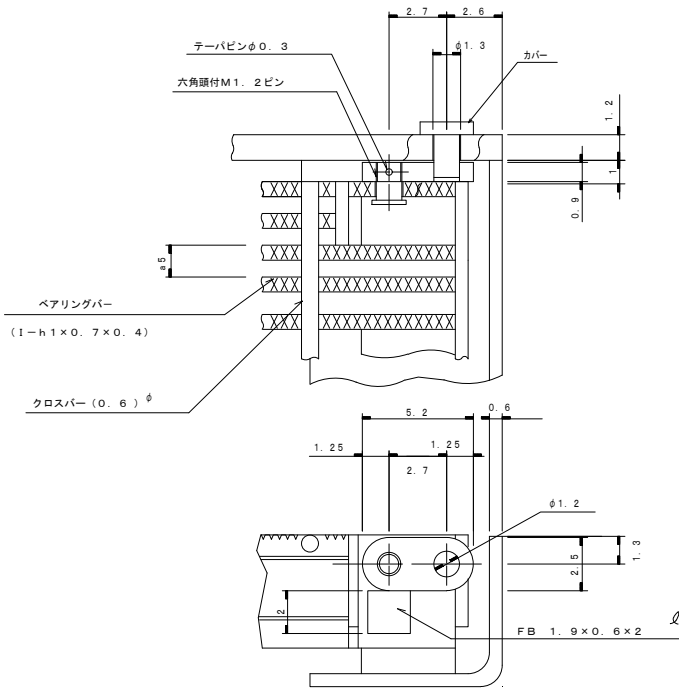
神戸市章

社章、製造年（西暦下2桁）

（歩道乗入部）



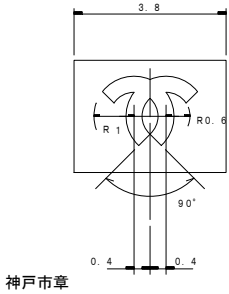
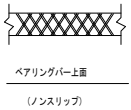
ヒンジキャップ図
（ステンレス製）



リンクヒンジ詳細

表面処理
本体及び受枠共～亜鉛メッキ

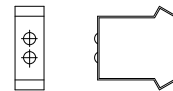
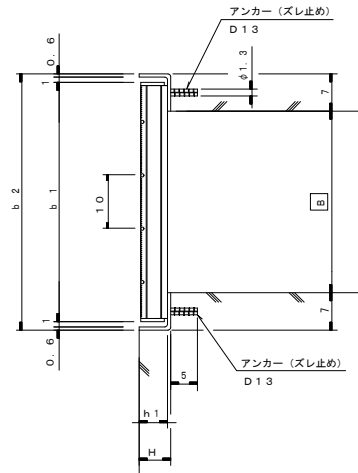
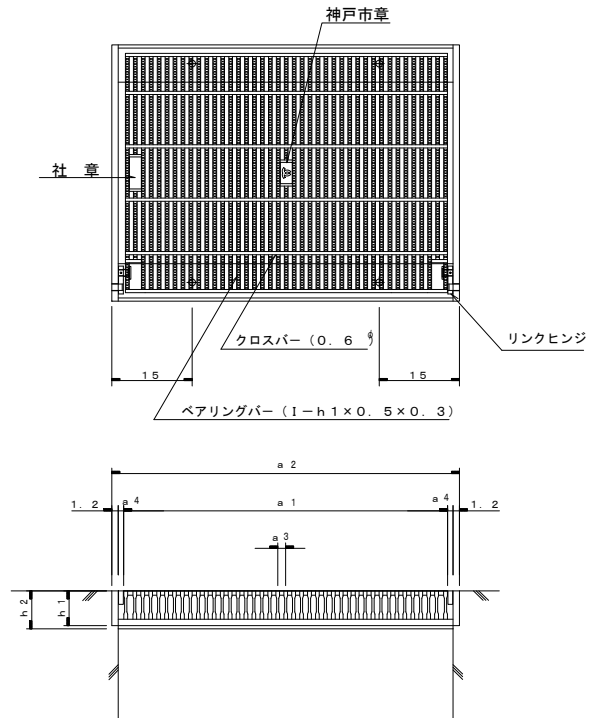
寸 法 表													
工 種	B	a 1	a 2	a 3	b 1	b 2	h 1	h 2	kg 鋼製蓋	kg 受 枠	番 号		
KOHH-30	30	99.5	103.9	1.5	44.8	48	5.0	5.6	62.8	18.8	41		
KOHH-40	40	99.5	103.9	1.5	54.8	58	5.0	5.6	76.4	19.8	42		
KOHH-50	50	99.5	103.9	1.5	64.8	68	5.5	6.1	90.1	21.3	43		



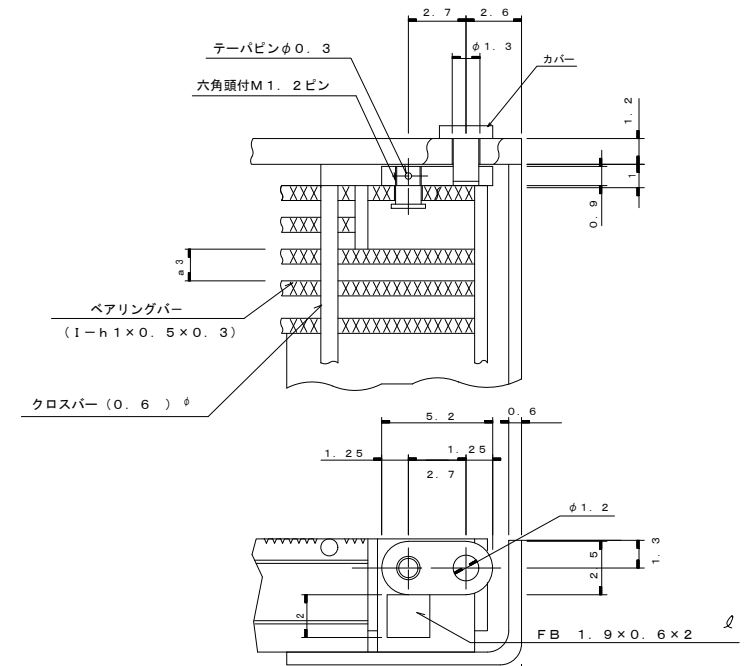
社章、製造年（西暦下2桁）

鋼製グレーチング蓋設置工（柵用）T-2 細目

（歩道一般部）



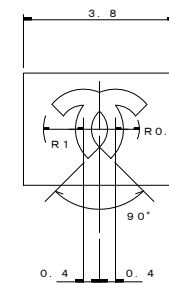
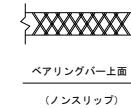
ヒンジキャップ図
(ステンレス製)



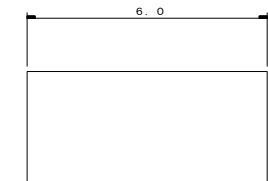
リンクヒンジ詳細

表面処理
本体及び受枠共～亜鉛メッキ

寸 法 表																	
○ 工 種	工 種	B	a 1	a 2	a 3	a 4	b 1	b 2	h 1	H	kg 鋼製蓋	kg 受 枠	蓋番号				
	KMHH2-30	30	60.5	65.1	1.5	1.1	40.8	44	3.8	4.4	20.6	10.1	44				
	KMHH2-40	40	60.5	65.1	1.5	1.1	50.8	54	3.8	4.4	25.4	10.9	45				
	KMHH2-50	50	60.5	65.1	1.5	1.1	60.8	64	3.8	4.4	30.2	11.6	46				

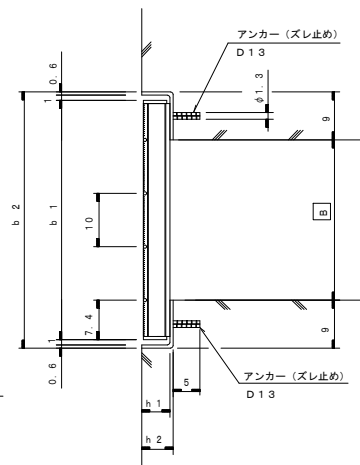
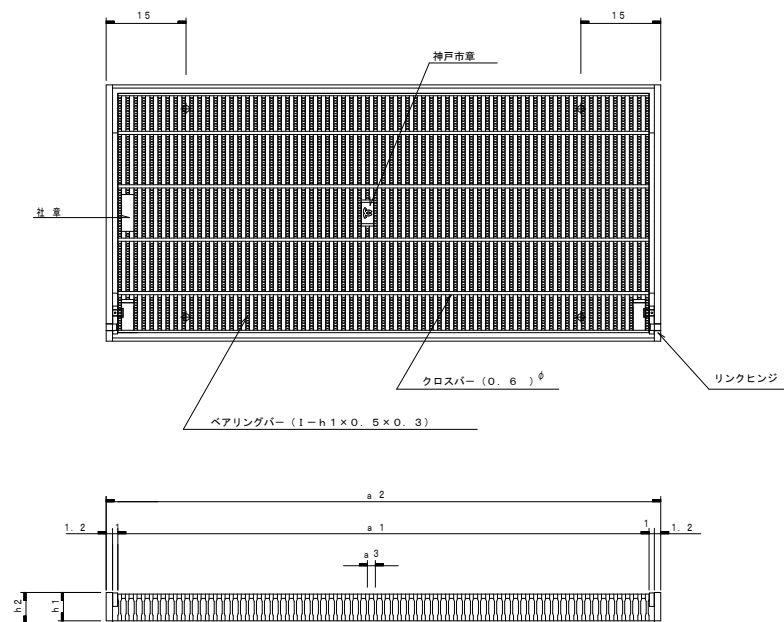


神戸市章

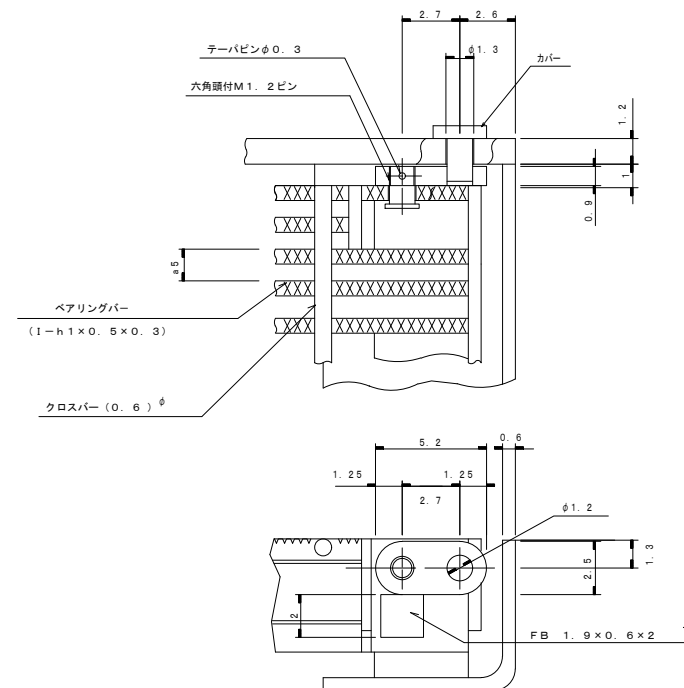


社章、製造年（西暦下2桁）

(歩道一般部)



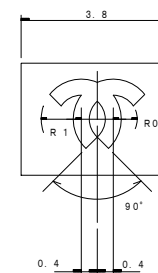
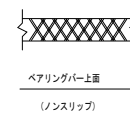
ヒンジキャップ図
(ステンレス製)



リンクヒンジ詳細

表面処理
本体及び受枠共～亜鉛メッキ

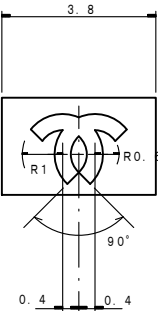
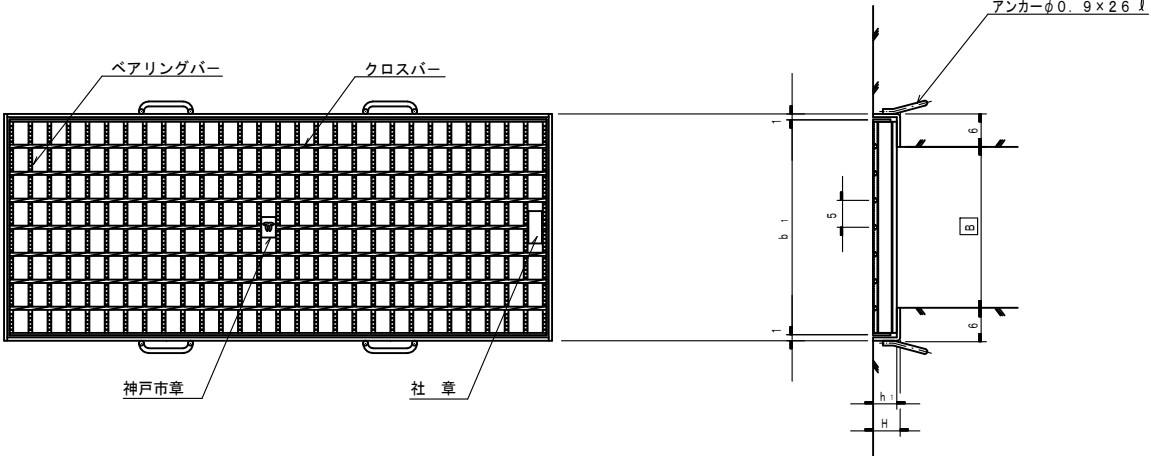
寸 法 表													
工 種	B	a 1	a 2	a 3	b 1	b 2	h 1	h 2	kg 鋼製蓋	kg 受 枠	番 号		
KOHH2-30	30	99.5	103.9	1.5	44.8	48	3.8	4.4	36.7	16.2	47		
KOHH2-40	40	99.5	103.9	1.5	54.8	58	3.8	4.4	44.6	17.0	48		
KOHH2-50	50	99.5	103.9	1.5	64.8	68	3.8	4.4	52.5	17.7	49		



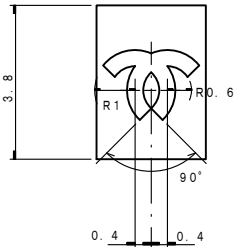
神戸市章

社章、製造年 (西暦下2桁)

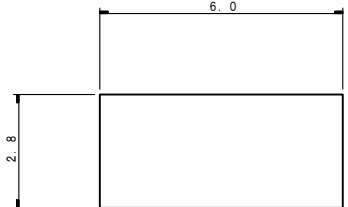
鋼製グレーチング蓋設置工（UBG側溝用）T-25 粗目



神戸市章
h1=44以下



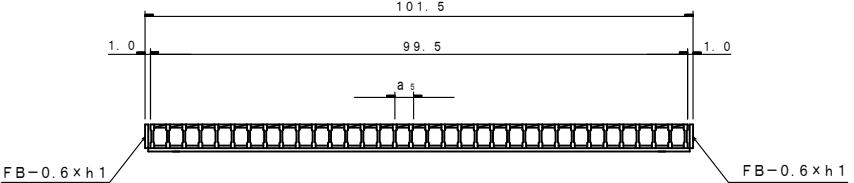
神戸市章
h1=50以上



社章、製造年（西暦下2桁）

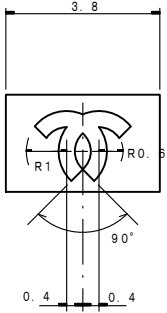
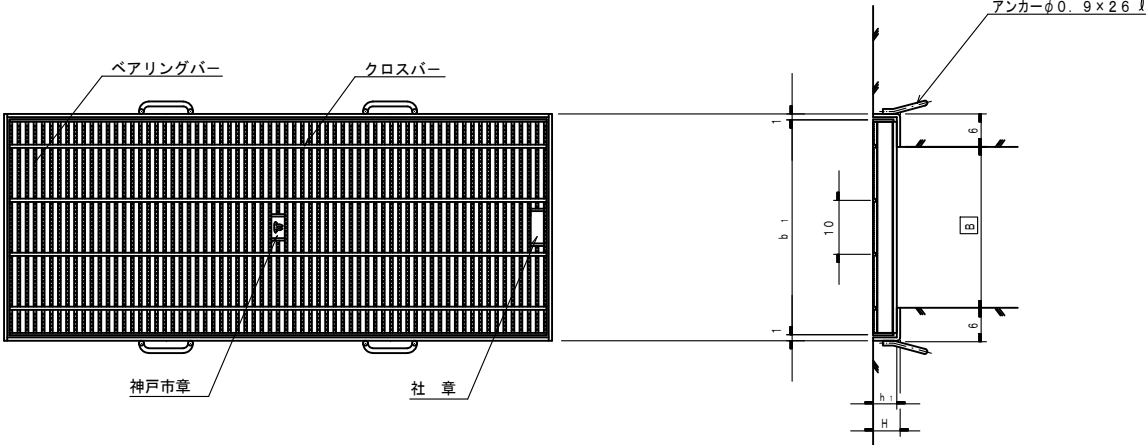


ベアリングバー上面
(ノンスリップ)

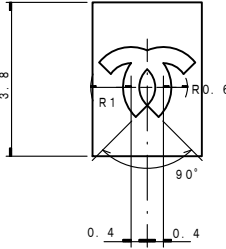


寸 法 表 (cm)									
工 種	B	b1	a1	h1	H	kg 鋼製蓋	kg 受 枠	蓋番号	
UBG-20	20	30	3.0	4.4	5.0	16.2	11.6	50	
UBG-25	25	35	3.0	4.4	5.0	18.7	11.8	51	
UBG-30	30	40	3.53	5.0	5.6	27.4	13.1	52	
UBG-35	35	45	3.53	5.5	6.1	33.3	13.8	53	
UBG-40	40	50	3.53	6.5	7.1	42.8	15.5	54	
UBG-45	45	55	3.53	7.5	8.1	53.6	17.3	55	
UBG-50	50	60	3.53	8.0	8.6	63.7	18.0	56	

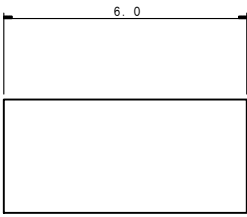
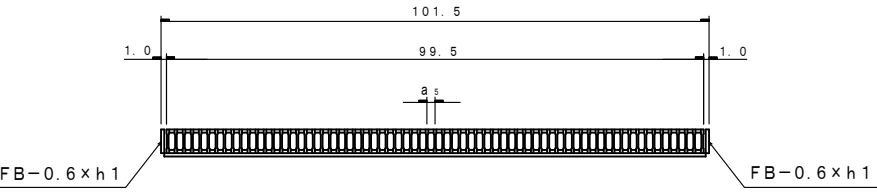
鋼製グレーチング蓋設置工（UBG側溝用）T-25 細目



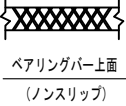
神戸市章
h1=44以下



神戸市章
h1=50以上



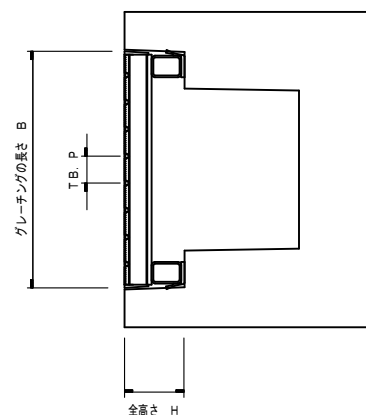
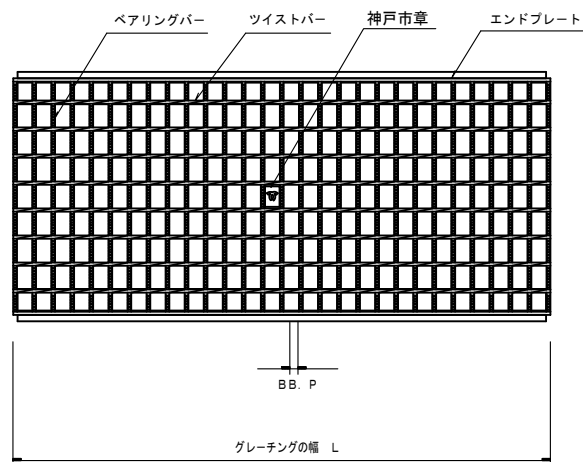
社章、製造年（西暦下2桁）



ベアリングバー上面
(ノンスリップ)

寸 法 表 (cm)									
工 種	B	b ₁	a ₁	h ₁	H	kg 鋼製蓋	kg 受 枠	蓋番号	
UBGH-20	20	30	1.5	3.2	3.8	20.0	10.2	57	
UBGH-25	25	35	1.5	3.8	4.4	27.4	11.1	58	
UBGH-30	30	40	1.5	4.4	5.0	38.0	12.0	59	
UBGH-35	35	45	1.5	4.4	5.0	42.4	12.2	60	
UBGH-40	40	50	1.5	5.0	5.6	70.0	13.5	61	
UBGH-45	45	55	1.5	5.0	5.6	76.7	13.8	62	
UBGH-50	50	60	1.5	5.0	5.6	83.6	14.0	63	

鋼製グレーチング蓋設置工 (UB-P側溝用) T-25 粗目



[標準品]

表面処理: 亜鉛メッキ

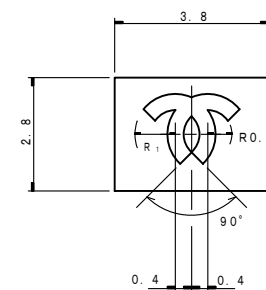
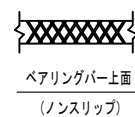
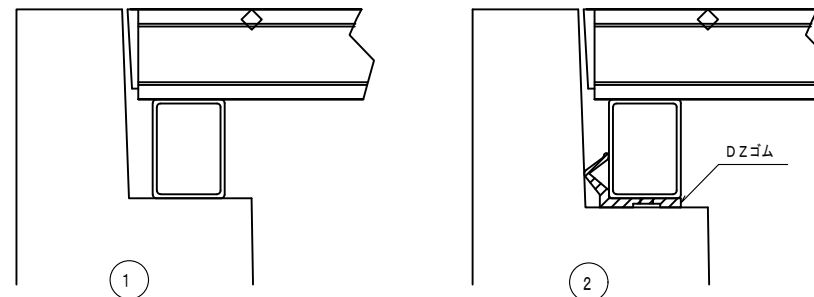
呼び名	荷重条件	溝幅 W	グレーチング寸法 (mm)			BB. P	TB. P	エン形状	重量	対応する側溝	蓋番号
			L	B	H						
K230	S	T-25	30	50.1	43.8	11.0	3.53	5.0	20.0 38.9	PU43系	64
	L			99.5		(5.0)					67
K240	S	T-25	40	50.1	53.8	12.0	3.53	5.0	26.8 52.7	PU44系	65
	L			99.5		(6.0)					68
K250	S	T-25	50	50.1	63.8	13.0	3.53	5.0	36.1 69.9	PU45系	66
	L			99.5		(7.5)					69

* () 内寸法は、GR高さを示します。

[騒音防止型 (ゴムつき)]

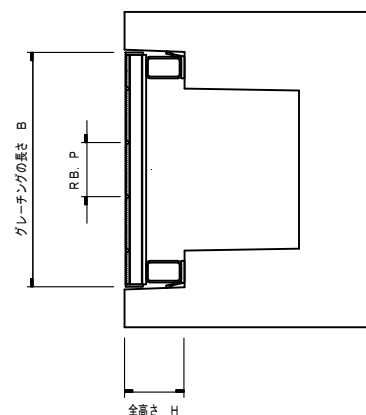
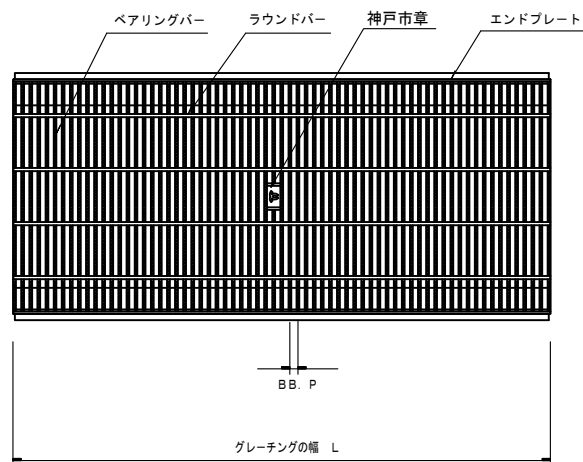
呼び名	荷重条件	溝幅 W	グレーチング寸法 (mm)			BB. P	TB. P	エン形状	重量	対応する側溝	蓋番号
			L	B	H						
K230	SR	T-25	30	50.1	43.8	11.0	3.53	5.0	19.3 38.5	PU43系	70
	LR			99.5		(5.0)					73
K240	SR	T-25	40	50.1	53.8	12.0	3.53	5.0	26.2 52.1	PU44系	71
	LR			99.5		(6.0)					74
K250	SR	T-25	50	50.1	63.8	13.0	3.53	5.0	35.9 69.3	PU45系	72
	LR			99.5		(7.5)					75

[エンド形状]



神戸市章

鋼製グレーチング蓋設置工 (UB-P側溝用) T-25 細目



[標準品]

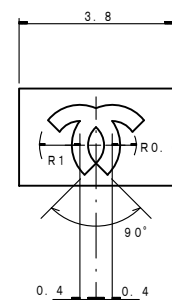
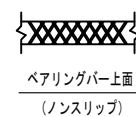
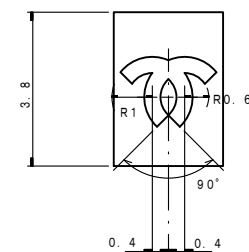
表面処理: 亜鉛メッキ

呼 び 名		荷 重 条 件	溝 幅 W	グレーチング寸法 (mm)			BB. P	RB. P	エン形状	重 量	対応する側溝	蓋 番 号
				L	B	H						
K 2 3 0	SH	T-25	30	50. 0	43. 4	11. 0	1. 5	10. 0	①	28. 9 57. 8	PU43系	76
	LH			99. 5		(3. 8)						79
K 2 4 0	SH	T-25	40	50. 1	53. 4	12. 0	1. 5	10. 0	①	38. 8 77. 6	PU44系	77
	LH			99. 5		(5. 0)						80
K 2 5 0	SH	T-25	50	50. 1	63. 4	13. 0	1. 5	10. 0	①	49. 0 98. 0	PU45系	78
	LH			99. 5		(5. 0)						81

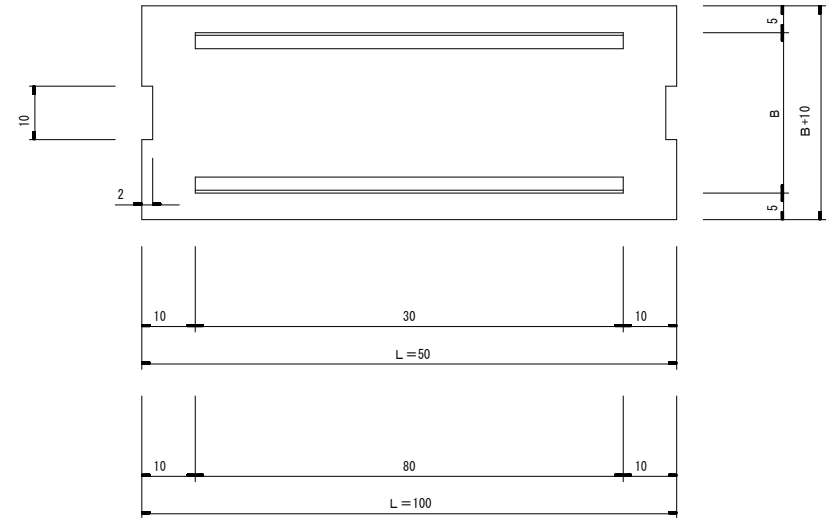
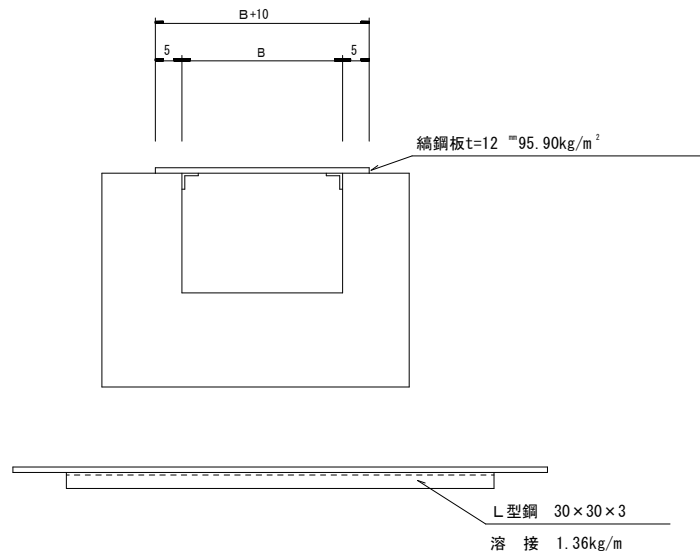
* () 内寸法は、GR高さを示します。

[騒音防止型 (ゴムつき)]

呼 び 名		荷 重 条 件	溝 幅 W	グレーチング寸法 (mm)			BB. P	RB. P	エン形状	重 量	対応する側溝	蓋 番 号
				L	B	H						
K 2 3 0	SHR	T-25	30	50. 0	43. 4	11. 0	1. 5	10. 0	㊷	28. 6 57. 2	PU43系	82
	LHR			99. 5		(3. 8)						85
K 2 4 0	SHR	T-25	40	50. 1	53. 4	12. 0	1. 5	10. 0	㊷	39. 0 78. 0	PU44系	83
	LHR			99. 5		(5. 0)						86
K 2 5 0	SHR	T-25	50	50. 1	63. 4	13. 0	1. 5	10. 0	㊷	48. 3 96. 6	PU45系	84
	LHR			99. 5		(5. 0)						87

神戸市章
h1=44以下神戸市章
h1=50以上

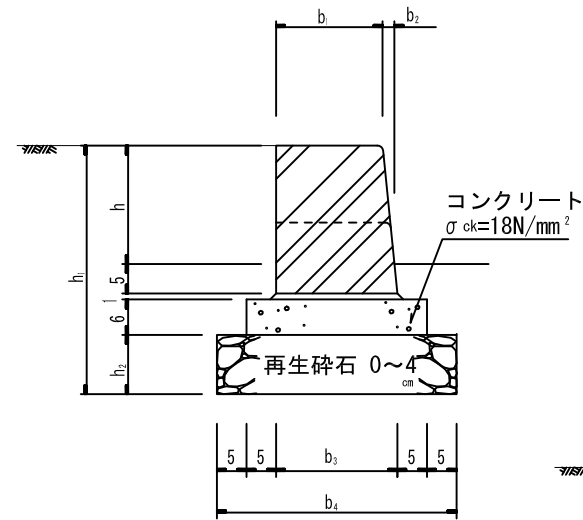
鉄板蓋工

[illegible]

＜地先境界ブロック＞

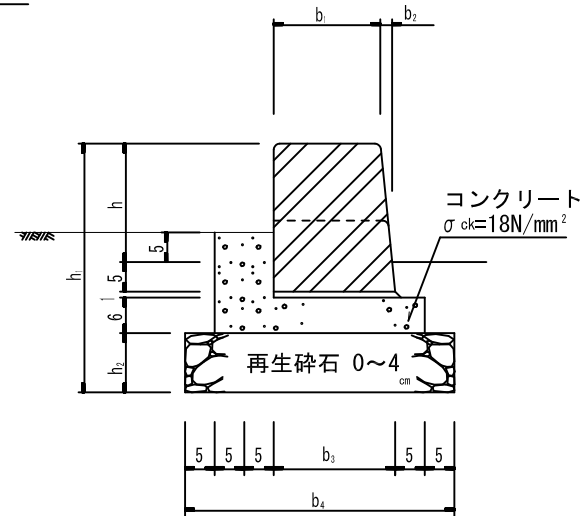
マウンドアップ型

A、 A2、 B、 B2、 C

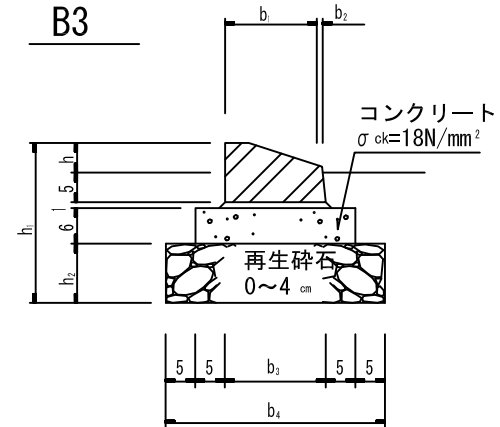


セミフラット型

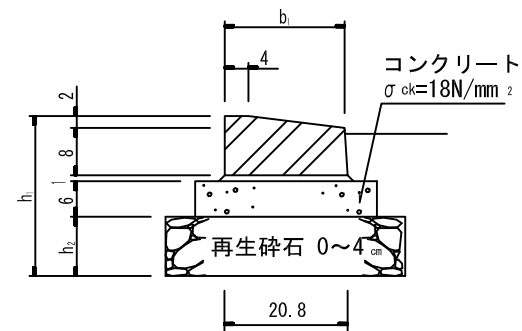
FA、FB



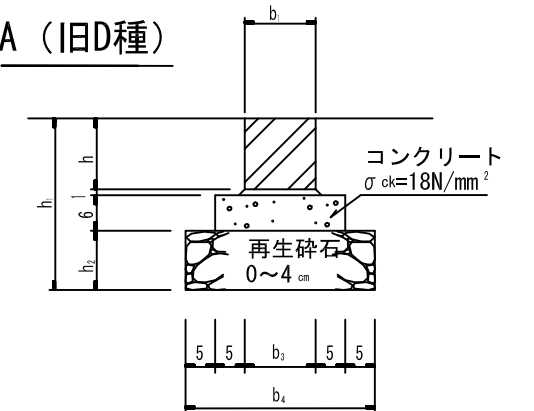
B3



LB



A (旧D種)



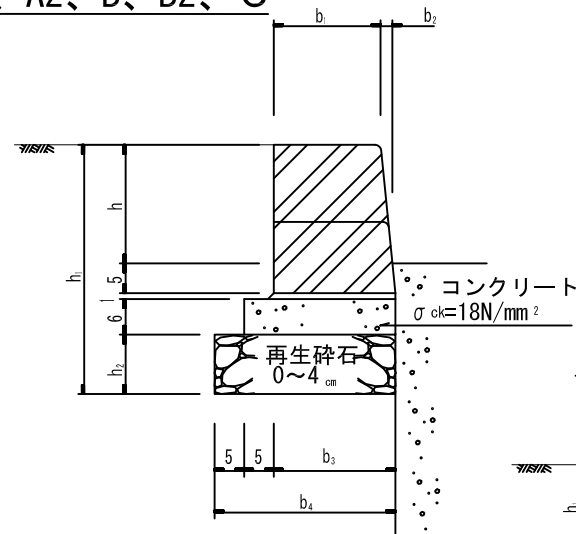
モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

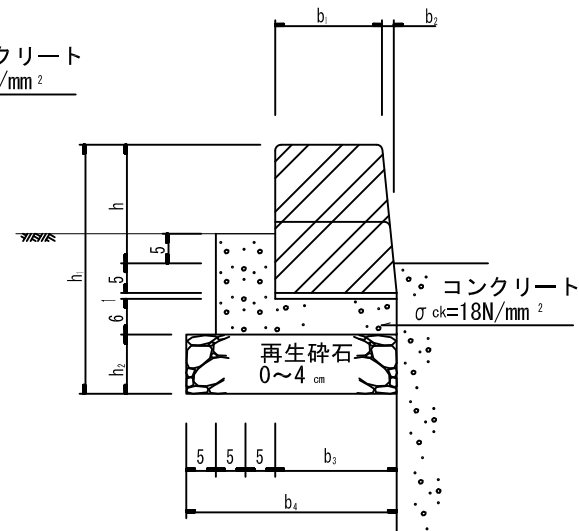
[illegible]

＜地先境界ブロック＞

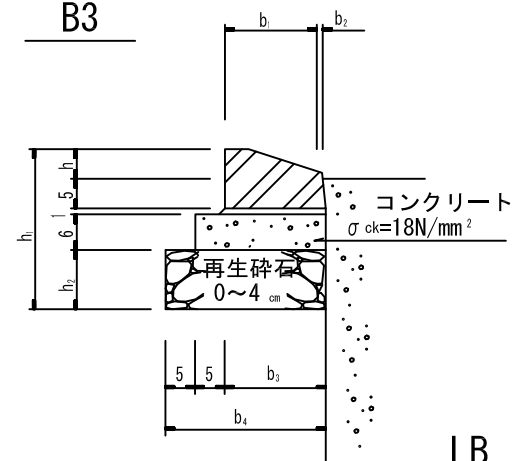
マウンドアップ型
A、A2、B、B2、C



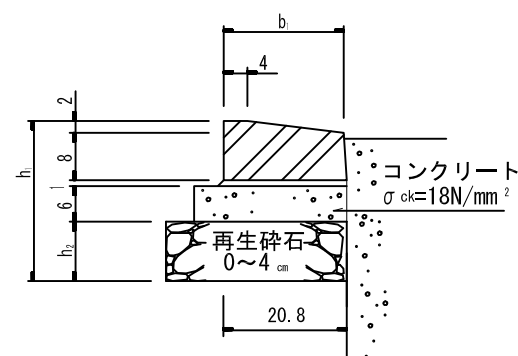
セミフラット型
FA、FB



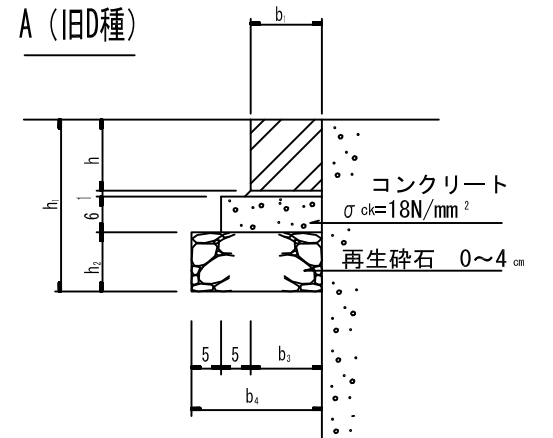
B3



LB



A (旧D種)

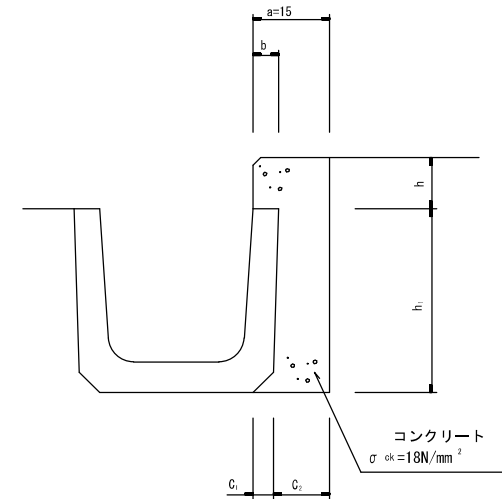


モルタルの品質

	配 合
据付モルタル	1 : 3
目地モルタル	1 : 2

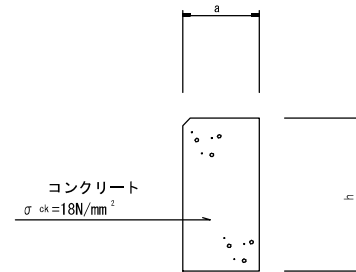
[illegible]

U型トラフ嵩上工



寸 法 表																	数 量 表											
(cm)																	(1m当り)											
○ 部 材 工	工 種	a	h	b	C ₁	C ₂	h ₁										m ²	m ³										
																	型 枠	コンクリート										
	側溝嵩上工 a=25 h=10	25	10	15	—	—	—										0.300	0.035										
	a=30 h=10	30	10	20	—	—	—										0.300	0.040										
	石積側溝嵩上工 h=10	25	10	—	—	—	—										0.300	0.035										
	U型トラフ嵩上工 150 h=10	15	10	3.0	3.5	12.0	18.5										0.385	0.038										
	180 h=10	15	10	3.5	4.0	11.5	22.0										0.420	0.041										
	240 h=10	15	10	4.5	5.0	10.5	29.0										0.490	0.046										
	300A h=10	15	10	5.0	6.0	10.0	30.0										0.500	0.046										
	300B h=10	15	10	5.0	6.0	10.0	36.0										0.560	0.053										
	300C h=10	15	10	5.0	6.5	10.0	42.5										0.625	0.060										
	360A h=10	15	10	5.0	6.5	10.0	36.5										0.565	0.054										
	360B h=10	15	10	5.0	6.5	10.0	42.5										0.625	0.060										
	450 h=10	15	10	5.5	7.0	9.5	52.0										0.720	0.066										
	600 h=10	15	10	6.0	7.5	9.0	67.5										0.875	0.079										
																	回 番 ／											

工 止 裝 舖

[illegible]

防護柵設置工(ガードレール、ガードパイプ)

ガードレール

ガードパイプ

路側用

分離帯用

歩車道境界用

Gr-B-4E
(Gr-C-4E)

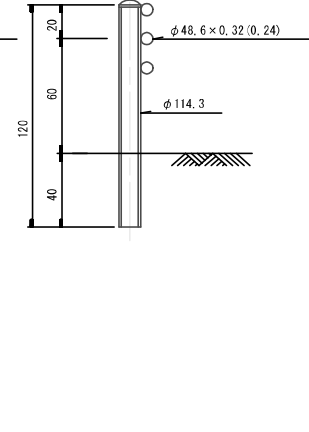
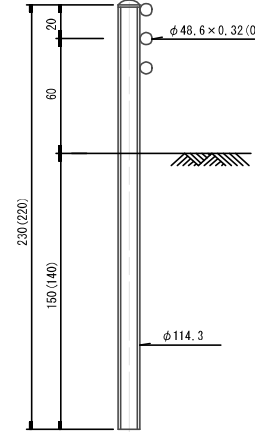
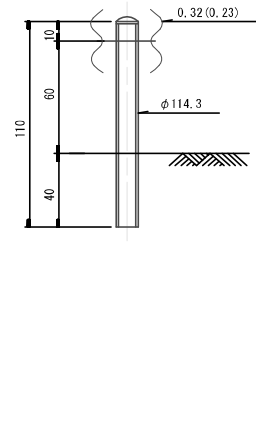
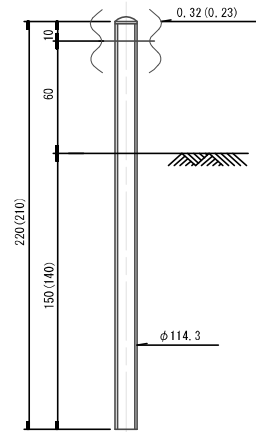
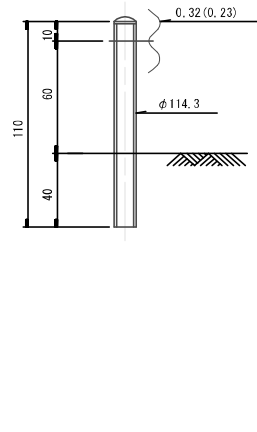
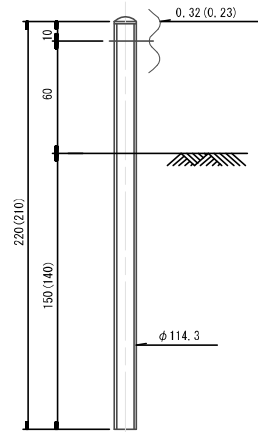
Gr-B-2B
(Gr-C-2B)

Gr-Bm-4E
(Gr-Cm-4E)

Gr-Bm-2B
(Gr-Cm-2B)

Gp-Bp-2E
(Gp-Cp-2E)

Gp-Bp-2B
(Gp-Cp-2B)



注)

■仕様記号の表記は以下のとおりである

- ①仕様記号は、防護柵形式記号、種別記号、間隔を示す数字、埋込み区分から構成する
- ②防護柵形式記号は、Gr:ガードレール, Gp:ガードパイプとする
- ③埋込み区分は、E:土中埋込み用, B:構造物設置用とする
- ④寸法表記のうち、()書き寸法はC種

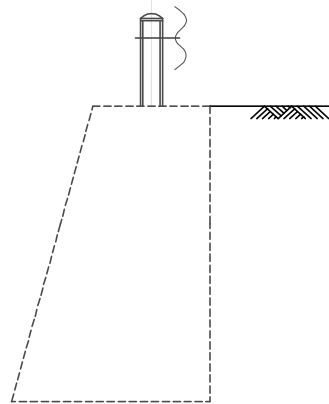
■土中埋込用については、設置する地盤の形状、土質条件、背面土量を十分照査すること

■構造物設置用については、設置する構造物の耐力を十分に照査すること

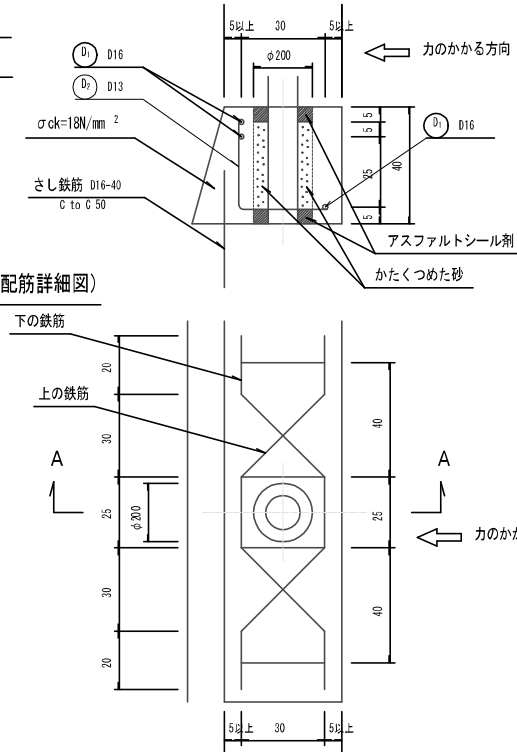
図
番

--	--

A—A 断面

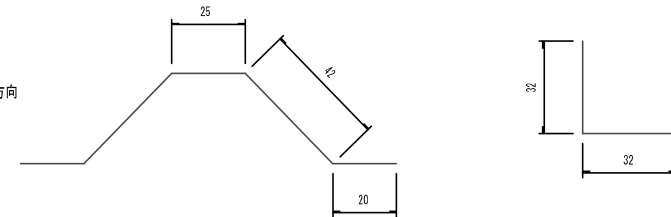


平面図 (配筋詳細図)



① D 1 6-1 4 9 × 3 本

① D 1 3-6 4 × 4 本



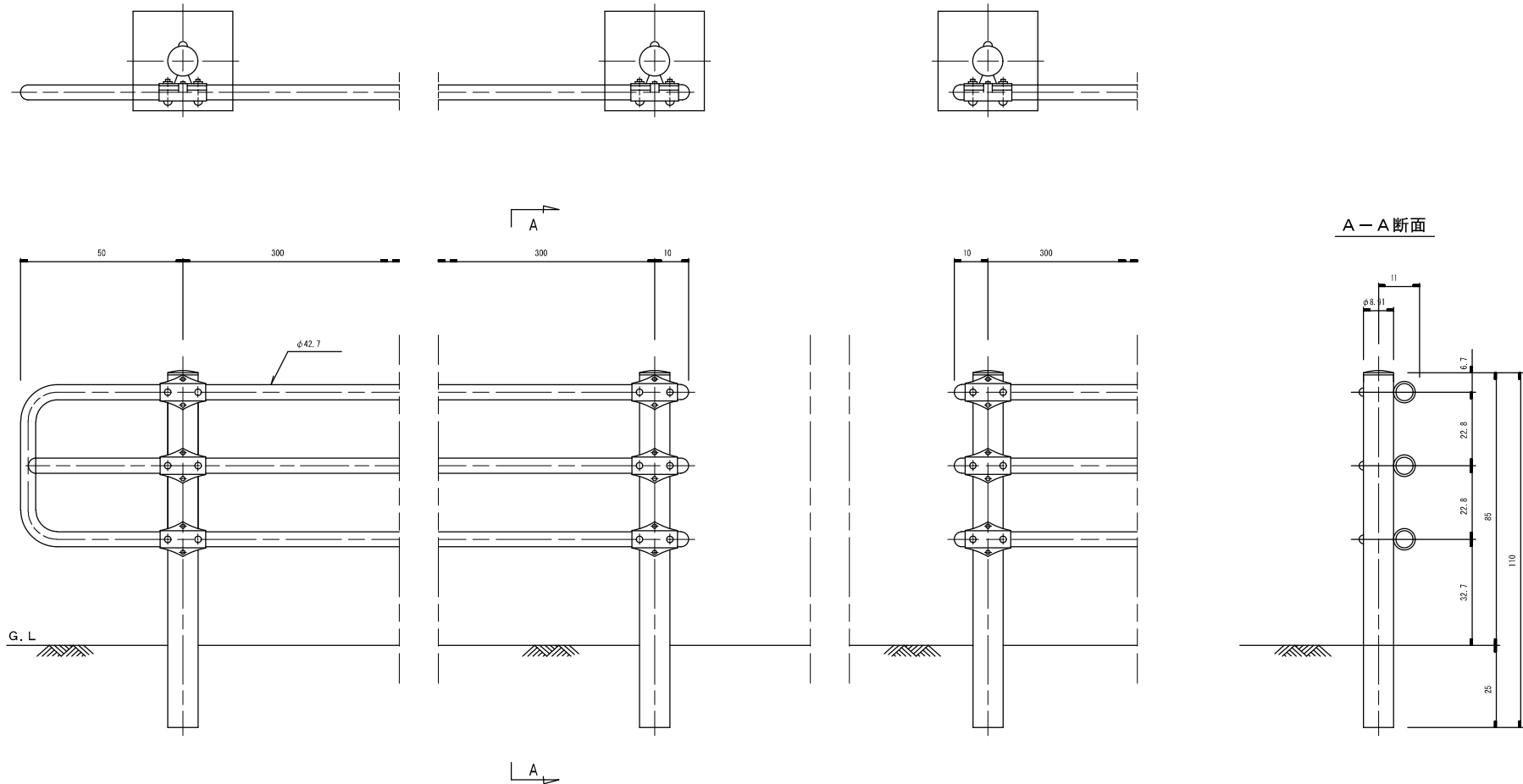
鉄筋規格：SD345

[illegible]

防護柵設置工（P種）

No. 3

乱横断防止柵

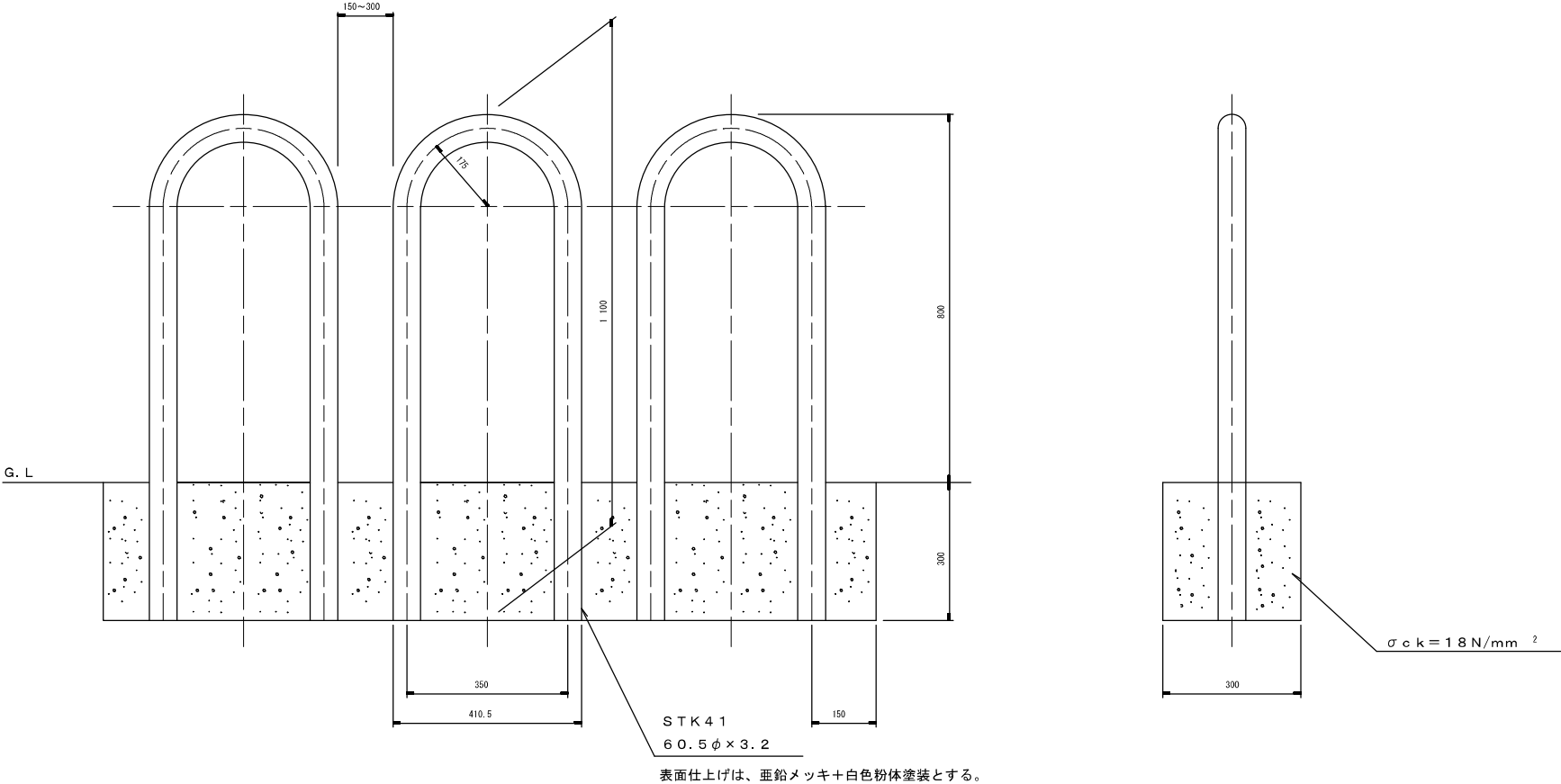


- ※ 表面仕上げは、亜鉛メッキ＋白色粉体塗装とする。
- ※ 景観等を考慮する場合は、ダークブラウン塗装を採用することができる。

図
番

[5-1-5]

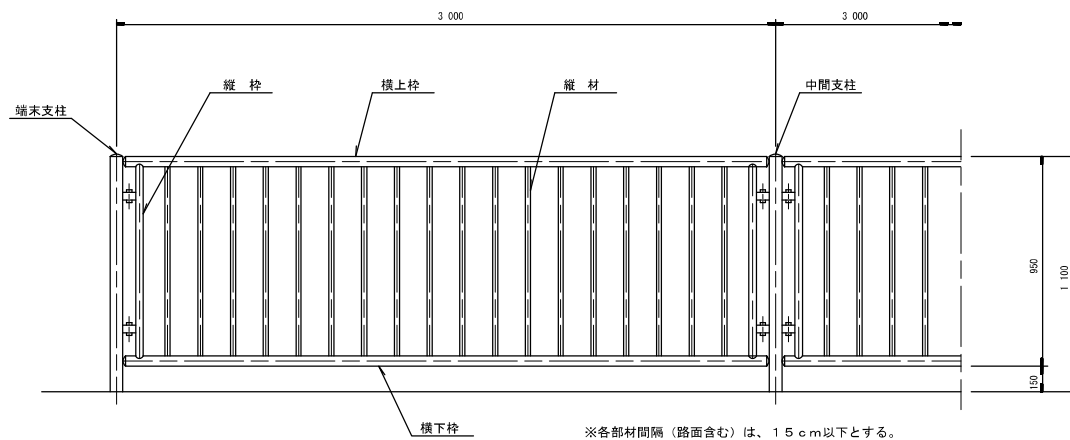
防護柵設置工（P種）
交差点用乱横断防止柵（神戸市型）



注) 美観を考慮しなければならない場合は、基礎コンクリートの天端は、歩道舗装厚だけ下げるものとする。
※ 景観等を考慮する場合は、ダークブラウン塗装を採用することができる。

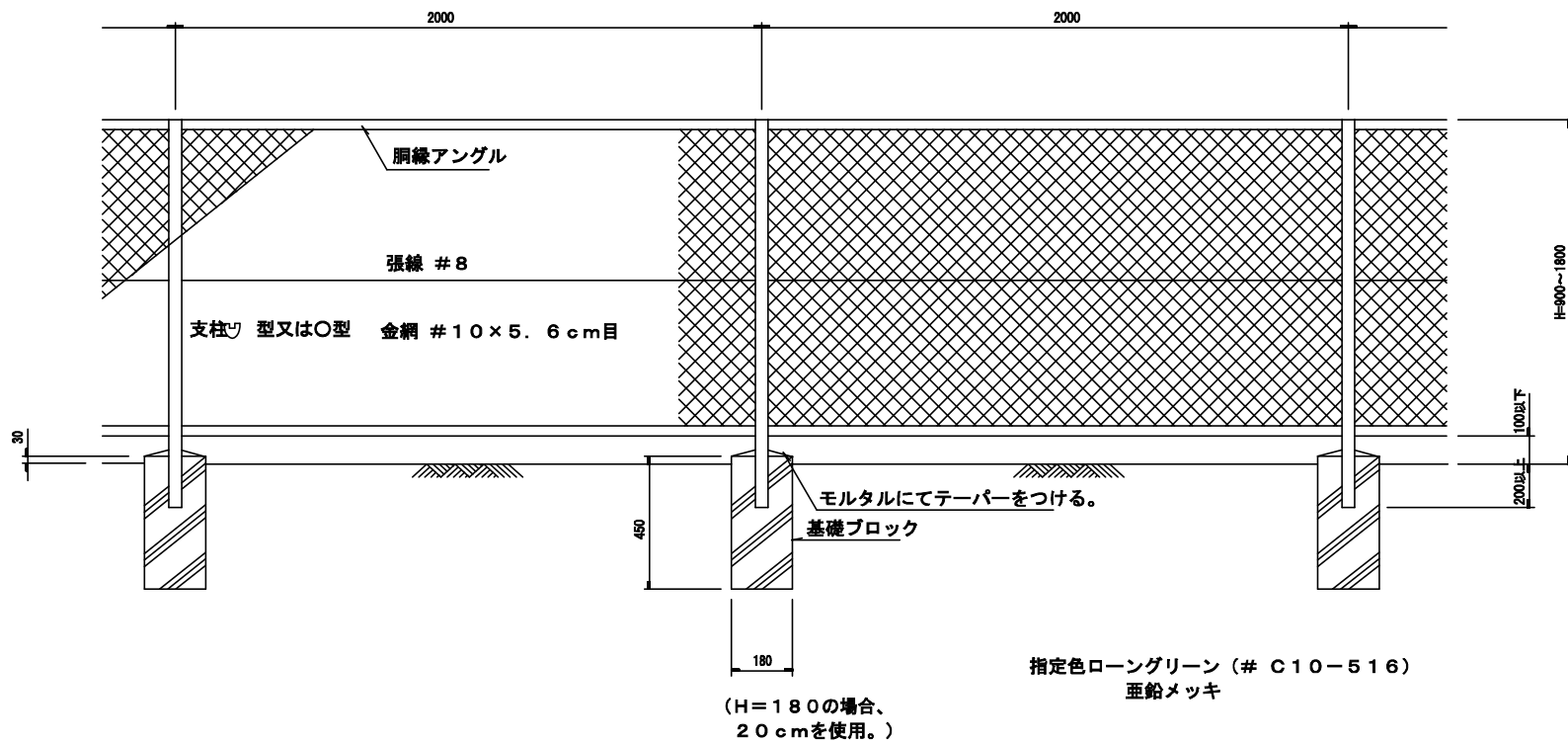
防護柵設置工（P種）

転落防止柵



立入防止柵工（フェンス）

S=1/20



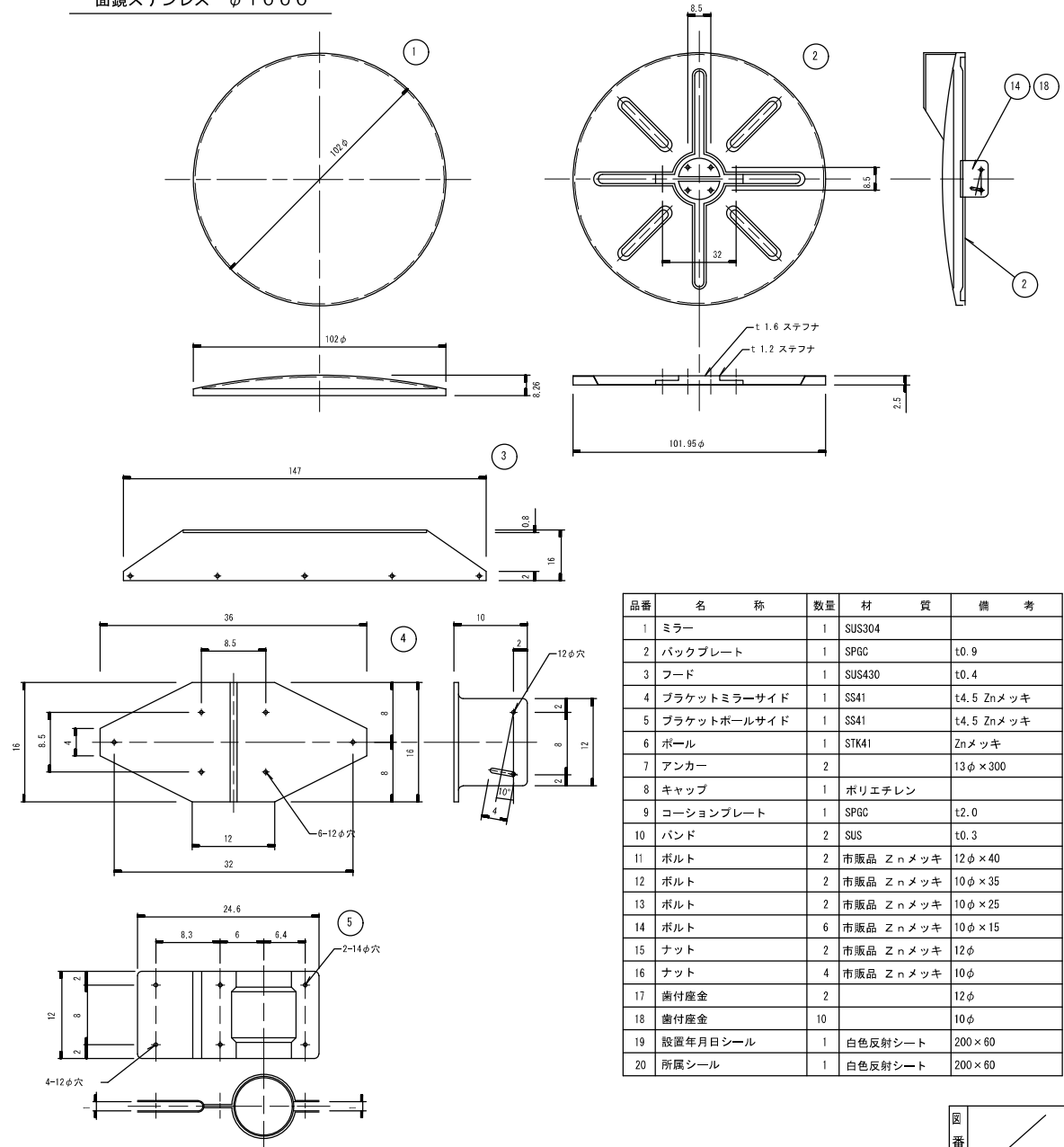
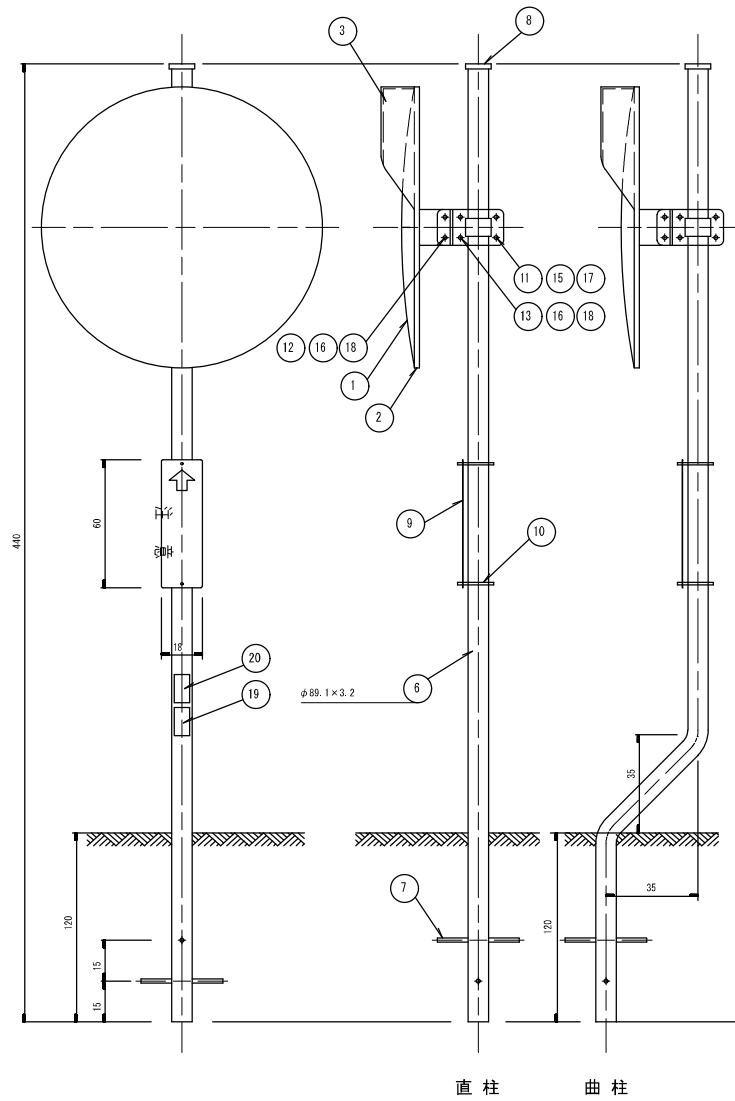
※基礎碎石の厚さは、金網柵用は10cm以下、門扉用は20cm以下を標準とする。

図
番

[5-1-9]

道路反射鏡（カーブミラー）設置工

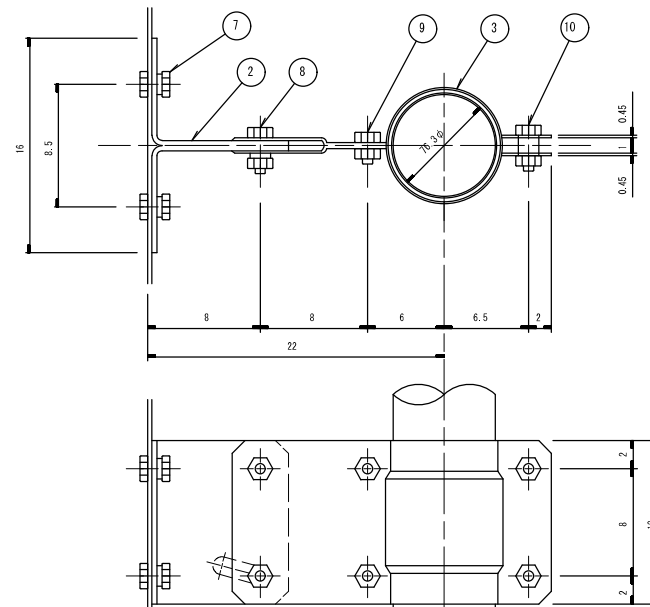
一面鏡ステンレス φ1000



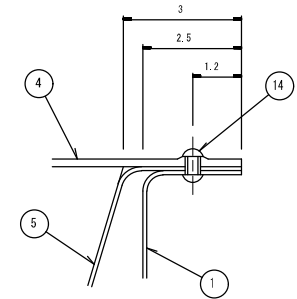
品番	名 称	数量	材 質	備 考
1	ミラー	1	SUS304	
2	バックプレート	1	SPGC	t0.9
3	フード	1	SUS430	t0.4
4	ブラケットミラーサイド	1	SS41	t4.5 Znメッキ
5	ブラケットボールサイド	1	SS41	t4.5 Znメッキ
6	ポール	1	STK41	Znメッキ
7	アンカー	2		13φ×300
8	キャップ	1	ポリエチレン	
9	コーションプレート	1	SPGC	t2.0
10	バンド	2	SUS	t0.3
11	ボルト	2	市販品 Znメッキ	12φ×40
12	ボルト	2	市販品 Znメッキ	10φ×35
13	ボルト	2	市販品 Znメッキ	10φ×25
14	ボルト	6	市販品 Znメッキ	10φ×15
15	ナット	2	市販品 Znメッキ	12φ
16	ナット	4	市販品 Znメッキ	10φ
17	歯付座金	2		12φ
18	歯付座金	10		10φ
19	設置年月日シール	1	白色反射シート	200×80
20	所属シール	1	白色反射シート	200×60

図
番

一面鏡ステンレス $\phi 800$



B部詳細図 1 : 3

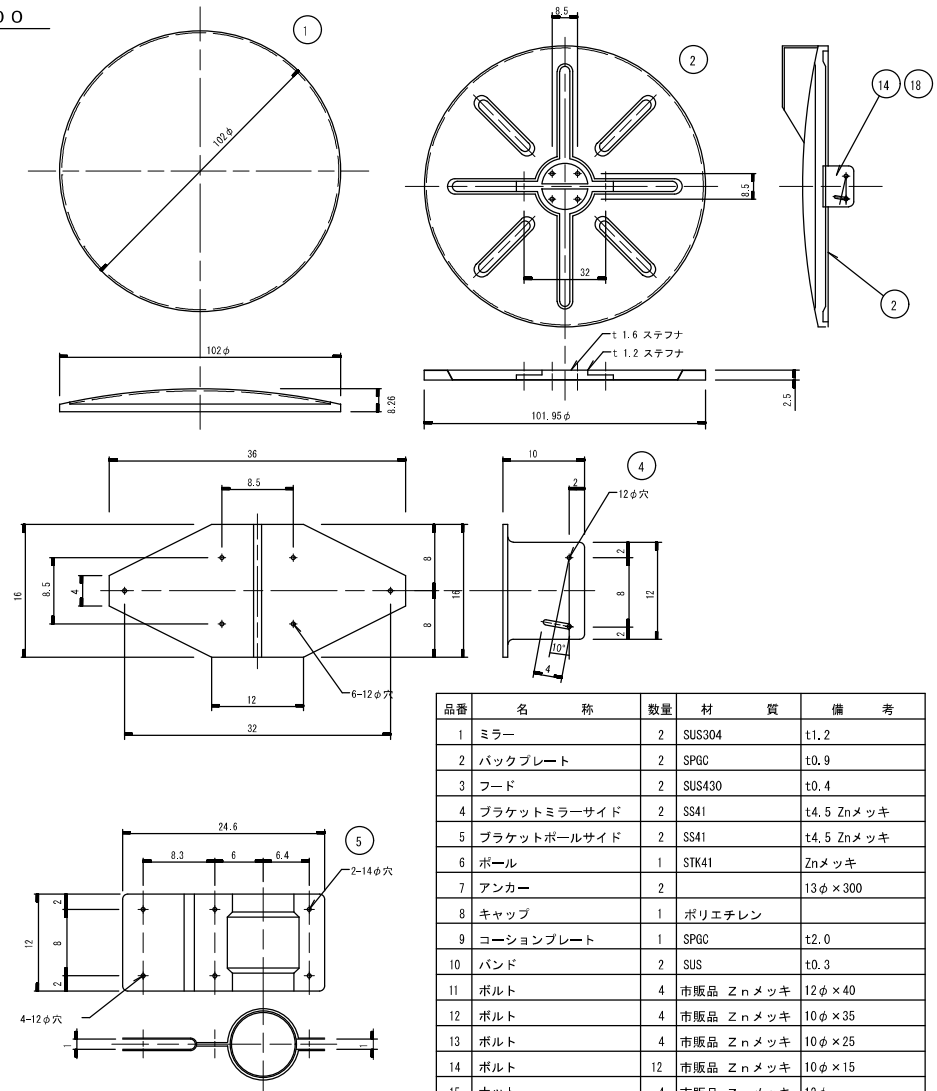
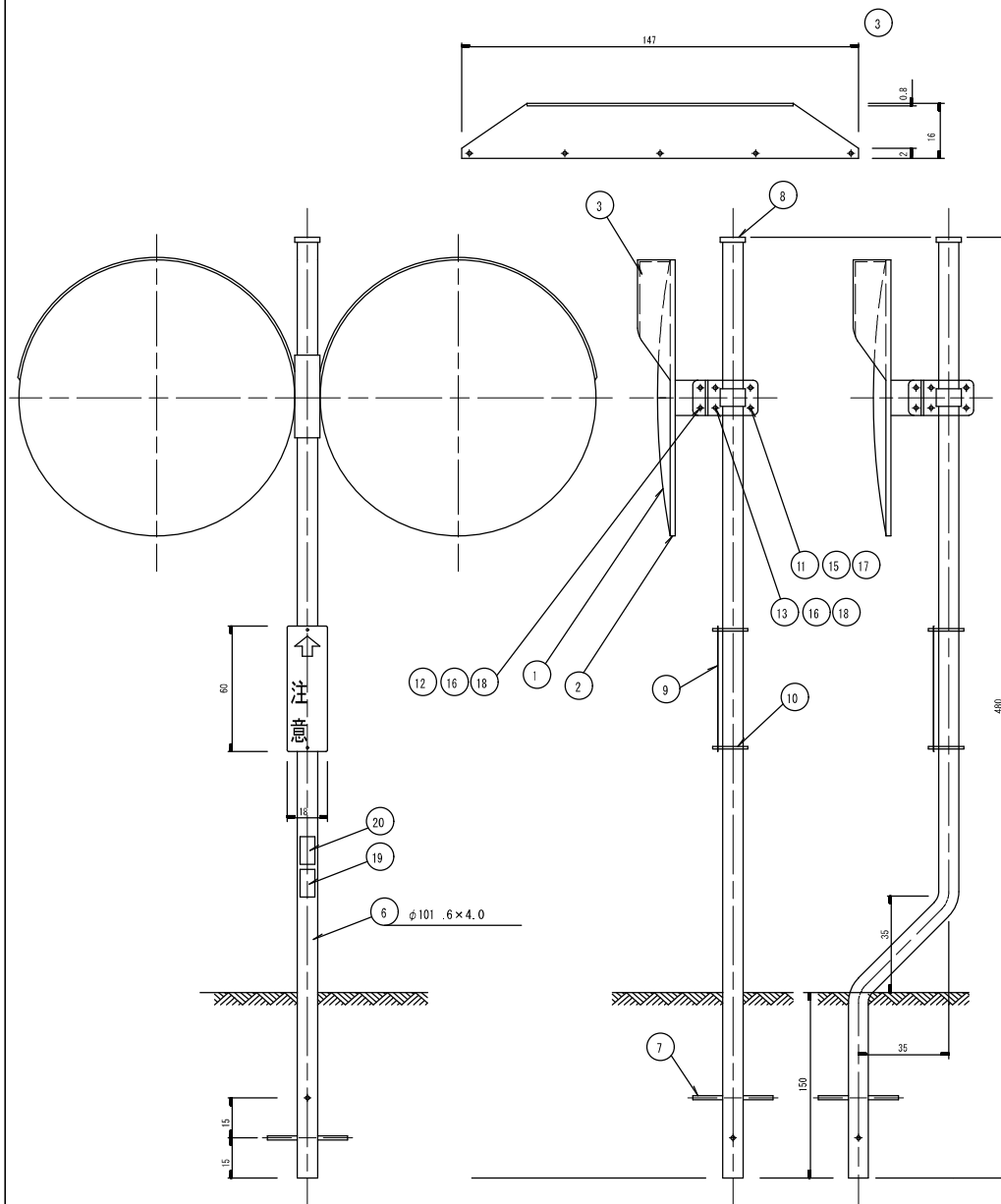


"A"—"A" 断面图 1:1

品 番	名 称	数 量	材 質	備 考
1	本体	1	SPGC	
2	本体取付金具	1	SS41P	Z nメッキ
3	柱取付金具	1	SS41P	Z nメッキ
4	フード	1	FRP	
5	鏡	1	SUS304	t1.0
6	柱	1	STK41	Z nメッキ
7	ボルト	4	市販品 Z nメッキ	M10×15 (N産付W共)
8	ボルト	2	市販品 Z nメッキ	M10×35 (N産付W共)
9	ボルト	2	市販品 Z nメッキ	M10×25 (N産付W共)
10	ボルト	2	市販品 Z nメッキ	M12×40 (N産付W共)
11	アンカー棒	2		13φ×300
12	標識板	1	SPGC	t2.0
13	標識板取付金具	2	SUS	t0.3
14	リベット	9	アルミ	
15	設置年月日シール	1	白色反射シート	200×60
16	所属シール	1	白色反射シート	200×60

道路反射鏡（カーブミラー）設置工

二面鏡ステンレス φ1000

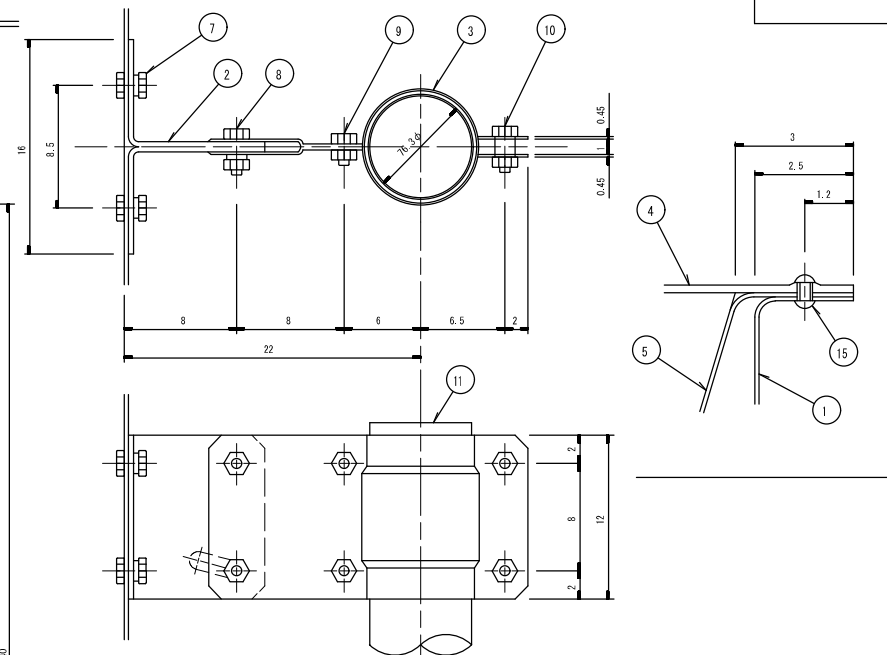
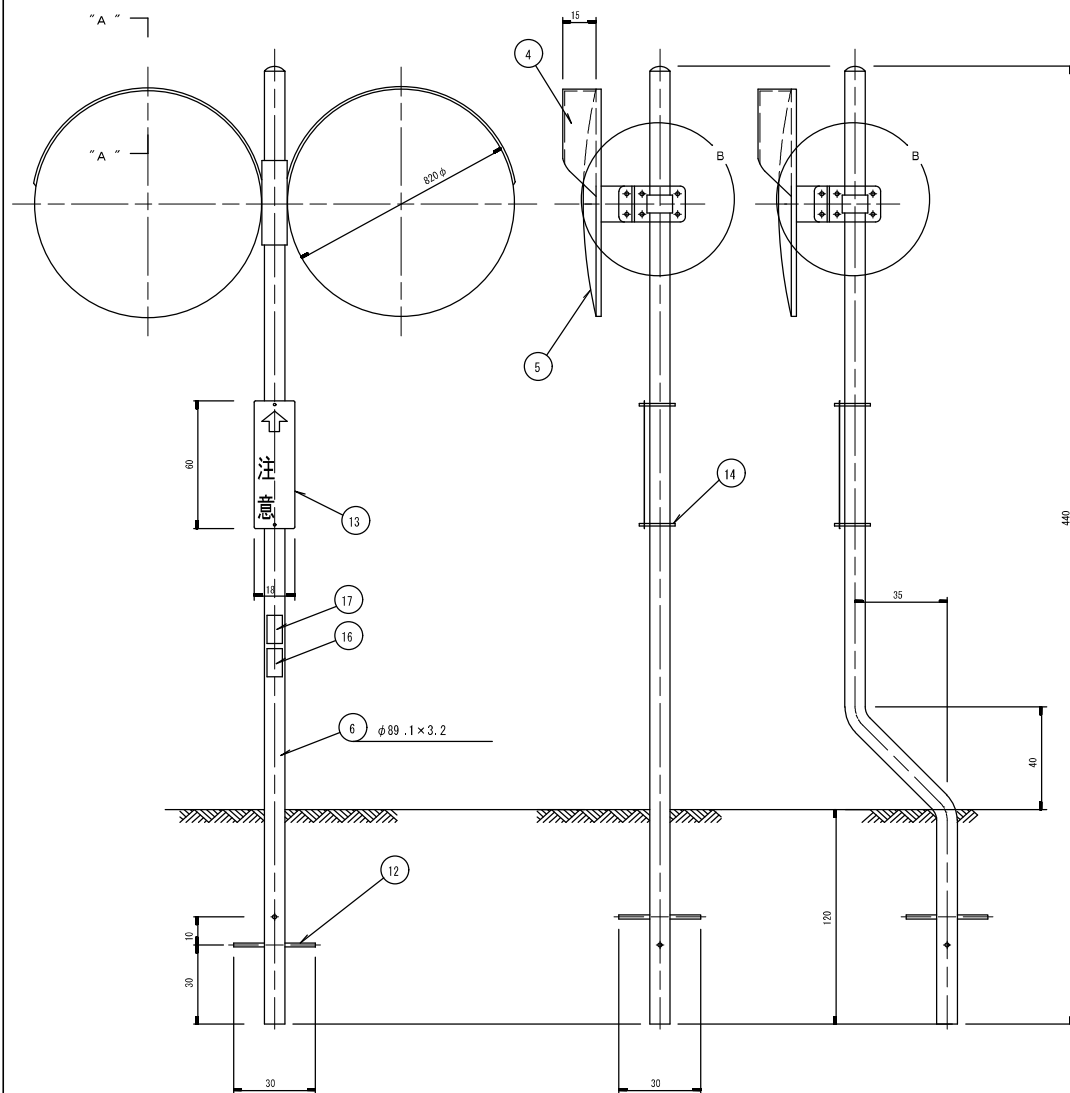


品番	名 称	数量	材 質	備 考
1	ミラー	2	SUS304	t1.2
2	バックプレート	2	SPGC	t0.9
3	フード	2	SUS430	t0.4
4	ブラケットミラーサイド	2	SS41	t4.5 Znメッキ
5	ブラケットポールサイド	2	SS41	t4.5 Znメッキ
6	ポール	1	STK41	Znメッキ
7	アンカー	2		13φ×300
8	キャップ	1	ポリエチレン	
9	コーションプレート	1	SPGC	t2.0
10	バンド	2	SUS	t0.3
11	ボルト	4	市販品 Znメッキ	12φ×40
12	ボルト	4	市販品 Znメッキ	10φ×35
13	ボルト	4	市販品 Znメッキ	10φ×25
14	ボルト	12	市販品 Znメッキ	10φ×15
15	ナット	4	市販品 Znメッキ	12φ
16	ナット	8	市販品 Znメッキ	10φ
17	歯付座金	4		12φ
18	歯付座金	20		10φ
19	設置年月日シール	1	白色反射シート	200×60
20	所属シール	1	白色反射シート	200×60

図
番

道路反射鏡（カーブミラー）設置工

二面鏡ステンレス φ800



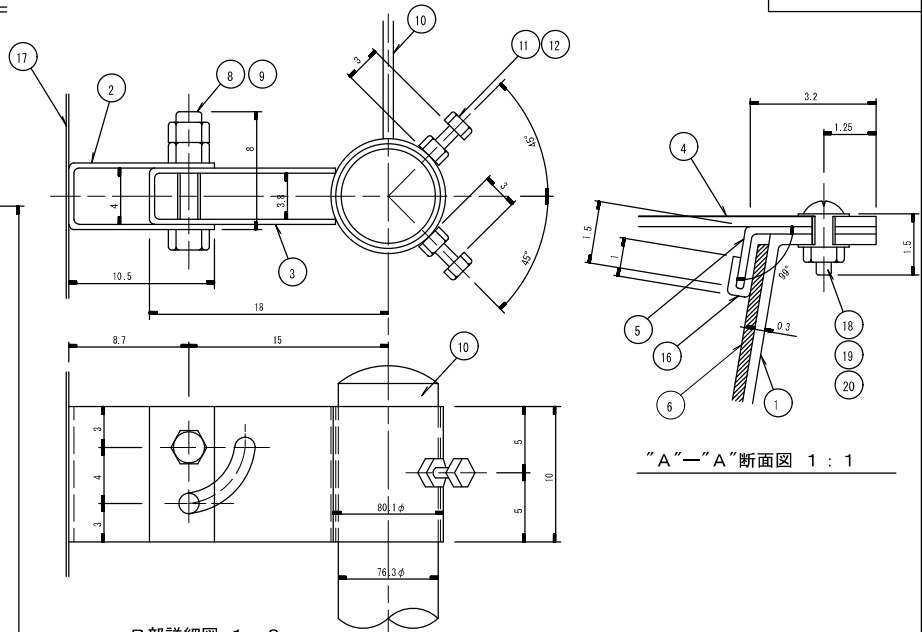
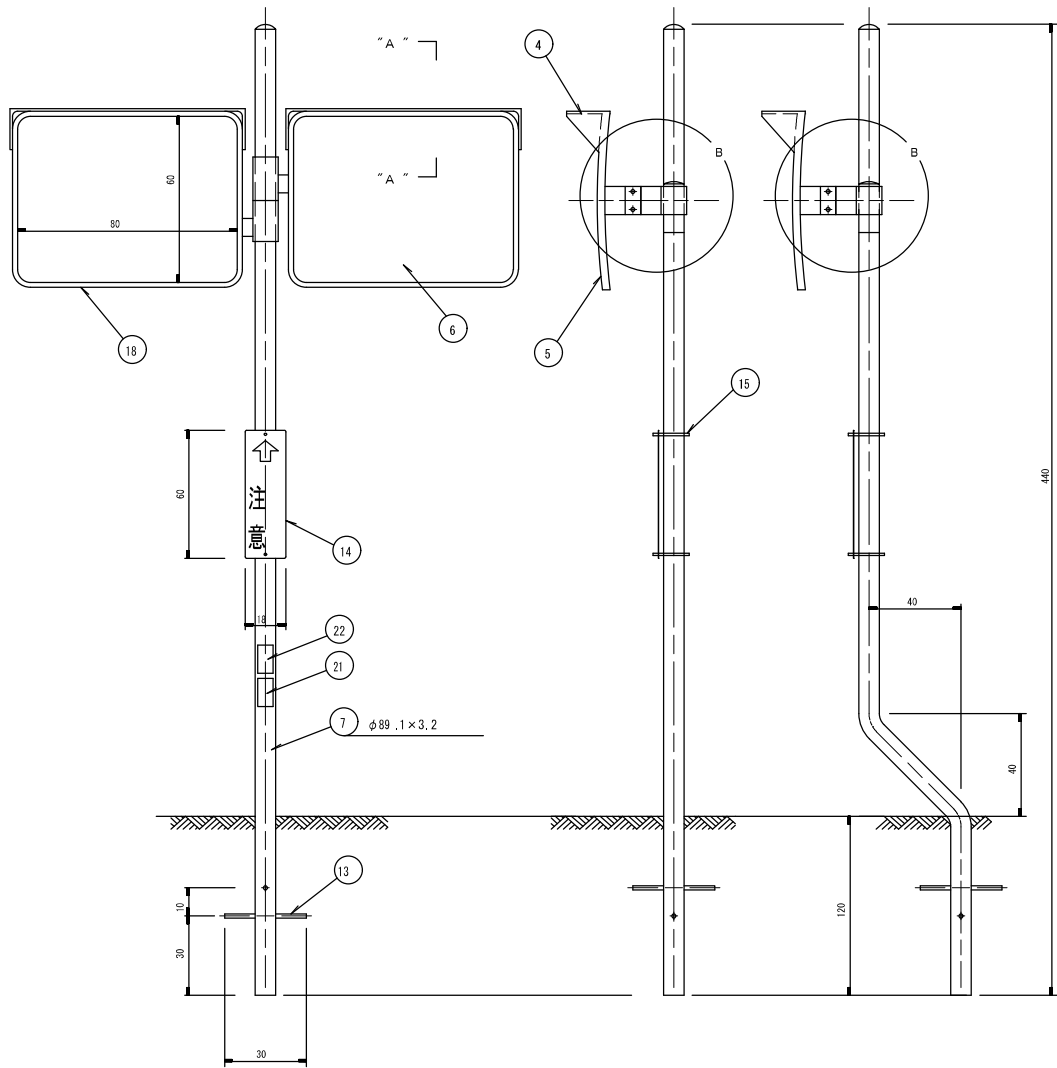
B部詳細図 1 : 3

品番	名 称	数量	材 質	備 考
1	本体	2	SPGC	
2	本体取付金具	2	SS41P	Z nメッキ
3	腕木取付金具	2	SS41P	Z nメッキ
4	フード	2	FRP	
5	鏡	2	SUS304	t1.0
6	柱	1	STK41	Z nメッキ
7	ボルト	8	市販品 Z nメッキ	M10×15 (N歯付W共)
8	ボルト	4	市販品 Z nメッキ	M10×35 (N歯付W共)
9	ボルト	4	市販品 Z nメッキ	M10×25 (N歯付W共)
10	ボルト	4	市販品 Z nメッキ	M12×40 (N歯付W共)
11	腕木	2	SGP	Z nメッキ
12	アンカー棒	2		13φ×300
13	標識板	1	SPGC	t2.0
14	標識板取付金具	1	SUS	t0.3
15	リベット	18	アルミ	
16	設置年月日シール	1	白色反射シート	200×60
17	所属シール	1	白色反射シート	200×60

図
番

道路反射鏡（カーブミラー）設置工

二面鏡アクリル 600×800



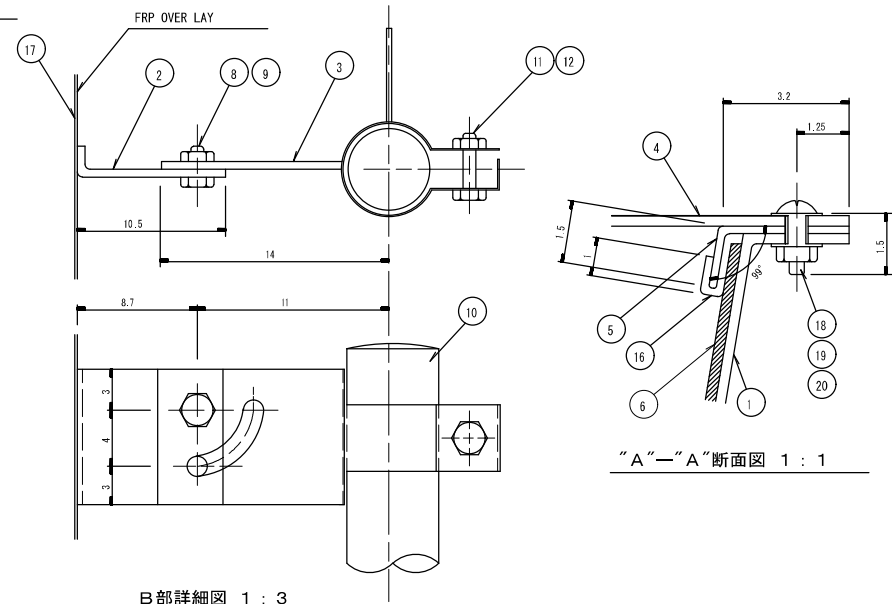
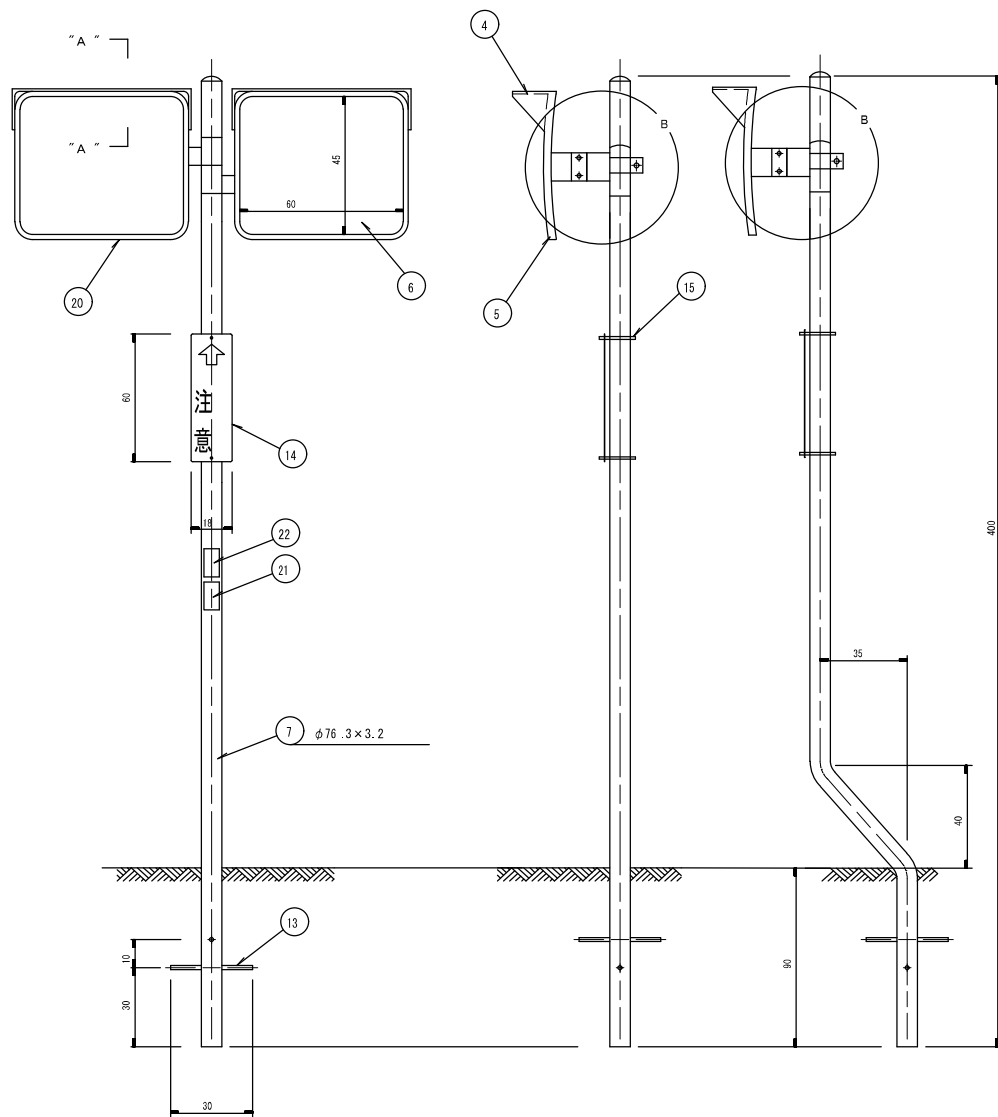
“A”-“A”断面図 1:1

品番	名 称	数量	材 質	備 考
1	カーブミラー本体	2	FRP	
2	本体取付金具	2	SS41P	Znメッキ
3	腕木取付金具	2	SS41P	Znメッキ
4	フード	2	FRP	
5	スチフナ	2	FRP	
6	鏡	2	アクリル	PCA樹脂
7	柱	1	STK41	Znメッキ
8	本体取付金具用ボルト	4	市販品	Znメッキ
9	本体取付金具用ナット	8	市販品	Znメッキ
10	腕木	2	SGP	Znメッキ
11	腕木取付金具用ボルト	4	市販品	Znメッキ
12	腕木取付金具用ナット	4	市販品	Znメッキ
13	アンカー棒	2		φ13×300
14	標識板	1	SPGC	t2.0
15	標識板取付金具	2	SUS	t0.3
16	ゴムパッキン	2	軟質ゴム	
17	本体補強金具	2	SS41P	塗装
18	スチフナ取付用平小ネジ	20	BsBM	
19	スチフナ取付用ナット	20	BsBM	
20	スチフナ取付用座金	40	BsBM	
21	設置年月日シール	1	白色反射シート	200×60
22	所属シール	1	白色反射シート	200×60

図
番

道路反射鏡（カーブミラー）設置工

二面鏡アクリル 450×600



“A”-“A”断面図 1:1

B部詳細図 1:3

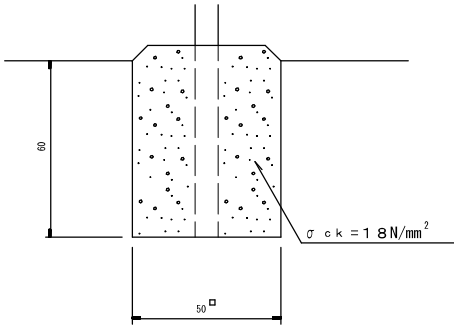
品番	名 称	数量	材 質	備 考
1	カーブミラー本体	2	FRP	
2	本体取付金具	2	SS41P	Znメッキ
3	腕木取付金具	2	SS41P	Znメッキ
4	フード	2	FRP	
5	スチフナ	2	FRP	
6	鏡	2	アクリル	PCA樹脂
7	柱	1	STK41	Znメッキ
8	本体取付金具用ボルト	4	市販品	Znメッキ
9	本体取付金具用ナット	4	市販品	Znメッキ
10	腕木	2	SGP	Znメッキ
11	腕木取付金具用ボルト	2	市販品	Znメッキ
12	腕木取付金具用ナット	2	市販品	Znメッキ
13	アンカー棒	2		φ13×300
14	標識板	1	SPGC	t2.0
15	標識板取付金具	2	SUS	t0.3
16	ゴムパッキン	2	軟質ゴム	
17	本体補強金具	2	SS41P	塗装
18	スチフナ取付用平小ネジ	20	B&B	
19	スチフナ取付用ナット	20	B&B	
20	スチフナ取付用座金	40	B&B	
21	設置年月日シール	1	白色反射シート	200×60
22	所属シール	1	白色反射シート	200×60

図
番

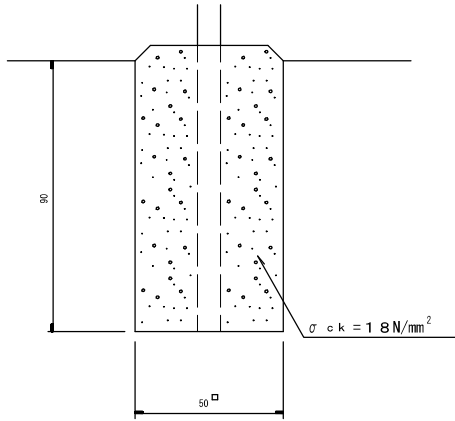
道路反射鏡（カーブミラー）設置工基礎構造図

S=1/20

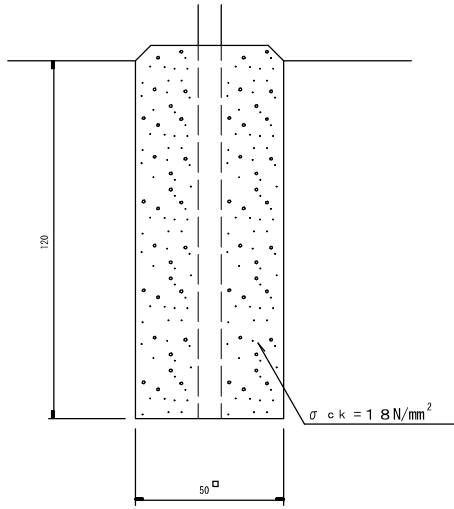
A 型



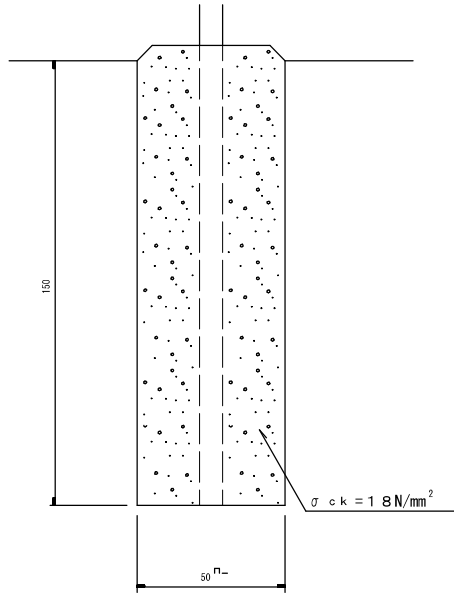
B 型



C 型



D 型



種 別			基礎タイプ
ア	450×600	(一面)	A
ク	600×800	(〃)	B
リ	450×600	(二面)	B
ル	600×800	(〃)	C
ス	φ 600	(一面)	A
	φ 800	(〃)	B
	φ 1000	(〃)	C
	φ 600	(二面)	B
レ	φ 800	(〃)	C
	φ 1000	(〃)	D

数 量 表

(1ヶ所当)

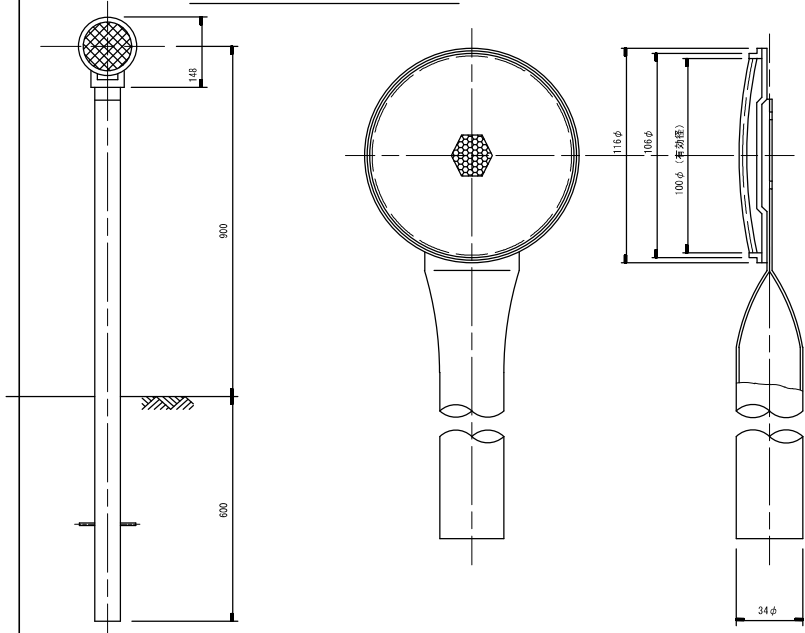
工 種	型 枠	m ²	コンクリート m ³																				
A 型		1.200	0.150																				
B 型		1.800	0.225																				
C 型		2.400	0.300																				
D 型		3.000	0.375																				

図
番

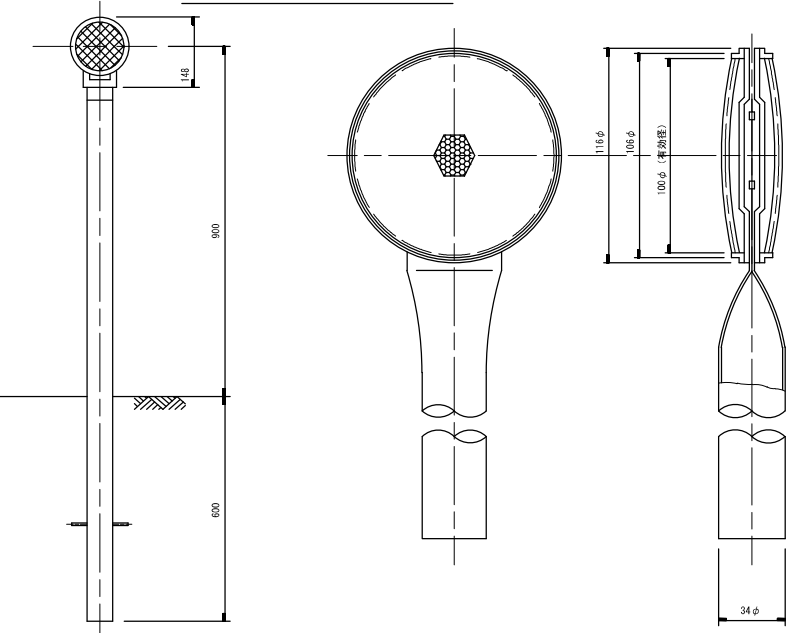


視線誘導標（デリネーター）設置工

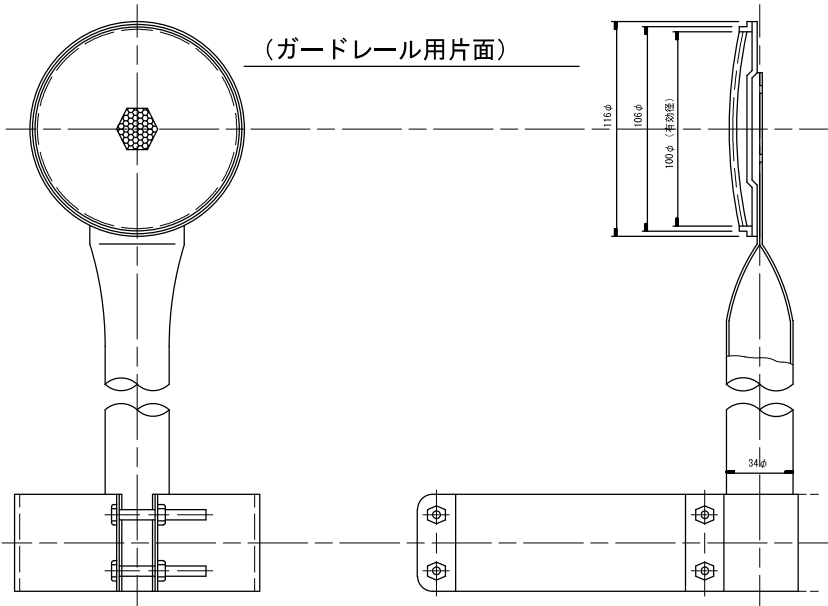
(土中建込用片面)



(土中建込用両面)



(ガードレール用片面)



(ガードレール用両面)

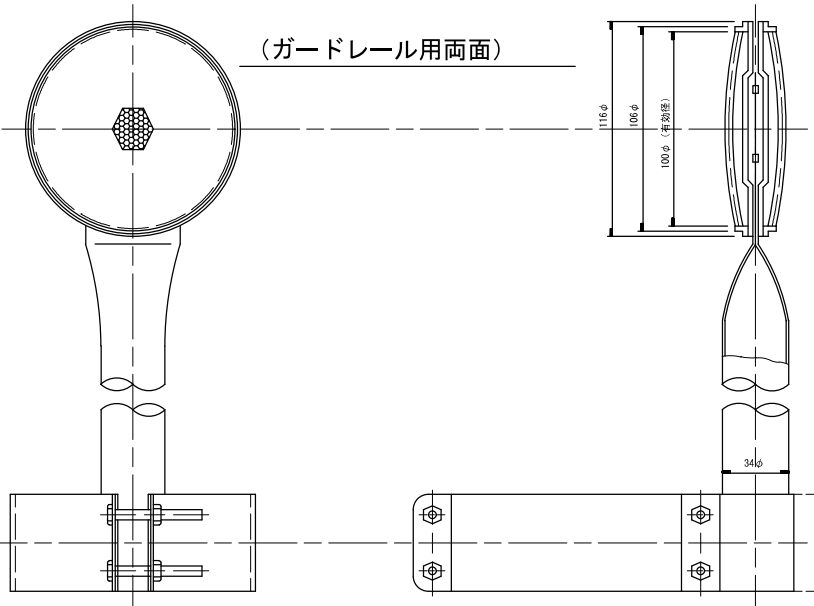
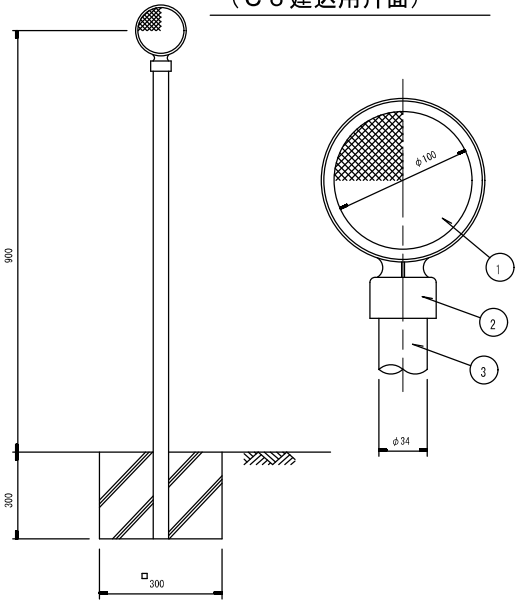


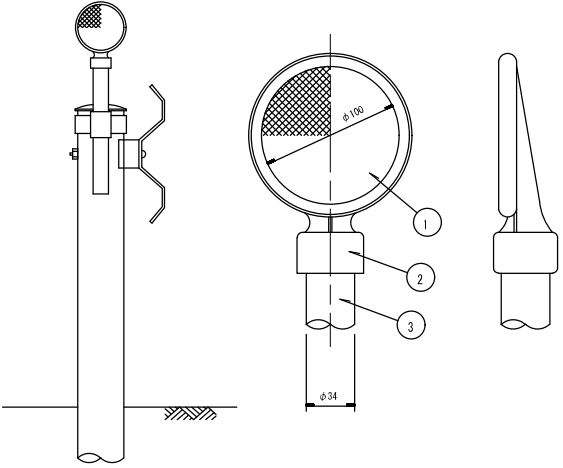
図
番

視線誘導標（デリネーター）設置工

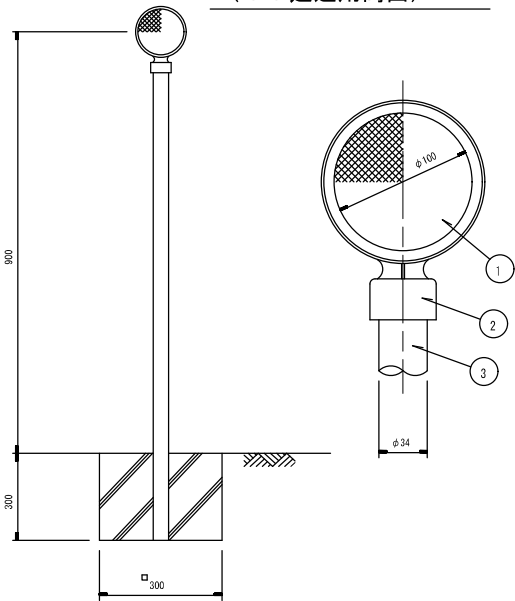
（C○建込用片面）



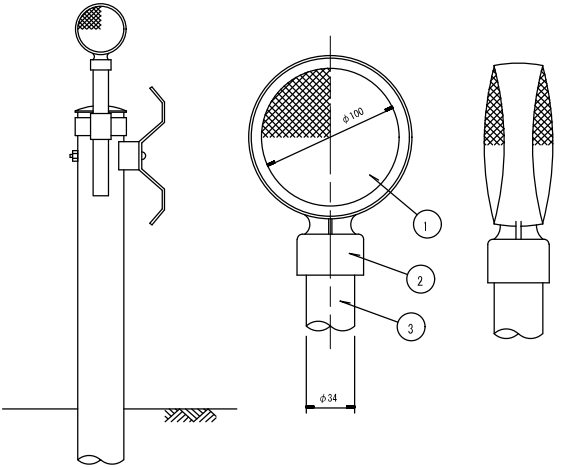
（構造物取付用片面）



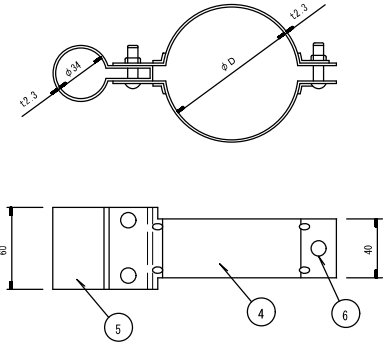
（C○建込用両面）



（構造物取付用両面）



ガードレール取付金具標準詳細図



φD
139.8
114.3
101.6
89.1

部番	名称
1	反射体 φ100
2	反射体取付枠
3	支柱 φ34.0
4	親金具 φD
5	子供金具 φ34.0
6	ボルト・ナット

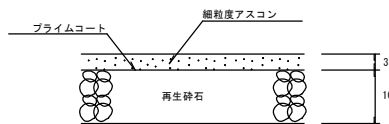
図
番

注) ◆設計書等で指定がない場合は、再生砕石はRC-30を使用する
◆乗入部の舗装区分
[区分①-1]普通・小型貨物自動車が乗り入れる場合
[区分②-1]普通貨物自動車（最大積載重量6.5t未満）等が乗り入れる場合
[区分②-2]大型貨物自動車（最大積載重量6.5t以上）等が乗り入れる場合

歩道舗装工 (アスファルト工・コンクリート工)

非透水

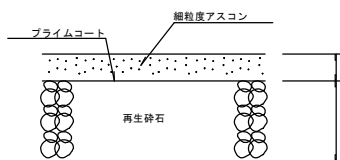
アスファルト工 一般部



※歩行者や自転車以外に、管理用車両や限定された一般車両の通行がある場合は、別途考慮する。

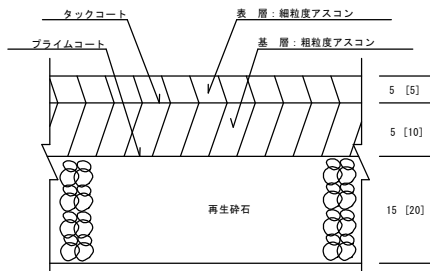
アスファルト工数量表 100m ² 当り	
細粒度アスコン	100 m ³
プライムコート	100 m ³
再生砕石	別途計上

アスファルト工 乗入部[区分①-1]



アスファルト工数量表 100m ² 当り	
細粒度アスコン	100 m ³
プライムコート	100 m ³
再生砕石	別途計上

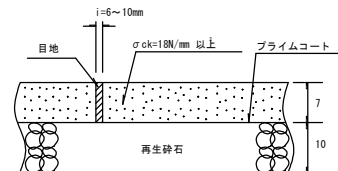
アスファルト工 乗入部 [区分②-1]・[区分②-2]



※[区分②-2]の場合は、図の[]書きの舗装構成とする（基層2層転圧）

アスファルト工数量表 100m ² 当り	
細粒度アスコン	100 m ³
粗粒度アスコン	100 m ³
再生砕石	別途計上
タックコート	100 m ³
プライムコート	100 m ³

コンクリート工 一般部



コンクリート工数量表 100m ² 当り	
コンクリート	7.0~25.0 m ³
再生砕石	別途計上
型枠、目地材	1式
養生材	1式
プライムコート	100 m ³

[注1] 5mに1箇所目地を設置することを標準とする。

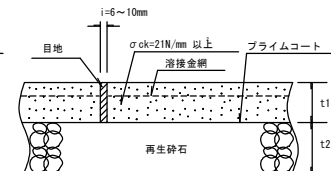
[注2] 目地は舗装面に合わせる。

[注3] 路床土は良質土を用いるものとする。

[注4] 乗入部の舗装厚は出入りする車種の最大のものを選択する。

[注5] 乗入部には、表面から版厚の約1/3(15cmの版厚の場合は版の中央)の位置に鉄網(異形鉄線溶接金網D06、網目15cm×15cm、JIS G 3551)を設置する。

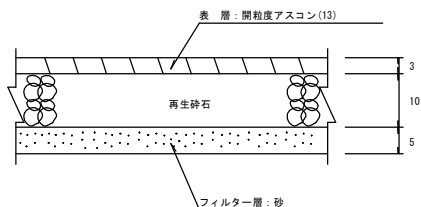
コンクリート工 乗入部



	セメントコンクリート舗装	
	コンクリート(t1)	路盤(t2)
[区分①-1]	15	10
[区分②-1]	20	20
[区分②-2]	25	25

透 水

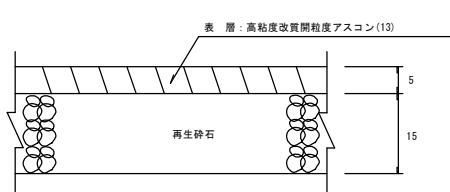
透水性アスファルト工 一般部



※歩行者や自転車以外に、管理用車両や限定された一般車両の通行がある場合は、別途考慮する。

透水性アスファルト工数量表 100m ² 当り	
開粒度アスコン	100 m ³
再生砕石	別途計上
砂	5.0 m ³

透水性アスファルト工 乗入部【区分①-1】

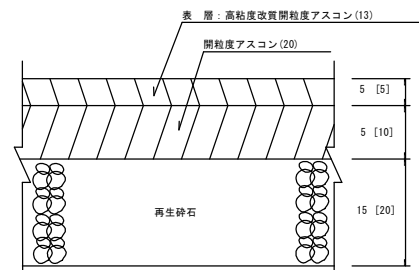


※細粒度5cmを透水性アスファルト混合物に変えて、特にフィルター層は設けない構造とする。
また、開粒度アスファルトは骨材飛散がみられるため、高粘度改質開粒度アスファルトを使用する。

透水性アスファルト工数量表 100m ² 当り	
高粘度改質開粒度アスコン	100 m ³
再生砕石	別途計上

透水性アスファルト工 乗入部

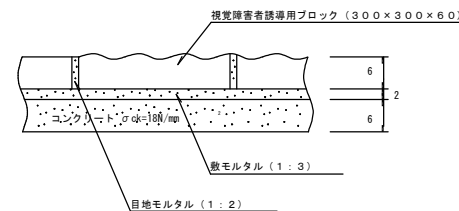
【区分②-1】・【区分②-2】



※[区分②-2]の場合は、図の[]書きの舗装構成とする（基層2層転圧）

透水性アスファルト工数量表 100m ² 当り	
高粘度改質開粒度アスコン	100 m ³
開粒度アスコン	100 m ³
再生砕石	別途計上

視覚障害者誘導用ブロック工
(300×300×60)



視覚障害者誘導用ブロック工数量表 100枚当り	
視覚障害者誘導用ブロック	100 枚
敷モルタル	0.189 m ³
目地モルタル	0.027 m ³
コンクリート	0.567 m ³
型 枠	1.932 m ²

※視覚障害者誘導用ブロックの輝度比を確保するため、コンクリート工で固うことは行わない
※視覚障害者誘導用ブロックは原則、透水性のものは使用しない

注) ◆設計書等で指定がない場合は、再生砕石はRC-30を使用する

◆乗入部の舗装区分

【区分①-1】普通・小型貨物自動車が入り入れる場合

【区分①-2】普通・小型貨物自動車の交通量が多い（駐車場など）、又はインロクの破損が懸念される場合

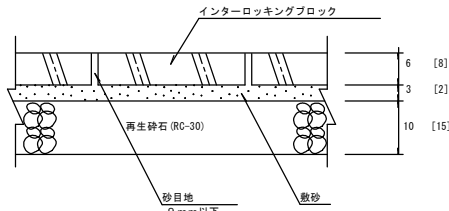
【区分②-1】普通貨物自動車（最大積載量6.5t未満）等が入り入れる場合

【区分②-2】大型貨物自動車（最大積載量6.5t以上）等が入り入れる場合

歩道舗装工
(インターロッキング舗装工)

非透水

一般部 乗入部 【区分①-1】



※[]書きは、乗入部【区分①-1】

一般部

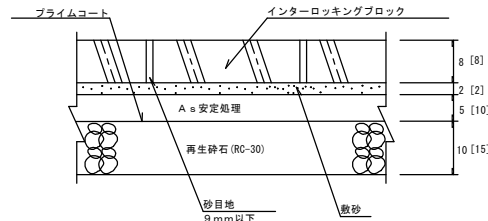
インターロッキングブロック舗装工数量表 100m 当り	
インターロッキングブロック	100 m ²
敷材料(砂)	3.870 m ³
再生砕石	別途計上

乗入部 【区分①-1】

インターロッキングブロック舗装工数量表 100m 当り	
インターロッキングブロック	100 m ²
敷材料(砂)	2.580 m ³
再生砕石	別途計上

乗入部

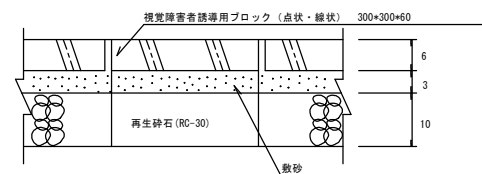
【区分①-2】・【区分②-1】・【区分②-2】



※【区分②-1】及び【区分②-2】の場合は、コンクリート舗装、又は、
図の[]書きの舗装構成とする

インターロッキングブロック舗装工数量表 100m 当り	
インターロッキングブロック	100 m ²
敷材料(砂)	2.580 m ³
アスファルト安定処理材	100 m ²
再生砕石	別途計上
プライムコート	100 m ²

視覚障害者誘導用ブロック

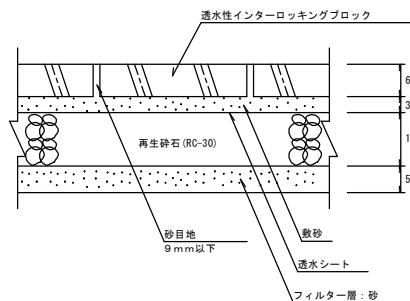


※乗入部の構造はインロクの場合(区分①-1、①-2、②-1、②-2)と同等とする。

視覚障害者誘導用ブロック工数量表 100枚当り	
視覚障害者誘導用ブロック	100 枚
敷材料(砂)	0.366 m ³
再生砕石	別途計上

透 水

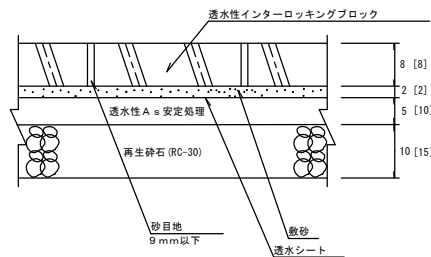
一 般 部



透水性インターロッキングブロック舗装工数量表 100m 当り	
透水性インターロッキングブロック	100 m ²
敷材料(砂)	3.870 m ³
透水シート	100 m ²
再生砕石	別途計上
フィルター層(砂)	5.000 m ³

乗入部

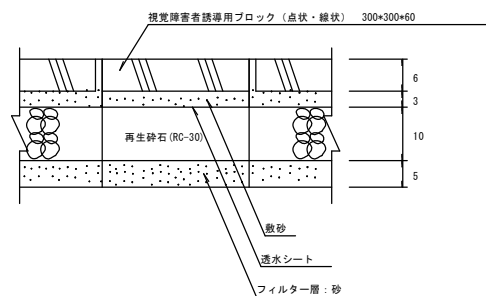
【区分①-1】・【区分①-2】・【区分②-1】・【区分②-2】



※【区分②-1】及び【区分②-2】の場合は、コンクリート舗装、又は、
図の[]書きの舗装構成とする

透水性インターロッキングブロック舗装工数量表 100m 当り	
透水性インターロッキングブロック	100 m ²
敷材料(砂)	2.580 m ³
透水シート	100 m ²
透水性アスファルト安定処理材	100 m ²
再生砕石	別途計上

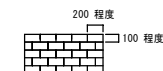
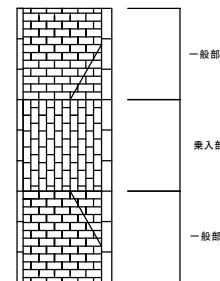
視覚障害者誘導用ブロック



※乗入部の構造は、インロクの場合(区分①-1、①-2、②-1、②-2)と同等とする

視覚障害者誘導用ブロック工数量表 100枚当り	
視覚障害者誘導用ブロック	100 枚
敷材料(砂)	0.366 m ³
透水シート	9.449 m ²
再生砕石	別途計上
フィルター層(砂)	0.472 m ³

インターロッキングブロック
敷設パターン



※乗入部の敷設パターンは横断方

向に目地が通らないように注
意すること

図
番

注) ◆設計書等で指定がない場合は、再生砕石はRC-30を使用する

◆乗入部の舗装区分

【区分①-1】普通・小型貨物自動車が入れる場合

【区分①-2】普通・小型貨物自動車の交通量が多い(駐車場など)、又はインクローの破損が懸念される場合

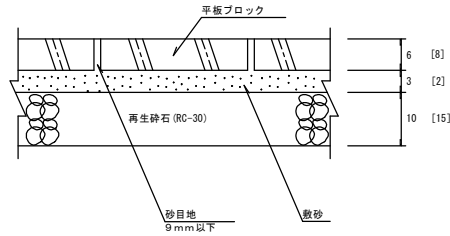
【区分②-1】普通貨物自動車(最大積載重量6.5t未満)等が入れる場合

【区分②-2】大型貨物自動車(最大積載重量6.5t以上)等が入れる場合

歩道舗装工 (平板ブロック舗装工)

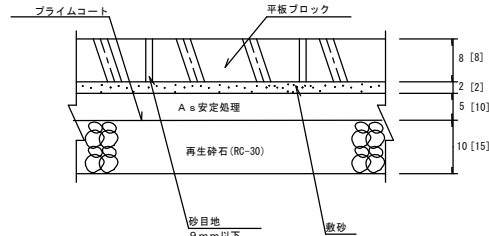
非透水

一般部 乗入部 【区分①-1】



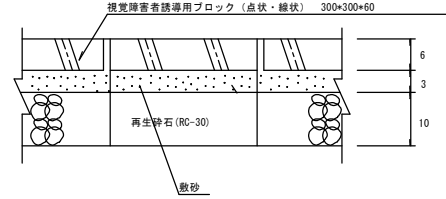
※【 】書きは、乗入部【区分①-1】

乗入部 【区分①-2】・【区分②-1】・【区分②-2】



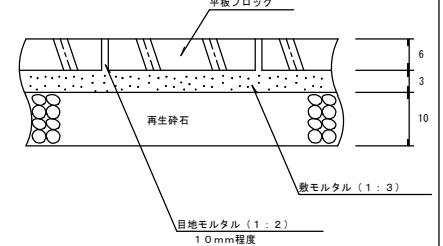
※【区分②-1】及び【区分②-2】の場合は、コンクリート舗装、又は、図の【 】書きの舗装構成とする

視覚障害者誘導用ブロック



※乗入部の構造は、平板ブロックの場合(区分①-1、①-2、②-1、②-2)と同等とする

コンクリート平板舗装工



一般部

平板ブロック工数量表	100m ² 当り
平板ブロック	1062 枚
敷材料(砂)	3.870 m ³
再生砕石	別途計上

乗入部 【区分①-1】

平板ブロック工数量表	100m ² 当り
平板ブロック	1062 枚
敷材料(砂)	2.580 m ³
再生砕石	別途計上

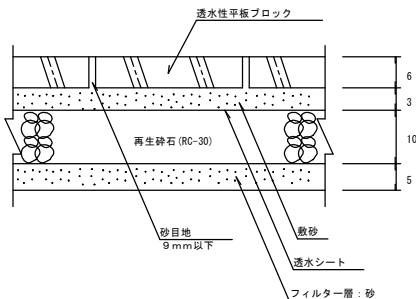
平板ブロック工数量表	100m ² 当り
平板ブロック	1062 枚
敷材料(砂)	2.580 m ³
アスファルト安定処理材	100 m ²
再生砕石	別途計上
プライムコート	100 m ²

視覚障害者誘導用ブロック工数量表	100枚当り
視覚障害者誘導用ブロック	100 枚
敷材料(砂)	0.366 m ³
再生砕石	別途計上

コンクリート平板舗装工数量表	100m ² 当り
平板ブロック	1,062 枚
モルタル	3.42 m ³
再生砕石	別途計上

透 水

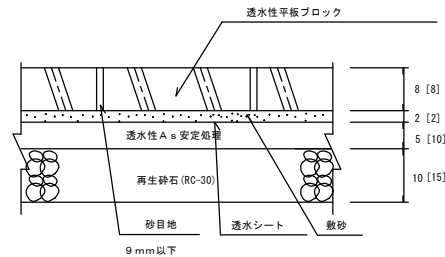
一 般 部



透水性平板ブロック工数量表	100m ² 当り
透水性平板ブロック	1062 枚
敷材料(砂)	3.870 m ³
透水シート	100 m ²
再生砕石	別途計上
フィルター層(砂)	5.000 m ³

乗入部

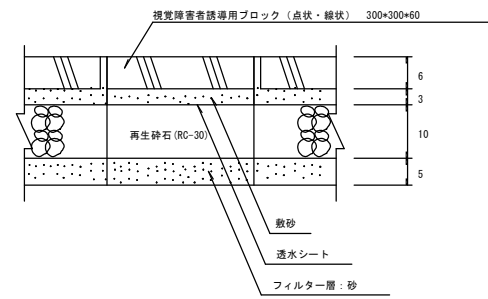
【区分①-1】・【区分②-1】・【区分②-2】



※【区分②-1】及び【区分②-2】の場合は、コンクリート舗装、又は、図の【 】書きの舗装構成とする

透水性平板ブロック工数量表	100m ² 当り
透水性平板ブロック	1062 枚
敷材料(砂)	2.580 m ³
透水シート	100 m ²
透水性アスファルト安定処理材	100 m ²
再生砕石	別途計上

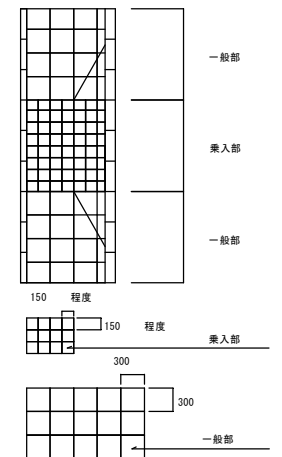
視覚障害者誘導用ブロック



※乗入部の構造は、平板ブロックの場合(区分①-1、①-2、②-1、②-2)と同等とする

視覚障害者誘導用ブロック工数量表	100枚当り
視覚障害者誘導用ブロック	100 枚
敷材料(砂)	0.366 m ³
透水シート	9.449 m ²
再生砕石	別途計上
フィルター層(砂)	0.472 m ³

平板ブロック 敷設パターン

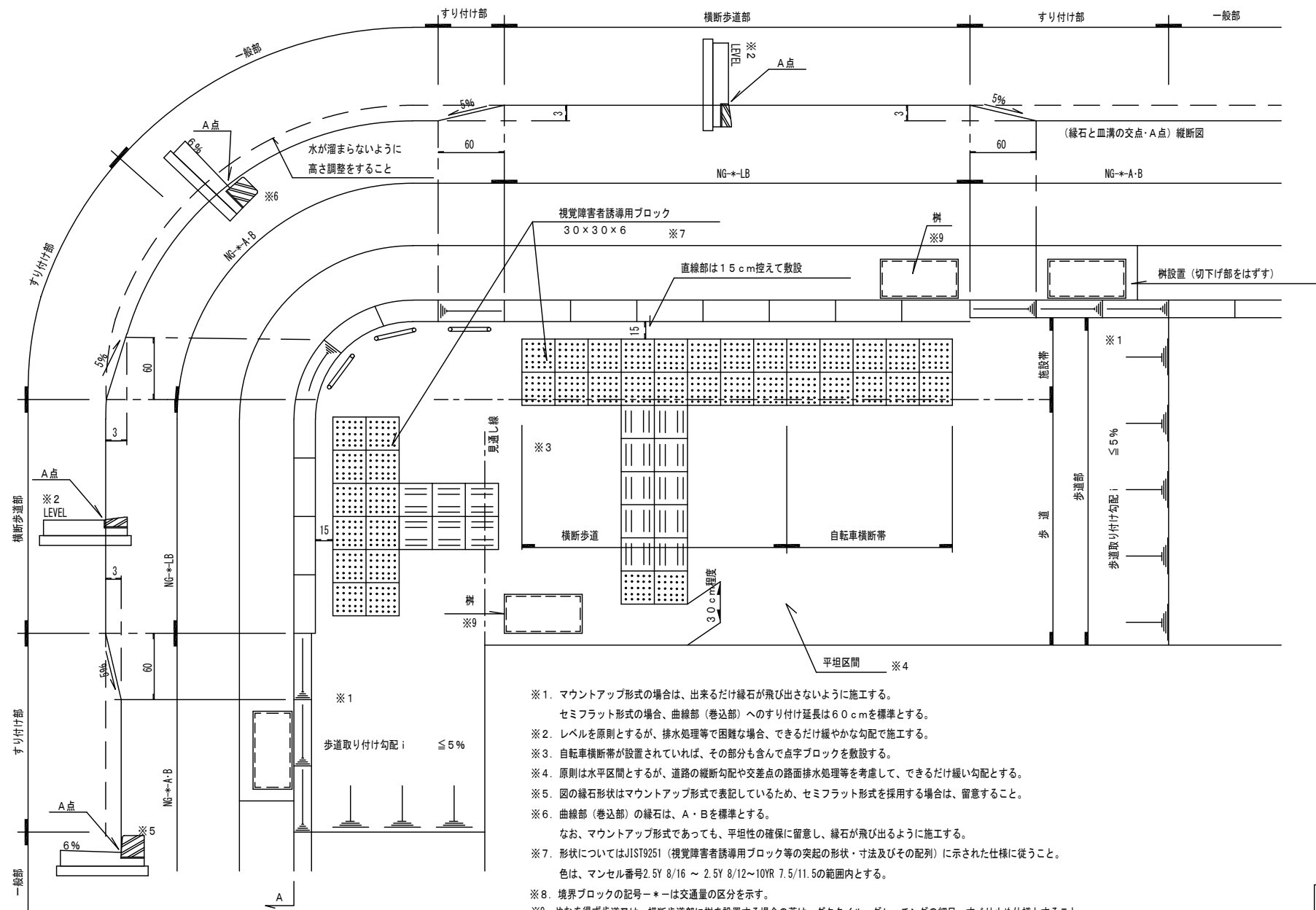


※乗入部に使用する平板ブロックは150×150程度の小ブロックを採用することが望ましい

図
番

歩道切下げ部標準図(1)

S = 1 : 4 0

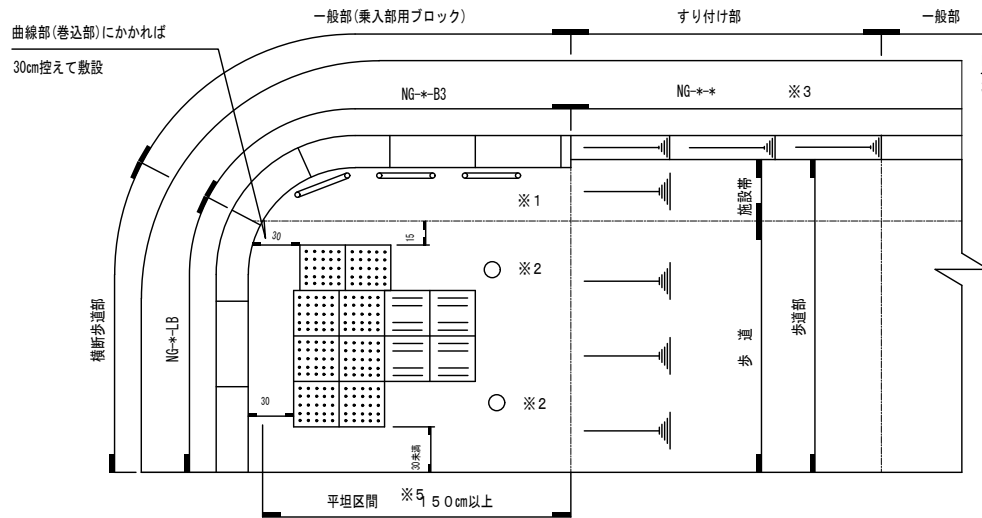


- ※1. マウントアップ形式の場合は、出来るだけ緑色が飛び出さないように施工する。
セミフラット形式の場合、曲線部（巻込部）へのすり付け延長は60cmを標準とする。
- ※2. レベルを原則とするが、排水処理等で困難な場合、できるだけ緩やかな勾配で施工する。
- ※3. 自転車横断帯が設置されていれば、その部分も含んで点字ブロックを敷設する。
- ※4. 原則は水平区間とするが、道路の縦断勾配や交差点の路面排水処理等を考慮して、できるだけ緩い勾配とする。
- ※5. 元の緑石形状はマウントアップ形式で表記しているため、セミフラット形式を採用する場合は、留意すること。
- ※6. 曲線部（巻込部）の緑石は、A・Bを標準とする。
なお、マウントアップ形式であっても、平坦性の確保に留意し、緑色が飛び出るように施工する。
- ※7. 形状についてはJIS T9251（視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列）に示された仕様に従うこと。
色は、マンセル番号2.5Y 8/16 ~ 2.5Y 8/12~10YR 7.5/11.5の範囲内とする。
- ※8. 境界ブロックの記号＊－は交通量の区区分を示す。
- ※9. やむを得ず歩道又は、横断歩道部に柵を設置する場合は、ダクトイル、グレーチングの細目、すべり止め仕様とすること。

歩道切下げ部標準図(2)

平面図

S=1:40

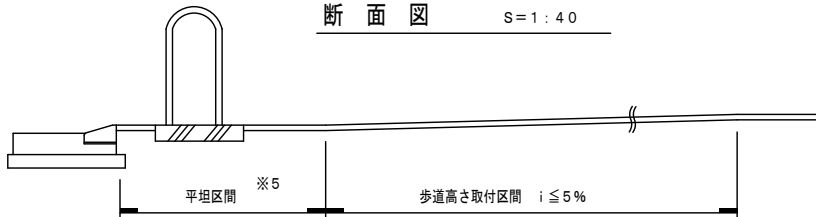


曲線部(巻込部)にかかれば
30cm控えて敷設

民地の構造物等により
車両より死角となる
場合は必要に応じて柵
等の設置を検討する。

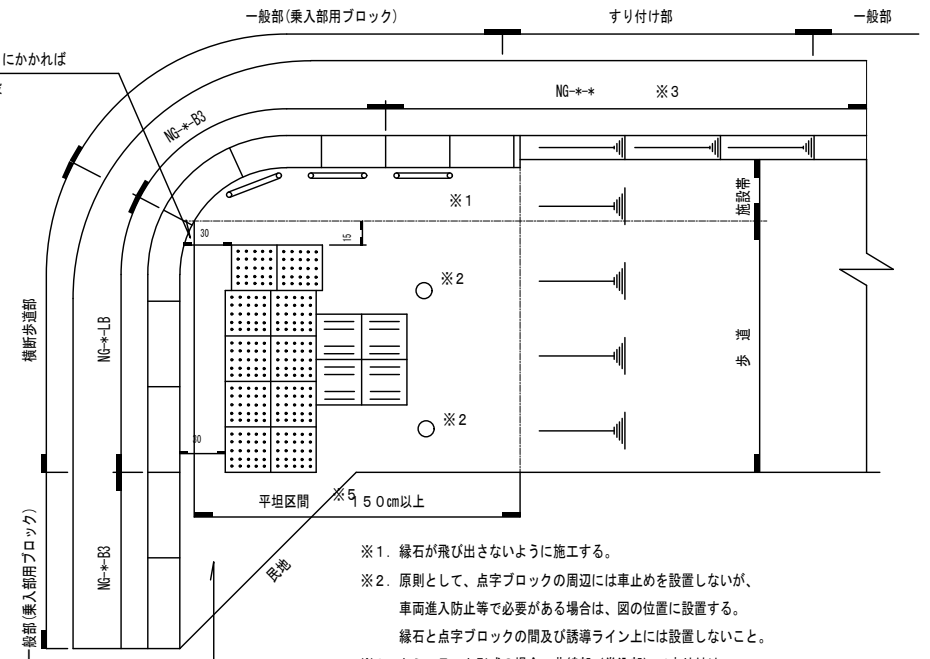
断面図

S=1:40



平面図

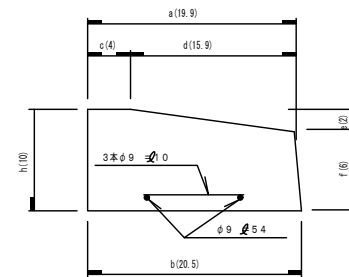
S=1:40



- ※1. 縁石が飛び出さないように施工する。
- ※2. 原則として、点字ブロックの周辺には車止めを設置しないが、車両進入防止等が必要がある場合は、図の位置に設置する。
縁石と点字ブロックの間及び誘導ライン上には設置しないこと。
- ※3. セミフラット形式の場合、曲線部(巻込部)ですり付け、その延長は60cmを標準とする。
- ※4. 境界ブロックの記号-*は交通量の区分を示す。
- ※5. 平坦区間とはできる限り平ら(縦断勾配を付さない構造)で、かつ、車いす使用者が転回する際に支障となる柵や標識などが存在しない区間をいう。

縁石ブロック

S=1:6



許容差 (mm)	a, c, e	b, h, f
	±2	±3

色調—マンセル番号10GY 8/4~10GY 6 .5/6の範囲内とする。

品質—平板の強度はJIS A 5307 (コンクリート境界ブロック) の

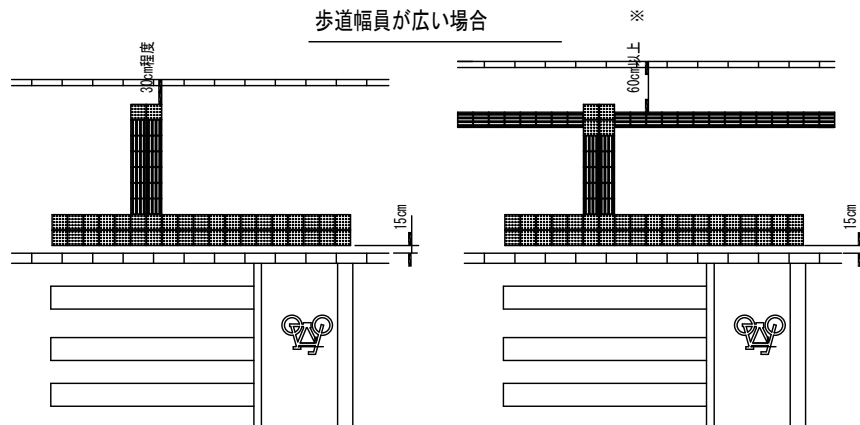
6. 1に規定する曲げ試験を行った場合は、破壊荷重は900kg以上とする。

図番

視覚障害者誘導用ブロック設置工（１）

横断部の敷設

歩道幅員が広い場合

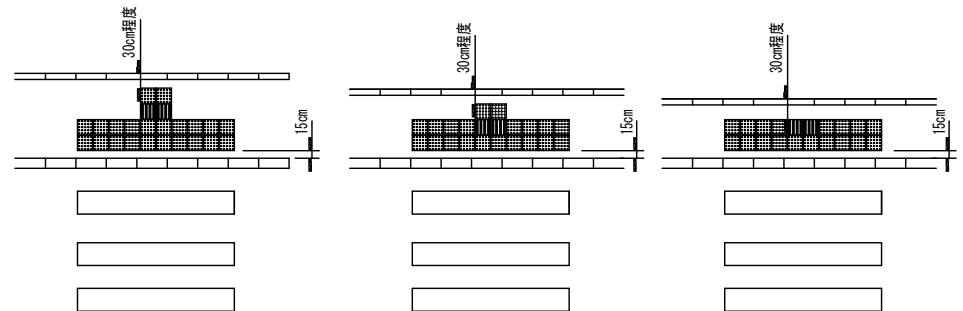


継続的直線歩行を案内していない場合

継続的直線歩行を案内している場合

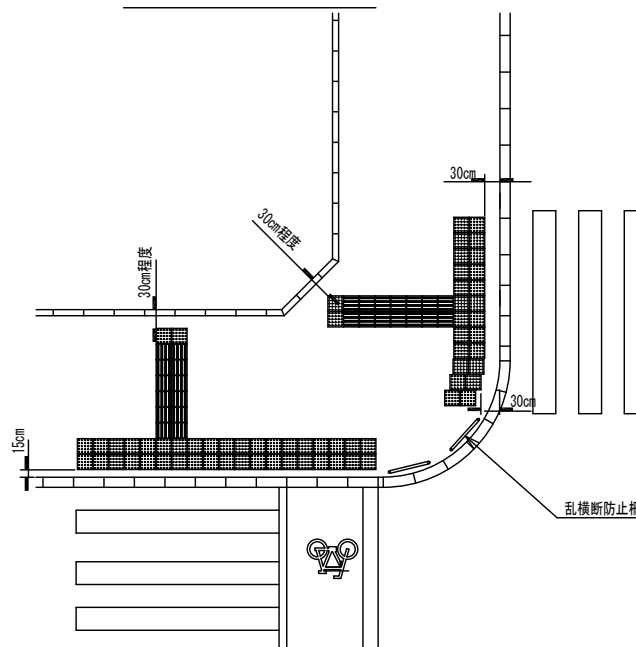
※1.0～2.0m程度確保することが望ましい。

歩道幅員が狭い場合

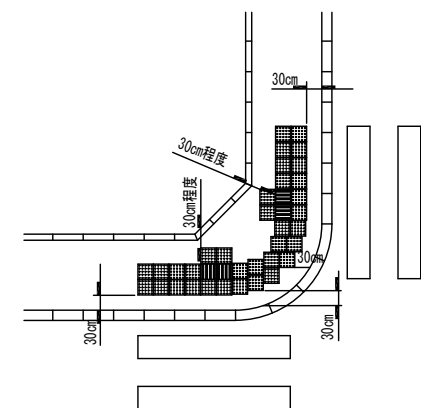


歩道巻き込み部の敷設

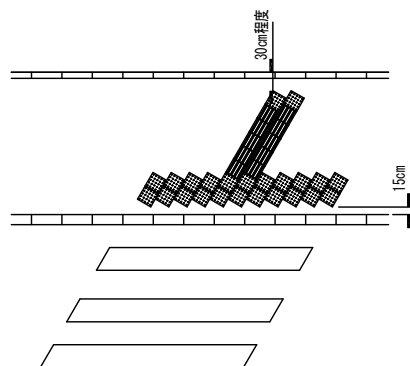
歩道幅員が広い場合



歩道幅員が狭い場合



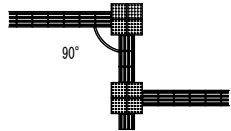
横断歩道歩道が斜めの場合の敷設



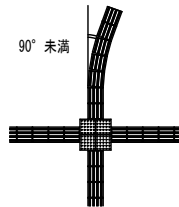
視覚障害者誘導用ブロック設置工（２）

方向が変わる誘導ラインの敷設

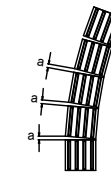
（イ）90°



（ロ）90°未満



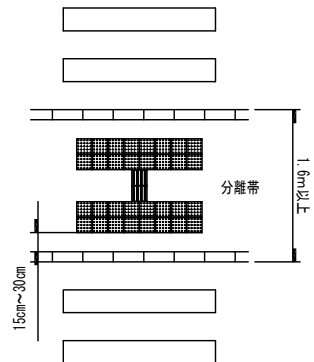
点状ブロックは敷設しない



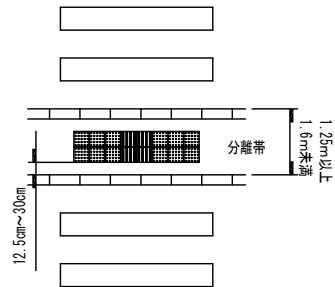
a : 10cm以下

分離帯部の敷設

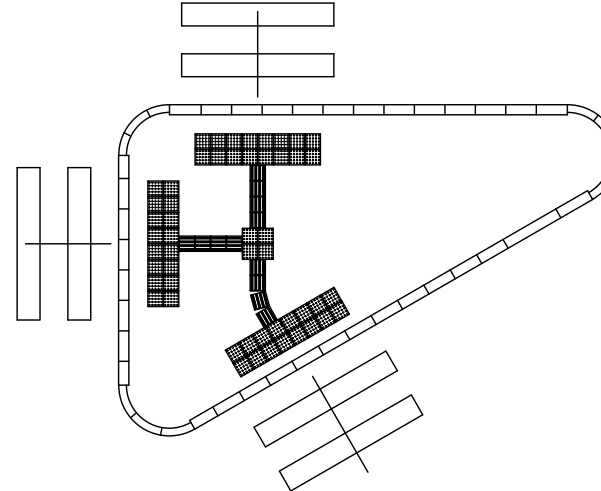
分離帯幅員 W ≤ 1.60m



分離帯幅員 1.25m ≤ W < 1.60m

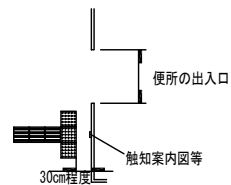


広い分離帯の場合

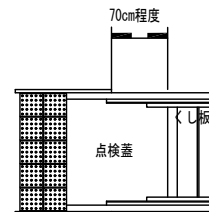


※点状ブロックはできる限り2列ずつ敷設すること。

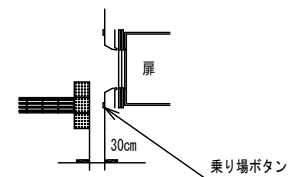
便所の敷設方法



エスカレータの敷設方法



エレベーター乗りの敷設



立体横断施設部等の敷設

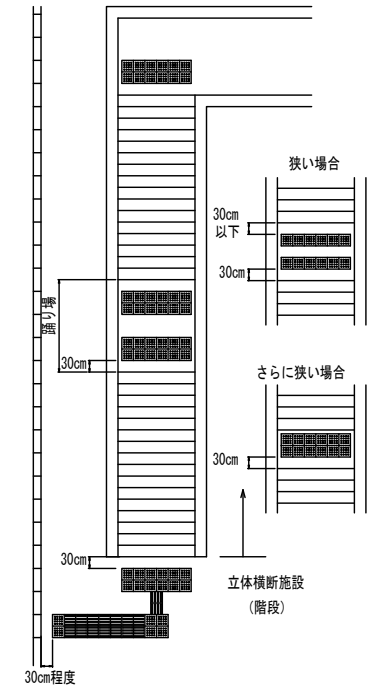
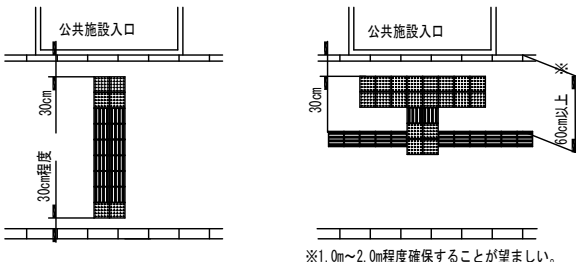


図
番

視覚障害者誘導用ブロック設置工（3）

公共施設出入口部の敷設

道路との境界に扉等の構造物がある場合



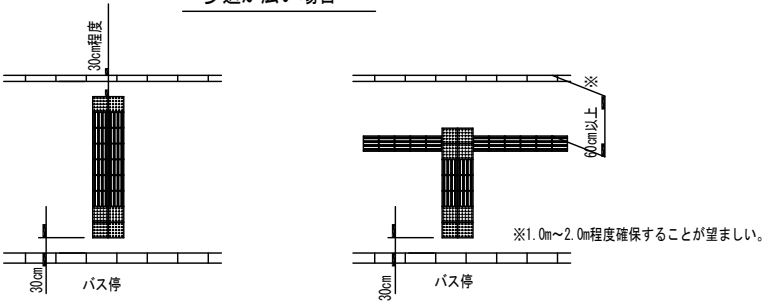
継続的直線歩行を案内していない場合

継続的直線歩行を案内している場合

※公共施設出入口部が階段である場合などは、現地の状況に応じて、適宜点状ブロックの設置幅を工夫すること。

バス停車場部の敷設

歩道が広い場合



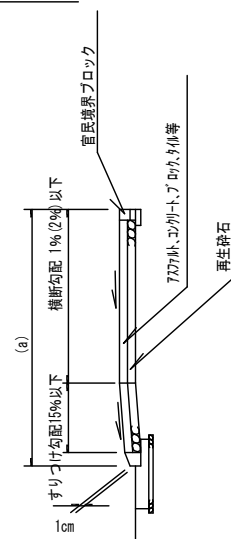
継続的直線歩行を案内していない場合

継続的直線歩行を案内している場合

(マウントアップ形式で残幅員が有効で2.0m以上ある場合)

※ガソリンスタンド、路外駐車場、店舗、工事等（営業用）に出入りし、乗入れ回数が
頻繁な場合、コンクリート舗装のうえ緑色ブロックをいれること。

※上記以外においても、必要に応じて縁石ブロックを入れることができる。



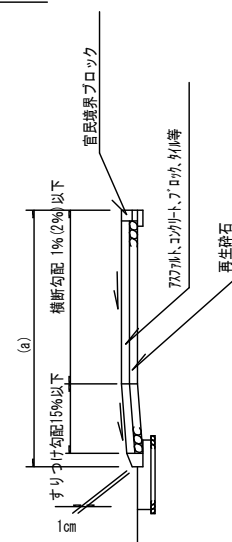
※なお、縁石のすり付け延長は60cmを標準とする。

※境界ブロックの記号－＊－は交通量の区分を示す。

(マウントアップ形式で残幅員が有効で2.0m以上ある場合)

※ガソリンスタンド、路外駐車場、店舗、工事等（営業用）に出入りし、乗入れ回数が
頻繁な場合、コンクリート舗装のうえ縁石ブロックをいれること。

※上記以外にも、必要に応じて縁石ブロックを入れることができる。



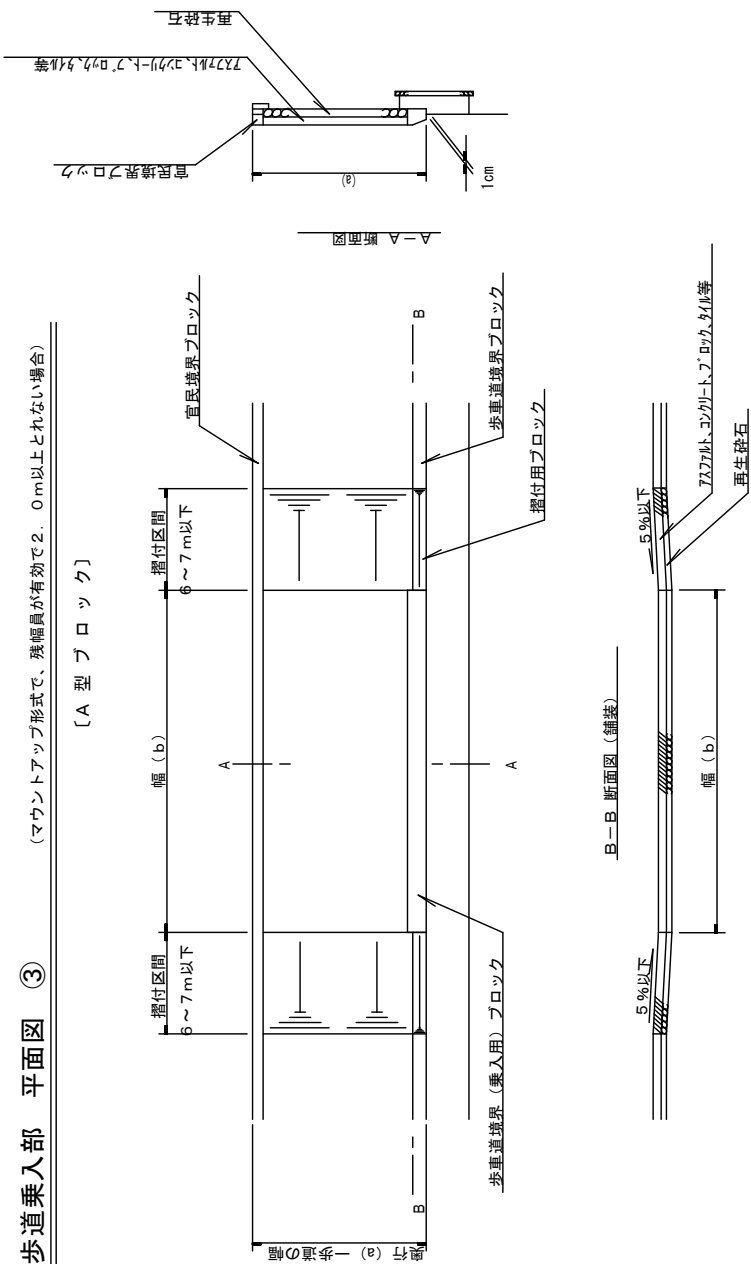
※なお、縁石のすり付け延長は60cmを標準とする。

※境界ブロックの記号－＊－は交通量の区分を示す。

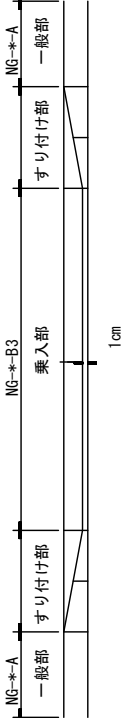
歩道乗入部 平面図 ③

(マウントアップ形式で、残幅員が有効で2.0m以上とれない場合)

〔A型ブロック〕



B-B 断面図 (歩車道境界A型ブロック)

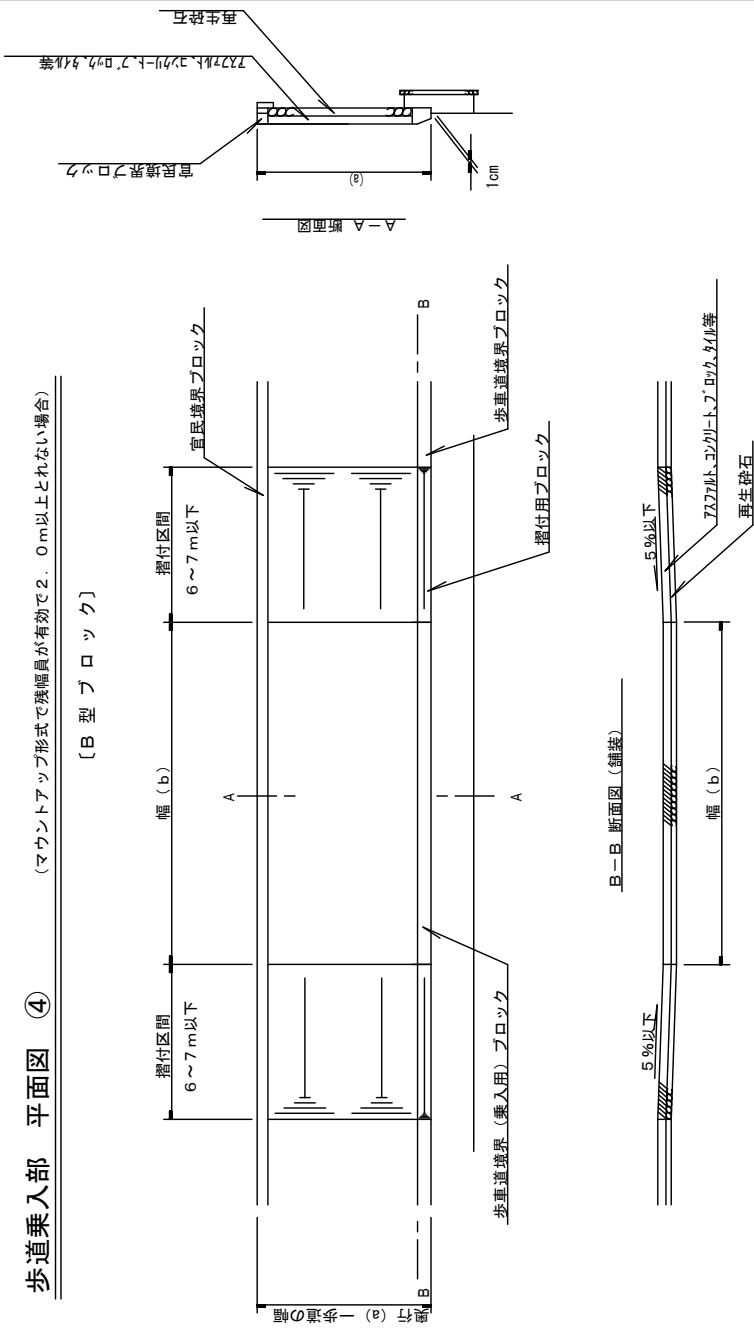


※すりつけ部の縁石は出来るだけ飛び出さないよう施工すること。
ただし、すりつけ延長が長くなる場合はこの限りでない。

歩道乗入部 平面図 ④

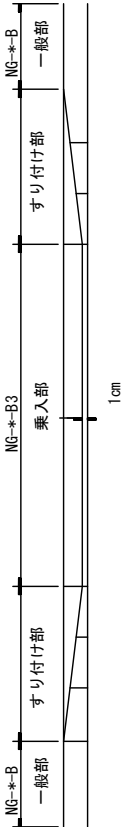
(マウントアップ形式で残幅員が有効で2.0m以上とれない場合)

〔B型ブロック〕



B-B 断面図 (舗装)

B-B 断面図 (歩車道境界B型ブロック)



※すりつけ部の縁石は出来るだけ飛び出ないよう施工すること。
ただし、すりつけ延長が長くなる場合はこの限りでない。

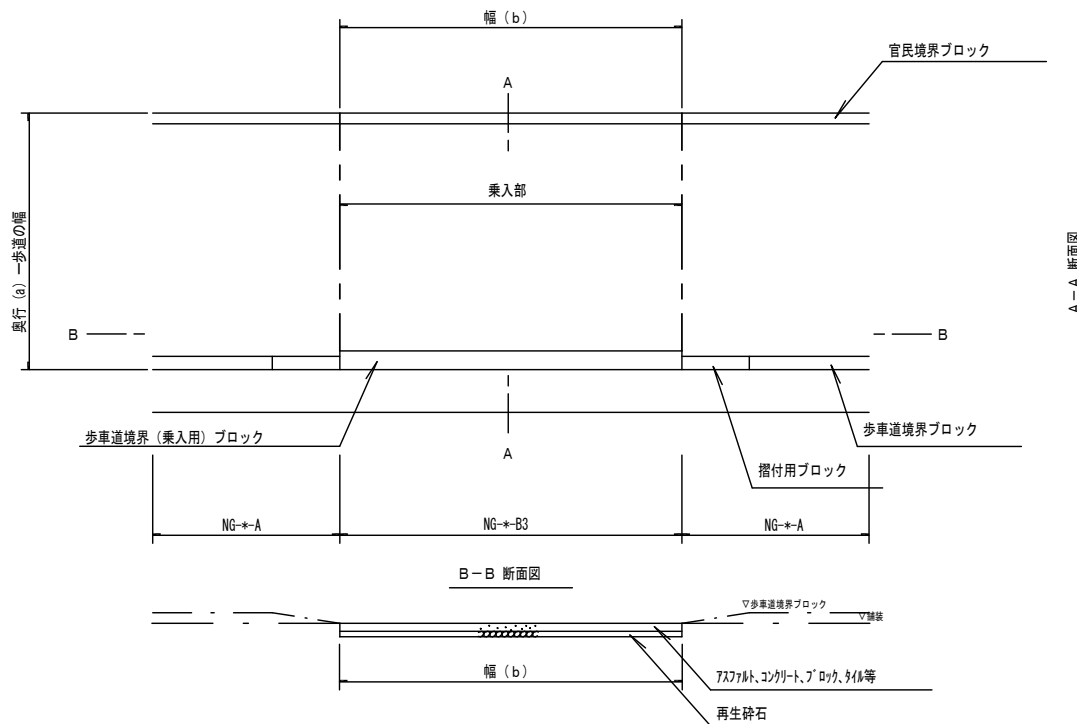
歩道乗入部 平面図 ⑤

(セミフラット形式)

〔A 型 ブロック〕

※ガソリンスタンド、路外駐車場、店舗、工事等（営業用）に出入りし、乗入れ回数が頻繁な場合、コンクリート舗装のうえ緑石ブロックをいれること。

※上記以外においても、必要に応じて緑石ブロックを入れることができる。



※なお、緑石のすり付け延長は60cmを標準とする。

※境界ブロックの記号-*は交通量の区分を示す。

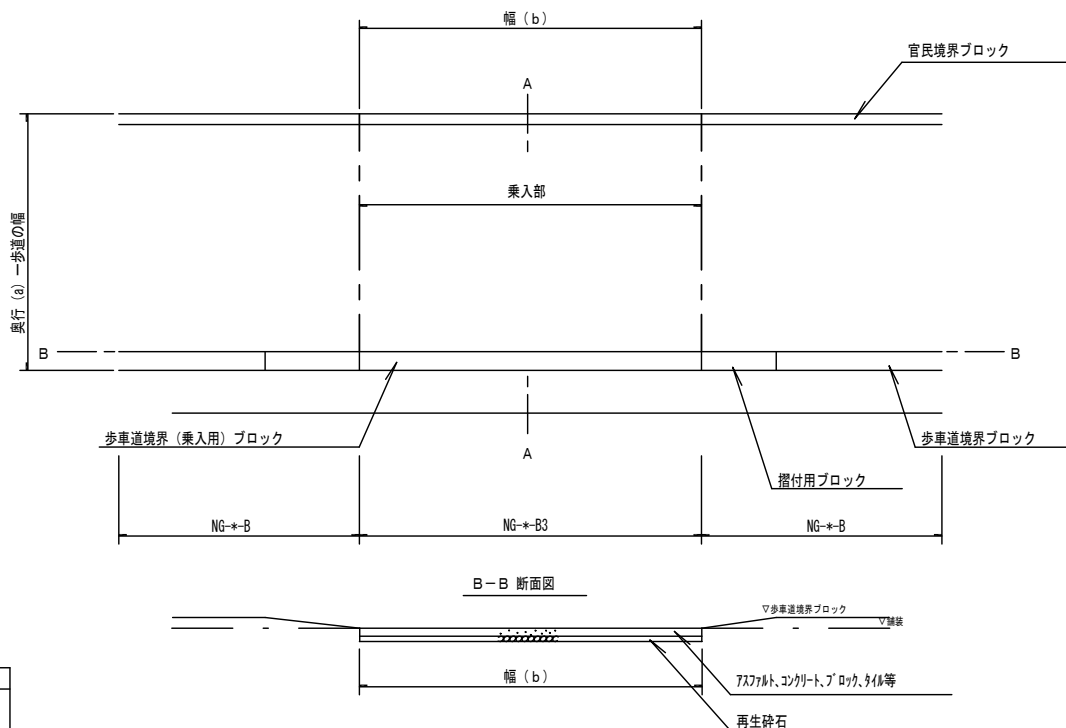
歩道乗入部 平面図 ⑥

(セミフラット形式)

〔B 型 ブロック〕

※ガソリンスタンド、路外駐車場、店舗、工事等（営業用）に出入りし、乗入れ回数が頻繁な場合、コンクリート舗装のうえ緑石ブロックをいれること。

※上記以外においても、必要に応じて緑石ブロックを入れることができる。

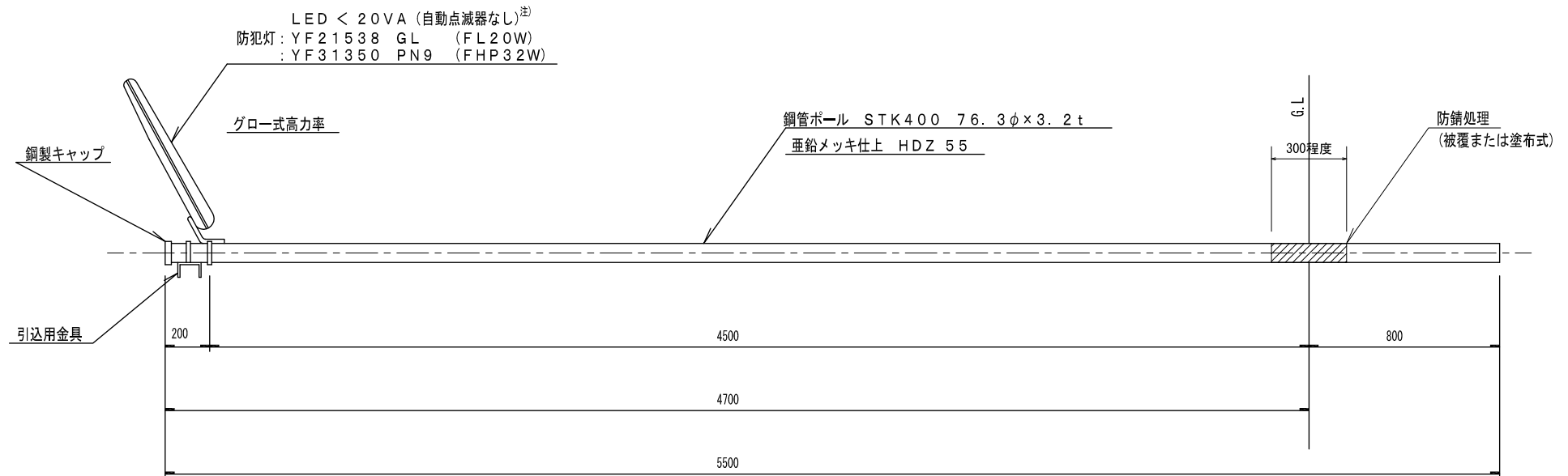


※なお、緑石のすり付け延長は60cmを標準とする。

※境界ブロックの記号-*は交通量の区分を示す。

一般街路灯（防犯灯）設置工

LED 20VA・FL 20W・FHP 32W独立柱 $h=5.5\text{m}$



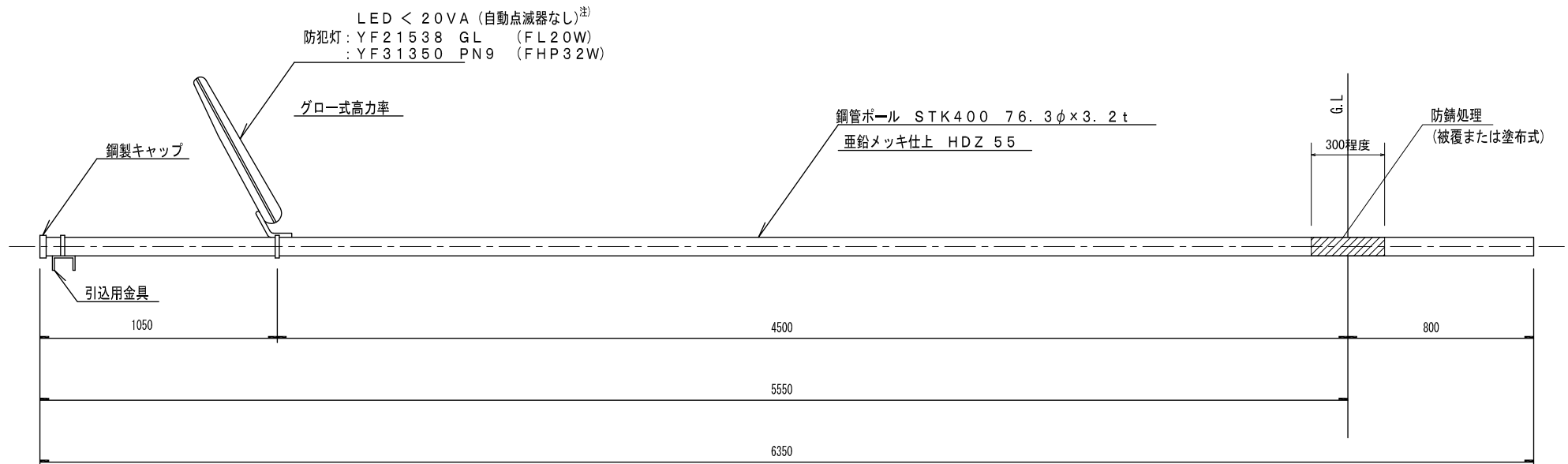
注) これまでの蛍光灯20, 32W相当。

図
番

[5-4-1]

一般街路灯（防犯灯）設置工

LED 20VA・FL 20W・FHP 32W独立柱 $h = 6.35m$

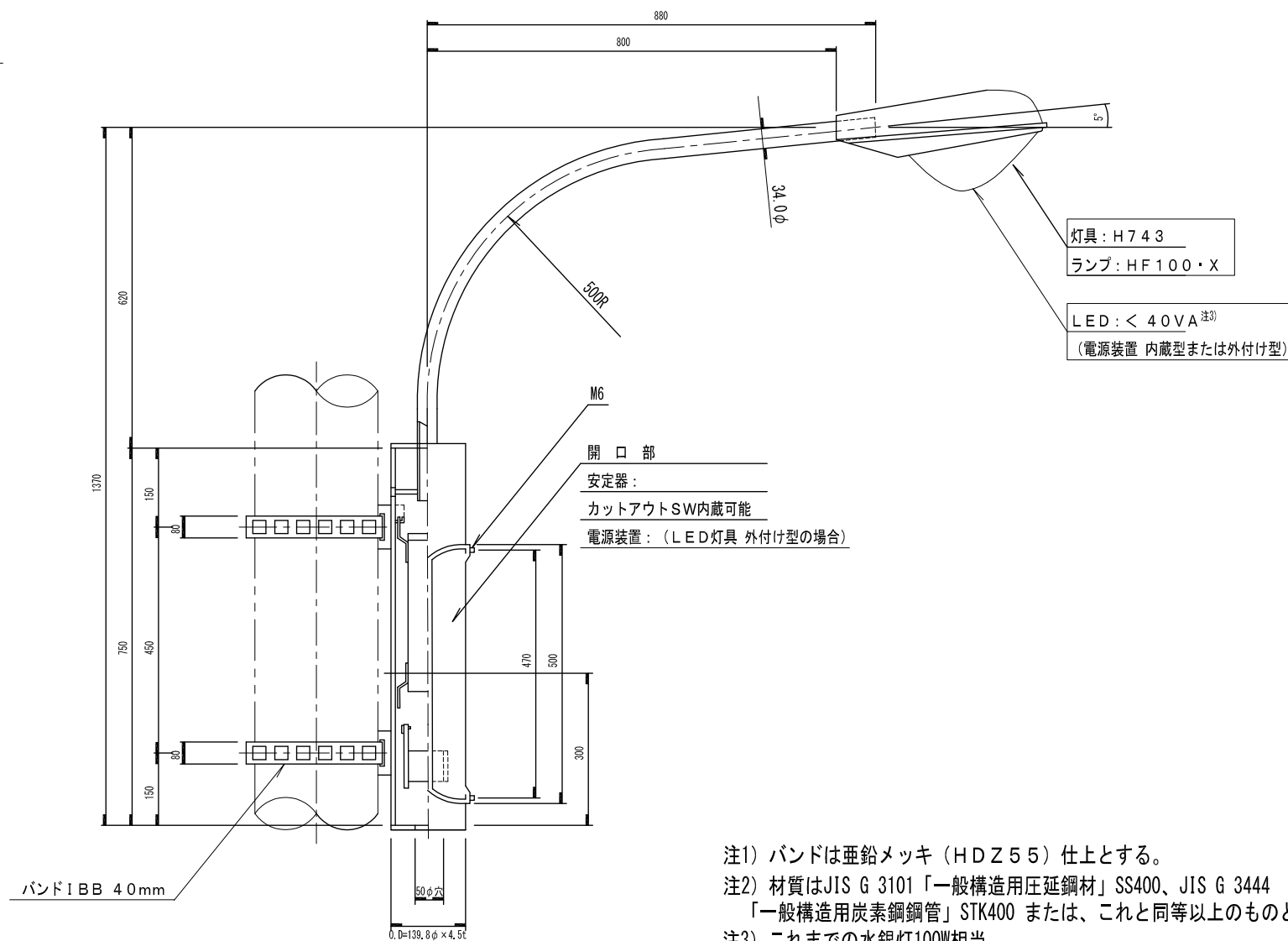


注) これまでの蛍光灯20, 32W相当。

図
番

[5-4-2]

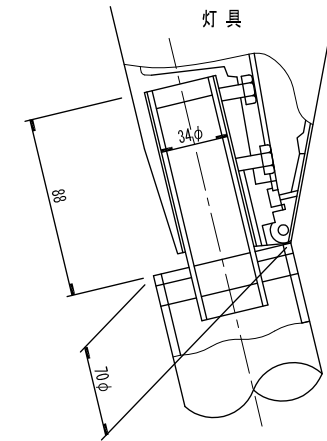
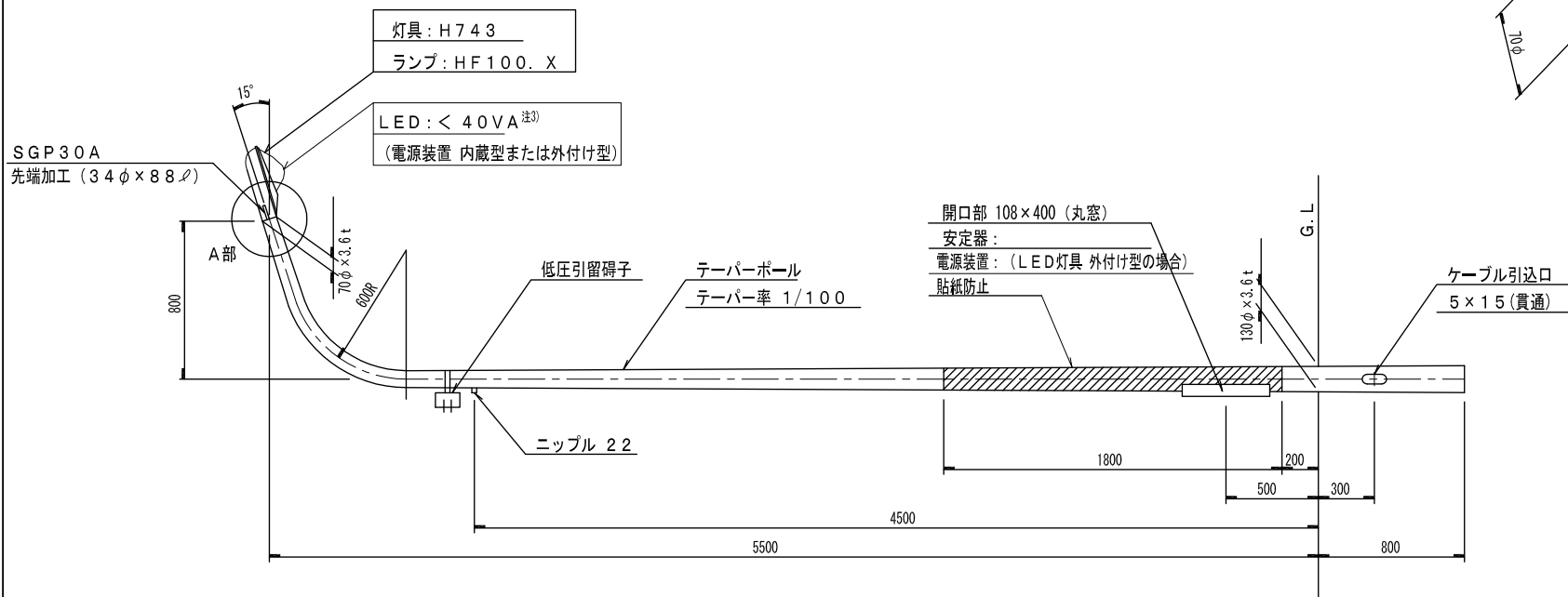
LED40VA・HF100W 添架式



注3) これまでの水銀灯100W相当。

道路照明灯設置工

LED40VA・HF100W 独立柱



A部詳細図

注1) ポールは亜鉛メッキ(HDZ55)仕上とする。

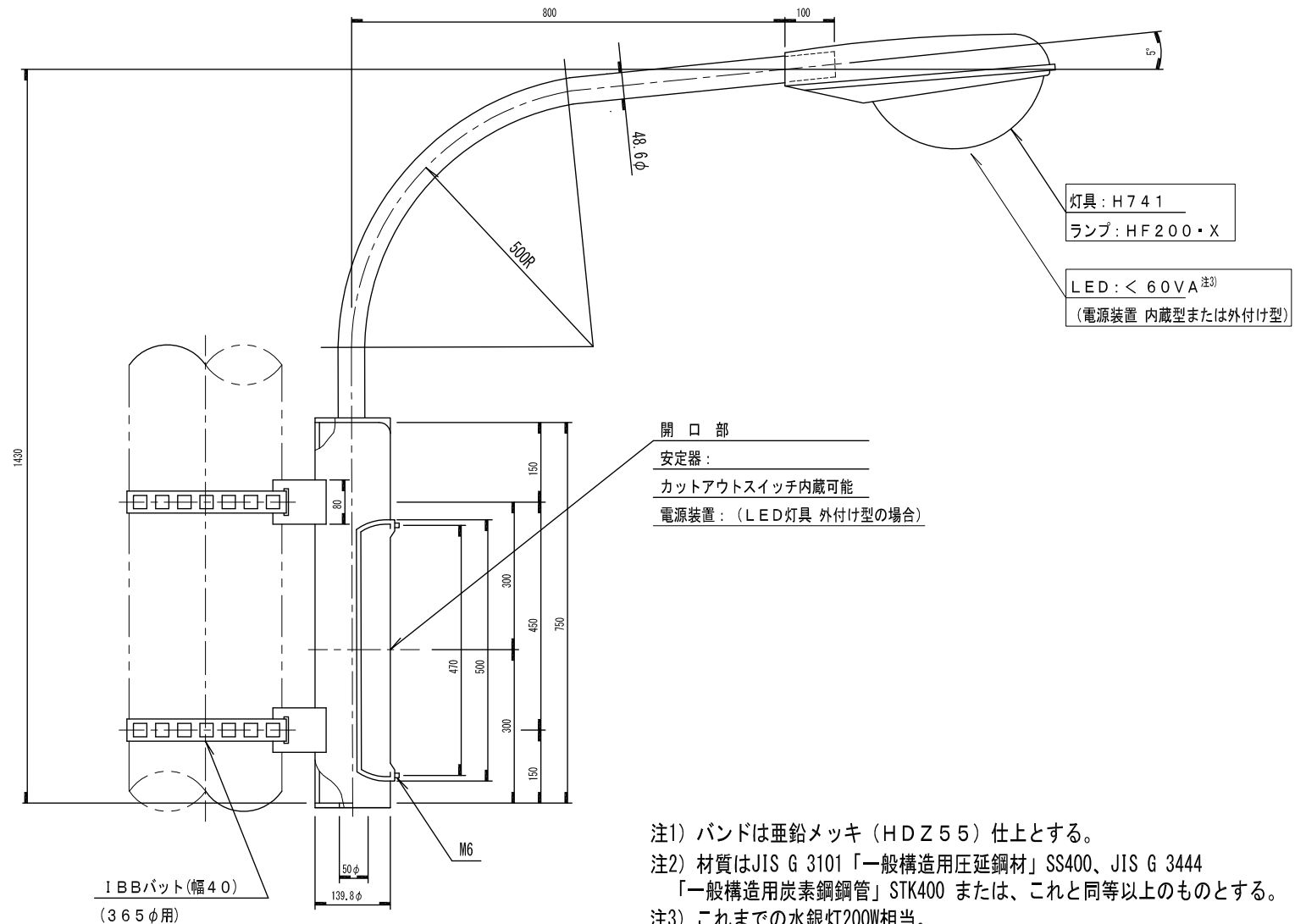
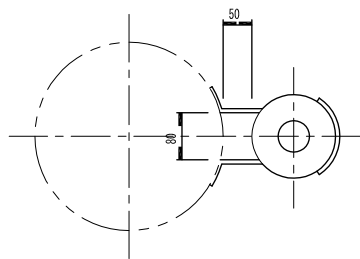
注2) 灯具の取替など維持管理の場合。

注3) これまでの水銀灯100W相当。

図
番

道路照明灯設置工

LED60VA・HF200W 添架式



注1) バンドは亜鉛メッキ (HDZ55) 仕上とする。

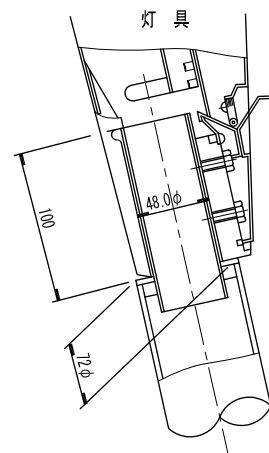
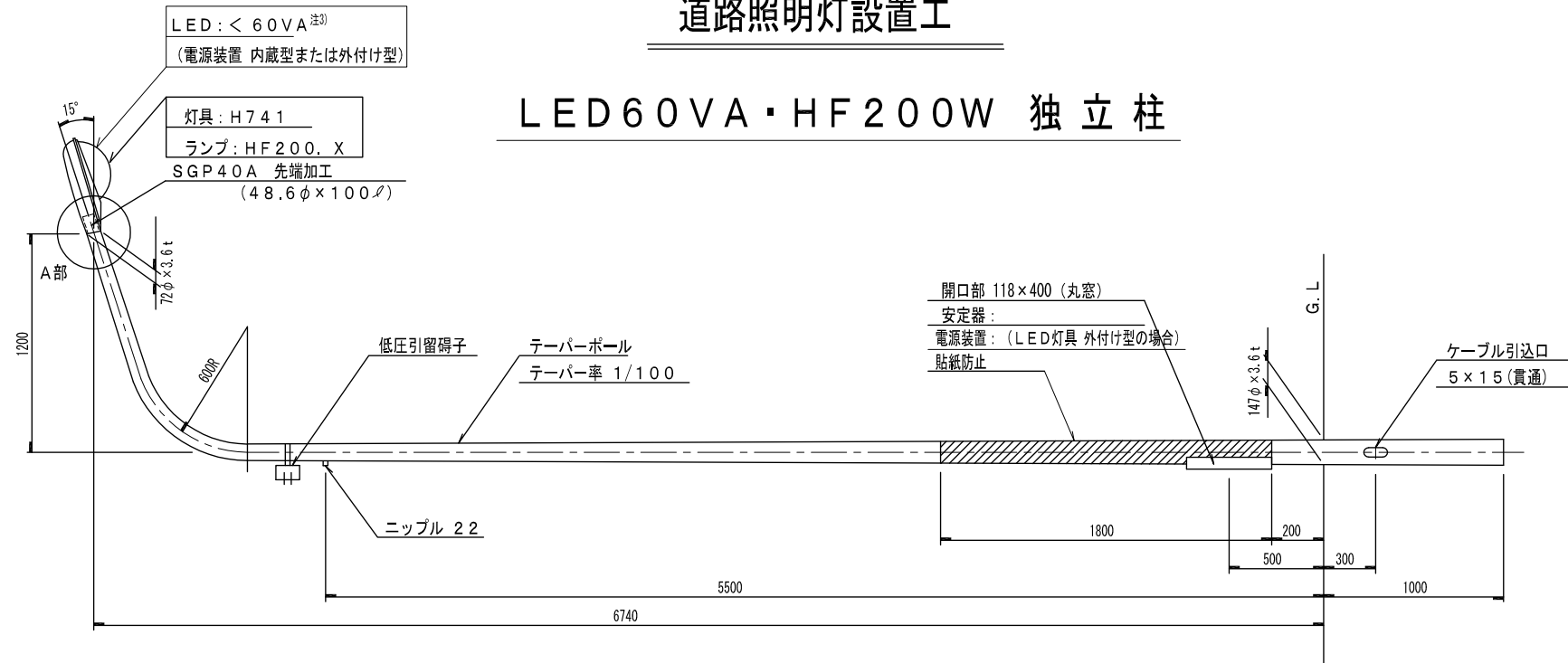
注2) 材質はJIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」SS400、JIS G 3444「一般構造用炭素鋼鋼管」STK400 または、これと同等以上のものとする。

注3) これまでの水銀灯200W相当。

図
番

道路照明灯設置工

LED60VA・HF200W 独立柱



A部詳細図

注1) ポールは亜鉛メッキ(HDZ55)仕上とする。

注2) 灯具の取替など維持管理の場合。

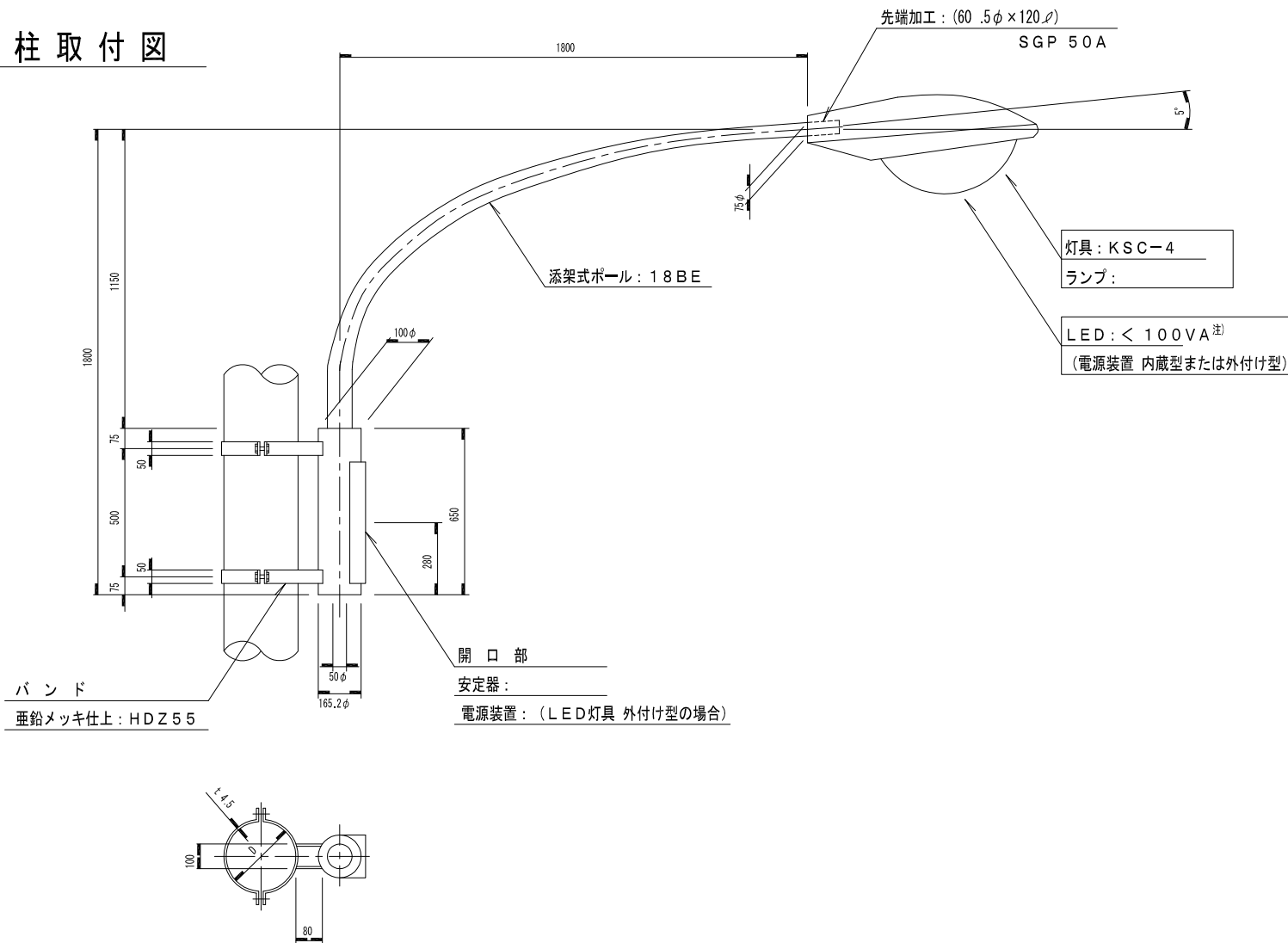
注3) これまでの水銀灯200W相当。

図
番

道路照明灯設置工

LED100VA・HF300W、400W 添架式（8-18BE）

コン柱取付図



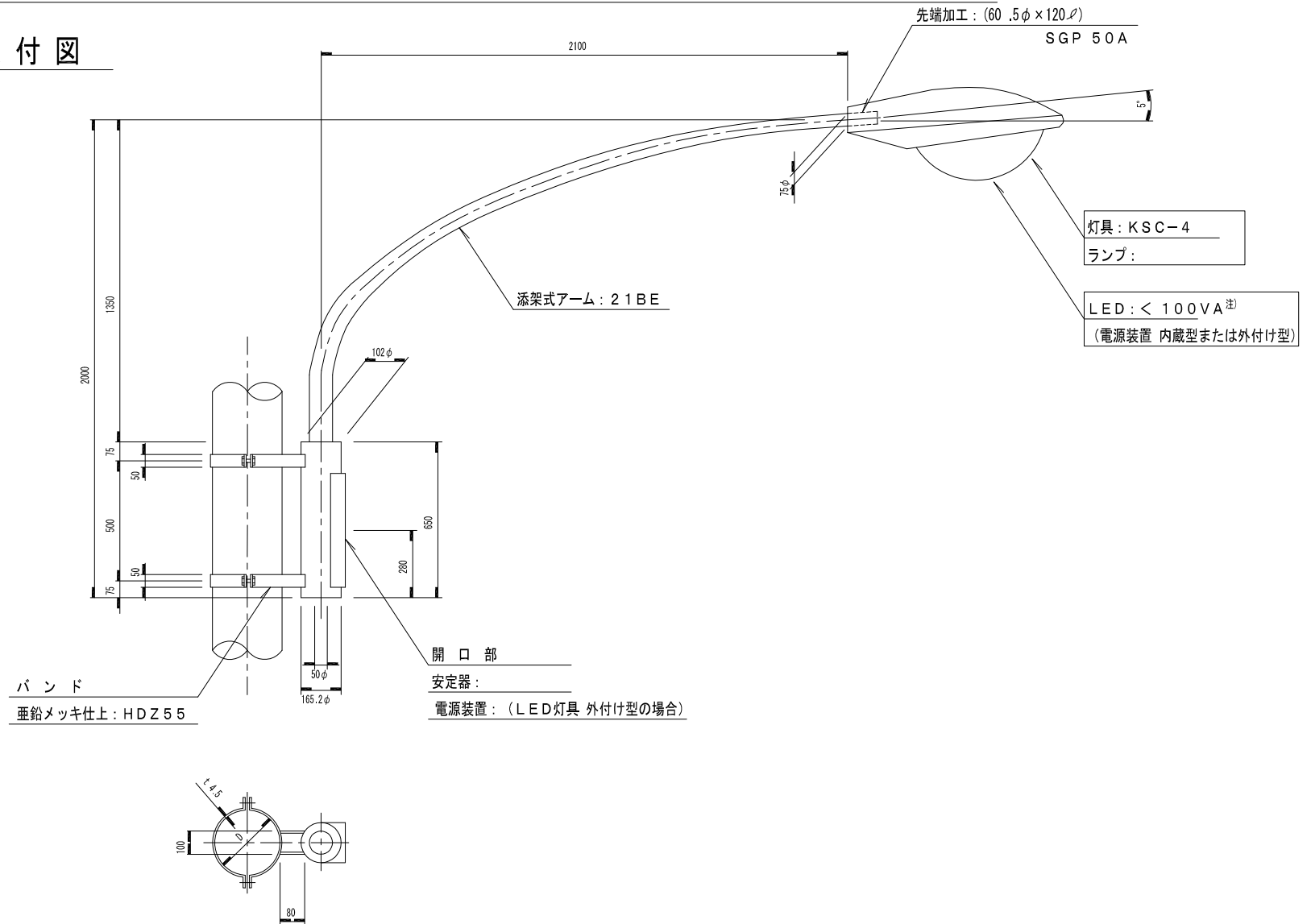
注) これまでの水銀灯300, 400W相当。

図
番

道路照明灯設置工

LED100VA・HF300W、400W 添架式(10-21BE)

コン柱取付図



注) これまでの水銀灯300, 400W相当。

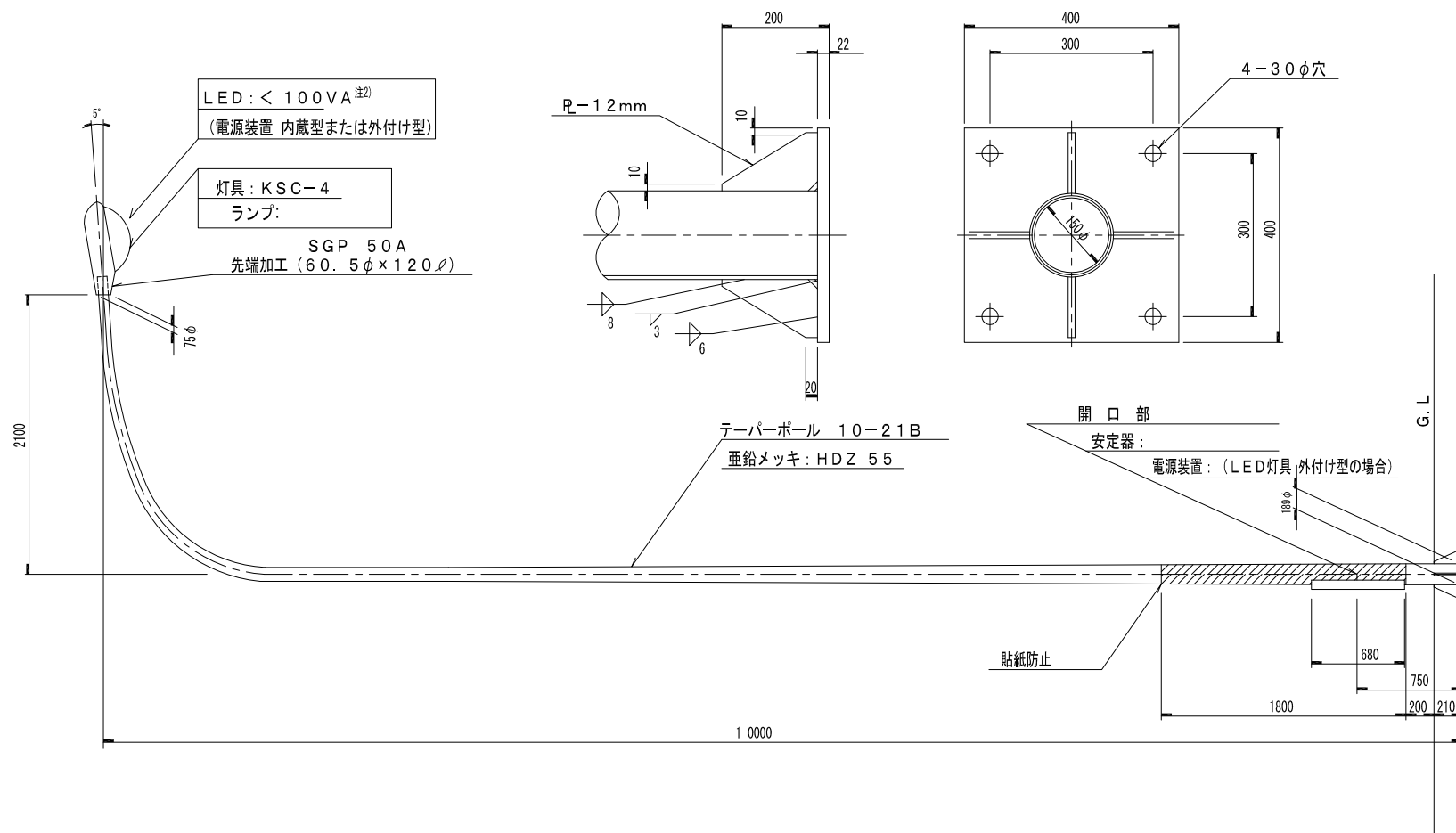
図番

道路照明灯設置工

LED100VA・HF300W、400W独立柱（10-21B）

ベースプレート詳細図

注) リブは全周両面溶接とする



注1) 灯具の取替など維持管理の場合。

注2) これまでの水銀灯300, 400W相当。

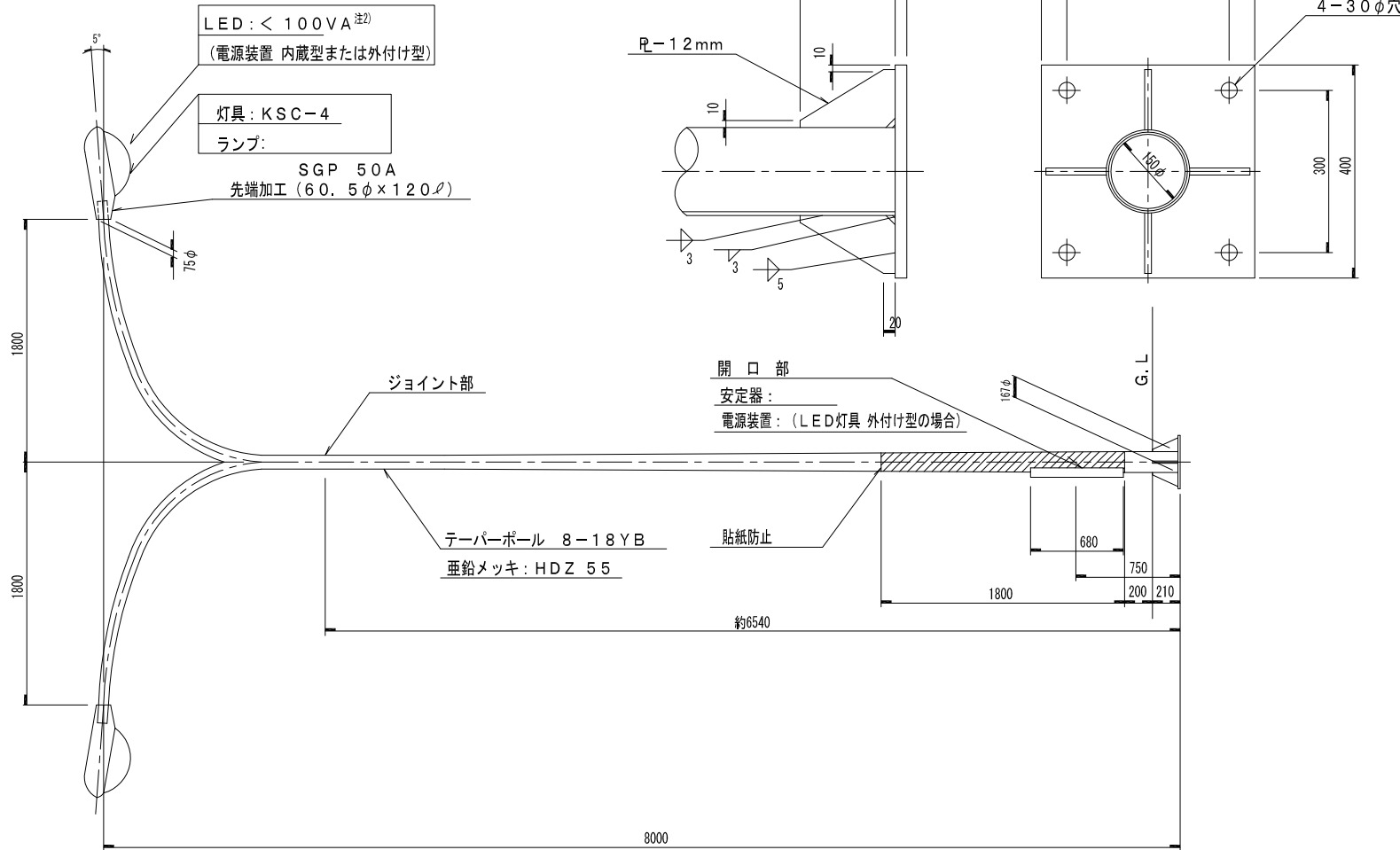
図
番

道路照明灯設置工

LED100VA・HF300W、400W独立柱2灯用（8-18YB）

ベースプレート詳細図

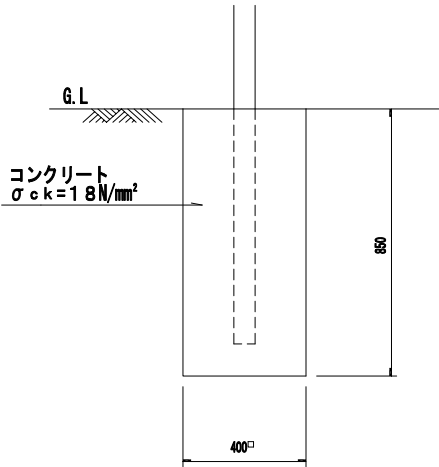
注) リブは全周両面溶接とする



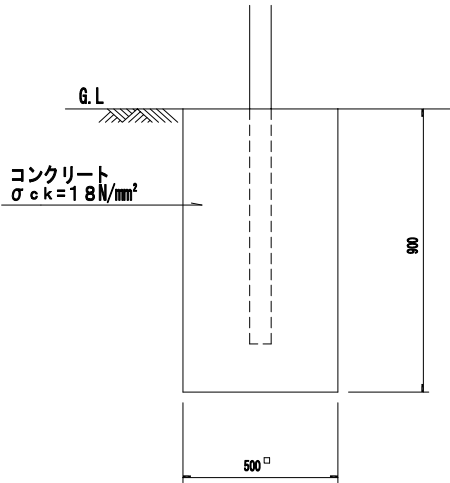
注1) 灯具の取替など維持管理の場合。
注2) これまでの水銀灯300, 400W相当。

図
番

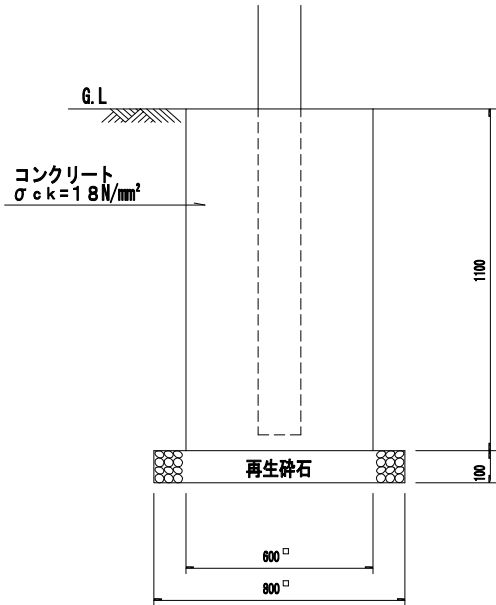
LED20VA



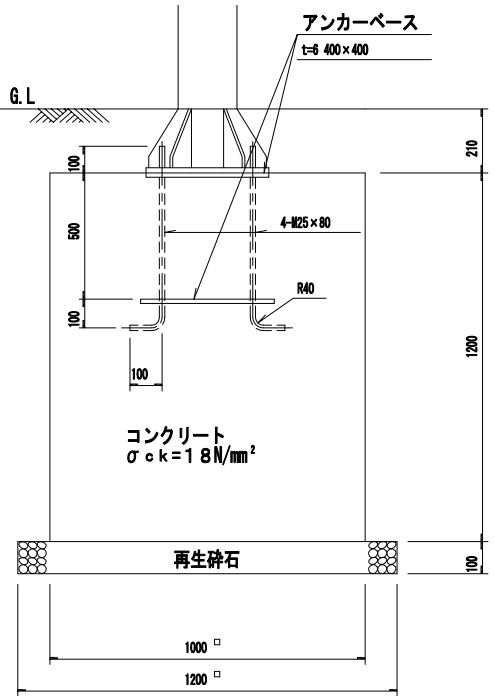
LED40VA



LED60VA



LED100VA



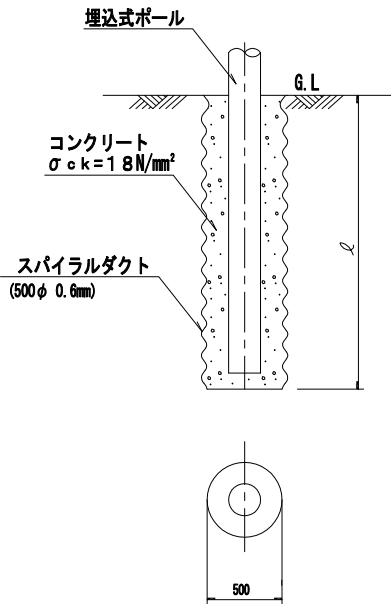
数量表

(1ヶ所当り)

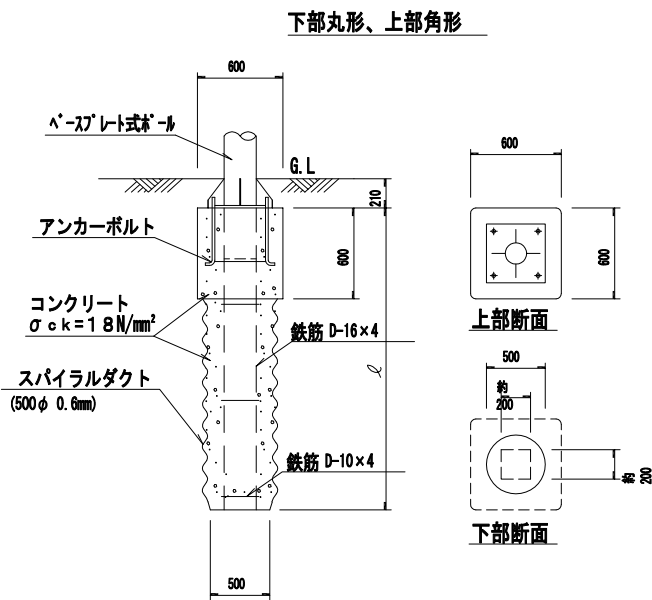
工種	コンクリート	型枠	再生碎石	アンカーベース								
LED20VA	0.13	1.36	—	—								
LED40VA	0.22	1.80	—	—								
LED60VA	0.39	2.64	0.06	—								
LED100VA	1.20	4.80	0.14	1.0								

道路照明灯基礎工（１）（LED100VAアースオーガー掘削）

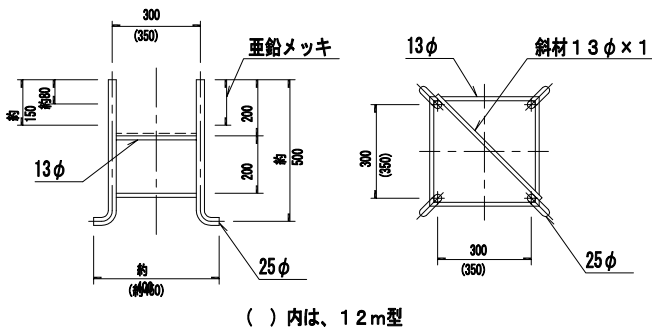
埋込式



ベースプレート式



アンカーボルト構造図



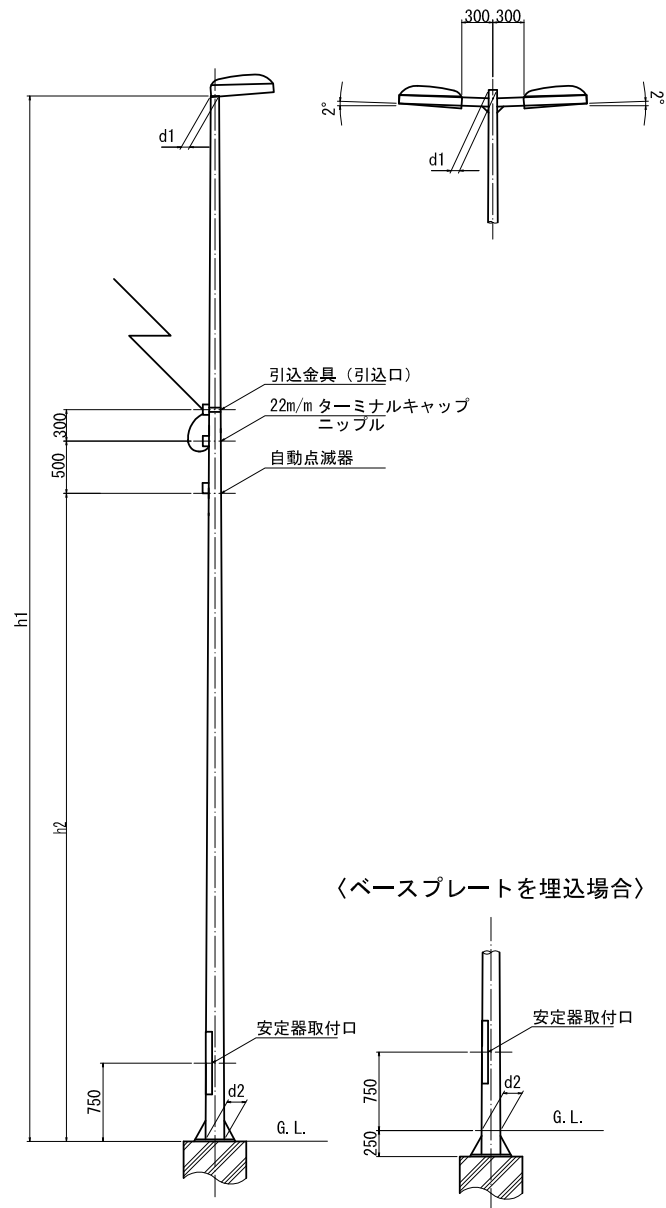
ポール規格	ℓ (mm)
8-18B	1,600
10-21B	2,100
12-23B	2,100
8-18YB	1,800
10-21YB	2,100
12-23YB	2,400

数量表

							1 基 当 り						
工 種	(m³) 型 枠	(m³) 生コンクリート	(組) アンカーボルト	(m) スパイラルダクト	(kg) 鉄 筋 φ10	(kg) 鉄 筋 φ16	工 種	(m³) 型 枠	(m³) 生コンクリート	(組) アンカーボルト	(m) スパイラルダクト	(kg) 鉄 筋 φ10	(kg) 鉄 筋 φ16
8-18B 埋込式	—	0.28	—	1.6	—	—	8-18B ベースプレート式	1.44	0.41	1.0	1.0	1.79	9.98
10-21B 埋込式	—	0.36	—	2.1	—	—	10-21B ベースプレート式	1.44	0.51	1.0	1.5	1.79	13.1
12-23B 埋込式	—	0.35	—	2.1	—	—	12-23B ベースプレート式	1.44	0.51	1.0	1.5	1.79	13.1
8-18YB 埋込式	—	0.32	—	1.8	—	—	8-18YB ベースプレート式	1.44	0.45	1.0	1.2	1.79	11.23
10-21YB 埋込式	—	0.36	—	2.1	—	—	10-21YB ベースプレート式	1.44	0.51	1.0	1.5	1.79	13.1
12-23YB 埋込式	—	0.41	—	2.4	—	—	12-23YB ベースプレート式	1.44	0.57	1.0	1.8	1.79	14.98

図
番

道路照明灯設置工



寸法及び材料表

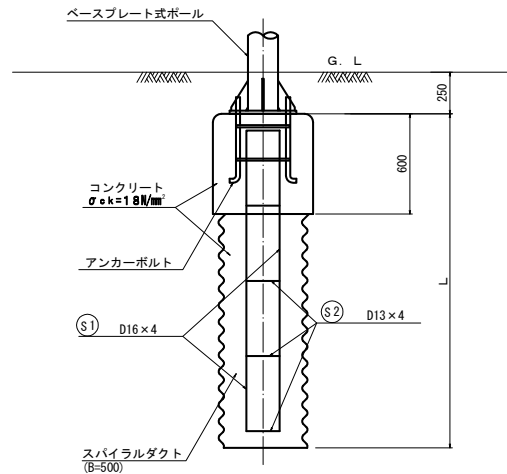
	ポール 形 式	h_1	d_1	d_2	(h_2)	参考重量 (kg)
1灯用	8SB	8,000	85	165	(6,000)	133
	10SB	10,000	75	175	(6,000)	159
2灯用	8SB	8,000	85	165	(6,000)	138
	10SB	10,000	75	175	(6,000)	164

() は単独型

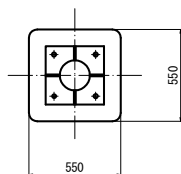
1. h_2 の取付高さを変更する場合は、特記仕様書により明記する。
2. 新設、建替更新する場合は、当該仕様を標準とする。
3. 地際部から高さ2,000mm程度には、貼紙防止を施すこと。

道路照明灯基礎工（２）

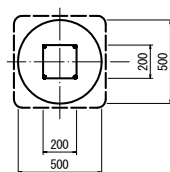
ベースプレート式



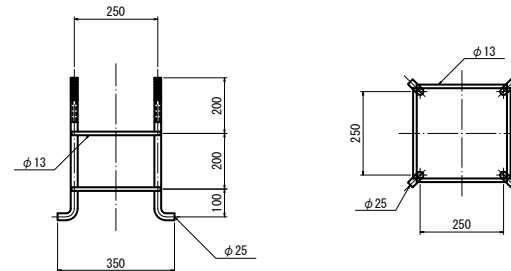
上部断面



下部断面



アンカーボルト構造図



亜鉛メッキ JIS H8641 2種 (HDZ35)

寸法及び材料表

(1基当たり)

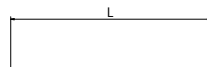
	ポール形式	寸法表 (mm)	材料表			鉄 筋 表 (SD345)					
		L	コンクリート (㎡)	型枠 (㎡)	スパイラル ダクト (mm)	Ⓐ			Ⓑ		
						径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)
1灯用	8SB	1,600	0.38	1.3	1,000	D16	1,400	4	D13	950	4
	10SB	2,100	0.48	1.3	1,500	D16	1,900	4	D13	950	5
2灯用	8SB	1,800	0.42	1.3	1,200	D16	1,600	4	D13	950	5
	10SB	2,100	0.48	1.3	1,500	D16	1,900	4	D13	950	5

(注) 1. アンカーボルトは、ダブルナット及びワッシャー付とする。

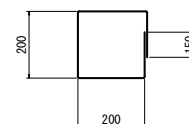
2. Hが1800以上の場合、(S₂) n=5とする。

鉄筋加工図

(S₁) D16 L=H-200 n=4

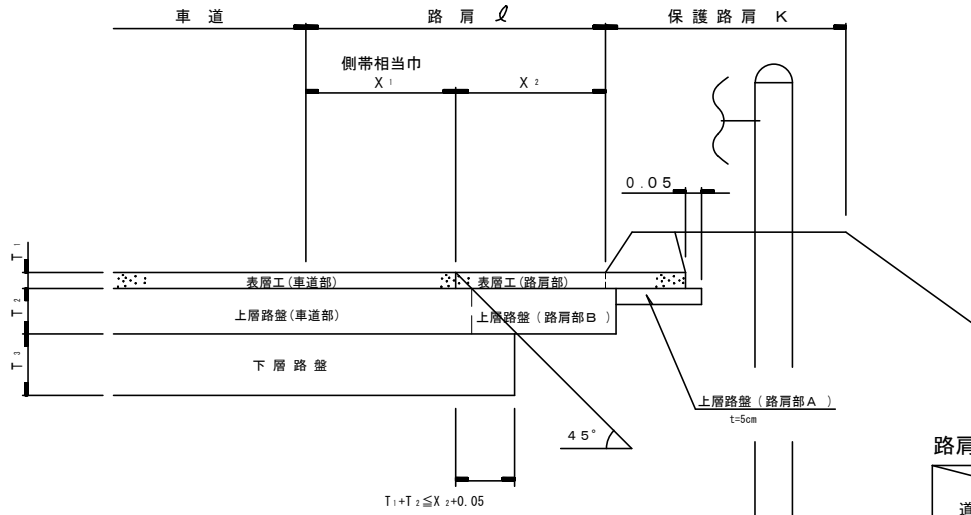


(S₂) D13 L=950 n=4 (5)



路肩構造図

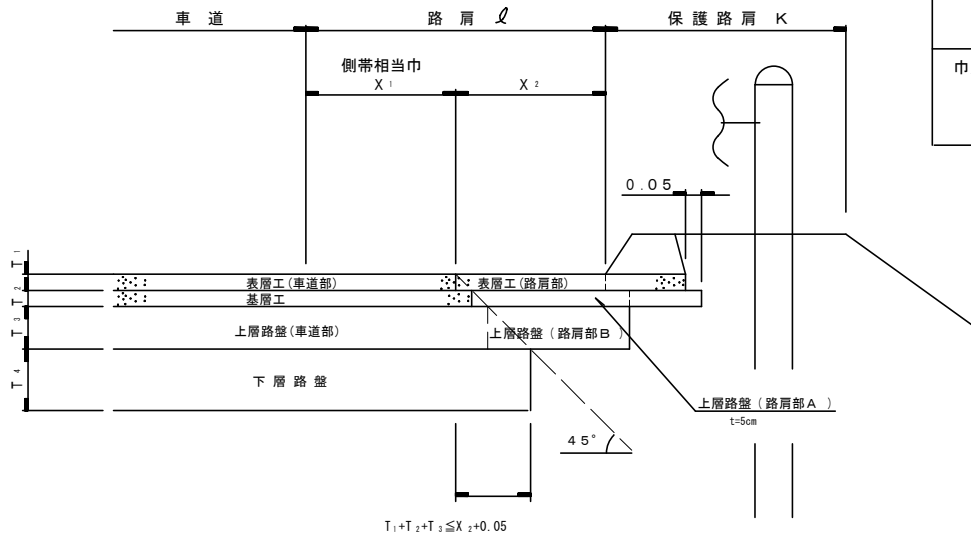
(一層式、防護柵、アスファルト縁石設置)



路肩の巾員

道路規格	路肩の諸元	路肩巾員 L	側帯相当巾	路肩舗装巾	保護路肩 K (m)		
		(m)	(車道並) X_1 (m)	X_2 (m)	歩道なし	防護柵7スカープ並設	歩道端
道路の区分による場合	3種 2級	(0.50)	(0.20)	(0.30)	0.50	0.75	0.30
	3級	0.75	0.25	0.50			
	4級						
巾員の標準化による場合	幹線道路C、D地域	1.25	0.50	0.75	0.50	0.75	0.30
	補助幹線道路C、D地域	1.00	0.50	0.50			

(二層式、防護柵、アスファルト縁石設置)



注) 路肩が側溝等構造物に接している場合は、路肩も車道と同じ構造とする。